
AX3640S ソフトウェアマニュアル

MIB レファレンス

Ver. 11.14 対応 Rev.1

AX36S-S009-K0

■ 対象製品

このマニュアルは AX3640S を対象に記載しています。また、ソフトウェア Ver. 11.14 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、ソフトウェア OS-L3A, OS-L3L, およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標一覧

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

IPX は、Novell, Inc. の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Octpower は、日本電気（株）の登録商標です。

OpenSSL は、米国およびその他の国における米国 OpenSSL Software Foundation の登録商標です。

RSA および RC4 は、米国およびその他の国における米国 EMC Corporation の登録商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

ssh は、SSH Communications Security, Inc. の登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

VitalQIP, VitalQIP Registration Manager は、アルカテル・ルーセントの商標です。

VLANAccessClient は、NEC ソリューションイノベーション株式会社の登録商標です。

VLANAccessController, VLANAccessAgent は、NEC の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■ 発行

2020年 9月（第21版） AX36S-S009-K0

■ 著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2005, 2020, ALAXALA Networks, Corp.

変更内容

【Ver. 11.12 対応版】

AX3630S の記述を削除しました。

表 変更内容

項目	追加・変更内容
dot1dTp グループ	<ul style="list-style-type: none">以下のオブジェクト識別子の記述を追加しました。 dot1dTpFdbTable dot1dTpFdbEntry dot1dTpFdbAddress dot1dTpFdbPort dot1dTpFdbStatus

【Ver. 11.9 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
axsStats グループ(統計情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">axsToCpuQoS グループを追加しました。

【Ver. 11.7 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
axsStats グループ(統計情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">axsEtherCpuQoS グループを追加しました。
axsTrackObjectMIB グループ (トラック情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">本節を追加しました。
axsPolicyBase グループ (ポリシーベース情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">本節を追加しました。

【Ver. 11.6 対応版】

AX3650S の記述は AX3800S・AX3650S ソフトウェアマニュアルに収録しました。

【Ver. 11.5 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
axsVrfMIB グループ (VRF 情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">本節を追加しました。
axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">本節を追加しました。
axsPconMIB グループ(消費電力情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">本節を追加しました。
ax3650sSwitch グループ(システム装置のモデル情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">本節を追加しました。
ax3650sDevice グループ(システム装置の筐体情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none">本節を追加しました。

項目	追加・変更内容
ax3650sManagementMIB グループ(装置の状態／情報の変更を行う)	<ul style="list-style-type: none"> • 本節を追加しました。
サポートトラップ-PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> • 本節を追加しました。

【Ver. 11.4 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
axsUlr グループ (アップリンク・リダンダント情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> • 本節を追加しました。
axsAxpGroupTable グループ	<ul style="list-style-type: none"> • axsAxpGroupMultiFaultDetectionState を追加しました。
サポート MIB トラップ	<ul style="list-style-type: none"> • Ring Protocol の多重障害監視に関するトラップを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ax3640sAxpMultiFaultDetectionStartTrap ・ ax3630sAxpMultiFaultDetectionStartTrap ・ ax3640sAxpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap ・ ax3630sAxpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap • アップリンク・リダンダントに関するトラップを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ax3640sUlrChangeSecondary ・ ax3630sUlrChangeSecondary ・ ax3640sUlrChangePrimary ・ ax3630sUlrChangePrimary ・ ax3640sUlrActivePortDown ・ ax3630sUlrActivePortDown

【Ver. 11.2 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
axsAxpGroupTable グループ	<ul style="list-style-type: none"> • axsAxpGroupMonitoringState の実装仕様を変更しました。
ax3640sPhysLine グループの実装仕様(インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> • 100BASE-FX 用 SFP の記述を追加しました。

【Ver. 11.0 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
サポート MIB トラップ	<ul style="list-style-type: none"> • トラップ名称の先頭にモデル名を付けました。 例：axs～→ax3640s～ axs～→ax3630s～ 以下は変更前の名称です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ axsAxpStateTransitionTrap ・ axsGsrpStateTransitionTrap ・ axsL2ldLinkDown ・ axsL2ldLinkUp

項目	追加・変更内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ axsL2ldLoopDetection ・ axsBroadcastStormDetectTrap ・ axsMulticastStormDetectTrap ・ axsUnicastStormDetectTrap ・ axsBroadcastStormPortInactivateTrap ・ axsMulticastStormPortInactivateTrap ・ axsUnicastStormPortInactivateTrap ・ axsBroadcastStormRecoverTrap ・ axsMulticastStormRecoverTrap ・ axsUnicastStormRecoverTrap ・ axsEfmoamUdldPortInactivateTrap ・ axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap

【Ver. 10.7 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
axsL2ldMIB グループ(L2 ループ検知情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本節を追加しました。
ax3630sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1000BASE-LHB の記述を追加しました。
ax3640sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1000BASE-LHB の記述を追加しました。
サポートトラップおよび発行契機	<ul style="list-style-type: none"> ・ L2 ループ検知サポートに伴い関連するトラップの記述を追加しました。
サポートトラップ-PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> ・ L2 ループ検知サポートに伴い関連するトラップの記述を追加しました。
サポートトラップ-PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> ・ L2 ループ検知サポートに伴い関連するトラップの記述を追加しました。

【Ver. 10.6 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
qBridgeMIB グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下を実装しました。 dot1qTpFdbTable dot1qTpFdbEntry dot1qTpFdbAddress dot1qTpFdbPort dot1qTpFdbStatus
axsAccessFilterStats グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のオブジェクト識別子を追加しました。 axsAccessFilterStatsOutTable, axsAccessFilterStatsOutEntry, axsAccessFilterStatsOutifIndex, axsAccessFilterStatsOutifIndexType, axsAccessFilterStatsOutListIndex,

項目	追加・変更内容
	axsAccessFilterStatsOutSequenceNumber, axsAccessFilterStatsOutListName, axsAccessFilterStatsOutMatchedPackets
ax3630sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP および 10GBASE-ZR の記述を追加しました。
ax3640sSwitch グループ(システム装置 のモデル情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
ax3640sDevice グループ(システム装置 の筐体情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
サポートトラップ-PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。

【Ver. 10.5 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
ax3630sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> 1000BASE-SX2 の記述を追加しました。

【Ver. 10.4 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
axsAxrpbMIB グループ (Ring Protocol 情報)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
ax3630sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> 1000BASE-BX の記述を追加しました。
sFlow グループ (InMon プライベート MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。

【Ver. 10.3 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none"> pimMIB(61)を追加しました。
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none"> pimMIB グループを追加しました。
pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
サポートトラップおよび発行契機	<ul style="list-style-type: none"> axsEfmoamUldPortInactivateTrap, axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap を追加しました。
サポートトラップ-PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> axsEfmoamUldPortInactivateTrap, axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap を追加しました。

【Ver. 10.2 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none"> snmpModules(3)を追加しました。
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none"> snmpModules グループを追加しました。
interfaces グループ(イーサネットの場合)	<ul style="list-style-type: none"> ifAdminStatus の ACCESS を R/NW から R/W へ変更しました。
snmp グループ (MIB-II)	<ul style="list-style-type: none"> snmp グループの実装仕様に snmpSilentDrops を追加しました。
vrrpOperations グループ	<ul style="list-style-type: none"> vrrpOperations グループの実装仕様に vrrpOperationsTable, vrrpAssociatedIpAddrTable を追加しました。
vrrpStatistics グループ	<ul style="list-style-type: none"> vrrpStatistics グループの実装仕様に vrrpRouterStatisticsTable を追加しました。
snmpModules グループ	<ul style="list-style-type: none"> snmpModules グループを追加しました。
axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)	<ul style="list-style-type: none"> axsGsrpVlanGroupId, axsGsrpNeighborVlanGroupId の実装仕様を 1～64 に変更しました。
ax3630sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> ax3630sModelType の実装仕様に AX3630S-48TW, AX3630S-48T2XW, AX3630S-24S2XW を追加しました。
ax3630sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> ax3630sChassisType の実装仕様に AX3630S-48TW, AX3630S-48T2XW, AX3630S-24S2XW を追加しました。 ax3630sModuleSlotTable を追加しました。 ax3630sModuleSlotNumber を追加しました。
ax3630sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> ax3630sPhysLineConnectorType の実装仕様に type10GBASE-SR, type10GBASE-ER を追加しました。
サポートトラップおよび発行契機	<ul style="list-style-type: none"> サポートトラップおよび発行契機に vrrpTrapProtoError, axsBroadcastStormDetectTrap, axsMulticastStormDetectTrap, axsUnicastStormDetectTrap, axsBroadcastStormPortInactivateTrap, axsMulticastStormPortInactivateTrap, axsUnicastStormPortInactivateTrap, axsBroadcastStormRecoverTrap, axsMulticastStormRecoverTrap, axsUnicastStormRecoverTrap を追加しました。
サポートトラップ-PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> サポートトラップ-PDU 内パラメータに vrrpTrapProtoError, axsBroadcastStormDetectTrap, axsMulticastStormDetectTrap, axsUnicastStormDetectTrap, axsBroadcastStormPortInactivateTrap, axsMulticastStormPortInactivateTrap, axsUnicastStormPortInactivateTrap, axsBroadcastStormRecoverTrap, axsMulticastStormRecoverTrap, axsUnicastStormRecoverTrap を追加しました。

はじめに

■ 対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX3640S を対象に記載しています。また、ソフトウェア Ver. 11.14 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、ソフトウェア OS-L3A, OS-L3L, およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

なお、このマニュアルでは特に断らないかぎり、各ソフトウェアで共通の機能について記載します。OS-L3A および OS-L3L で共通でない機能については以下のマークで示します。

【OS-L3A】：

OS-L3A についての記述です。

また、オプションライセンスでサポートする機能については以下のマークで示します。

【OP-DH6R】：

オプションライセンス OP-DH6R についての記述です。

【OP-OTP】：

オプションライセンス OP-OTP についての記述です。

【OP-VAA】：

オプションライセンス OP-VAA についての記述です。

■ このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は、ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■ 対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象としています。

また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

■ このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

<https://www.alaxala.com/>

■ マニュアルの読書手順

本装置の導入、セットアップ、日常運用までの作業フローに従って、それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

●装置の開梱から、初期導入時の基本的な設定を知りたい

クイックスタートガイド

(AX36S-Q001)

●ハードウェアの設備条件、取扱方法を調べる

ハードウェア取扱説明書

(AX36S-H001)

●ソフトウェアの機能、
コンフィグレーションの設定、
運用コマンドについての確認を知りたい

コンフィグレーションガイド
Vol. 1

(AX36S-S001)

Vol. 2

(AX36S-S002)

Vol. 3

(AX36S-S003)

●コンフィグレーションコマンドの
入力シンタックス、パラメータ詳細
について知りたい

コンフィグレーション
コマンドレファレンス
Vol. 1

(AX36S-S004)

Vol. 2

(AX36S-S005)

●運用コマンドの入力シンタックス、
パラメータ詳細について知りたい

運用コマンドレファレンス
Vol. 1

(AX36S-S006)

Vol. 2

(AX36S-S007)

●メッセージとログについて調べる

メッセージ・ログレファレンス

(AX36S-S008)

●MIBについて調べる

MIBレファレンス

(AX36S-S009)

●トラブル発生時の対処方法について
知りたい

トラブルシューティングガイド

(AX36S-T001)

■ このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4

bit/s	bits per second	*bpsと表記する場合があります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit	
BRI	Basic Rate Interface	
CA	Certificate Authority	
CBC	Cipher Block Chaining	
CC	Continuity Check	
CDP	Cisco Discovery Protocol	
CFM	Connectivity Fault Management	
CIDR	Classless Inter-Domain Routing	
CIR	Committed Information Rate	
CIST	Common and Internal Spanning Tree	
CLNP	ConnectionLess Network Protocol	
CLNS	ConnectionLess Network System	
CONS	Connection Oriented Network System	
CRC	Cyclic Redundancy Check	
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection	
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU	
CST	Common Spanning Tree	
DA	Destination Address	
DC	Direct Current	
DCE	Data Circuit terminating Equipment	
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol	
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System	
DNS	Domain Name System	
DR	Designated Router	
DSA	Digital Signature Algorithm	
DSAP	Destination Service Access Point	
DSCP	Differentiated Services Code Point	
DTE	Data Terminal Equipment	
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol	
E-Mail	Electronic Mail	
EAP	Extensible Authentication Protocol	
EAPOL	EAP Over LAN	
EFM	Ethernet in the First Mile	
ES	End System	
FAN	Fan Unit	
FCS	Frame Check Sequence	
FDB	Filtering DataBase	
FQDN	Fully Qualified Domain Name	
FTTH	Fiber To The Home	
GBIC	GigaBit Interface Converter	
GCM	Galois/Counter Mode	
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol	
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication	
HTTP	Hypertext Transfer Protocol	
HTTPS	Hypertext Transfer Protocol Secure	
IANA	Internet Assigned Numbers Authority	
ICMP	Internet Control Message Protocol	
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6	
ID	Identifier	
IEC	International Electrotechnical Commission	
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.	
IETF	the Internet Engineering Task Force	
IGMP	Internet Group Management Protocol	
IP	Internet Protocol	
IPCP	IP Control Protocol	
IPv4	Internet Protocol version 4	
IPv6	Internet Protocol version 6	
IPv6CP	IP Version 6 Control Protocol	
IPX	Internetwork Packet Exchange	
ISO	International Organization for Standardization	
ISP	Internet Service Provider	
IST	Internal Spanning Tree	
L2LD	Layer 2 Loop Detection	
LAN	Local Area Network	
LCP	Link Control Protocol	
LED	Light Emitting Diode	
LLC	Logical Link Control	
LLDP	Link Layer Discovery Protocol	
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing	
LSP	Label Switched Path	
LSP	Link State PDU	
LSR	Label Switched Router	
MA	Maintenance Association	

MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MEP	Maintenance association End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MLD	Multicast Listener Discovery
MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not Acknowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations, Administration, and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
packet/s	packets per second *ppsと表記する場合があります。
PAD	PADding
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PGP	Pretty Good Privacy
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol Identifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PRI	Primary Rate Interface
PS	Power Supply
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
QoS	Quality of Service
QSFP+	Quad Small Form factor Pluggable Plus
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REject
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SElector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SFP+	Enhanced Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
SSH	Secure Shell
SSL	Secure Socket Layer

STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
VAA	VLAN Access Agent
VLAN	Virtual LAN
VPN	Virtual Private Network
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WRED	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

■ KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）はそれぞれ 1024 バイト、 1024^2 バイト、 1024^3 バイト、 1024^4 バイトです。

目次

1	サポート MIB の概要	1
1.1	MIB 体系図	2
1.2	MIB 一覧	4
1.3	プライベート MIB 定義ファイルの入手方法	13
1.4	MIB の記述形式	14
2	標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)	17
2.1	system グループ(MIB-II)	18
2.2	interfaces グループ(MIB-II)	20
2.3	at グループ(MIB-II)	26
2.4	ip グループ(MIB-II および IP Forward Table MIB)	27
2.4.1	ip	27
2.4.2	ipAddrTable	28
2.4.3	ipRouteTable	29
2.4.4	ipNetToMediaTable	31
2.4.5	ipForward	32
2.5	icmp グループ(MIB-II)	35
2.6	tcp グループ(MIB-II および TCP MIB for IPv6)	37
2.6.1	tcp	37
2.6.2	ipv6TcpConnTable	39
2.7	udp グループ(MIB-II および UDP MIB for IPv6)	41
2.7.1	udp	41
2.7.2	ipv6UdpTable	41
2.8	dot3 グループ(Ethernet Like MIB)	43
2.9	snmp グループ(MIB-II)	45
2.10	ospf グループ(OSPFv2 MIB) 【OS-L3A】	48
2.10.1	ospfGeneralGroup	48
2.10.2	ospfAreaTable	49
2.10.3	ospfStubAreaTable	51
2.10.4	ospfLsdbTable	51
2.10.5	ospfAreaRangeTable	53
2.10.6	ospfIfTable	53
2.10.7	ospfIfMetricTable	56
2.10.8	ospfVirtIfTable	56
2.10.9	ospfNbrTable	58
2.10.10	ospfVirtNbrTable	59

2.10.11	ospfExtLsdbTable	60
2.10.12	ospfAreaAggregateTable	61
2.10.13	ospfTrap	63
2.11	bgp グループ(BGP4 MIB) 【OS-L3A】	65
2.11.1	bgp	65
2.11.2	bgpPeerTable	65
2.11.3	bgp4PathAttrTable	67
2.12	rmon グループ(Remote Network Monitoring MIB)	70
2.12.1	Ethernet Statistics グループ	70
2.12.2	History Control グループ	72
2.12.3	Ethernet History グループ	74
2.12.4	Alarm グループ	76
2.12.5	Event グループ	78
2.13	dot1dBridge グループ	80
2.13.1	dot1dBase グループ	80
2.13.2	dot1dStp グループ	81
2.13.3	dot1dTp グループ	83
2.13.4	pBridgeMIB グループ	86
2.13.5	qBridgeMIB グループ	88
2.14	ifMIB グループ(Interfaces Group MIB)	97
2.15	ipv6MIB グループ(IPv6 MIB)	101
2.15.1	ipv6MIB	101
2.15.2	ipv6IfTable	101
2.15.3	ipv6IfStatsTable	103
2.15.4	ipv6AddrPrefixTable	105
2.15.5	ipv6AddrTable	106
2.15.6	ipv6RouteTable	107
2.15.7	ipv6NetToMediaTable	109
2.16	ipv6IcmpMIB グループ(ICMPv6 MIB)	111
2.17	vrrpMIB グループ	114
2.17.1	vrrpOperations グループ	114
2.17.2	vrrpStatistics グループ	119
2.18	pimMIB グループ(IPv4 PIM MIB)	123
2.18.1	pimJoinPruneInterval	123
2.18.2	pimInterfaceTable	123
2.18.3	pimNeighborTable	124
2.19	ospfv3MIB グループ(OSPFv3 MIB) 【OS-L3A】	126
2.19.1	ospfv3GeneralGroup	126
2.19.2	ospfv3AreaTable	127
2.19.3	ospfv3AsLsdbTable	129

2.19.4	ospfv3AreaLsdbTable	130
2.19.5	ospfv3LinkLsdbTable	132
2.19.6	ospfv3IfTable	133
2.19.7	ospfv3VirtIfTable	135
2.19.8	ospfv3NbrTable	136
2.19.9	ospfv3VirtNbrTable	138
2.19.10	ospfv3AreaAggregateTable	139
2.20	IEEE8023-LAG-MIB グループ	141
2.20.1	dot3adAgg グループ	141
2.20.2	dot3adAggPort グループ	142
2.20.3	dot3adTablesLastChanged グループ	148
2.21	IEEE802.1X MIB グループ	149
2.22	snmpModules グループ	160
2.22.1	snmpFrameworkMIB グループ (SNMP FRAMEWORK MIB)	160
2.22.2	snmpMPDMIB グループ (SNMP MPD MIB)	161
2.22.3	snmpTargetMIB グループ (SNMP TARGET MIB)	161
2.22.4	snmpNotificationMIB グループ (SNMP NOTIFICATION MIB)	164
2.22.5	snmpUsmMIB グループ (SNMP USER BASED SM MIB)	167
2.22.6	snmpVacmMIB グループ (SNMP VIEW BASED ACM MIB)	169
2.23	ieee8021CfmMib グループ	174
2.23.1	dot1agCfmStackTable	174
2.23.2	dot1agCfmVlanTable	175
2.23.3	dot1agCfmMd	176
2.23.4	dot1agCfmMaNetTable	178
2.23.5	dot1agCfmMaCompTable	179
2.23.6	dot1agCfmMaMepListTable	181
2.23.7	dot1agCfmMepTable	181
2.23.8	dot1agCfmLtrTable	187
2.23.9	dot1agCfmMepDbTable	189

3

プライベート MIB	193
------------	-----

3.1	axsStats グループ(統計情報 MIB)	194
3.1.1	axsIfStats グループ	194
3.1.2	axsQoS グループ	195
3.1.3	axsDHCP グループ	199
3.2	axsGsrpMIB グループ(GSRP グループ情報)	201
3.2.1	axsGsrpGroupTable グループ	201
3.2.2	axsGsrpVlanGroupTable グループ	202
3.2.3	axsGsrpNeighborGroupTable グループ	203
3.2.4	axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ	204

3.3	axsFdb グループ(MAC アドレステーブルグループ MIB)	206
3.4	axsVlan グループ(VLAN 情報 MIB)	208
3.4.1	axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報)	208
3.4.2	axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB)	219
3.5	axsOadp グループ (OADP 情報 MIB)	220
3.5.1	axsOadpGlobalInfo グループ	220
3.5.2	axsOadpPortInfo グループ	221
3.5.3	axsOadpNeighborInfo グループ	221
3.6	axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)	225
3.6.1	axsAccessFilterStats グループ	225
3.6.2	axsQosFlowStats グループ	227
3.7	axsL2ldMIB グループ (L2 ループ検知情報 MIB)	229
3.7.1	axsL2ldGlobalInfo グループ	229
3.7.2	axsL2ldPortTable グループ	230
3.8	axsOspfMIB グループ(マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 【OS-L3A】	232
3.8.1	axsOspfGeneralTable	232
3.8.2	axsOspfAreaTable	233
3.8.3	axsOspfStubAreaTable	234
3.8.4	axsOspfLsdbTable	235
3.8.5	axsOspfAreaRangeTable	237
3.8.6	axsOspfIfTable	237
3.8.7	axsOspfIfMetricTable	239
3.8.8	axsOspfVirtIfTable	240
3.8.9	axsOspfNbrTable	241
3.8.10	axsOspfVirtNbrTable	243
3.8.11	axsOspfExtLsdbTable	244
3.8.12	axsOspfAreaAggregateTable	245
3.8.13	axsOspfTrap	247
3.9	axsOspfv3MIB グループ(マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB) 【OS-L3A】	249
3.9.1	axsOspfv3GeneralTable	249
3.9.2	axsOspfv3AreaTable	250
3.9.3	axsOspfv3AsLsdbTable	252
3.9.4	axsOspfv3AreaLsdbTable	253
3.9.5	axsOspfv3LinkLsdbTable	254
3.9.6	axsOspfv3IfTable	255
3.9.7	axsOspfv3VirtIfTable	257
3.9.8	axsOspfv3NbrTable	259
3.9.9	axsOspfv3VirtNbrTable	260
3.9.10	axsOspfv3AreaAggregateTable	261
3.10	axsUlr グループ (アップリンク・リダンダント情報 MIB)	264

3.10.1	axsUlrGlobalInfo グループ	264
3.10.2	axsUlrPortTable グループ	264
3.11	axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)	267
3.11.1	axsStaticTable グループ	267
3.11.2	axsStaticIpv6Table グループ	267
3.12	axsTrackObjectMIB グループ (トラック情報 MIB) 【OS-L3A】	269
3.12.1	axsTrackObjectGeneralGroup	269
3.12.2	axsTrackObjectTable	269
3.13	axsPolicyBase グループ (ポリシーベース情報 MIB) 【OS-L3A】	271
3.13.1	axsPolicyBaseRouting グループ	271
3.14	axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)	272
3.15	axsLogin グループ (ログイン情報 MIB)	273
3.16	axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)	276
3.16.1	axslldpConfiguration グループ	276
3.16.2	axslldpStats グループ	278
3.16.3	axslldpLocalSystemData グループ	279
3.16.4	axslldpRemoteSystemData グループ	282
3.16.5	axslldpRemoteOriginInfoData グループ	286
3.17	axsAxrpMIB グループ (Ring Protocol 情報)	289
3.17.1	axsAxrpGroupTable グループ	289
3.17.2	axsAxrpVlanGroupTable グループ	291
3.18	ax3640sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	293
3.19	ax3640sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)	297
3.19.1	ax3640sChassis グループの実装仕様(筐体情報)	297
3.19.2	ax3640sChassis グループの実装仕様(温度情報)	299
3.19.3	ax3640sChassis グループの実装仕様(電源情報)	300
3.19.4	ax3640sChassis グループの実装仕様(ファン情報)	301
3.19.5	ax3640sChassis グループの実装仕様(予備電源機構情報)	302
3.19.6	ax3640sChassis グループの実装仕様(モジュール情報)	303
3.19.7	ax3640sPhysLine グループの実装仕様(インタフェース情報)	304
3.20	ax3640sManagementMIB グループ (装置の状態/情報の変更を行う)	306
3.20.1	ax3640sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB)	306
3.21	icmp グループ (HP プライベート MIB)	307
3.22	sFlow グループ (InMon プライベート MIB)	308

4

SNMP 通知	311
4.1 SNMP 通知の種類と送信契機	312
4.2 PDU 内パラメータ	320

付録	339
付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値	340
付録 A.1 プライベート MIB	340
付録 A.2 HP プライベート MIB	370
付録 A.3 InMon プライベート MIB	370
索引	373

1 サポート MIB の概要

1.1 MIB 体系図

本装置でサポートする MIB 体系図を(1/2)と(2/2)に示します。

図 1-1 MIB 体系図(1/2)

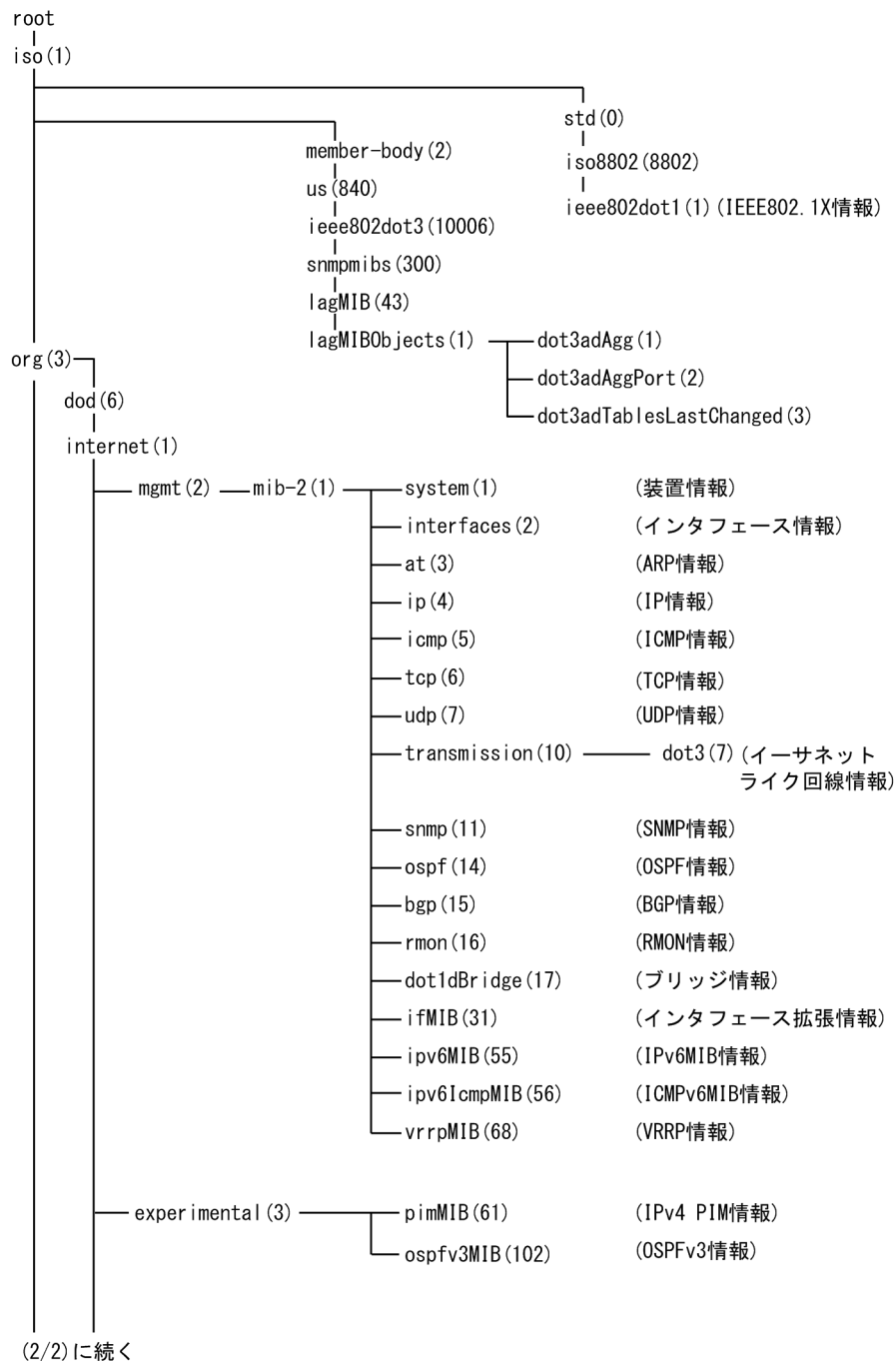
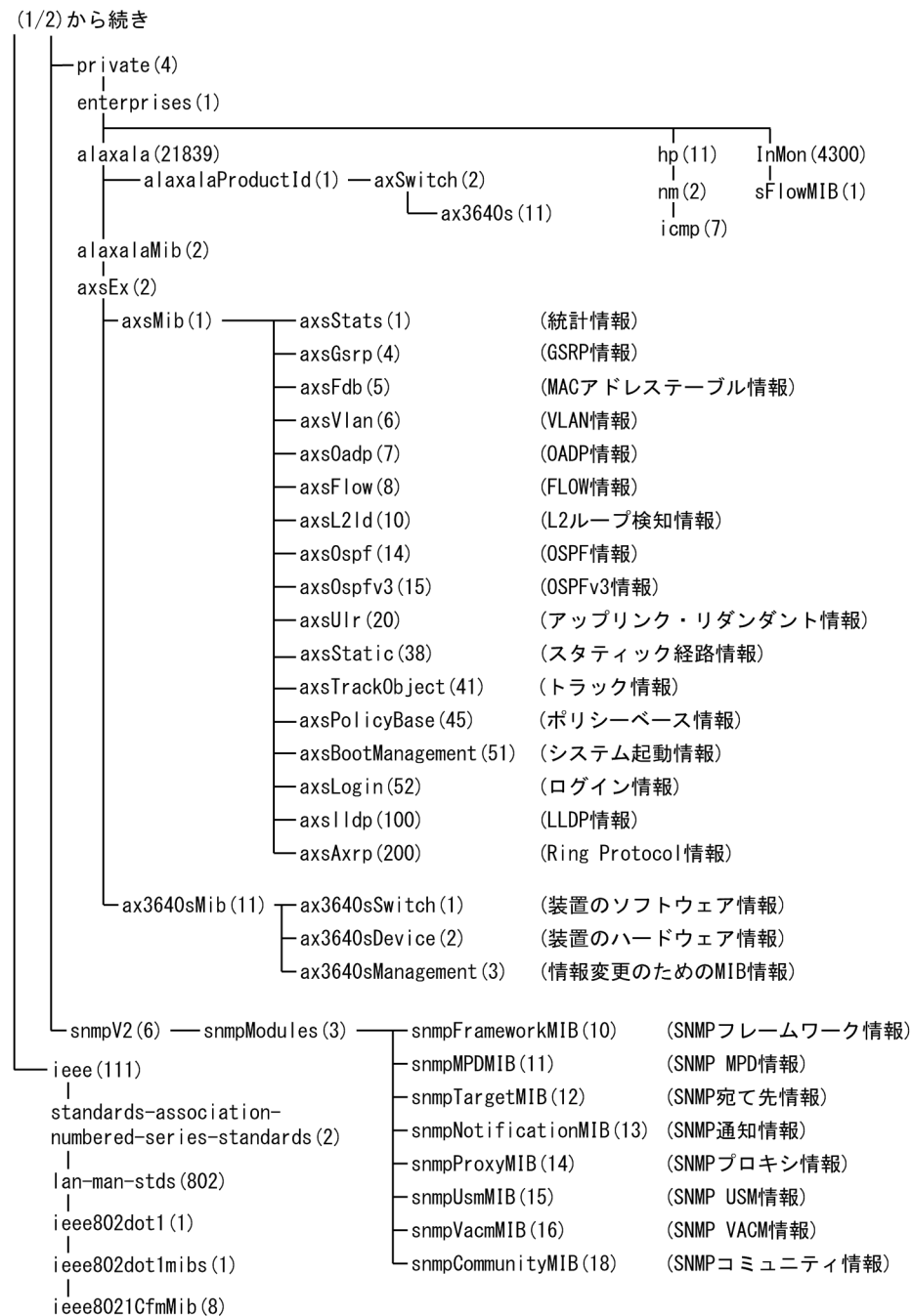


図 1-2 MIB 体系図(2/2)



1.2 MIB 一覧

サポート MIB を次の表に示します。

表 1-1 MIB グループ一覧

MIB グループ		機能	サポ ート	
標準 MIB	system グループ		装置に関する情報の MIB です。	○
	interfaces グループ		インタフェースに関する情報の MIB です。	○
	at グループ		ARP テーブルに関する情報の MIB です。	○
	ip グループ	ip	IP 情報の MIB です。	○
		ipAddrTable	IP アドレスに関するアドレッシングテーブル情報の MIB です。	○
		ipRouteTable	IP ルーティングテーブルに関する情報の MIB です。	○
		ipNetToMediaTable	IP アドレス変換テーブルに関する情報の MIB です。	○
		ipForward	IP フォワーディングテーブルに関する情報の MIB です。	○
	icmp グループ		ICMP 情報の MIB です。	○
	tcp グループ	tcp	TCP 情報の MIB です。	○
		ipv6TcpConnTable	IPv6 に関する TCP 情報の MIB です。	○
	udp グループ	udp	UDP 情報の MIB です。	○
		ipv6UdpTable	IPv6 に関する UDP 情報の MIB です。	○
	dot3 グループ		イーサネットライクインタフェースに関する情報の MIB です。	○
	snmp グループ		SNMP 情報の MIB です。	○
	ospf グループ 【OS-L3A】	ospfGeneralGroup	OSPF 情報の MIB です。	○
ospfAreaTable		ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○	
ospfStubAreaTable		エリアボーダールータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブルの MIB です。	○	
ospfLsdbTable		OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○	
ospfAreaRangeTable		ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブルの MIB です。	○	

MIB グループ			機能	サポ ート
		ospfHostTable	ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックの MIB 情報です。	×
		ospfIfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		ospfIfMetricTable	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		ospfVirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		ospfNbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		ospfVirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		ospfExtLsdbTable	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) テーブルに関する MIB です。	○
		ospfAreaAggregateTable	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレステーブルに関する MIB です。	○
		ospfTrap	SNMP 通知に関する MIB です。	○
bgp グループ 【OS-L3A】		bgp	BGP 情報の MIB です。	○
		bgpPeerTable	bgp ピアテーブルに関する MIB です。	○
		bgpPathAttrTable	BGP4 から受信したパス情報に関する MIB です。	○
rmon グループ		Ethernet Statistics Group	イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルの MIB です。	○
		History Control Group	イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルに関する MIB です。	○
		Ethernet History Group	イーサネットの統計情報の来歴テーブルに関する MIB です。	○
		Alarm Group	アラームテーブルに関する情報の MIB です。	○
		Host Group	Host グループに関する情報の MIB です。	×
		Host Top"N"	HostTopN グループに関する情報の MIB です。	×
		Matrix	Matrix グループに関する情報の MIB です。	×
		Filter	Filter グループに関する情報の MIB です。	×
		Packet Capture	PacketCapture グループに関する情報の MIB です。	×

MIB グループ		機能	サポ ート
	Event Group	RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブルに関する MIB です。	○
dot1dBridge グループ	dot1dBase グループ	ブリッジの情報です。	○
	dot1dStp グループ	スパニングツリー・プロトコルの情報です。	○
	dot1dTp グループ	ブリッジのフォワーディング情報です。	○
	dot1dStatic グループ	フィルタリング情報です。	×
	pBridgeMIB グループ	優先制御とマルチキャスト・フィルタリングの情報です。	○
	qBridgeMIB グループ	仮想ブリッジ情報です。	○
ifMIB グループ		インタフェース拡張情報の MIB です。	○
ipv6MIB グループ	ipv6MIB ipv6 general グループ	IPv6 インタフェースに関する MIB です。	○
	ipv6IfTable	ネットワークレイヤインタフェース (V6) のテーブルに関する MIB です。	○
	ipv6IfStatsTable	IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブルに関する MIB です。	○
	ipv6AddrPrefixTable	IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブルに関する MIB です。	○
	ipv6AddrTable	インタフェースアドレステーブルに関する MIB です。	○
	ipv6RouteTable	IPv6 ルーティングテーブルに関する MIB です。	○
	ipv6NetToMediaTable	IPv6 アドレス変換テーブルに関する MIB です。	○
ipv6IcmpMIB グループ		IPv6 ICMP MIB です。	○
vrrpMIB グループ	vrrpOperations グループ	VRRP ルータの構成と制御情報に関する MIB です。	○
	vrrpStatistics グループ	VRRP パケットに関する統計情報の MIB です。	○
	vrrpNotifications グループ	VRRP ルータから送信される VRRP の SNMP 通知に関する MIB 情報です。	×
pimMIB グループ	pimJoinPruneInterval	PIM-SM Join/Prune メッセージ送信周期に関する MIB です。	○
	pimInterfaceTable	PIM インタフェーステーブル情報に関する MIB です。	○
	pimNeighborTable	PIM 近隣テーブル情報に関する MIB です。	○

MIB グループ		機能	サポ ート
	pimIpMRouteTable	PIM ルーティングテーブル情報に関する MIB です。	×
	pimRPTable	PIM version1 用の RP 情報テーブルに関する MIB です。	×
	pimRPSetTable	RP 候補情報テーブルに関する MIB です。	×
	pimIpMRouteNextHopTable	PIM ルーティング Next Hop テーブル情報に関する MIB です。	×
	pimCandidateRPTable	RP 候補のときに広告するグループ情報に関する MIB です。	×
	pimComponentTable	PIM ドメインを特定するコンポーネントのテーブル情報に関する MIB です。	×
ospfv3MIB グループ 【OS-L3A】	ospfv3GeneralGroup	OSPFv3 情報の MIB です。	○
	ospfv3AreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3AsLsdbTable	OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3AreaLsdbTable	OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3LinkLsdbTable	OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3IfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	ospfv3VirtIfTable	ルータが接続する仮想リンクのインタフェース情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	ospfv3NbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	ospfv3VirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	ospfv3AreaAggregateTable	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6Prefix のテーブルに関する MIB です。	○
IEEE8023-LAG-MIB グループ	dot3adAgg グループ	Aggregator に関する情報です。	○
	dot3adAggPort グループ	すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 情報です。	○
IEEE802.1X MIB グループ		IEEE802.1X に関する MIB です。	○

MIB グループ		機能	サポ ート	
snmpModules グループ	snmpFrameworkMIB グループ	SNMP フレームワークに関する MIB です	○	
	snmpMPDMIB グループ	SNMP メッセージとディスパッチャに関する MIB です。	○	
	snmpTargetMIB グループ	SNMP 宛て先情報に関する MIB です	○	
	snmpNotificationMIB グループ	SNMP 通知情報に関する MIB です	○	
	snmpProxyMIB グループ	SNMP プロキシに関する MIB です	×	
	snmpUsmMIB グループ	SNMP ユーザベースセキュリティモデルに関する MIB です	○	
	snmpVacmMIB グループ	SNMP ビューベースアクセス制御モデルに関する MIB です	○	
	snmpCommunityMIB グループ	SNMPv1, v2C, v3 の共存に関する MIB です	×	
ieee8021CfmMib グループ	dot1agCfmStackTable グループ	CFM 情報の検索に使用する MIB です。	○	
	dot1agCfmDefaultMd グループ	CFM に設定するデフォルト値に関する MIB です。	×	
	dot1agCfmVlanTable グループ	CFM と VLAN を関連付ける MIB です。	○	
	dot1agCfmConfigErrorListTable グループ	CFM に関連するコンフィグレーションのエラー情報の MIB です。	×	
	dot1agCfmMd グループ	CFM のドメインに関する MIB です。	○	
	dot1agCfmMaNetTable グループ	CFM の MA に関する MIB です。	○	
	dot1agCfmMaCompTable グループ	CFM の MA 構成情報に関する MIB です。	○	
	dot1agCfmMaMepListTable グループ	CFM の MEP リストに関する MIB です。	○	
	dot1agCfmMepTable グループ	CFM の MEP に関する MIB です。	○	
	dot1agCfmLtrTable グループ	CFM のリンクトレースで受信した応答メッセージに関する MIB です。	○	
	dot1agCfmMepDbTable グループ	CFM のリモート MEP に関する MIB です。	○	
プライベート MIB	axsStats グループ	axsIfStats グループ	メガ単位インタフェース統計の MIB です。	○
		axsQoS グループ	QoS 統計情報に関する MIB です。	○

MIB グループ			機能	サポ ート
		axsDHCP グループ	DHCP サーバに関する統計情報の MIB です。	○
axsGsrpMIB グループ	axsGsrpGroupTable グループ	axsGsrpGroupTable グループ	GSRP グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	axsGsrpVlanGroupTable グループ	axsGsrpVlanGroupTable グループ	GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	axsGsrpNeighborGroupTable グループ	axsGsrpNeighborGroupTable グループ	対向装置の GSRP グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ	axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ	対向装置の GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	axsFdb グループ	axsFdbCounterTable	MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブルに関する MIB です。	○
axsVlan グループ	axsVlanBridge グループ	axsVlanBridge グループ	VLAN ごとの Bridge-MIB に関する MIB です。	○
	axsVlanTagTranslation グループ	axsVlanTagTranslation グループ	Tag 変換に関する情報テーブルの MIB です。	○
axsOadp グループ	axsOadpGlobalInfo グループ	axsOadpGlobalInfo グループ	OADP 機能の active 状態に関する MIB です。	○
	axsOadpPortInfo グループ	axsOadpPortInfo グループ	OADP ポート情報に関する MIB です。	○
	axsOadpNeighborInfo グループ	axsOadpNeighborInfo グループ	OADP 隣接ノードに関する MIB です。	○
axsFlow グループ	axsAccessFilterStats グループ	axsAccessFilterStats グループ	アクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報に関する MIB です。	○
	axsQosFlowStats グループ	axsQosFlowStats グループ	QoS フローリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報に関する MIB です。	○
axsL2ld グループ	axsL2ldGlobalInfo グループ	axsL2ldGlobalInfo グループ	L2 ループ検知の情報に関する MIB です。	○
	axsL2ldPortTable グループ	axsL2ldPortTable グループ	L2 ループ検知のポート情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
axsOspfMIB グループ 【OS-L3A】	axsOspfGeneralTable	axsOspfGeneralTable	OSPF 情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	axsOspfDomainAreaTable	axsOspfDomainAreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	axsOspfStubAreaTable	axsOspfStubAreaTable	エリアボーダールータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブルに関する MIB です。	○

MIB グループ			機能	サポ ート
		axsOspfLsdbTable	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfAreaRangeTable	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfIfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfIfMetricTable	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfVirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfNbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfVirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfExtLsdbTable	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブルの MIB です。	○
		axsOspfAreaAggregateTable	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブルの MIB です。	○
		axsOspfTrap	SNMP 通知に関する MIB です。	○
	axsOspfV3 グループ 【OS-L3A】	axsOspfV3GeneralTable	OSPFv3 情報の MIB です。	○
		axsOspfV3AreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfV3AsLsdbTable	OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfV3AreaLsdbTable	OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfV3LinkLsdbTable	OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfV3IfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリストの MIB です。	○
		axsOspfV3VirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
		axsOspfV3NbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	○

MIB グループ		機能	サポ ート
	axsOspfV3VirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	○
	axsOspfV3AreaAggregateTable	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブルに関する MIB です。	○
axsUlr グループ	axsUlrGlobalInfo グループ	アップリンク・リダundantの設定情報に関する MIB です。	○
	axsUlrPortTable グループ	アップリンク・リダundantのポート情報を格納するテーブルの MIB です。	○
axsStatic グループ	axsStaticTable グループ	スタティック情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
	axsStaticIpv6Table グループ	IPv6 スタティック情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
axsTrackObjectMIB グループ 【OS-L3A】	axsTrackObjectGeneralGroup	トラックオブジェクト情報の中での、最終変更時刻に関する MIB です。	○
	axsTrackObjectTable	トラックオブジェクト情報を格納するテーブルに関する MIB です。	○
axsPolicyBase グループ 【OS-L3A】	axsPolicyBaseRouting グループ	ポリシーベースルーティングの経路情報の状態変化に関する SNMP 通知で使用する MIB です。	○
axsBootManagement グループ		システム起動に関する MIB です。	○
axsLogin グループ		ログインに関する MIB です。	○
axslldp グループ	axslldpConfiguration グループ	LLDP のコンフィグレーションの MIB です。	○
	axslldpStats グループ	LLDP の統計情報の MIB です。	○
	axslldpLocalSystemData グループ	LLDP の本装置に関する情報の MIB です。	○
	axslldpRemoteSystemData グループ	LLDP の本装置と接続している隣接装置に関する情報の MIB です。	○
	axslldpRemoteOriginInfo Data グループ	LLDP の弊社独自 TLV 情報の MIB です。	○
axsAxrpMIB グループ	axsAxrpGroupTable グループ	Ring Protocol グループ情報に関する MIB です。	○
	axsAxrpVlanGroupTable グループ	Ring Protocol VLAN グループ情報に関する MIB です。	○
ax3640sSwitch グループ		装置のモデル情報の MIB です。	○
ax3640sDevice	ax3640sChassis グループ	装置の筐体情報の MIB です。	○
	ax3640sPhysLine グループ	装置のインタフェース情報の MIB です。	○

1 サポート MIB の概要

MIB グループ		機能	サポ ート
ax3640sManagemen t	ax3640sFdbClearMIB グ ループ	MAC アドレステーブル情報をクリアするた めの MIB です。	○
icmp グループ (HP プライベート MIB)		HP 社のプライベート MIB です。	○
sFlow グループ (InMon プライベート MIB)		InMon 社のプライベート MIB です。	○

(凡例) ○：本装置でサポートしています。 ×：本装置ではサポートしていません。

1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

プライベート MIB 定義ファイル (ASN.1) は、ソフトウェアと共に提供いたします。

1.4 MIB の記述形式

このマニュアルで記述しているサポート MIB の記述形式について説明します。各 MIB はグループごとに識別子および実装仕様を記述しています。

- 識別子

オブジェクト識別子の公認された記述形式です。

(例) プライベート MIB `axsStats` グループの識別子の記述形式とオブジェクト ID 値を次に示します。

識別子 `axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}`
 オブジェクトID値 `1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1`

プライベート MIB のオブジェクト ID 値については、「付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値」を参照してください。

- 実装仕様

各 MIB の実装仕様を表で説明しています。`axsStats` グループの実装仕様を例に、表の項目について説明します。`axsStats` グループの実装仕様の例を次の表に示します。

表 1-2 `axsStats` グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	<code>axsIfStatsTable</code> { <code>axsIfStats 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブル。	●
2	<code>axsIfStatsEntry</code> { <code>axsIfStatsTable 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 INDEX { <code>axsIfStatsIndex</code> }	●
3	<code>axsIfStatsIndex</code> { <code>axsIfStatsEntry 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインタフェースインデックス。 <code>ifIndex</code> と同じ。	●
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・

オブジェクト識別子

MIB のオブジェクト識別子の名称を示しています。

SYNTAX

プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味を次の表に示します。なお、SYNTAX はプライベート MIB の実装仕様だけで説明しています。

表 1-3 プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
1	Counter	0..4294967295($2^{32}-1$)まで増加し、また 0 に戻る整数値。
2	Counter32	0..4294967295($2^{32}-1$)まで増加し、また 0 に戻る整数値。
3	Counter64	0..18446744073709551615($2^{64}-1$)まで増加し、また 0 に戻る整数値。
4	DisplayString	0 個以上 255 文字以下の文字列（各バイトは、NVT ASCII 値）。

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
5	Gauge	値は増減できる, 0 またはそれ以上の整数 (0..4294967295)。
6	INTEGER	-2147483648..2147483647($-2^{31}..2^{31}-1$)の範囲の整数情報を表す。
7	Integer32	-2147483648..2147483647($-2^{31}..2^{31}-1$)の範囲の整数情報を表す。
8	OCTET STRING	0 個以上の文字列 (8 ビット単位)。各バイトは, 0..255。
9	IpAddress	4 バイトの OCTET STRING (32 ビットの IP アドレスを格納)。
10	Ipv6Address	16 バイトの OCTET STRING (128 ビットの IPv6 アドレスを格納)。
11	OBJECT IDENTIFIER	サブ識別子の順序固定リストを格納。
12	MacAddress	IEEE802.1a で定義された正規の順序で表される 802MAC アドレス。OCTET STRING タイプ。
13	RowStatus	概念上の行エントリの生成や削除を制御するための SYNTAX タイプ。
14	TimeStamp	あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で計るタイムスタンプ。
15	TimeTicks	正の整数で, あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で表す。
16	BITS	名前付きビット列で対応するビットに 1 を割り当て, 0 個以上の文字列 (8 ビット単位) で表す。名前付きビットの 0 が最上位ビットに対応し, 各名前付きビットの論理和が GetResponse で返却される。 例) 名前付きビットの 0 と 6 が有効である場合, GetResponse で返却される値は 0x82 となる。
17	NOT-ACCESSIBLE	アクセス不可。
18	PortList	ポートのビットマップとなっており, 有効なポートに対応するビットに 1 を割り当てる。本装置では, ポートの ifIndex 番号に対応したビットに 1 を割り当てる。
19	VlanIndex	VLAN のインデックス番号 (1..4094) を表す。
20	AddressFamilyNumbers	IANA が割り当てたアドレス番号。
21	VlanIdOrZero	VLAN のインデックス番号 (1..4094) を表す。
22	SnmpAdminString	管理情報を含む文字列。DisplayString タイプ。
23	InetAddressType	インターネットアドレスのタイプ。
24	InetAddress	インターネットアドレス。OCTET STRING タイプ。
25	OwnerString	0~127 文字の文字列。管理上割り当てられたリソースの所有者の名前を表す。DisplayString タイプ。
26	BridgeId	スパンニングツリーで使用されるブリッジ識別子。OCTET STRING タイプ。
27	Timeout	100 分の 1 秒単位の STP タイマ。
28	TruthValue	真偽値。
29	InterfaceIndex	システムが管理している ifIndex 番号。1..2147483647($2^{31}-1$)の範囲の整数値。
30	Unsigned32	0..4294967295($2^{32}-1$)の範囲の整数情報。

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
31	TimeFilter	正の整数で、あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で表すインデックス番号。

アクセス

- R/O：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Onlyであることを示します。
- R/W：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Writeであることを示します。
- R/NW：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Writeですが、本装置では Read_Onlyとなっていることを示します。
- R/C：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Createであることを示します。
- R/NC：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Createですが、本装置では Read_Onlyとなっていることを示します。
- AN：規格ドキュメント上の MIB アクセスが accessible-for-notifyであることを示します。Objectの取得および設定ができませんが、SNMP 通知の variable として読み取ることができます。
- NA：規格ドキュメント上の MIB アクセスが not-accessibleであることを示します。

実装仕様

[規格]：規格ドキュメントの規格概要を記述しています。

[実装]：本装置での実装仕様を記述しています。

実装有無

- ●：本装置でサポート（応答）する MIB を示しています。ただし、アクセス欄が「NA」の場合、MIB の応答はしません。また使用する機能によって応答するものが変わりますので注意してください。
- ▲：本装置でサポート（応答）する MIB ですが、統計カウンタで本装置がカウントできないため、固定値を応答する MIB を示しています。
- ×：本装置でサポート（応答）しない MIB を示しています。

2

標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)

この章では本装置で使用する標準 MIB の実装仕様について説明します。

2.1 system グループ(MIB-II)

system グループの準拠規格を次に示します。

- RFC3418 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

system OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.1

(2) 実装仕様

system グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-1 system グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sysDescr {system 1}	R/O	<p>[規格] ハードウェア, OS, ネットワーク OS の名称またはバージョン No。</p> <p>[実装] 会社名, 製品名, 装置型名, 装置モデル, ソフトウェア名称, ソフトウェアバージョン, ソフトウェア略称を含む文字列。</p> <p>(例) AX3640S の場合</p> <p>"ALAXALA AX3640S AX-xxxx-xx [AX36xxS-xx] Switching Software Ver. 10.4 [OS-xx]"</p> <p>ALAXALA: 会社名</p> <p>AX3640S: 製品名</p> <p>AX-xxxx-xx: 装置型名</p> <p>AX36xxS-xx: 装置モデル</p> <p>Switching Software: ソフトウェア名称</p> <p>Ver. 10.4: ソフトウェアバージョン</p> <p>OS-xx: ソフトウェア略称</p>	●
2	sysObjectID {system 2}	R/O	<p>[規格] ネットワーク管理サブシステムのベンダの認証 ID。</p> <p>[実装] 固定値。</p> <p>AX3640S の場合</p> <p>1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11</p>	●
3	sysUpTime {system 3}	R/O	<p>[規格] システムが起動してからの累積時間 (10 ミリ秒カウンタ)。</p> <p>[実装] 装置起動時からの累積時間。</p>	●
4	sysContact {system 4}	R/W	<p>[規格] 管理ノードに関する連絡先。</p> <p>[実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。</p>	●
5	sysName {system 5}	R/W	<p>[規格] 管理ノードの名称, 管理ノードのドメイン名。</p> <p>[実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。</p>	●
6	sysLocation {system 6}	R/W	<p>[規格] 管理ノードの設置場所。</p> <p>[実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。</p>	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
7	sysServices {system 7}	R/O	[規格] サービスを示す値。 [実装] 78 固定。	●

2.2 interfaces グループ(MIB-II)

interfaces グループ(MIB-II)の準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

次に示す interfaces グループについて説明します。

- イーサネットインタフェース
- ポートチャネルインタフェース
- VLAN インタフェース
- ループバックインタフェース

(1) 識別子

interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2

(2) 実装仕様

interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-2 interfaces グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	●
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。 INDEX { ifIndex } [実装] 規格に同じ。	●
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1～ifNumberまでの値。 [実装] このインタフェースを識別するための番号。 ifIndex の割り当て方法は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットインタフェース：10+ポート番号-1 • ポートチャネルインタフェース：60+チャネルグループ番号 • VLAN インタフェース：デフォルト VLAN の場合は 3, その他は 200+VLAN ID • ループバックインタフェース：1 	●
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列およびコンフィグレーションで設定された補足説明。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	<p>[規格] インタフェースのタイプ。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：ethernet-csmacd (6)。 ポートチャネルインタフェース：ieee8023adLag (161)。 VLAN インタフェース：l2vlan (135)。 ループバックインタフェース：softwareLoopback (24)。 	●
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで送受信できるデータグラムの最大サイズ (オクテット)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：VLAN 情報と同じ。 VLAN インタフェース：VLAN に所属するイーサネットインタフェースの MTU 値、システム MTU 情報、および IP MTU 情報 (設定時だけ) のうち最小のもの。 ループバックインタフェース：33188 固定。 	●
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (bit/s)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は、該当インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。 ポートチャネルインタフェース：チャネルグループに属するポートの ifSpeed の合計値。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	<p>[規格] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 ポートチャネルインタフェース：チャネルグループの MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 VLAN インタフェース：VLAN に割り当てられた MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 ループバックインタフェース：値なし。 	●
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	<p>[規格] このインタフェースの望ましい状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> up (1) down (2) testing (3) <p>[実装] インタフェースによる。</p>	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：コンフィグレーションで shutdown 指定時は down (2)。 ポートチャネルインタフェース：コンフィグレーションでチャネルグループを shutdown 指定時は down (2)。 VLAN インタフェース：コンフィグレーションで VLAN suspend 指定時は down (2)。 ループバックインタフェース：up (1) 固定。 	
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの現在の状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> up (1) down (2) testing (3) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：規格に同じ。 ループバックインタフェース：up (1) 固定。 	●
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化したときの sysUpTime (単位：1/100 秒)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：規格に同じ。 ループバックインタフェース：規格に同じ。 	●
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで受信した、bad パケットを含むオクテットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の受信オクテット数。 ポートチャネルインタフェース：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の受信オクテット数。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：IP パケットの受信オクテット数。 	●
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：IP パケットで上位プロトコルに通知したユニキャスト・パケットの数。 	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット（ブロードキャスト，マルチキャストパケット）の数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：IP パケットで上位プロトコルに通知したブロードキャストまたはマルチキャストパケットの数。 	●
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	<p>[規格] パケット自身にはエラーはないが，上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数（バッファなしなどで廃棄された受信パケットの数）。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。 ポートチャネルインタフェース：受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：廃棄したパケットの数。 	●
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	<p>[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって廃棄されたパケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：FCS エラー，ショートパケット，最大パケット長オーバ，衝突されたパケット，パケットフォーマット不正，端数ビットなどのエラーによって廃棄されたパケットの数。 ポートチャネルインタフェース：FCS エラー，ショートパケット，最大パケット長オーバ，衝突されたパケット，パケットフォーマット不正，端数ビットなどのエラーによって廃棄されたパケットの数。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	<p>[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し，廃棄したパケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：0 固定。 ポートチャネルインタフェース：0 固定。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：廃棄した，IP パケット以外のパケットの数。 	●
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで送信したパケットのオクテットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の送信オクテットの数。 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> ポートチャネルインタフェース：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の送信オクテット数。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：IP パケットの送信オクテットの数。 	
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：bad パケットを含む，ユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット= '0' パケットの数)。 ポートチャネルインタフェース：0 固定。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：IP パケットで上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 	●
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット='1'パケットの数。ただし，MAC パケットは除く。また，SMT は含む)。 ポートチャネルインタフェース：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケット数 (MAC DA の I/G ビット='1'パケットの数。ただし，MAC パケットは除く。また，SMT は含む)。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：IP パケットで上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。 	●
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	<p>[規格] パケット自身にエラーはなく，送信処理で廃棄されたパケットの数 (送信バッファ不足など)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：送信 FIFO Overflow (アンダーラン) のため廃棄したイベント数。 ポートチャネルインタフェース：送信 FIFO Overflow (アンダーラン) のため廃棄したイベント数。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：廃棄したパケットの数。 	●
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	<p>[規格] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース： gigabitethernet の場合，規格に同じ。 tengigabitethernet の場合，0 固定。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	<p>[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：チャネルグループに属するポートの送信パケットキューサイズを合計したもの。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：送信待ちキューに積まれているパケットの数。 	●
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	<p>[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：1.3.6.1.2.1.10.7 を応答する。ただし、非正常時は、0.0 を応答する。 ポートチャネルインタフェース：0.0 固定。 VLAN インタフェース：0.0 固定。 ループバックインタフェース：0.0 固定。 	●

2.3 at グループ(MIB-II)

at グループ (MIB-II)の準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

at OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.3

(2) 実装仕様

at グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-3 at グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	atTable {at 1}	NA	[規格] アドレス変換テーブルは"フィジカル"アドレス相当値に対する NetworkAddress のテーブル。いくつかのインタフェースはアドレス相当値を決定するために変換テーブルを使用しません。このようなタイプの場合は、アドレス変換テーブルは空であり、エントリの数はゼロとなります。 [実装] 規格に同じ。ネットワークアドレスから物理アドレスへの対応関係を示します。	●
2	atEntry {atTable 1}	NA	[規格] 各エントリは"フィジカル"アドレス相当値に対する一つの NetworkAddress に関係するリストです。 INDEX { atIfIndex, atNetAddress } [実装] 規格に同じ。	●
3	atIfIndex {atEntry 1}	R/NW	[規格] 対応するインタフェースの ifIndex の値。 [実装] atPhysAddress を持つインタフェースの ifIndex。ただし、Read_Only です。	●
4	atPhysAddress {atEntry 2}	R/O	[規格] 物理アドレス。 [実装] 媒体に依存した ARP テーブルに依存する MAC アドレス。	●
5	atNetAddress {atEntry 3}	R/O	[規格] 媒体に依存した atPhysAddress に対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4 ip グループ(MIB-II および IP Forward Table MIB)

2.4.1 ip

ip グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4

(2) 実装仕様

ip グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-4 ip グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipForwarding {ip 1}	R/NW	[規格] IP 中継機能の可否（ゲートウェイとして動作するか）。 • gateway (1) • host (2) [実装] gateway (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
2	ipDefaultTTL {ip 2}	R/NW	[規格] IP ヘッダ中の TTL に設定するデフォルト値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
3	ipInReceives {ip 3}	R/O	[規格] すべてのインタフェースから受信した IP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲
4	ipInHdrErrors {ip 4}	R/O	[規格] IP ヘッダのエラーのために破棄された受信データグラムの数。 [実装] IP ヘッダチェックサムエラー、バージョンエラー、TTL オーバ・ヘッダ長異常、形式エラーなどの IP パケットをカウントします。0 固定。	▲
5	ipInAddrErrors {ip 5}	R/O	[規格] IP ヘッダ中の宛先アドレスが有効ではないために破棄されたパケット数。 [実装] 宛先アドレスのクラスが A, B, C, D ではない場合にカウントします。また無効なブロードキャストアドレス (255.255.255.255 または 0.0.0.0) の場合もカウントします。	●
6	ipForwDatagrams {ip 6}	R/O	[規格] 中継を必要だと判断したパケット数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲
7	ipInUnknownProtos {ip 7}	R/O	[規格] 受信した自分宛て IP パケットで認識できないプロトコルをサポートしていないプロトコルであるため、破棄した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ipInDiscards {ip 8}	R/O	[規格] エラー以外の理由で破棄された送信 IP データグラムの総数。 [実装] ifOperStatus が up ではないとき受信したパケット数。	●
9	ipInDelivers {ip 9}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した IP データグラムの数。 [実装] 自装置宛てへの受信 IP パケット数。	●
10	ipOutRequests {ip 10}	R/O	[規格] 上位レイヤが IP パケット送信要求を行った IP データグラムの総数。 [実装] 自装置から送信した IP パケット数。	●
11	ipOutDiscards {ip 11}	R/O	[規格] エラー以外の理由で破棄された IP データグラムの数。 [実装] IP パケット送信時，送信バッファ不足または輻輳制御によって廃棄したパケット数。0 固定。	▲
12	ipOutNoRoutes {ip 12}	R/O	[規格] 送信経路が指定されないために破棄した IP データグラムの数。 [実装] パケット中継時，宛先ネットワークがルーティングテーブルにない場合にカウントします。	●
13	ipReasmTimeout {ip 13}	R/O	[規格] リアセンブリ待ちしているフラグメントパケットのホールド最大秒数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ipReasmReqds {ip 14}	R/O	[規格] リアセンブリする必要のある受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	ipReasmOKs {ip 15}	R/O	[規格] リアセンブリが成功した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ipReasmFails {ip 16}	R/O	[規格] リアセンブリが失敗した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ipFragOKs {ip 17}	R/O	[規格] フラグメントが成功した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ipFragFails {ip 18}	R/O	[規格] フラグメントを失敗した IP データグラムの数。 [実装] フラグメントする必要があるにもかかわらず，IP ヘッダの DF ビットがオンであったためにフラグメントができなかった場合，カウントします。フラグメント用バッファ獲得失敗の場合，カウントします。	●
19	ipFragCreates {ip 19}	R/O	[規格] フラグメンテーションの結果として生成された IP データグラムのフラグメントの数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4.2 ipAddrTable

ipAddrTable グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipAddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.20

(2) 実装仕様

ipAddrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-5 ipAddrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipAddrTable {ip 20}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスに関連するアドレッシング情報のテーブル (IP アドレス別のアドレス情報テーブル)。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipAddrEntry {ipAddrTable 1}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスの一つのためのアドレッシング情報のリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ipAdEntAddr {ipAddrEntry 1}	R/O	[規格] IP アドレス。 [実装] ポートの IP アドレス。	●
4	ipAdEntIfIndex {ipAddrEntry 2}	R/O	[規格] このエントリが適用するインタフェースのインデックス値。 ifIndex と同じ値。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipAdEntNetMask {ipAddrEntry 3}	R/O	[規格] このエントリの IP アドレスに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipAdEntBcastAddr {ipAddrEntry 4}	R/O	[規格] IP ブロードキャスト送信時のアドレスの最下位ビットの値。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipAdEntReasmMaxSize {ipAddrEntry 5}	R/O	[規格] インタフェースで受信した IP フラグメント分割された入力 IP データグラムからリアセンブルできる最大 IP パケットのサイズ。 [実装] 規格に同じ。	●

2.4.3 ipRouteTable

ipRouteTable グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipRouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 21}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.21

(2) 実装仕様

ipRouteTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-6 ipRouteTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipRouteTable {ip 21}	NA	[規格] このエンティティの IP ルーティングテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipRouteEntry {ipRouteTable 1}	NA	[規格] 特定のディスティネーションへの経路情報。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ipRouteDest {ipRouteEntry 1}	R/NW	[規格] この経路のディスティネーション IP アドレス。 [実装] ルーティングテーブル中の宛先ネットワークアドレス。ただし、Read_Only です。	●
4	ipRouteIfIndex {ipRouteEntry 2}	R/NW	[規格] この経路のファーストホップの存在するインタフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ルーティングテーブル内にフォワーディングしないルートが存在します。このルートの ipAdEntIfIndex は 0 とします。	●
5	ipRouteMetric1 {ipRouteEntry 3}	R/NW	[規格] この経路のプライマリ・ルーティング・メトリック。 [実装] ルーティングテーブルのホップ数。ただし、Read_Only です。	●
6	ipRouteMetric2 {ipRouteEntry 4}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ipRouteMetric3 {ipRouteEntry 5}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 未使用のため-1 固定。ただし、Read_Only です。	●
8	ipRouteMetric4 {ipRouteEntry 6}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 未使用のため-1 固定。ただし、Read_Only です。	●
9	ipRouteNextHop {ipRouteEntry 7}	R/NW	[規格] この経路のネクストホップの IP アドレス(ブロードキャスト・メディアで接続されたルートの場合、そのインタフェース上のエージェントアドレス・アドレスになる)。 [実装] ルーティングテーブル中のファーストホップ IP アドレス。ただし、Read_Only です。装置ではルーティングテーブル内にフォワーディングしないルートが存在します。このルートの ipRouteNextHop は 0.0.0.0 とします。	●
10	ipRouteType {ipRouteEntry 8}	R/O	[規格] 経路のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • direct (3) • indirect (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only。	●
11	ipRouteProto {ipRouteEntry 9}	R/O	[規格] 経路を学習したルーティング構造。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • local (2) • netmgmt (3) • icmp (4) 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> • egp (5) • ggp (6) • hello (7) • rip (8) • is-is (9) • es-is (10) • ciscoIgrp (11) • bbnSpfIgp (12) • ospf (13) • bgp (14) [実装] 規格に同じ。	
12	ipRouteAge {ipRouteEntry 10}	R/NW	[規格] この経路が更新されてからの経過時間（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	ipRouteMask {ipRouteEntry 11}	R/NW	[規格] ipRouteDest に関するサブネットマスク値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
14	ipRouteMetric5 {ipRouteEntry 12}	R/NW	[規格] 代替ルーティングメトリック。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	●
15	ipRouteInfo {ipRouteEntry 13}	R/O	[規格] このルートで信頼できる特定のルーティングプロトコルを定義する MIB へのレファレンス。 [実装] {0.0}固定。	●

2.4.4 ipNetToMediaTable

ipNetToMediaTable グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipNetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 22}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.22

(2) 実装仕様

ipNetToMediaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-7 ipNetToMediaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipNetToMediaTable {ip 22}	NA	[規格] IP アドレスから物理アドレスへのマッピングに使用される IP アドレス変換テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ipNetToMediaEntry {ipNetToMediaTable 1}	NA	[規格] 物理アドレスに対応した一つの IP アドレスのリスト。 INDEX { ipNetToMediaIfIndex, ipNetToMediaNetAddress } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipNetToMediaIfIndex {ipNetToMediaEntry 1}	R/NW	[規格] 有効となるインタフェース ID 番号。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
4	ipNetToMediaPhysAddress {ipNetToMediaEntry 2}	R/NW	[規格] メディアに依存した物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ipNetToMediaNetAddress {ipNetToMediaEntry 3}	R/NW	[規格] メディアに依存した物理アドレスに対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ipNetToMediaType {ipNetToMediaEntry 4}	R/NW	[規格] マッピングのタイプ。 • other (1) • invalid (2) • dynamic (3) • static (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ipRoutingDiscards {ip 23}	R/O	[規格] 有効であっても廃棄が選択されたルーティングエントリの数。 例えばルーティングテーブルバッファ不足によって廃棄されたエントリの数。 [実装] 0 固定。	▲

2.4.5 ipForward

ipForward グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1354 (1992 年 7 月)

(1) 識別子

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipForward OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 24}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.24

(2) 実装仕様

ipForward グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-8 ipForward グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	ipForwardNumber {ipForward 1}	R/O	[規格] フォワーディングテーブルエントリの数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipForwardTable {ipForward 2}	NA	[規格] 各経路に関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	ipForwardEntry {ipForwardTable 1}	NA	[規格] 各経路の情報のリスト。 INDEX { ipForwardDest, ipForwardProto, ipForwardPolicy, ipForwardNextHop } [実装] 規格に同じ。	●
4	ipForwardDest {ipForwardEntry 1}	R/O	[規格] この経路の宛先アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipForwardMask {ipForwardEntry 2}	R/NW	[規格] 宛先と論理積をとるためのマスク。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ipForwardPolicy {ipForwardEntry 3}	R/O	[規格] 複数のパスルートから一つを選択する条件（通常は TOS）。 [実装] 0 固定。	▲
7	ipForwardNextHop {ipForwardEntry 4}	R/O	[規格] ルート上の次システムのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipForwardIfIndex {ipForwardEntry 5}	R/NW	[規格] この経路のネクストホップと接続されるローカルインタ フェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ipForwardType {ipForwardEntry 6}	R/NW	[規格] 経路のタイプ。 • その他 (1) • 無効 (2) • ローカル (3) • リモート (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	ipForwardProto {ipForwardEntry 7}	R/O	[規格] この経路を学習したプロトコル。 • other (1) • local (2) • netmgmt (3) • icmp (4) • egp (5) • ggp (6) • hello (7) • rip (8)	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
			<ul style="list-style-type: none"> • is-is (9) • es-is (10) • ciscoIgrp (11) • bbnSpfIgp (12) • ospf (13) • bgp (14) • idpr (15) [実装] 規格に同じ。	
11	ipForwardAge {ipForwardEntry 8}	R/NW	[規格] この経路が学習，または更新されてからの経過時間（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ipForwardInfo {ipForwardEntry 9}	R/NW	[規格] 経路のプロトコル別付加情報。 [実装] {0.0}固定。ただし，Read_Only です。	▲
13	ipForwardNextHopAS {ipForwardEntry 10}	R/NW	[規格] 次ホップの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。	●
14	ipForwardMetric1 {ipForwardEntry 11}	R/NW	[規格] この経路に対するメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。	●
15	ipForwardMetric2 {ipForwardEntry 12}	R/NW	[規格] この経路に対する代替ルートへのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。	●
16	ipForwardMetric3 {ipForwardEntry 13}	R/NW	[規格] この経路に対する代替ルートへのメトリック。 [実装] -1 固定。ただし，Read_Only です。	●
17	ipForwardMetric4 {ipForwardEntry 14}	R/NW	[規格] この経路についての代替ルートへのメトリック。 [実装] -1 固定。ただし，Read_Only です。	●
18	ipForwardMetric5 {ipForwardEntry 15}	R/NW	[規格] この経路についての代替ルートへのメトリック。 [実装] -1 固定。ただし，Read_Only です。	●

2.5 icmp グループ(MIB-II)

icmp グループ (MIB-II)の準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.5

(2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-9 icmp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	icmpInMsgs {icmp 1}	R/O	[規格] このエンティティが受信した ICMP メッセージ総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	icmpInErrors {icmp 2}	R/O	[規格] 受信した ICMP メッセージエラーの数 (チェックサムエラー, フレーム長エラーなど)。 [実装] 規格に同じ。	●
3	icmpInDestUnreachs {icmp 3}	R/O	[規格] 受信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	icmpInTimeExcds {icmp 4}	R/O	[規格] 受信した ICMP Time Exceed メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	icmpInParmProbs {icmp 5}	R/O	[規格] 受信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	icmpInSrcQuenchs {icmp 6}	R/O	[規格] 受信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	icmpInRedirects {icmp 7}	R/O	[規格] 受信した ICMP Network Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	icmpInEchos {icmp 8}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	icmpInEchoReps {icmp 9}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	icmpInTimestamps {icmp 10}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	icmpInTimestampReps {icmp 11}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	icmpInAddrMasks {icmp 12}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 要求メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
13	icmpInAddrMaskReps {icmp 13}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 応答メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	icmpOutMsgs {icmp 14}	R/O	[規格] 送信を試みた ICMP メッセージの総数(エラーの場合も含む)。 [実装] 規格に同じ。	●
15	icmpOutErrors {icmp 15}	R/O	[規格] エラーによって送信されなかった ICMP メッセージ数。 [実装] バッファなしの場合だけカウント。	●
16	icmpOutDestUnreachs {icmp 16}	R/O	[規格] 送信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	icmpOutTimeExcds {icmp 17}	R/O	[規格] 送信した ICMP Time Exceeded メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	icmpOutParmProbs {icmp 18}	R/O	[規格] 送信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	icmpOutSrcQuenchs {icmp 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	icmpOutRedirects {icmp 20}	R/O	[規格] 送信した ICMP Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	icmpOutEchos {icmp 21}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	icmpOutEchoReps {icmp 22}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	icmpOutTimestamps {icmp 23}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	icmpOutTimestampReps {icmp 24}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	icmpOutAddrMasks {icmp 25}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●
26	icmpOutAddrMaskReps {icmp 26}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.6 tcp グループ(MIB-II および TCP MIB for IPv6)

2.6.1 tcp

tcp グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6

(2) 実装仕様

tcp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-10 tcp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	tcpRtoAlgorithm {tcp 1}	R/O	[規格] 再送に使用するタイムアウト時間を決定するアルゴリズム。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • constant (2) • rsre (3) • vanj (4) [実装] vanj (4) 固定。	▲
2	tcpRtoMin {tcp 2}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最小値 (単位: ミリ秒)。 [実装] 1000 固定。	▲
3	tcpRtoMax {tcp 3}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最大値 (単位: ミリ秒)。 [実装] 64000 固定。	▲
4	tcpMaxConn {tcp 4}	R/O	[規格] サポートできる TCP コネクションの総数。最大コネクション数が動的である場合、-1 を応答する。 [実装] -1 固定。	▲
5	tcpActiveOpens {tcp 5}	R/O	[規格] TCP コネクションが CLOSE 状態から SYN-SENT 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	tcpPassiveOpens {tcp 6}	R/O	[規格] TCP コネクションが LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	tcpAttemptFails {tcp 7}	R/O	[規格] TCP コネクションが SYN-SENT, SYN-RCVD 状態から CLOSE 状態に推移した回数に SYN-RCVD 状態から LISTEN 状態に推移した回数を加えたもの。 [実装] 規格に同じ。	●
8	tcpEstabResets {tcp 8}	R/O	[規格] TCP コネクションが ESTABLISHED, CLOSE-WAIT 状態から CLOSE 状態に推移した回数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			[実装] 規格に同じ。	
9	tcpCurrEstab {tcp 9}	R/O	[規格] ESTABLISHED, CLOSE-WAIT の状態の TCP コネクションの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	tcpInSegs {tcp 10}	R/O	[規格] エラーセグメントを含む受信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	tcpOutSegs {tcp 11}	R/O	[規格] 送信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	tcpRetransSegs {tcp 12}	R/O	[規格] 再送セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	tcpConnTable {tcp 13}	NA	[規格] TCP コネクション固有の情報をテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
14	tcpConnEntry {tcpConnTable 1}	NA	[規格] 特定の TCP コネクションに関するエントリ情報。 INDEX { tcpConnLocalAddress, tcpConnLocalPort, tcpConnRemAddress, tcpConnRemPort } [実装] 規格に同じ。	●
15	tcpConnState {tcpConnEntry 1}	R/NW	[規格] TCP コネクションの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • closed (1) • listen (2) • synSent (3) • synReceived (4) • established (5) • finWait1 (6) • finWait2 (7) • closeWait (8) • lastAck (9) • closing (10) • timeWait (11) • deleteTCB (12) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
16	tcpConnLocalAddress {tcpConnEntry 2}	R/O	[規格] この TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
17	tcpConnLocalPort {tcpConnEntry 3}	R/O	[規格] この TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
18	tcpConnRemAddress	R/O	[規格] この TCP コネクションのリモート IP アドレス。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{tcpConnEntry 4}		[実装] 規格に同じ。	
19	tcpConnRemPort {tcpConnEntry 5}	R/O	[規格] この TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
20	tcpInErrs {tcp 14}	R/O	[規格] 受信したエラーセグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	tcpOutRsts {tcp 15}	R/O	[規格] RST フラグを持つセグメントの送信数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.6.2 ipv6TcpConnTable

ipv6TcpConnTable グループの準拠規格を次に示します。

- RFC2452 (1998 年 12 月)

(1) 識別子

tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}

ipv6TcpConnTable OBJECT IDENTIFIER ::= {tcp 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6.16

(2) 実装仕様

ipv6TcpConnTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-11 ipv6TcpConnTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6TcpConnTable {tcp 16}	NA	[規格] TCP コネクションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6TcpConnEntry {ipv6TcpConnTable 1}	NA	[規格] テーブルのエントリ。 INDEX { ipv6TcpConnLocalAddress, ipv6TcpConnLocalPort, ipv6TcpConnRemAddress, ipv6TcpConnRemPort, ipv6TcpConnIfIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6TcpConnLocalAddress {ipv6TcpConnEntry 1}	NA	[規格] TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6TcpConnLocalPort {ipv6TcpConnEntry 2}	NA	[規格] TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ipv6TcpConnRemAddress {ipv6TcpConnEntry 3}	NA	[規格] TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6TcpConnRemPort {ipv6TcpConnEntry 4}	NA	[規格] TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6TcpConnIfIndex {ipv6TcpConnEntry 5}	NA	[規格] TCP コネクションのローカルインタフェース番号。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6TcpConnState {ipv6TcpConnEntry 6}	R/NW	[規格] TCP コネクションのステート。 <ul style="list-style-type: none"> • closed (1) • listen (2) • synSent (3) • synReceived (4) • established (5) • finWait1 (6) • finWait2 (7) • closeWait (8) • lastAck (9) • closing (10) • timeWait (11) • deleteTCB (12) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.7 udp グループ(MIB-II および UDP MIB for IPv6)

2.7.1 udp

udp グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7

(2) 実装仕様

udp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-12 udp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	udpInDatagrams {udp 1}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した UDP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	udpNoPorts {udp 2}	R/O	[規格] 宛先ポートに上位アプリケーションが存在しない受信 UDP データグラム総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	udpInErrors {udp 3}	R/O	[規格] udpNoPorts 以外の理由でアプリケーションに通知できなかった UDP データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	udpOutDatagrams {udp 4}	R/O	[規格] 上位アプリケーションが送信した UDP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	udpTable {udp 5}	NA	[規格] UDP リスナーの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
6	udpEntry {udpTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP リスナーに関するエントリ数。 INDEX { udpLocalAddress, udpLocalPort } [実装] 規格に同じ。	●
7	udpLocalAddress {udpEntry 1}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
8	udpLocalPort {udpEntry 2}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●

2.7.2 ipv6UdpTable

ipv6UdpTable グループの準拠規格を次に示します。

- RFC2454 (1998 年 12 月)

(1) 識別子

udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}

ipv6UdpTable OBJECT IDENTIFIER ::= {udp 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7.6

(2) 実装仕様

ipv6UdpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-13 ipv6UdpTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6UdpTable {udp 6}	NA	[規格] UDP リスナーの情報を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6UdpEntry {ipv6UdpTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP リスナーについての情報。 INDEX { ipv6UdpLocalAddress, ipv6UdpLocalPort, ipv6UdpIfIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6UdpLocalAddress {ipv6UdpEntry 1}	NA	[規格] UDP リスナーに対するローカル IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6UdpLocalPort {ipv6UdpEntry 2}	NA	[規格] UDP リスナーに対するローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6UdpIfIndex {ipv6UdpEntry 3}	R/O	[規格] UDP リスナーに対するローカルインタフェース番号。 [実装] 規格に同じ。	●

2.8 dot3 グループ(Ethernet Like MIB)

dot3 グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1643 (1994 年 7 月)

(1) 識別子

dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.7

(2) 実装仕様

dot3 グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-14 dot3 グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	dot3StatsTable {dot3 2}	NA	[規格] 特定のシステムに接続されたイーサネットライクなインタフェースの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot3StatsEntry {dot3StatsTable 1}	NA	[規格] イーサネットライクなメディアへの特定のインタフェースの統計情報リスト。 INDEX { dot3StatsIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot3StatsIndex {dot3StatsEntry 1}	R/O	[規格] イーサネットライクなメディアへのインタフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot3StatsAlignmentErrors {dot3StatsEntry 2}	R/O	[規格] 正しいフレーム長※ではなく、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	▲
5	dot3StatsFCSErrors {dot3StatsEntry 3}	R/O	[規格] 正しいフレーム長※で、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。 [実装] 正しいフレーム長※で、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。ただし、1000BASE-T, 1000BASE-X で動作している場合、ロングフレーム受信時もカウントされます。	●
6	dot3StatsSingleCollisionFrames {dot3StatsEntry 4}	R/O	[規格] 1 回のコリジョンだけで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot3StatsMultipleCollisionFrames {dot3StatsEntry 5}	R/O	[規格] 特定のインタフェースで 2 回以上のコリジョンで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot3StatsSQETestErrors {dot3StatsEntry 6}	R/O	[規格] SQE TEST ERROR メッセージが発生した回数。 [実装] 0 固定。	▲

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	dot3StatsDeferredTransmissions {dot3StatsEntry 7}	R/O	[規格] 伝送路ビジーによって最初の送信が遅れたフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot3StatsLateCollisions {dot3StatsEntry 8}	R/O	[規格] 512 ビット時間経過後で、コリジョンを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	dot3StatsExcessiveCollisions {dot3StatsEntry 9}	R/O	[規格] 過度の衝突（16 回）による転送失敗数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot3StatsInternalMacTransmitErrors {dot3StatsEntry 10}	R/O	[規格] MAC サブレイヤ内での送信障害によって送信が失敗した回数。 [実装] 0 固定。	▲
13	dot3StatsCarrierSenseErrors {dot3StatsEntry 11}	R/O	[規格] 送信時にキャリアがなかった回数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot3StatsFrameTooLongs {dot3StatsEntry 13}	R/O	[規格] 最大許容フレーム長※を超えた受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot3StatsInternalMacReceiveErrors {dot3StatsEntry 16}	R/O	[規格] MAC サブレイヤ内での受信エラーによって受信が失敗したフレーム数。 [実装] 0 固定。	●
16	dot3StatsEtherChipSet {dot3StatsEntry 17}	R/O	[規格] インタフェースで使われているチップセットを示すオブジェクト識別子。 [実装] 0.0 固定	▲

注※ フレーム長とは MAC ヘッドから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「15.2.2 フレームフォーマット」を参照してください。

2.9 snmp グループ(MIB-II)

snmp グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1158 (1990 年 5 月)
- RFC1213 (1991 年 3 月)
- RFC3418 (2002 年 12 月)

本装置では、SNMP エージェント、および SNMP マネージャ相当の機能を持つ snmp の運用コマンド群をサポートしています。本 MIB グループ内の統計情報は、SNMP エージェントだけを統計情報の対象としていて、snmp の運用コマンド群の統計情報は含みません。

本 MIB グループ内の統計情報には、snmp の運用コマンド群で MIB を取得した場合でも、ネットワーク上の SNMP マネージャから MIB を取得したときと同様にメッセージ数や PDU 数がカウントされます。

(1) 識別子

snmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.11

(2) 実装仕様

snmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-15 snmp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpInPkts {snmp 1}	R/O	[規格] SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpOutPkts {snmp 2}	R/O	[規格] SNMP 送信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpInBadVersions {snmp 3}	R/O	[規格] 未サポートバージョン受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	snmpInBadCommunityNames {snmp 4}	R/O	[規格] 未使用コミュニティの SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	snmpInBadCommunityUses {snmp 5}	R/O	[規格] そのコミュニティでは許されていないオペレーションを示す受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	snmpInASNParseErrs {snmp 6}	R/O	[規格] ASN.1 エラーの受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	snmpInBadTypes {snmp 7}	R/O	[規格] 受信した未知の PDU タイプの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	snmpInTooBigs {snmp 8}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	snmpInNoSuchNames	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の受信 PDU の総数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{snmp 9}		[実装] 0 固定。	
10	snmpInBadValues {snmp 10}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の受信 PDU の総数。 [実装] 0 固定。	●
11	snmpInReadOnlys {snmp 11}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の受信 PDU の総数。 [実装] 0 固定。	●
12	snmpInGenErrs {snmp 12}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の受信 PDU の総数。 [実装] 0 固定。	●
13	snmpInTotalReqVars {snmp 13}	R/O	[規格] MIB の収集が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	snmpInTotalSetVars {snmp 14}	R/O	[規格] MIB の設定が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpInGetRequests {snmp 15}	R/O	[規格] 受信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	snmpInGetNexts {snmp 16}	R/O	[規格] 受信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	snmpInSetRequests {snmp 17}	R/O	[規格] 受信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	snmpInGetResponses {snmp 18}	R/O	[規格] 受信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	snmpInTraps {snmp 19}	R/O	[規格] 受信したトラップ PDU の総数。 [実装] 0 固定。	●
20	snmpOutTooBigs {snmp 20}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	snmpOutNoSuchNames {snmp 21}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	snmpOutBadValues {snmp 22}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	snmpOutReadOnlys {snmp 23}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	snmpOutGenErrs {snmp 24}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	snmpOutGetRequests {snmp 25}	R/O	[規格] 送信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 0 固定。	●
26	snmpOutGetNexts {snmp 26}	R/O	[規格] 送信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 0 固定。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
27	snmpOutSetRequests {snmp 27}	R/O	[規格] 送信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 0 固定。	●
28	snmpOutGetResponse s {snmp 28}	R/O	[規格] 送信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
29	snmpOutTraps {snmp 29}	R/O	[規格] 送信したトラップ PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	●
30	snmpEnableAuthenTr aps {snmp 30}	R/NW	[規格] authentication-failure Trap を送信できるかどうかを示す。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
31	snmpSilentDrops {snmp 31}	R/NW	[規格] 返信しようとしたメッセージサイズが最大のメッセージサイ ズを超えていたため廃棄した、SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10 ospf グループ(OSPFv2 MIB) 【OS-L3A】

ospf グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1850 (1995 年 11 月)

OSPF ドメインを分割しているとき、本 MIB はドメイン番号が最小のドメインの情報だけが対象となります。

2.10.1 ospfGeneralGroup

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfGeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.1

(2) 実装仕様

ospfGeneralGroup グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-16 ospfGeneralGroup グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfRouterId {ospfGeneralGroup 1}	R/NW	[規格] 自律システム内のルータ識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
2	ospfAdminStat {ospfGeneralGroup 2}	R/NW	[規格] ルータの OSPF 管理状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
3	ospfVersionNumber {ospfGeneralGroup 3}	R/O	[規格] OSPF プロトコルのバージョン番号。 [実装] 規格に同じ (version2 固定)。	●
4	ospfAreaBdrRtrStatus {ospfGeneralGroup 4}	R/O	[規格] そのルータがエリアボーダールータかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfASBdrRtrStatus {ospfGeneralGroup 5}	R/NW	[規格] そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfExternLsaCount {ospfGeneralGroup 6}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfExternLsaCksumSum	R/O	[規格] LSDB 中の外部 LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{ospfGeneralGroup 7}			
8	ospfTOSSupport {ospfGeneralGroup 8}	R/NW	[規格] そのルータが TOS ベースルーティングをサポートするかどうかのフラグ。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] false (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfOriginateNewLsas {ospfGeneralGroup 9}	R/O	[規格] 生成された新しい LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfRxNewLsas {ospfGeneralGroup 10}	R/O	[規格] 新しい情報を持った LSA を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfExtLsdbLimit {ospfGeneralGroup 11}	R/NW	[規格] LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfMulticastExtensions {ospfGeneralGroup 12}	R/NW	[規格] マルチキャスト拡張版 OSPF のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示します。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。 [実装] マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfExitOverflowInterval {ospfGeneralGroup 13}	R/O	[規格] エントリがオーバフローステータスになるまでの時間 (単位: 秒)。 [実装] 未実装。	×
14	ospfDemandExtensions {ospfGeneralGroup 14}	R/O	[規格] このルータでの Demand ルーティングのサポート。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] 未実装。	×

2.10.2 ospfAreaTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.2

(2) 実装仕様

ospfAreaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-17 ospfAreaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaTable	NA	[規格] ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{ospf 2}		[実装] 規格に同じ。	
2	ospfAreaEntry {ospfAreaTable 1}	NA	[規格] 各エリアの情報リスト。 INDEX { ospfAreaId } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfAreaId {ospfAreaEntry 1}	R/O	[規格] エリアを識別する番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfAuthType {ospfAreaEntry 2}	R/NW	[規格] そのエリアで採用する認証のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> なし (0) シンプルパスワード (1) md5 (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ospfImportAsExtern {ospfAreaEntry 3}	R/NW	[規格] そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 <ul style="list-style-type: none"> importExternal (1) importNoExternal (2) importNssa (3) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfSpfRuns {ospfAreaEntry 4}	R/O	[規格] このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfAreaBdrRtrCount {ospfAreaEntry 5}	R/O	[規格] このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfAsBdrRtrCount {ospfAreaEntry 6}	R/O	[規格] このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfAreaLsaCount {ospfAreaEntry 7}	R/O	[規格] AS 外部 LSA を除く、このエリアの LSDB 中の LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfAreaLsaCksumSum {ospfAreaEntry 8}	R/O	[規格] このエリアの LSDB に含まれる LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfAreaSummary {ospfAreaEntry 9}	R/NW	[規格] エリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 <ul style="list-style-type: none"> noAreaSummary (1) sendAreaSummary (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfAreaStatus {ospfAreaEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.10.3 ospfStubAreaTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfStubAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.3

(2) 実装仕様

ospfStubAreaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-18 ospfStubAreaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfStubAreaTable {ospf 3}	NA	[規格] エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfStubAreaEntry {ospfStubAreaTable 1}	NA	[規格] 各スタブエリアの情報リスト。 INDEX { ospfStubAreaId, ospfStubTOS } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfStubAreaId {ospfStubAreaEntry 1}	R/O	[規格] スタブエリアの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfStubTOS {ospfStubAreaEntry 2}	R/O	[規格] そのスタブエリアでのサービスのタイプ。 [実装] 規格に同じ (ただし, 0 固定)。	●
5	ospfStubMetric {ospfStubAreaEntry 3}	R/NW	[規格] そのスタブエリアでのサービスタイプに対応したメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
6	ospfStubStatus {ospfStubAreaEntry 4}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし, Read_Only です。	●
7	ospfStubMetricType {ospfStubAreaEntry 5}	R/NW	[規格] デフォルトルートとして広告したメトリックのタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ospfMetric (1) comparableCost (2) nonComparable (3) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●

2.10.4 ospfLsdbTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.4

(2) 実装仕様

ospfLsdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-19 ospfLsdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfLsdbTable {ospf 4}	NA	[規格] OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfLsdbEntry {ospfLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfLsdbAreaId, ospfLsdbType, ospfLsdbLsid, ospfLsdbRouterId } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfLsdbAreaId {ospfLsdbEntry 1}	R/O	[規格] この LSA の受信元エリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfLsdbType {ospfLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ルータ (1) • ネットワーク (2) • サマリー (3) • AS サマリー (4) • AS 外部リンク (5) • マルチキャスト (6) • nssa 外部リンク (7) [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfLsdbLsid {ospfLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 個々のルーティングドメインを識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfLsdbRouterId {ospfLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfLsdbSequence {ospfLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfLsdbAge {ospfLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfLsdbChecksum {ospfLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfLsdbAdvertisemen t {ospfLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10.5 ospfAreaRangeTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfAreaRangeTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.5

(2) 実装仕様

ospfAreaRangeTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-20 ospfAreaRangeTable グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	ospfAreaRangeTable {ospf 5}	NA	[規格] ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfAreaRangeEntry {ospfAreaRangeTable 1}	NA	[規格] ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するリスト。 INDEX { ospfAreaRangeAreaId, ospfAreaRangeNet } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfAreaRangeAreaId {ospfAreaRangeEntry 1}	R/O	[規格] 属するエリアの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfAreaRangeNet {ospfAreaRangeEntry 2}	R/O	[規格] この範囲内のネット/サブネットの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfAreaRangeMask {ospfAreaRangeEntry 3}	R/NW	[規格] ospfAreaRangeNet にかけるサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfAreaRangeStatus {ospfAreaRangeEntry 4}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfAreaRangeEffect {ospfAreaRangeEntry 5}	R/NW	[規格] 広告するエリアの範囲を示します。 <ul style="list-style-type: none"> エリア外に広告されるサブネット (1) エリア外に広告しないサブネット (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.10.6 ospfIfTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.7

(2) 実装仕様

ospfIfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-21 ospfIfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfIfTable {ospf 7}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfIfEntry {ospfIfTable 1}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX { ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfIfIpAddress {ospfIfEntry 1}	R/O	[規格] この OSPF インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfAddressLessIf {ospfIfEntry 2}	R/O	[規格] このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfIfAreaId {ospfIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfIfType {ospfIfEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ブロードキャスト (1) • ノンブロードキャスト (2) • Point-Point (3) • Point-Multipoint (5) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfIfAdminStat {ospfIfEntry 5}	R/NW	[規格] インタフェースの管理状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfIfRtrPriority {ospfIfEntry 6}	R/NW	[規格] このインタフェースのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfIfTransitDelay {ospfIfEntry 7}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	ospfIfRetransInterval {ospfIfEntry 8}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
11	ospfIfHelloInterval {ospfIfEntry 9}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfIfRtrDeadInterval {ospfIfEntry 10}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
13	ospfIfPollInterval {ospfIfEntry 11}	R/NW	[規格] 非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
14	ospfIfState {ospfIfEntry 12}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • loopback (2) • waiting (3) • PtoP (4) • DR (5) • BDR (6) • other (7) [実装] 規格に同じ。	●
15	ospfIfDesignatedRoute r {ospfIfEntry 13}	R/O	[規格] デジグネーテッドルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ospfIfBackupDesignat edRouter {ospfIfEntry 14}	R/O	[規格] バックアップデジグネーテッドルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ospfIfEvents {ospfIfEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ospfIfAuthKey {ospfIfEntry 16}	R/NW	[規格] このインタフェースでの認証キー。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
19	ospfIfStatus {ospfIfEntry 17}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
20	ospfIfMulticastForwar ding {ospfIfEntry 18}	R/NW	[規格] このインタフェースでマルチキャストする方法。 <ul style="list-style-type: none"> • blocked (1) • multicast (2) • unicast (3) [実装] blocked (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
21	ospfIfDemand {ospfIfEntry 19}	R/O	[規格] このインタフェースで Demand OSPF 手順を行うかどうかを示します。 [実装] 未実装。	×
22	ospfIfAuthType {ospfIfEntry 20}	R/O	[規格] インタフェースの認証方式。 <ul style="list-style-type: none"> • なし (0) • シンプルパスワード (1) • MD5 (2) • IANA が規定したもの (3~255) [実装] 未実装。	×

2.10.7 ospfIfMetricTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfIfMetricTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.8

(2) 実装仕様

ospfIfMetricTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-22 ospfIfMetricTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfIfMetricTable {ospf 8}	NA	[規格] 各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfIfMetricEntry {ospfIfMetricTable 1}	NA	[規格] 各インタフェースのサービスタイプメトリックの情報リスト。 INDEX { ospfIfMetricIpAddress, ospfIfMetricAddressLessIf, ospfIfMetricTOS } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfIfMetricIpAddress {ospfIfMetricEntry 1}	R/O	[規格] この OSPF インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfIfMetricAddressLessIf {ospfIfMetricEntry 2}	R/O	[規格] このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfIfMetricTOS {ospfIfMetricEntry 3}	R/O	[規格] このインタフェースのサービスのタイプ。 [実装] 0 固定。	●
6	ospfIfMetricValue {ospfIfMetricEntry 4}	R/NW	[規格] このインタフェースのこのサービスタイプのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfIfMetricStatus {ospfIfMetricEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリのステータス。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.10.8 ospfVirtIfTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfVirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.9

(2) 実装仕様

ospfVirtIfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-23 ospfVirtIfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfVirtIfTable {ospf 9}	NA	[規格] ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfVirtIfEntry {ospfVirtIfTable 1}	NA	[規格] 各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX { ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfVirtIfAreaId {ospfVirtIfEntry 1}	R/O	[規格] その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfVirtIfNeighbor {ospfVirtIfEntry 2}	R/O	[規格] 仮想の隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfVirtIfTransitDelay {ospfVirtIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
6	ospfVirtIfRetransInterval {ospfVirtIfEntry 4}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
7	ospfVirtIfHelloInterval {ospfVirtIfEntry 5}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
8	ospfVirtIfRtrDeadInterval {ospfVirtIfEntry 6}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
9	ospfVirtIfState {ospfVirtIfEntry 7}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • PtoP (4) [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfVirtIfEvents {ospfVirtIfEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変化したか, エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfVirtIfAuthKey {ospfVirtIfEntry 9}	R/NW	[規格] このインタフェースでの認証キー。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
12	ospfVirtIfStatus {ospfVirtIfEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータス。 [実装] active (1) 固定。ただし, Read_Only です。	●
13	ospfVirtIfAuthType {ospfVirtIfEntry 11}	R/W	[規格] バーチャルインタフェースの認証方式。 [実装] 未実装。	×

2.10.9 ospfNbrTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.10

(2) 実装仕様

ospfNbrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-24 ospfNbrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfNbrTable {ospf 10}	NA	[規格] 仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfNbrEntry {ospfNbrTable 1}	NA	[規格] 各隣接局の情報リスト。 INDEX { ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfNbrIpAddress {ospfNbrEntry 1}	R/O	[規格] 隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfNbrAddressLessIndex {ospfNbrEntry 2}	R/O	[規格] 隣接ルータのインタフェースがアドレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfNbrRtrId {ospfNbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfNbrOptions {ospfNbrEntry 4}	R/O	[規格] 隣接ルータのオプション実行能力。 <ul style="list-style-type: none"> • Bit 0 : サービスタイプベースルーティング • Bit 1 : 外部エリアの処理 • Bit 2 : IP マルチキャストルーティング • Bit 3 : NSSA と関係したエリア [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfNbrPriority {ospfNbrEntry 5}	R/NW	[規格] 隣接ルータのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfNbrState {ospfNbrEntry 6}	R/O	[規格] この隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> • full (8) [実装] 規格に同じ。	
9	ospfNbrEvents {ospfNbrEntry 7}	R/O	[規格] 隣接ルータとの関係で、状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfNbrLsRetransQLen {ospfNbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfNbmaNbrStatus {ospfNbrEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリのステータス。 [実装] active (1) 固定。ospfIfType が nbma 時だけアクセスできます。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfNbmaNbrPermanence {ospfNbrEntry 10}	R/NW	[規格] 隣接ルータとルーティングする方法。 <ul style="list-style-type: none"> • dynamic (1) • permanent (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfNbrHelloSuppressed {ospfNbrEntry 11}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 未実装。	×

2.10.10 ospfVirtNbrTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfVirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 11}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.11

(2) 実装仕様

ospfVirtNbrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-25 ospfVirtNbrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfVirtNbrTable {ospf 11}	NA	[規格] 仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfVirtNbrEntry {ospfVirtNbrTable 1}	NA	[規格] 各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfVirtNbrArea {ospfVirtNbrEntry 1}	R/O	[規格] 通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ospfVirtNbrRtrId {ospfVirtNbrEntry 2}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfVirtNbrIpAddress {ospfVirtNbrEntry 3}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfVirtNbrOptions {ospfVirtNbrEntry 4}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのオプション実行能力。 • Bit 1 : サービスタイプベースルーティング • Bit 2 : IP マルチキャストルーティング [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfVirtNbrState {ospfVirtNbrEntry 5}	R/O	[規格] この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfVirtNbrEvents {ospfVirtNbrEntry 6}	R/O	[規格] この仮想リンクの状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfVirtNbrLsRetransQLen {ospfVirtNbrEntry 7}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfVirtNbrHelloSuppressed {ospfVirtNbrEntry 8}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 未実装。	×

2.10.11 ospfExtLsdbTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfExtLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.12

(2) 実装仕様

ospfExtLsdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-26 ospfExtLsdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfExtLsdbTable {ospf 12}	NA	[規格] OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfExtLsdbEntry {ospfExtLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfExtLsdbType, ospfExtLsdbLsid, ospfExtLsdbRouterId } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfExtLsdbType {ospfExtLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 • asExternalLink (5) [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfExtLsdbLsid {ospfExtLsdbEntry 2}	R/O	[規格] リンクステータス ID。リンクステータス ID はルータ ID または IP アドレスのどちらかを含むフィールドです。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfExtLsdbRouterId {ospfExtLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 自律システム内の生成元ルータを一意に識別するための 32 ビット番号。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfExtLsdbSequence {ospfExtLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfExtLsdbAge {ospfExtLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfExtLsdbChecksum {ospfExtLsdbEntry 6}	R/O	[規格] Age フィールドを含めない、広告内容のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfExtLsdbAdvertisement {ospfExtLsdbEntry 7}	R/O	[規格] ヘッダを含む完全な全体 LSA。 [実装] 規格に同じ。	●

2.10.12 ospfAreaAggregateTable

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfAreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 14}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.14

(2) 実装仕様

ospfAreaAggregateTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-27 ospfAreaAggregateTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaAggregateTable {ospf 14}	NA	[規格] IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfAreaAggregateEntry {ospfAreaAggregateTable 1}	NA	[規格] IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのリスト。 INDEX { ospfAreaAggregateAreaID, ospfAreaAggregateLsdbType, ospfAreaAggregateNet, ospfAreaAggregateMask } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfAreaAggregateAreaID {ospfAreaAggregateEntry 1}	R/O	[規格] アドレス集約したエリア。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfAreaAggregateLsdbType {ospfAreaAggregateEntry 2}	R/O	[規格] アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 • summaryLink (3) • nssaExternalLink (7) [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfAreaAggregateNet {ospfAreaAggregateEntry 3}	R/O	[規格] ネットワークまたはサブネットの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfAreaAggregateMask {ospfAreaAggregateEntry 4}	R/O	[規格] ネットワークまたはサブネットに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfAreaAggregateStatus {ospfAreaAggregateEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリのステータス。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfAreaAggregateEffect {ospfAreaAggregateEntry 6}	R/NW	[規格] 範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 • advertiseMatching (1) • doNotAdvertiseMatching (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.10.13 ospfTrap

(1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfTrap OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.16

ospfTrapControl OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfTrap 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.16.1

(2) 実装仕様

ospfTrap グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-28 ospfTrap グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	ospfTrapControl {ospfTrap 1}	NA	[規格] SNMP 通知に関する取得情報。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfSetTrap {ospfTrapControl 1}	R/NW	[規格] SNMP 通知が可能なイベントを示すビットマップ。各ビット が ospfTraps のオブジェクトを示す。 2 ¹ ビット (0x00000002) : ospfVirtIfStateChange ~2 ¹⁶ ビット (0x00010000) : ospfIfStateChange [実装] 規格に同じ。ただし、0x100fe 固定で、Read_Only です。	●
3	ospfConfigErrorType {ospfTrapControl 2}	R/O	[規格] 最後に発生した SNMP 通知のエラーイベント。 <ul style="list-style-type: none"> • badVersion (1) • areaMismatch (2) • unknownNbmaNbr (3) • unknownVirtualNbr (4) • authTypeMismatch (5) • authFailure (6) • netMaskMismatch (7) • helloIntervalMismatch (8) • deadIntervalMismatch (9) • optionMismatch (10) [実装] SNMP 通知の送信に関わらず最後に発生したエラーイベント。 ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0。	●
4	ospfPacketType {ospfTrapControl 3}	R/O	[規格] 最後の SNMP 通知で使用された、エラーパケット種別。 <ul style="list-style-type: none"> • hello (1) • dbDescript (2) • lsReq (3) • lsUpdate (4) • lsAck (5) [実装] SNMP 通知の送信に関わらず最後のエラーパケット種別。た だし、エラーイベントが発生していない場合は 0。	●

2 標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ospfPacketSrc {ospfTrapControl 4}	R/O	[規格] 最後の SNMP 通知で使用された、エラーパケットの送信元アドレス。 [実装] SNMP 通知の送信に関わらず、最後のエラーパケットの送信元アドレス。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0.0.0.0。	●
6	ospfTraps {ospfTrap 2}	NA	[規格] トラップ広告。 [実装] 規格に同じ。	●

2.11 bgp グループ(BGP4 MIB) 【OS-L3A】

bgp グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1657 (1994 年 7 月)

2.11.1 bgp

(1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15

(2) 実装仕様

bgp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-29 bgp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgpVersion {bgp 1}	R/O	[規格] サポートしているバージョンをビットマップ形式で表現します。オクテット内の最上位ビットをビット 0 として、サポートするバージョン番号-1 のビットをセットします。 [実装] 規格に同じ。	●
2	bgpLocalAs {bgp 2}	R/O	[規格] ローカルの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。	●

2.11.2 bgpPeerTable

(1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}
bgpPeerTable OBJECT IDENTIFIER ::= {bgp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15.3

(2) 実装仕様

bgpPeerTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-30 bgpPeerTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgpPeerTable {bgp 3}	NA	[規格] bgp ピアテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	bgpPeerEntry {bgpPeerTable 1}	NA	[規格] bgp ピアのコネクションに関する情報のテーブル。 INDEX { bgpPeerRemoteAddr } [実装] 規格に同じ。	●
3	bgpPeerIdentifier	R/O	[規格] このエントリの bgp ピアの BGP 識別子。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{bgpPeerEntry 1}		[実装] 規格に同じ。	
4	bgpPeerState {bgpPeerEntry 2}	R/O	<p>[規格] BGP ピアとのコネクションの状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • idle (1) • connect (2) • active (3) • opensent (4) • openconfirm (5) • established (6) <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
5	bgpPeerAdminStatus {bgpPeerEntry 3}	R/NW	<p>[規格] BGP ピアのコネクションの望まれる状態。BGPstart イベントの生成によって start へ, BGPstop イベントの生成によって stop へ移行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • stop (1) • start (2) <p>[実装] start (2) 固定。ただし, Read_Only です。</p>	●
6	bgpPeerNegotiatedVersion {bgpPeerEntry 4}	R/O	<p>[規格] ピア間でネゴシエートした BGP のバージョン。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
7	bgpPeerLocalAddr {bgpPeerEntry 5}	R/O	<p>[規格] このエントリの BGP コネクションのローカル IP アドレス。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
8	bgpPeerLocalPort {bgpPeerEntry 6}	R/O	<p>[規格] ピア間での TCP コネクションのローカルポート番号。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
9	bgpPeerRemoteAddr {bgpPeerEntry 7}	R/O	<p>[規格] このエントリの BGP コネクションのリモートの IP アドレス。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
10	bgpPeerRemotePort {bgpPeerEntry 8}	R/O	<p>[規格] ピア間での TCP コネクションのリモートのポート番号。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
11	bgpPeerRemoteAs {bgpPeerEntry 9}	R/O	<p>[規格] リモートの自律システム番号。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
12	bgpPeerInUpdates {bgpPeerEntry 10}	R/O	<p>[規格] このコネクションで受信した BGP UPDATE メッセージの数。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
13	bgpPeerOutUpdates {bgpPeerEntry 11}	R/O	<p>[規格] このコネクションで送信した BGP UPDATE メッセージの数。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
14	bgpPeerInTotalMessages {bgpPeerEntry 12}	R/O	<p>[規格] このコネクションでリモートピアから受信したメッセージの数。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
15	bgpPeerOutTotalMessages	R/O	<p>[規格] このコネクションでリモートピアへ送信したメッセージの数。</p>	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{bgpPeerEntry 13}		[実装] 規格に同じ。	
16	bgpPeerLastError {bgpPeerEntry 14}	R/O	[規格] このコネクション上のピアによって理解された最後のエラーコードとサブコード。 [実装] 規格に同じ。	●
17	bgpPeerFsmEstablishedTransitions {bgpPeerEntry 15}	R/O	[規格] FSM が Established 状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	bgpPeerFsmEstablishedTime {bgpPeerEntry 16}	R/O	[規格] Established 状態になってから、または最後に Established 状態であったからの時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
19	bgpPeerConnectRetryInterval {bgpPeerEntry 17}	R/NW	[規格] ConnectRetry タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
20	bgpPeerHoldTime {bgpPeerEntry 18}	R/O	[規格] ピアと確立された HOLD タイマ値。 [実装] 規格に同じ。	●
21	bgpPeerKeepAlive {bgpPeerEntry 19}	R/O	[規格] ピアと確立された KeepAlive タイマ値。 [実装] 規格に同じ。	●
22	bgpPeerHoldTimeConfigured {bgpPeerEntry 20}	R/NW	[規格] この BGP スピーカのこのピアに対して構成設定された Hold タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
23	bgpPeerKeepAliveConfigured {bgpPeerEntry 21}	R/NW	[規格] この BGP スピーカのこのピアに対し構成設定された keepAlive タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
24	bgpPeerMinASOriginationInterval {bgpPeerEntry 22}	R/NW	[規格] MinASOriginationInterval タイマ値 (単位: 秒)。 [実装] UPDATE メッセージの広告間隔。 External ピアだけアクセス可。ただし、Read_Only です。	●
25	bgpPeerMinRouteAdvertisementInterval {bgpPeerEntry 23}	R/NW	[規格] MinRouteAdvertisementInterval タイマ値 (単位: 秒)。 [実装] UPDATE メッセージの広告間隔。 Internal ピアだけアクセス可。ただし、Read_Only です。	●
26	bgpPeerInUpdateElapsedTime {bgpPeerEntry 24}	R/O	[規格] 最後の update メッセージを受信してからの経過時間。 [実装] 規格に同じ。	●
27	bgpIdentifier {bgp 4}	R/O	[規格] ローカルシステムの BGP 識別子。 [実装] 規格に同じ。	●

2.11.3 bgp4PathAttrTable

(1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}

bgp4PathAttrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {bgp 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15.6

(2) 実装仕様

bgp4PathAttrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-31 bgp4PathAttrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgp4PathAttrTable {bgp 6}	NA	[規格] 全 BGP4 から受信した宛先ネットワークまでのパス情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	bgp4PathAttrEntry {bgp4PathAttrTable 1}	NA	[規格] 宛先ネットワークまでのパス情報のリスト。 INDEX { bgp4PathAttrIpAddressPrefix, bgp4PathAttrIpAddressPrefixLen, bgp4PathAttrPeer } [実装] 規格に同じ。	●
3	bgp4PathAttrPeer {bgp4PathAttrEntry 1}	R/O	[規格] パス情報が学習されたピアの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	bgp4PathAttrIpAddressPrefixLen {bgp4PathAttrEntry 2}	R/O	[規格] Network Layer Reachability Information field の IP アドレスのビット長。 [実装] 規格に同じ。	●
5	bgp4PathAttrIpAddressPrefix {bgp4PathAttrEntry 3}	R/O	[規格] Network Layer Reachability Information field の IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	bgp4PathAttrOrigin {bgp4PathAttrEntry 4}	R/O	[規格] パス情報の生成元。 • igp (1) • egp (2) • incomplete (3) [実装] 規格に同じ。	●
7	bgp4PathAttrASPathSegment {bgp4PathAttrEntry 5}	R/O	[規格] AS パスセグメントの列。 [実装] 規格に同じ。	●
8	bgp4PathAttrNextHop {bgp4PathAttrEntry 6}	R/O	[規格] ルート上の次ボーダルータのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
9	bgp4PathAttrMultiExitDisc {bgp4PathAttrEntry 7}	R/O	[規格] Multi Exit 属性。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	●
10	bgp4PathAttrLocalPref {bgp4PathAttrEntry 8}	R/O	[規格] 生成元 BGP4 スピーカの優先度。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	bgp4PathAttrAtomicAggregate {bgp4PathAttrEntry 9}	R/O	[規格] AtomicAggregate 属性。 <ul style="list-style-type: none"> • lessSpecificRouteNotSelected (1) • lessSpecificRouteSelected (2) [実装] 規格に同じ。	●
12	bgp4PathAttrAggregatorAS {bgp4PathAttrEntry 10}	R/O	[規格] 経路集約した最後の BGP4 スピーカの AS 番号。 [実装] 規格に同じ。	●
13	bgp4PathAttrAggregatorAddr {bgp4PathAttrEntry 11}	R/O	[規格] 経路集約した最後の BGP4 スピーカの IP アドレス。0.0.0.0 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	●
14	bgp4PathAttrCalcLocalPref {bgp4PathAttrEntry 12}	R/O	[規格] 広告された経路に対し受信 BGP4 スピーカによって計算された優先度。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	●
15	bgp4PathAttrBest {bgp4PathAttrEntry 13}	R/O	[規格] この経路が BGP4 のベストルートとして選択されたかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • false (1) • true (2) [実装] 規格に同じ。	●
16	bgp4PathAttrUnknown {bgp4PathAttrEntry 14}	R/O	[規格] この BGP4 スピーカが理解できない一つまたはそれ以上のパス属性。 [実装] 規格に同じ。	●

2.12 rmon グループ(Remote Network Monitoring MIB)

rmon グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1757 (1995 年 2 月)

2.12.1 Ethernet Statistics グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

statistics OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1

etherStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {statistics 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1.1

(2) 実装仕様

Ethernet Statistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-32 Ethernet Statistics グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherStatsTable {statistics 1}	NA	[規格] イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
2	etherStatsEntry {etherStatsTable 1}	NA	[規格] 特定イーサネットインタフェースの統計情報を記憶するエントリを示します。 INDEX { etherStatsIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	etherStatsIndex {etherStatsEntry 1}	R/O	[規格] 特定の etherStats エントリを示す Index 値。値の範囲は 1～65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	etherStatsDataSource {etherStatsEntry 2}	R/NW	[規格] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	etherStatsDropEvents {etherStatsEntry 3}	R/O	[規格] リソース不足によって、パケットを取りこぼすというイベントが発生した回数。実際の取りこぼし数を示すのではなく、取りこぼしを検出した回数です。 [実装] 規格に同じ。	●
6	etherStatsOctets {etherStatsEntry 4}	R/O	[規格] bad パケットを含むネットワークで受信したオクテット（バイト）数。 [実装] bad パケットを含むネットワークで送受信したオクテット（バイト）数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			オクテット数の算出には、フレーム長の MAC ヘッダから FCS までの範囲を使用しています。	
7	etherStatsPkts {etherStatsEntry 5}	R/O	[規格] bad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの受信数。 [実装] bad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの送受信数。	●
8	etherStatsBroadcastPkts {etherStatsEntry 6}	R/O	[規格] bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの受信数。 [実装] bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの送受信数。	●
9	etherStatsMulticastPkts {etherStatsEntry 7}	R/O	[規格] bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの受信数。 [実装] bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの送受信数。 ポーズパケットについては、次のようになります。 ポーズパケットを含まない。	●
10	etherStatsCRCAlignErrors {etherStatsEntry 8}	R/O	[規格] FCS エラーパケット受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	etherStatsUndersizePkts {etherStatsEntry 9}	R/O	[規格] ショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	etherStatsOversizePkts {etherStatsEntry 10}	R/O	[規格] オーバサイズパケット (フレーム長 1518 オクテットを超えた) 受信数。 [実装] オーバサイズパケット (最大フレーム長を超えた) 受信数。	●
13	etherStatsFragments {etherStatsEntry 11}	R/O	[規格] ショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] ショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数で FCS エラーのもの。	●
14	etherStatsJabbers {etherStatsEntry 12}	R/O	[規格] オーバサイズパケット (最大フレーム長を超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] <ul style="list-style-type: none"> • gigabitethernet : 0 固定。 • tengigabitethernet : オーバサイズパケット (最大フレーム長を超えた) 受信で FCS エラーのもの。 	●
15	etherStatsCollisions {etherStatsEntry 13}	R/O	[規格] コリジョン数。 [実装] <ul style="list-style-type: none"> • gigabitethernet : 規格に同じ。 • tengigabitethernet : 0 固定。 	●
16	etherStatsPkts64Octets {etherStatsEntry 14}	R/O	[規格] フレーム長 64 オクテットのパケット受信数。 [実装] フレーム長 64 オクテットのパケット送受信数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	etherStatsPkts65to127Octets {etherStatsEntry 15}	R/O	[規格] フレーム長 65~127 オクテットの packets 受信数。 [実装] フレーム長 65~127 オクテットの packets 送受信数。	●
18	etherStatsPkts128to255Octets {etherStatsEntry 16}	R/O	[規格] フレーム長 128~255 オクテットの packets 受信数。 [実装] フレーム長 128~255 オクテットの packets 送受信数。	●
19	etherStatsPkts256to511Octets {etherStatsEntry 17}	R/O	[規格] フレーム長 256~511 オクテットの packets 受信数。 [実装] フレーム長 256~511 オクテットの packets 送受信数。	●
20	etherStatsPkts512to1023Octets {etherStatsEntry 18}	R/O	[規格] フレーム長 512~1023 オクテットの packets 受信数。 [実装] フレーム長 512~1023 オクテットの packets 送受信数。	●
21	etherStatsPkts1024to1518Octets {etherStatsEntry 19}	R/O	[規格] フレーム長 1024~1518 オクテットの packets 受信数。 [実装] フレーム長 1024~1518 オクテットの packets 送受信数。	●
22	etherStatsOwner {etherStatsEntry 20}	R/NW	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装] "system"と文字列を応答します。ただし、Read_Only です。	●
23	etherStatsStatus {etherStatsEntry 21}	R/NW	[規格] エントリの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • valid (1) • createRequest (2) • underCreation (3) • invalid (4) [実装] valid (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

注 フレーム長とは MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「コンフィギュレーションガイド Vol.1」 「15.2.2 フレームフォーマット」を参照してください。

2.12.2 History Control グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2

historyControlTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.1

(2) 実装仕様

History Control グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-33 History Control グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	historyControlTable {history 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	historyControlEntry {historyControlTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルのリスト。 INDEX { historyControlIndex } [実装] 規格に同じ。ただし、最大 32 エントリまで。	●
3	historyControlIndex {historyControlEntry 1}	R/O	[規格] 特定の historyControl エントリを示す Index 値。値の範囲は 1～65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	historyControlDataSource {historyControlEntry 2} ※1	R/W	[規格] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。	●
5	historyControlBucketsRequested {historyControlEntry 3} ※1	R/W	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータ数の要求数（デフォルト値 50）。値の範囲は 1～65535。 [実装] 規格に同じ。	●
6	historyControlBucketsGranted {historyControlEntry 4}	R/O	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータの認可数。値の範囲は 1～65535。 [実装] historyControlBucketsRequested と同じ値。ただし、historyControlBucketsRequested が 50 以上なら 50 固定となります。	●
7	historyControlInterval {historyControlEntry 5} ※1	R/W	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータのサンプリング間隔（単位：秒）。値の範囲は、1～3600（デフォルト値 1800）。 [実装] 規格に同じ。	●
8	historyControlOwner {historyControlEntry 6} ※1	R/W	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●
9	historyControlStatus {historyControlEntry 7}	R/W	[規格] エントリの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • valid (1) • createRequest (2) • underCreation (3) • invalid (4) [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest (2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid (1) を Set します。 削除するときは、invalid (4) を Set します。createRequest (2) を Set した後で、Get すると、underCreation (3) を応答し、valid (1) を Set した後で Get すると、valid (1) を応答します。※2 すでにエントリがある場合は、いったん invalid (4) を Set してエントリを削除してから追加してください。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> valid (1) : historyControlDataSource で取得できる interface の統計情報が取得でき、historyControlInterval の間にサンプリングできます。 invalid (4) : interface の統計情報が取得できません。また、historyInterval の間にサンプリングできません。 	

注※1 コンフィグレーションコマンド rmon collection history でも設定できます。

注※2 コンフィグレーションで設定したヒストリグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションで設定した history 設定を削除してから再設定してください。

2.12.3 Ethernet History グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2

etherHistoryTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.2

(2) 実装仕様

Ethernet History グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-34 Ethernet History グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherHistoryTable {history 2}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	etherHistoryEntry {etherHistoryTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブルのリスト。 INDEX { etherHistoryIndex, etherHistorySampleIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	etherHistoryIndex {etherHistoryEntry 1}	R/O	[規格] historyControlIndex のインデックス値と同じ値。値の範囲は 1～65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	etherHistorySampleIndex {etherHistoryEntry 2}	R/O	[規格] 同じ etherHistoryIndex の値の中でユニークな値で 1 から順次値を設定します。値の範囲は 1～2147483647。 [実装] 規格に同じ。	●
5	etherHistoryIntervalStart {etherHistoryEntry 3}	R/O	[規格] 統計情報の取得開始時間（単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
6	etherHistoryDropEvents	R/O	[規格] サンプリング時にパケットの取りこぼしを検出した回数。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{etherHistoryEntry 4}		[実装] 規格に同じ。	
7	etherHistoryOctets {etherHistoryEntry 5}	R/O	[規格] 特定時間内での受信したオクテット(バイト)数。bad packets を含みます。 [実装] 特定時間内での送受信したオクテット (バイト) 数。 オクテット数の算出には、フレーム長の MAC ヘッダから FCS までの 範囲を使用しています。	●
8	etherHistoryPkts {etherHistoryEntry 6}	R/O	[規格] 特定時間内での総パケット受信。bad packets, broadcast packets, multicast packets を含みます。 [実装] 特定時間内での総パケット送受信。	●
9	etherHistoryBroadcast Pkts {etherHistoryEntry 7}	R/O	[規格] 特定時間内での broadcast パケットの受信数。bad, multicast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での broadcast パケットの送受信数。	●
10	etherHistoryMulticastP kts {etherHistoryEntry 8}	R/O	[規格] 特定時間内での multicast パケットの受信数。bad, broadcast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での multicast パケットの送受信数。 ポーズパケットについては、次のようになります。 ポーズパケットを含まない。	●
11	etherHistoryCRCAlign Errors {etherHistoryEntry 9}	R/O	[規格] 特定時間内での FCS エラーパケット受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	etherHistoryUndersize Pkts {etherHistoryEntry 10}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (フレーム長 64 オク テット未満) 受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	etherHistoryOversizeP kts {etherHistoryEntry 11}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバサイズパケット (フレーム長 1518 オク テットを超えた) 受信数。 [実装] 特定時間内でのオーバサイズパケット (最大フレーム長を超え た) 受信数。	●
14	etherHistoryFragments {etherHistoryEntry 12}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (フレーム長 64 オク テット未満) 受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 規格に同じ。	●
15	etherHistoryJabbers {etherHistoryEntry 13}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバサイズパケット (最大フレーム長を超え た) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] <ul style="list-style-type: none"> • gigabitethernet : 0 固定。 • tengigabitethernet : 特定時間内でのオーバサイズパケット (最大 フレーム長を超えた) 受信で FCS エラーのもの。 	●
16	etherHistoryCollisions {etherHistoryEntry 14}	R/O	[規格] 特定時間内でのコリジョン数。 [実装] <ul style="list-style-type: none"> • gigabitethernet : 規格に同じ。 • tengigabitethernet : 0 固定。 	●
17	etherHistoryUtilization	R/O	[規格] 物理レイヤの利用率の見積もり。値の範囲は、0~10000。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{etherHistoryEntry 15}		<p>[実装] 利用率を示します。</p> <p>半二重回線の場合の利用率は、$\{\text{パケット数} \times (9.6+6.4) + (\text{オクテット数} \times 0.8)\} \div \{\text{時間間隔} \times \text{回線速度}\} \times 1000$ で計算します。</p> <p>全二重回線の場合の利用率は、$\{\text{パケット数} \times (9.6+6.4) + (\text{オクテット数} \times 0.8)\} \div \{\{\text{時間間隔} \times \text{回線速度}\} \times 2\} \times 1000$ で計算します。</p>	

注 フレーム長とは MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「コンフィグレーションガイド Vol.1」「15.2.2 フレームフォーマット」を参照してください。

2.12.4 Alarm グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

alarm OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3

alarmTable OBJECT IDENTIFIER ::= {alarm 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3.1

(2) 実装仕様

Alarm グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-35 Alarm グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	alarmTable {alarm 1}	NA	<p>[規格] アラームテーブル。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
2	alarmEntry {alarmTable 1}	NA	<p>[規格] アラームテーブルのリスト。</p> <p>INDEX { alarmIndex }</p> <p>[実装] 規格に同じ。ただし、最大 128 エントリまで。</p>	●
3	alarmIndex {alarmEntry 1}	R/O	<p>[規格] alarmTable 中の行エントリを一意に識別する識別子。値の範囲は 1～65535。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
4	alarmInterval {alarmEntry 2}* ¹	R/W	<p>[規格] 閾値と比較する間隔（単位：秒）。設定できる範囲は 1～$(2^{32}-1)$</p> <p>[実装] 規格に同じ。*²</p>	●
5	alarmVariable {alarmEntry 3}* ¹	R/W	<p>[規格] サンプリングする MIB のオブジェクト識別子。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
6	alarmSampleType {alarmEntry 4}* ¹	R/W	<p>[規格] 値を閾値と比較する方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> absoluteValue (1) deltaValue (2) <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
7	alarmValue {alarmEntry 5}	R/O	[規格] 前回のサンプリング時の統計値。 [実装] 規格に同じ。	●
8	alarmStartupAlarm {alarmEntry 6} ^{※1}	R/W	[規格] 最初にアラームを生成するタイミング。 <ul style="list-style-type: none"> • risingAlarm (1) • fallingAlarm (2) • rising Or fallingAlarm (3) [実装] 規格に同じ。	●
9	alarmRisingThreshold {alarmEntry 7} ^{※1}	R/W	[規格] サンプリングした統計に対する上方閾値。 [実装] 規格に同じ。 ^{※2}	●
10	alarmFallingThreshold {alarmEntry 8} ^{※1}	R/W	[規格] サンプリングした統計に対する下方閾値。 [実装] 規格に同じ。 ^{※2}	●
11	alarmRisingEventIndex {alarmEntry 9} ^{※1}	R/W	[規格] 上方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0～65535。 [実装] 規格に同じ。	●
12	alarmFallingEventIndex {alarmEntry 10} ^{※1}	R/W	[規格] 下方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0～65535。 [実装] 規格に同じ。	●
13	alarmOwner {alarmEntry 11} ^{※1}	R/W	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●
14	alarmStatus {alarmEntry 12}	R/W	[規格] エントリの状態を示します。 [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest (2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid (1) を Set します。 削除するときは、invalid (4) を Set します。createRequest (2) を Set した後で、Get すると、underCreation (3) を応答し、valid (1) を Set した後で Get すると、valid (1) を応答します。 ^{※3} すでにエントリがある場合は、いったん invalid (4) を Set してエントリを削除してから追加してください。 <ul style="list-style-type: none"> • valid (1) : alarmVariable に設定されたオブジェクトの情報を alarmInterval の間にサンプリングできます。 • invalid (4) : alarmVariable に設定されたオブジェクトが存在しません。または、alarmInterval の間にサンプリングできませんでした。 	●

注※1 コンフィグレーションコマンド rmon alarm でも設定できます。

注※2 コンフィグレーションで"2147483648"を設定した場合は"-2147483648"が表示され、以降、1 ずつカウントアップされます。"4294967295"を設定した場合は"-1"が表示されます。

注※3 コンフィグレーションで設定したアラームグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションで設定した alarm 設定を削除してから再設定してください。

2.12.5 Event グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

event OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9

eventTable OBJECT IDENTIFIER ::= {event 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9.1

(2) 実装仕様

Event グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-36 Event グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	eventTable {event 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	eventEntry {eventTable 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのリスト。 INDEX { eventIndex } [実装] 規格に同じ。ただし、最大 16 エントリまで。	●
3	eventIndex {eventEntry 1}	R/O	[規格] eventEntry リストのインデックス値。これは、logEntry リストの logEventIndex と同等の値です。設定できる範囲は 1～65535。 [実装] 規格に同じ。	●
4	eventDescription {eventEntry 2}※1	R/W	[規格] このリストの説明。最大 127 文字の文字列。 [実装] 79 文字以内の文字列。	●
5	eventType {eventEntry 3}※1	R/W	[規格] イベント通知方法。 <ul style="list-style-type: none"> • none (1) • log (2) • snmp-trap (3) • log-and-trap (4) [実装] 規格に同じ。	●
6	eventCommunity {eventEntry 4}※1	R/W	[規格] eventType に SNMP 通知を含む指定をしたときの送信先のコミュニティ名。最大 127 文字の文字列。 [実装] eventType に SNMP 通知を含む指定をしたときの送信先のコミュニティ名。最大 60 文字の文字列。	●
7	eventLastTimeSent {eventEntry 5}	R/O	[規格] イベントが最後に生成されたときの sysUpTime 値 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
8	eventOwner {eventEntry 6}※1	R/W	[規格] このエンティティを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。最大 127 文字。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
9	eventStatus {eventEntry 7}	R/W	<p>[規格] このエントリの状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • valid (1) • createRequest (2) • underCreation (3) • invalid (4) <p>[実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest (2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid (1) を Set します。</p> <p>削除するときは、invalid (4) を Set します。createRequest (2) を Set した後で、Get すると、underCreation (3) を応答し、valid (1) を Set した後で Get すると、valid (1) を応答します。※2</p> <p>すでにエントリがある場合は、いったん invalid (4) を Set してエントリを削除してから追加してください。</p>	●
10	logTable {event 2}	NA	<p>[規格] log されたイベントのテーブル。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
11	logEntry {logTable 1}	NA	<p>[規格] log されたイベントのリスト。</p> <p>INDEX { logEventIndex, logIndex }</p> <p>[実装] 規格に同じ。ただし、最大 128 エントリまで。</p>	●
12	logEventIndex {logEntry 1}	R/O	<p>[規格] このログを生成することになったイベントを示すインデックス。この値は、eventIndex と同じ値を持つイベントを示します。値の範囲は 1～65535。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
13	logIndex {logEntry 2}	R/O	<p>[規格] 同じイベントに対するログのインデックス。値の範囲は 1～2147483647。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
14	logTime {logEntry 3}	R/O	<p>[規格] このログリストが生成されたときの sysUpTime 値。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
15	logDescription {logEntry 4}	R/O	<p>[規格] このログリストの元になったイベントに関するコメント。最大 255 文字の文字列。</p> <p>[実装] 最大 72 文字の文字列で応答。</p>	●

注※1 コンフィグレーションコマンド rmon event でも設定できます。

注※2 コンフィグレーションで設定したイベントグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションで設定した event 設定を削除してから再設定してください。

2.13 dot1dBridge グループ

dot1dBridge グループの準拠規格を次に示します。

- RFC1493 (1993 年 6 月)
- RFC2674 (1999 年 8 月)

2.13.1 dot1dBase グループ

(1) 識別子

dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dBase OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.1

(2) 実装仕様

dot1dBase グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-37 dot1dBase グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dBaseBridgeAddress {dot1dBase 1}	R/O	[規格] ブリッジの MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1dBaseNumPorts {dot1dBase 2}	R/O	[規格] ブリッジのポート数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1dBaseType {dot1dBase 3}	R/O	[規格] ブリッジが実行できるブリッジングのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • unknown (1) • transparent-only (2) • sourceroute-only (3) • srt (4) [実装] transparent-only (2) 固定。	●
4	dot1dBasePortTable {dot1dBase 4}	NA	[規格] ブリッジの各ポート情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1dBasePortEntry {dot1dBasePortTable 1}	NA	[規格] ブリッジの各ポート情報のリスト。 INDEX { dot1dBasePort } [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1dBasePort {dot1dBasePortEntry 1}	R/O	[規格] ポートのポート番号 (1~65535)。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1dBasePortIfIndex {dot1dBasePortEntry 2}	R/O	[規格] このポートに対応するインタフェースが MIB-II に定義されたオブジェクトのインスタンスの値。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	dot1dBasePortCircuit {dot1dBasePortEntry 3}	R/O	[規格] dot1dBasePortIfIndex で設定された同一のインスタンスの値を持つポートの識別子。 [実装] {0,0}固定。	●
9	dot1dBasePortDelayExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 4}	R/O	[規格] 通過遅延による廃棄フレームの総数。 [実装] 0 固定。	●
10	dot1dBasePortMtuExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 5}	R/O	[規格] データオーバフローによる廃棄フレームの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.13.2 dot1dStp グループ

(1) 識別子

dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dStp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.2

(2) 実装仕様

dot1dStp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-38 dot1dStp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dStpProtocolSpecification {dot1dStp 1}	R/O	[規格] ブリッジが実行しているスパニング・ツリーのバージョン。 <ul style="list-style-type: none"> unknown (1) decLb100 (2) ieee8021d (3) [実装] 3 固定。	●
2	dot1dStpPriority {dot1dStp 2}	R/NW	[規格] ブリッジプライオリティの値 (0~65535)。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1dStpTimeSinceTopologyChange {dot1dStp 3}	R/O	[規格] トポロジ変化が起きてからの経過時間 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1dStpTopChanges {dot1dStp 4}	R/O	[規格] トポロジ変化回数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1dStpDesignatedRoot {dot1dStp 5}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートブリッジ識別子の値。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	dot1dStpRootCost {dot1dStp 6}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートパスコストの値。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1dStpRootPort {dot1dStp 7}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートポートの値。 [実装] 規格に同じ。ただし、ルートポートが存在しない場合は 0 を表示。仮想リンクの場合は仮想リンクに使用する VLAN の ifIndex 値を表示。	●
8	dot1dStpMaxAge {dot1dStp 8}	R/O	[規格] ブリッジで保持している最大年齢時間（単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1dStpHelloTime {dot1dStp 9}	R/O	[規格] ブリッジで保持している Hello 時間（単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1dStpHoldTime {dot1dStp 10}	R/O	[規格] ブリッジで保持している Hold 時間（単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1dStpForwardDelay {dot1dStp 11}	R/O	[規格] ブリッジで保持している転送遅延時間（単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1dStpBridgeMaxAge {dot1dStp 12}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている最大年齢時間（600～4000, 単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1dStpBridgeHelloTime {dot1dStp 13}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている Hello 時間（100～1000, 単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot1dStpBridgeForwardDelay {dot1dStp 14}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている転送遅延時間（400～3000, 単位：1/100 秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot1dStpPortTable {dot1dStp 15}	NA	[規格] スパニング・ツリー・プロトコルのためのポート情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1dStpPortEntry {dot1dStpPortTable 1}	NA	[規格] スパニング・ツリー・プロトコル状態に関するポートごとの情報のリスト。 INDEX { ifIndex } [実装] 規格に同じ。	●
17	dot1dStpPort {dot1dStpPortEntry 1}	R/O	[規格] スパニング・ツリー対象ポートのポート番号（1～65535）。 [実装] 規格に同じ。	●
18	dot1dStpPortPriority {dot1dStpPortEntry 2}	R/NW	[規格] ポート優先度（0～255）。 [実装] 規格に同じ。	●
19	dot1dStpPortState {dot1dStpPortEntry 3}	R/O	[規格] ポートの現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disabled (1) • blocking (2) • listening (3) 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> • learning (4) • forwarding (5) • broken (6) [実装] 規格に同じ。	
20	dot1dStpPortEnable {dot1dStpPortEntry 4}	R/NW	[規格] ポートの有効/無効な状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1dStpPortPathCost {dot1dStpPortEntry 5}	R/NW	[規格] ポートのパスコスト値 (1~65535)。 [実装] 0~200000000。ポートのリンクがダウンしている場合は 0 を表示。	●
22	dot1dStpPortDesignatedRoot {dot1dStpPortEntry 6}	R/O	[規格] 構成 BPDU 中のルートブリッジ識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
23	dot1dStpPortDesignatedCost {dot1dStpPortEntry 7}	R/O	[規格] 指定ポートのパスコスト値。 [実装] 規格に同じ。	●
24	dot1dStpPortDesignatedBridge {dot1dStpPortEntry 8}	R/O	[規格] 指定ブリッジのブリッジ識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
25	dot1dStpPortDesignatedPort {dot1dStpPortEntry 9}	R/O	[規格] 指定ブリッジのポート識別子。 <ul style="list-style-type: none"> • SIZE (2) [実装] 規格に同じ。	●
26	dot1dStpPortForwardTransitions {dot1dStpPortEntry 10}	R/O	[規格] ポートが学習状態から転送状態に遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.13.3 dot1dTp グループ

(1) 識別子

dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dTp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 4}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.4

(2) 実装仕様

dot1dTp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-39 dot1dTp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dTpLearnedEntry Discards {dot1dTp 1}	R/O	[規格] フォワーディングデータベースに保存する領域がないために廃棄されたフォワーディング情報の数。 [実装] 0 固定。	●
2	dot1dTpAgingTime {dot1dTp 2}	R/NW	[規格] ダイナミックに学習したフォワーディング情報をエージング・アウトさせるためのタイムアウト期間 (10~1000000, 単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、コンフィグレーションでエージングなしの場合は 0。	●
3	dot1dTpFdbTable {dot1dTp 3}	NA	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト・エントリの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。※	●
4	dot1dTpFdbEntry {dot1dTpFdbTable 1}	NA	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス情報。 INDEX { dot1dTpFdbAddress } [実装] 規格に同じ。※	●
5	dot1dTpFdbAddress {dot1dTpFdbEntry 1}	R/O	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。※	●
6	dot1dTpFdbPort {dot1dTpFdbEntry 2}	R/O	[規格] dot1dTpFdbAddress の対応するインスタンス値と同じ送信元アドレス値を持つフレームを送信したポートのポート番号。 [実装] 規格に同じ。※	●
7	dot1dTpFdbStatus {dot1dTpFdbEntry 3}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • learned (3) • self (4) • mgmt (5) [実装] ダイナミックエントリは learned (3) を返す。ダイナミックエントリ以外は mgmt (5) を返す。※	●
8	dot1dTpPortTable {dot1dTp 4}	NA	[規格] 全ポートの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1dTpPortEntry {dot1dTpPortTable 1}	NA	[規格] 各ポートの情報リスト。 INDEX { dot1dTpPort } [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1dTpPort {dot1dTpPortEntry 1}	R/O	[規格] このエントリが含む管理情報がどのポートに対するかを示すポート番号 (1~65535)。 [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1dTpPortMaxInfo {dot1dTpPortEntry 2}	R/O	[規格] このポートの送受信情報フィールドの最大サイズ。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1dTpPortInFrames {dot1dTpPortEntry 3}	R/O	[規格] このポートの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
13	dot1dTpPortOutFrames {dot1dTpPortEntry 4}	R/O	[規格] このポートの送信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot1dTpPortInDiscards {dot1dTpPortEntry 5}	R/O	[規格] 有効な受信フレームの廃棄数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot1dTpHCPortTable {dot1dTp 5}	NA	[規格] 高収容能力ポートの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1dTpHCPortEntry {dot1dTpHCPortTable 1}	NA	[規格] 高収容能力ポートの情報リスト。 INDEX { dot1dTpPort } [実装] 規格に同じ。	●
17	dot1dTpHCPortInFrames {dot1dTpHCPortEntry 1}	R/O	[規格] 高収容能力ポートの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	dot1dTpHCPortOutFrames {dot1dTpHCPortEntry 2}	R/O	[規格] 高収容能力ポートの送信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	dot1dTpHCPortInDiscards {dot1dTpHCPortEntry 3}	R/O	[規格] 高収容能力ポートで受信され廃棄されたフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	dot1dTpPortOverflowTable {dot1dTp 6}	NA	[規格] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1dTpPortOverflowEntry {dot1dTpPortOverflowTable 1}	NA	[規格] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報リスト。 INDEX { dot1dTpPort } [実装] 規格に同じ。	●
22	dot1dTpPortInOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 1}	R/O	[規格] dot1dTpPortInFrames のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	dot1dTpPortOutOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 2}	R/O	[規格] dot1dTpPortOutFrames のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	dot1dTpPortInOverflowDiscards {dot1dTpPortOverflowEntry 3}	R/O	[規格] dot1dTpPortInDiscards のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	●

注※ clear mac-address-table コマンドを実行直後に取得した場合、MAC アドレステーブルの情報のクリアが反映されていないことがあります。

2.13.4 pBridgeMIB グループ

(1) 識別子

dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

pBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.6

pBridgeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 1}
dot1dExtBase OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 1}
dot1dPriority OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 2}
dot1dGarp OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 3}
dot1dGmrp OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 4}
pBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 2}
pBridgeGroups OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 1}
pBridgeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 2}

(2) 実装仕様

pBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-40 pBridgeMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dDeviceCapabilities {dot1dExtBase 1}	R/O	[規格] 装置が実装する IEEE 802.1D と 802.1Q のオプション。 <ul style="list-style-type: none"> • dot1dExtendedFilteringServices (0) • dot1dTrafficClasses (1) • dot1qStaticEntryIndividualPort (2) • dot1qIVLCapable (3) • dot1qSVLCapable (4) • dot1qHybridCapable (5) • dot1qConfigurablePvidTagging (6) • dot1dLocalVlanCapable (7) [実装] <ul style="list-style-type: none"> • dot1dTrafficClasses (1) • dot1qIVLCapable (3) • dot1qConfigurablePvidTagging (6) マネージャによって文字として表示されます。	●
2	dot1dTrafficClassesEnabled {dot1dExtBase 2}	R/NW	[規格] ブリッジのトラフィッククラスサポート状態。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] true (1)。	●
3	dot1dGmrpStatus {dot1dExtBase 3}	R/NW	[規格] GMRP の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) 	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
			[実装] disabled (2)。	
4	dot1dPortCapabilities Table {dot1dExtBase 4}	NA	[規格] ポートの能力情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1dPortCapabilities Entry {dot1dPortCapabilities Table 1}	NA	[規格] ポートの能力情報リスト。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1dPortCapabilities {dot1dPortCapabilities Entry 1}	R/O	[規格] ポートの IEEE 802.1D と 802.1Q の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • dot1qDot1qTagging (0) • dot1qConfigurableAcceptableFrameTypes (1) • dot1qIngressFiltering (2) [実装] dot1qIngressFiltering (2)。 マネージャによって文字として表示されます。	●
7	dot1dPortPriorityTable {dot1dPriority 1}	NA	[規格] ポートの優先度情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1dPortPriorityEntry {dot1dPortPriorityTabl e 1}	NA	[規格] ポートの優先度情報リスト。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1dPortDefaultUser Priority {dot1dPortPriorityEntr y 1}	R/NW	[規格] ポートのデフォルトイングレスユーザ優先度 (0~7)。 [実装] 0。	●
10	dot1dPortNumTraffic Classes {dot1dPortPriorityEntr y 2}	R/NW	[規格] ポートのイングレストラフィッククラス番号 (1~8)。 [実装] 1。	●
11	dot1dTrafficClassTabl e {dot1dPriority 3}	NA	[規格] トラフィッククラスの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1dTrafficClassEntr y {dot1dTrafficClassTab le 1}	NA	[規格] トラフィッククラスの情報リスト。 INDEX { dot1dBasePort, dot1dTrafficClassPriority } [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1dTrafficClassPrior ity {dot1dTrafficClassEntr y 1}	NA	[規格] トラフィッククラスの優先度 (0~7)。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot1dTrafficClass {dot1dTrafficClassEntr y 2}	R/NW	[規格] トラフィッククラス (0~7)。 [実装] 規格に同じ。	●

2.13.5 qBridgeMIB グループ

(1) 識別子

dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

qBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.7

qBridgeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 1}
dot1qBase OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 1}
dot1qTp OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 2}
dot1qStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 3}
dot1qVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 4}
qBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 2}
qBridgeGroups OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 1}
qBridgeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 2}
dot1dPortPair OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 10}

(2) 実装仕様

qBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-41 qBridgeMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1qVlanVersionNumber {dot1qBase 1}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q のバージョン番号。 • version1 (1) [実装] 1。	●
2	dot1qMaxVlanId {dot1qBase 2}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN ID の最大数。 [実装] 4094。	●
3	dot1qMaxSupportedVlans {dot1qBase 3}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN の最大数。 [実装] 4094。	●
4	dot1qNumVlans {dot1qBase 4}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN の現在数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1qGvrpStatus {dot1qBase 5}	R/NW	[規格] GVRP の管理状態。 [実装] disabled (2)。	●
6	dot1qFdbTable {dot1qTp 1}	NA	[規格] MAC アドレステーブルのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1qFdbEntry {dot1qFdbTable 1}	NA	[規格] MAC アドレステーブルのリスト。 INDEX { dot1qFdbId } [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1qFdbId {dot1qFdbEntry 1}	NA	[規格] MAC アドレステーブルの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1qFdbDynamicCount {dot1qFdbEntry 2}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルにある動的エントリ数。 [実装] 0 固定。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
10	dot1qTpFdbTable {dot1qTp 2}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。*	●
11	dot1qTpFdbEntry {dot1qTpFdbTable 1}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルの情報リスト。 INDEX { dot1qFdbId, dot1qTpFdbAddress } [実装] 規格に同じ。*	●
12	dot1qTpFdbAddress {dot1qTpFdbEntry 1}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルにあるユニキャスト MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。*	●
13	dot1qTpFdbPort {dot1qTpFdbEntry 2}	R/O	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルにあるポート番号 (0~65535)。 [実装] 規格に同じ。*	●
14	dot1qTpFdbStatus {dot1qTpFdbEntry 3}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • learned (3) • self (4) • mgmt (5) [実装] ダイナミックエントリは learned (3) を返す。ダイナミックエントリ以外は mgmt (5) を返す。*	●
15	dot1qTpGroupTable {dot1qTp 3}	NA	[規格] トランスペアレントなグループの情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
16	dot1qTpGroupEntry {dot1qTpGroupTable 1}	NA	[規格] トランスペアレントなグループの情報リスト。 INDEX { dot1qVlanIndex, dot1qTpGroupAddress } [実装] 未実装。	×
17	dot1qTpGroupAddress {dot1qTpGroupEntry 1}	NA	[規格] トランスペアレントなグループにある宛先 MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
18	dot1qTpGroupEgressPorts {dot1qTpGroupEntry 2}	R/O	[規格] トランスペアレントなグループにあるイングレスポートの全セット。 [実装] 未実装。	×
19	dot1qTpGroupLearnt {dot1qTpGroupEntry 3}	R/O	[規格] トランスペアレントなグループにある学習されたポートのサブセット。 [実装] 未実装。	×
20	dot1qForwardAllTable {dot1qTp 4}	NA	[規格] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
21	dot1qForwardAllEntry	NA	[規格] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot1qForwardAllTable 1}		INDEX { dot1qVlanIndex } [実装] 未実装。	
22	dot1qForwardAllPorts {dot1qForwardAllEntry 1}	R/O	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。 [実装] 未実装。	×
23	dot1qForwardAllStaticPorts {dot1qForwardAllEntry 2}	R/NW	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 未実装。	×
24	dot1qForwardAllForbiddenPorts {dot1qForwardAllEntry 3}	R/NW	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送しない VLAN のポートのセット。 [実装] 未実装。	×
25	dot1qForwardUnregisteredTable {dot1qTp 5}	NA	[規格] 未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
26	dot1qForwardUnregisteredEntry {dot1qForwardUnregisteredTable 1}	NA	[規格] 未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。 INDEX { dot1qVlanIndex } [実装] 規格に同じ。	●
27	dot1qForwardUnregisteredPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 1}	R/O	[規格] 未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。 [実装] 規格に同じ。	●
28	dot1qForwardUnregisteredStaticPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 2}	R/NW	[規格] 未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
29	dot1qForwardUnregisteredForbiddenPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 3}	R/NW	[規格] 未登録のマルチキャストグループを転送しない VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
30	dot1qStaticUnicastTable {dot1qStatic 1}	NA	[規格] 静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
31	dot1qStaticUnicastEntry {dot1qStaticUnicastTable 1}	NA	[規格] 静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報リスト。 INDEX { dot1qFdbId, dot1qStaticUnicastAddress, dot1qStaticUnicastReceivePort } [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
32	dot1qStaticUnicastAddress {dot1qStaticUnicastEntry 1}	NA	[規格] 静的なユニキャストアドレスの宛先 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
33	dot1qStaticUnicastReceivePort {dot1qStaticUnicastEntry 2}	NA	[規格] 静的なユニキャストアドレスを受信するポート番号 (0～65535)。 [実装] 0。	●
34	dot1qStaticUnicastAllowedToGoTo {dot1qStaticUnicastEntry 3}	R/NW	[規格] 静的なユニキャストアドレスをフラッドするポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
35	dot1qStaticUnicastStatus {dot1qStaticUnicastEntry 4}	R/NW	[規格] 静的なユニキャストアドレスのエントリ状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • permanent (3) • deleteOnReset (4) • deleteOnTimeout (5) [実装] permanent (3) 固定。	●
36	dot1qStaticMulticastTable {dot1qStatic 2}	NA	[規格] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを転送する VLAN のフィルタリング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
37	dot1qStaticMulticastEntry {dot1qStaticMulticastTable 1}	NA	[規格] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを転送する VLAN のフィルタリング情報リスト。 INDEX { dot1qVlanIndex, dot1qStaticMulticastAddress, dot1qStaticMulticastReceivePort } [実装] 規格に同じ。	●
38	dot1qStaticMulticastAddress {dot1qStaticMulticastEntry 1}	NA	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの宛先 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
39	dot1qStaticMulticastReceivePort {dot1qStaticMulticastEntry 2}	NA	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを受信するポート番号。(0～65535) [実装] 規格に同じ。	●
40	dot1qStaticMulticastStaticEgressPorts {dot1qStaticMulticastEntry 3}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを転送するポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
41	dot1qStaticMulticastForbiddenEgressPorts {dot1qStaticMulticastEntry 4}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを転送しないポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
42	dot1qStaticMulticastStatus {dot1qStaticMulticastEntry 5}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストのエントリ状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • permanent (3) • deleteOnReset (4) • deleteOnTimeout (5) [実装] permanent (3) 固定。	●
43	dot1qVlanNumDeletes {dot1qVlan 1}	R/O	[規格] VLAN エントリの削除回数。 [実装] 規格に同じ。	●
44	dot1qVlanCurrentTable {dot1qVlan 2}	NA	[規格] VLAN の現在の構成情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
45	dot1qVlanCurrentEntry {dot1qVlanCurrentTable 1}	NA	[規格] VLAN の現在の構成情報リスト。 INDEX { dot1qVlanTimeMark, dot1qVlanIndex } [実装] 未実装。	×
46	dot1qVlanTimeMark {dot1qVlanCurrentEntry 1}	NA	[規格] エントリのタイムフィルタ。 [実装] 未実装。	×
47	dot1qVlanIndex {dot1qVlanCurrentEntry 2}	NA	[規格] VLAN ID。 [実装] 未実装。	×
48	dot1qVlanFdbId {dot1qVlanCurrentEntry 3}	R/O	[規格] VLAN が使用する MAC アドレステーブル ID。 [実装] 未実装。	×
49	dot1qVlanCurrentEgressPorts {dot1qVlanCurrentEntry 4}	R/O	[規格] Tagged フレームまたは Untagged フレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。 [実装] 未実装。	×
50	dot1qVlanCurrentUntaggedPorts {dot1qVlanCurrentEntry 5}	R/O	[規格] Untagged フレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。 [実装] 未実装。	×
51	dot1qVlanStatus {dot1qVlanCurrentEntry 6}	R/O	[規格] VLAN 状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • permanent (2) 	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> dynamicGvrp (3) [実装] 未実装。	
52	dot1qVlanCreationTime {dot1qVlanCurrentEntry 7}	R/O	[規格] VLAN 作成時の sysUpTime 値。 [実装] 未実装。	×
53	dot1qVlanStaticTable {dot1qVlan 3}	NA	[規格] VLAN の静的構成情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
54	dot1qVlanStaticEntry {dot1qVlanStaticTable 1}	NA	[規格] VLAN の静的構成情報リスト。 INDEX { dot1qVlanIndex } [実装] 規格に同じ。	●
55	dot1qVlanStaticName {dot1qVlanStaticEntry 1}	R/NW	[規格] VLAN の静的な識別名。 [実装] 規格に同じ。	●
56	dot1qVlanStaticEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 2}	R/NW	[規格] VLAN の静的なエグレスリストにあるポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
57	dot1qVlanForbiddenEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 3}	R/NW	[規格] VLAN のエグレスリストに入ることを禁止されているポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
58	dot1qVlanStaticUntaggedPorts {dot1qVlanStaticEntry 4}	R/NW	[規格] VLAN のエグレスパケットを送信する Untagged ポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	●
59	dot1qVlanStaticRowStatus {dot1qVlanStaticEntry 5}	R/NW	[規格] エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。	●
60	dot1qNextFreeLocalVlanIndex {dot1qVlan 4}	R/O	[規格] 次に利用できる VLAN インデックス (0 または 4096～2147483647)。 [実装] 0 または 4096	●
61	dot1qPortVlanTable {dot1qVlan 5}	NA	[規格] ポートの VLAN 構成情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
62	dot1qPortVlanEntry {dot1qPortVlanTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 構成情報リスト。 [実装] 規格に同じ。	●
63	dot1qPvid {dot1qPortVlanEntry 1}	R/NW	[規格] Untagged フレームまたは Priority-Tagged フレームに割り付ける PVID VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
64	dot1qPortAcceptableFrameTypes {dot1qPortVlanEntry 2}	R/NW	[規格] ポートの受信できるフレームタイプを決定します。 • admitAll (1) • admitOnlyVlanTagged (2) [実装] admitAll (1)。	●
65	dot1qPortIngressFiltering {dot1qPortVlanEntry 3}	R/NW	[規格] ポートに進入するフレームをフィルタリングします。 [実装] 規格に同じ。	●
66	Dot1qPortGvrpStatus {dot1qPortVlanEntry 4}	R/NW	[規格] ポートの GVRP 状態。 [実装] disabled (2)。	●
67	Dot1qPortGvrpFailedRegistrations {dot1qPortVlanEntry 5}	R/O	[規格] ポートの GVRP 失敗登録総数。 [実装] 未実装。	×
68	dot1qPortGvrpLastPduOrigin {dot1qPortVlanEntry 6}	R/O	[規格] ポートで受信した最後の GVRP のソース MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
69	dot1qPortVlanStatisticsTable {dot1qVlan 6}	NA	[規格] ポートの VLAN 統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
70	dot1qPortVlanStatisticsEntry {dot1qPortVlanStatisticsTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 統計情報リスト。 INDEX { dot1dBasePort, dot1qVlanIndex } [実装] 規格に同じ。	●
71	dot1qTpVlanPortInFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
72	dot1qTpVlanPortOutFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VLAN のポートで送信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
73	dot1qTpVlanPortInDiscards {dot1qPortVlanStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
74	dot1qTpVlanPortInOverflowFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 4}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortInFrames カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	▲

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
75	dot1qTpVlanPortOutOverflowFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 5}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortOutFrames カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	▲
76	dot1qTpVlanPortInOverflowDiscards {dot1qPortVlanStatisticsEntry 6}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortInDiscards カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	▲
77	dot1qPortVlanHCStatisticsTable {dot1qVlan 7}	NA	[規格] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
78	dot1qPortVlanHCStatisticsEntry {dot1qPortVlanHCStatisticsTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報リスト。 INDEX { dot1dBasePort, dot1qVlanIndex } [実装] 規格に同じ。	●
79	dot1qTpVlanPortHCInFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
80	dot1qTpVlanPortHCOutFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VLAN のポートで送信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
81	dot1qTpVlanPortHCInDiscards {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	▲
82	dot1qLearningConstraintsTable {dot1qVlan 8}	NA	[規格] 学習制約テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
83	dot1qLearningConstraintsEntry {dot1qLearningConstraintsTable 1}	NA	[規格] 学習制約リスト。 INDEX { dot1qConstraintVlan, dot1qConstraintSet } [実装] 規格に同じ。	●
84	dot1qConstraintVlan {dot1qLearningConstraintsEntry 1}	NA	[規格] エントリによって制約される VLAN。 [実装] 規格に同じ。	●
85	dot1qConstraintSet {dot1qLearningConstraintsEntry 2}	NA	[規格] 制約セット識別子 (0~65535)。 [実装] 規格に同じ。	●
86	dot1qConstraintType	R/NW	[規格] 制約タイプ。 • independent (1)	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{dot1qLearningConstraintsEntry 3}		<ul style="list-style-type: none"> shared (2) [実装] independent (1) 固定。	
87	dot1qConstraintStatus {dot1qLearningConstraintsEntry 4}	R/NW	[規格] 制約状態。 [実装] 規格に同じ。	●
88	dot1qConstraintSetDefault {dot1qVlan 9}	R/NW	[規格] 制約セットのデフォルト値 (0~65535)。 [実装] 0。	●
89	dot1qConstraintTypeDefault {dot1qVlan 10}	R/NW	[規格] 制約セットのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> independent (1) shared (2) [実装] independent (1) 固定。	●

注※ clear mac-address-table コマンドを実行直後に取得した場合、MAC アドレステーブルの情報のクリアが反映されていないことがあります。

2.14 ifMIB グループ(Interfaces Group MIB)

ifMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC2233 (1997 年 11 月)

次に示す ifMIB グループについて説明します。

- イーサネットインタフェース
- ポートチャネルインタフェース
- VLAN インタフェース
- ループバックインタフェース

(1) 識別子

ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1

(2) 実装仕様

ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-42 ifMIB グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS {ifEntry} [実装] 規格に同じ。	●
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。	●
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットインタフェース：規格に同じ。 • ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 • VLAN インタフェース：0 固定。 • ループバックインタフェース：0 固定。 	●
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットインタフェース：規格に同じ。 • ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 • VLAN インタフェース：0 固定。 • ループバックインタフェース：0 固定。 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の総受信オクテット数。 ポートチャネルインタフェース：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の受信オクテット数。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：規格に同じ。 ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> • VLAN インタフェース：0 固定。 • ループバックインタフェース：0 固定。 	
12	ifHCOutOctets {ifXEntry 10}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットインタフェース：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。 • ポートチャネルインタフェース：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテット数。 • VLAN インタフェース：0 固定。 • ループバックインタフェース：0 固定。 	●
13	ifHCOutUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。ifOutUcastPkts の 64 ビット版。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットインタフェース：規格に同じ。 • ポートチャネルインタフェース：0 固定。 • VLAN インタフェース：0 固定。 • ループバックインタフェース：0 固定。 	●
14	ifHCOutMulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットインタフェース：規格に同じ。 • ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 • VLAN インタフェース：0 固定。 • ループバックインタフェース：0 固定。 	●
15	ifHCOutBroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットインタフェース：規格に同じ。 • ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 • VLAN インタフェース：0 固定。 • ループバックインタフェース：0 固定。 	●
16	ifLinkUpDownTrapEnable {ifXEntry 14}	R/O	<p>[規格] このインタフェースが、LinkUp/LinkDown によって SNMP 通知を送信するかを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イーサネットインタフェース：規格に同じ。 • ポートチャネルインタフェース：規格に同じ。 • VLAN インタフェース：規格に同じ。 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> ループバックインタフェース：disabled (2)。 	
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s)。Mbit/s 未満は四捨五入。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は、該当インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。 ポートチャネルインタフェース：チャネルグループに属するポートの ifHighSpeed の合計値。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	●
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/O	<p>[規格] 受信モード。</p> <ul style="list-style-type: none"> true (1) false (2) <p>[実装] false (2) 固定。</p>	●
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	<p>[規格] 物理回線との接続状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> true (1) false (2) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：true (1)。 ポートチャネルインタフェース：false (2)。 VLAN インタフェース：false (2)。 ループバックインタフェース：false (2)。 	●
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/O	<p>[規格] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。</p> <p>[実装] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補足説明。</p>	●
21	ifCounterDiscontinuity Time {ifXEntry 19}	R/O	<p>[規格] カウンタ情報が非連続な状態になったときの sysUpTime。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> イーサネットインタフェース：0 固定。 ポートチャネルインタフェース：0 固定。 VLAN インタフェース：0 固定。 ループバックインタフェース：0 固定。 	▲

2.15 ipv6MIB グループ(IPv6 MIB)

ipv6MIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC2465 (1998 年 12 月)

2.15.1 ipv6MIB

(1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6Forwarding OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.1
```

(2) 実装仕様

ipv6MIB の実装仕様を次の表に示します。

表 2-43 ipv6MIB の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6Forwarding {ipv6MIBObjects 1}	R/NW	[規格] IPv6 中継機能の可否。 • forwarding (1) • notForwarding (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
2	ipv6DefaultHopLimit {ipv6MIBObjects 2}	R/NW	[規格] IPv6 ヘッダ中の Hop Limit フィールドに設定されるデフォルト値。 DEFVAL {64} [実装] 64 固定。ただし、Read_Only です。	●
3	ipv6Interfaces {ipv6MIBObjects 3}	R/O	[規格] IPv6 インタフェースの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6IfTableLastChange {ipv6MIBObjects 4}	R/O	[規格] ipv6IfTable が最後に更新された sysUpTime の値。 [実装] 規格に同じ。	●

2.15.2 ipv6IfTable

(1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.5
```

(2) 実装仕様

ipv6IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-44 ipv6IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfTable {ipv6MIBObjects 5}	NA	[規格] ネットワークレイヤインタフェース (V6) のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6IfEntry {ipv6IfTable 1}	NA	[規格] ネットワークレイヤインタフェース (V6) のエントリ。 INDEX { ipv6IfIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6IfIndex {ipv6IfEntry 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェースのインデックス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6IfDescr {ipv6IfEntry 2}	R/NW	[規格] IPv6 インタフェースの情報 (文字)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ipv6IfLowerLayer {ipv6IfEntry 3}	R/O	[規格] ネットワークインタフェースレイヤの直下のレイヤを示すオブジェクト ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6IfEffectiveMtu {ipv6IfEntry 4}	R/O	[規格] 該当インタフェースで送受信できる MTU 長 (octet 長)。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6IfReasmMaxSize {ipv6IfEntry 5}	R/O	[規格] 該当インタフェースで受信したデータグラムをリアセンブルできる最大 IPv6 データグラム長。 [実装] 65535 固定。	●
8	ipv6IfIdentifier {ipv6IfEntry 6}	R/NW	[規格] 該当インタフェースのアドレστοークン。該当インタフェースの UP によって取得できます。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ipv6IfIdentifierLength {ipv6IfEntry 7}	R/NW	[規格] 該当インタフェースのアドレστοークンのビット長。 [実装] 64 固定。ただし、Read_Only です。	●
10	ipv6IfPhysicalAddress {ipv6IfEntry 8}	R/O	[規格] 該当インタフェースの物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ipv6IfAdminStatus {ipv6IfEntry 9}	R/NW	[規格] 該当インタフェースの active 状態。 <ul style="list-style-type: none"> • up (1) • down (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
12	ipv6IfOperStatus {ipv6IfEntry 10}	R/O	[規格] 該当インタフェースの動作状態。 <ul style="list-style-type: none"> • up (1) • down (2) • noIfIdentifier (3) • unknown (4) • notPresent (5) 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			[実装] up (1), down (2), testing (3) を応答。	
13	ipv6IfLastChange {ipv6IfEntry 11}	R/O	[規格] 該当インタフェースの動作状態が最後に変化したときの sysUpTime の値。 [実装] 規格に同じ。	●

2.15.3 ipv6IfStatsTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6IfStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.6

(2) 実装仕様

ipv6IfStatsTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-45 ipv6IfStatsTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfStatsTable {ipv6MIBObjects 6}	NA	[規格] IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6IfStatsEntry {ipv6IfStatsTable 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報エントリ。 INDEX { ipv6IfIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6IfStatsInReceives {ipv6IfStatsEntry 1}	R/O	[規格] 受信したデータグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲
4	ipv6IfStatsInHdrErrors {ipv6IfStatsEntry 2}	R/O	[規格] V6 ヘッダのエラーによって廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲
5	ipv6IfStatsInTooBigErrors {ipv6IfStatsEntry 3}	R/O	[規格] MTU 長オーバーのため中継できなかった受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6IfStatsInNoRoutes {ipv6IfStatsEntry 4}	R/O	[規格] 該当ルートなしのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6IfStatsInAddrErrors {ipv6IfStatsEntry 5}	R/O	[規格] V6 アドレスが有効ではないため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6IfStatsInUnknownProtos {ipv6IfStatsEntry 6}	R/O	[規格] 未サポートプロトコルのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	ipv6IfStatsInTruncatedPkts {ipv6IfStatsEntry 7}	R/O	[規格] 不完全なデータのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ipv6IfStatsInDiscards {ipv6IfStatsEntry 8}	R/O	[規格] データ自身には問題がないが廃棄（リソース不足など）された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲
11	ipv6IfStatsInDelivers {ipv6IfStatsEntry 9}	R/O	[規格] IPV6 上位レイヤに通知したデータグラム数（ICMP 含む）。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ipv6IfStatsOutForwDatagrams {ipv6IfStatsEntry 10}	R/O	[規格] 中継されて送信したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲
13	ipv6IfStatsOutRequests {ipv6IfStatsEntry 11}	R/O	[規格] 自 V6 プロトコルから送信しようとしたデータグラム数（ICMP 含む）。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ipv6IfStatsOutDiscards {ipv6IfStatsEntry 12}	R/O	[規格] データ自身には問題がないが廃棄（リソース不足など）された送信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲
15	ipv6IfStatsOutFragOKs {ipv6IfStatsEntry 13}	R/O	[規格] 出力インタフェースでフラグメント 1 に成功したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ipv6IfStatsOutFragFails {ipv6IfStatsEntry 14}	R/O	[規格] フラグメントに失敗した送信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ipv6IfStatsOutFragCreates {ipv6IfStatsEntry 15}	R/O	[規格] フラグメントした結果生成された送信データグラムフラグメント数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ipv6IfStatsReasmReqds {ipv6IfStatsEntry 16}	R/O	[規格] そのインタフェースでリアセンブルを必要としたデータグラムフラグメント数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	ipv6IfStatsReasmOKs {ipv6IfStatsEntry 17}	R/O	[規格] リアセンブルに成功したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	ipv6IfStatsReasmFails {ipv6IfStatsEntry 18}	R/O	[規格] リアセンブルに失敗した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	ipv6IfStatsInMcastPkts {ipv6IfStatsEntry 19}	R/O	[規格] 受信したマルチキャストパケット数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲
22	ipv6IfStatsOutMcastPkts {ipv6IfStatsEntry 20}	R/O	[規格] 送信したマルチキャストパケット数。 [実装] 規格に同じ。0 固定。	▲

2.15.4 ipv6AddrPrefixTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6AddrPrefixTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.7

(2) 実装仕様

ipv6AddrPrefixTable の実装仕様を次の表に示します。

なお、本 MIB で扱うプレフィックス情報は、RA（ルータ広告）で配布するプレフィックス情報が対象となります。

表 2-46 ipv6AddrPrefixTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6AddrPrefixTable {ipv6MIBObjects 7}	NA	[規格] IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6AddrPrefixEntry {ipv6AddrPrefixTable 1}	NA	[規格] アドレス prefix のエントリ。 INDEX { ipv6IfIndex, ipv6AddrPrefix, ipv6AddrPrefixLength } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6AddrPrefix {ipv6AddrPrefixEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースの prefix。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6AddrPrefixLength {ipv6AddrPrefixEntry 2}	NA	[規格] prefix の長さ（単位：ビット）。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6AddrPrefixOnLinkFlag {ipv6AddrPrefixEntry 3}	R/O	[規格] Autonomous アドレスフラグ。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6AddrPrefixAutonomousFlag {ipv6AddrPrefixEntry 4}	R/O	[規格] Autonomous アドレスフラグ。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6AddrPrefixAdvPreferredLifetime	R/O	[規格] プリファードライフタイム（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{ipv6AddrPrefixEntry 5}			
8	ipv6AddrPrefixAdvVal idLifetime {ipv6AddrPrefixEntry 6}	R/O	[規格] ヴァリッドライフタイム (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●

2.15.5 ipv6AddrTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6AddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.8

(2) 実装仕様

ipv6AddrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-47 ipv6AddrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6AddrTable {ipv6MIBObjects 8}	NA	[規格] インタフェースアドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6AddrEntry {ipv6AddrTable 1}	NA	[規格] インタフェースアドレスエントリ。 INDEX { ipv6IfIndex, ipv6AddrAddress } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6AddrAddress {ipv6AddrEntry 1}	NA	[規格] IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6AddrPfxLength {ipv6AddrEntry 2}	R/O	[規格] prefix レングス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6AddrType {ipv6AddrEntry 3}	R/O	[規格] アドレスタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • stateless (1) • stateful (2) • unknown (3) [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6AddrAnycastFlag {ipv6AddrEntry 4}	R/O	[規格] Anycast アドレスかどうかのフラグ。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ipv6AddrStatus {ipv6AddrEntry 5}	R/O	[規格] アドレスステータス。 <ul style="list-style-type: none"> • preferred (1) • deprecated (2) • invalid (3) • inaccessible (4) • unknown (5) [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6RouteNumber {ipv6MIBObjects 9}	R/O	[規格] 有効な V6 ルーティングエントリの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ipv6DiscardedRoutes {ipv6MIBObjects 10}	R/O	[規格] 有効であっても廃棄された V6 ルーティングエントリの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.15.6 ipv6RouteTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6RouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 11}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.11

(2) 実装仕様

ipv6RouteTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-48 ipv6RouteTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6RouteTable {ipv6MIBObjects 11}	NA	[規格] IPv6 ルーティングテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6RouteEntry {ipv6RouteTable 1}	NA	[規格] IPv6 ルーティングエントリ。 INDEX { ipv6RouteDest, ipv6RoutePfxLength, ipv6RouteIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6RouteDest {ipv6RouteEntry 1}	NA	[規格] V6Dest アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6RoutePfxLength {ipv6RouteEntry 2}	NA	[規格] prefix レンクス (ビット長)。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ipv6RouteIndex {ipv6RouteEntry 3}	NA	[規格] ルートのインデックス。 [実装] 1 固定。	●
6	ipv6RouteIfIndex {ipv6RouteEntry 4}	R/O	[規格] IPv6 インタフェースインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6RouteNextHop {ipv6RouteEntry 5}	R/O	[規格] ネクストホップ。ネクストホップがない場合 "::0"。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6RouteType {ipv6RouteEntry 6}	R/O	[規格] ルートのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • discard (2) • local (3) • remote (4) [実装] 規格に同じ。	●
9	ipv6RouteProtocol {ipv6RouteEntry 7}	R/O	[規格] このルートを学習したルーティングメカニズム。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • local (2) • netmgmt (3) • ndisc (4) • rip (5) • ospf (6) • bgp (7) • idrp (8) • igrp (9) [実装] <ul style="list-style-type: none"> • 次に示す以外のすべての経路：other (1) • ダイレクト経路：local (2) • スタティック経路：netmgmt (3) • RIPng 経路：rip (5) • OSPFv3 経路：ospf (6) • BGP4+経路：bgp (7) 	●
10	ipv6RoutePolicy {ipv6RouteEntry 8}	R/O	[規格] ルートポリシー。 [実装] 0 固定。	▲
11	ipv6RouteAge {ipv6RouteEntry 9}	R/O	[規格] 最後に update してからの経過時間 (単位：秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ipv6RouteNextHopRDI {ipv6RouteEntry 10}	R/O	[規格] ネクストホップの RDI。 [実装] 0 固定。	▲
13	ipv6RouteMetric {ipv6RouteEntry 11}	R/O	[規格] ルーティングメトリック。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	ipv6RouteWeight {ipv6RouteEntry 12}	R/O	[規格] ルートの優先度（低い値が優先度が高い）。 [実装] 0 固定。	▲
15	ipv6RouteInfo {ipv6RouteEntry 13}	R/O	[規格] このルートを学習したルーティングプロトコル MIB へのリファレンス。 [実装] {0.0}固定。	●
16	ipv6RouteValid {ipv6RouteEntry 14}	R/NW	[規格] 有効かどうかのフラグ。 DEFVAL {true} [実装] true 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.15.7 ipv6NetToMediaTable

(1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6NetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.12

(2) 実装仕様

ipv6NetToMediaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-49 ipv6NetToMediaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6NetToMediaTable {ipv6MIBObjects 12}	NA	[規格] IPv6 アドレス変換テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6NetToMediaEntry {ipv6NetToMediaTable 1}	NA	[規格] フィジカルアドレスに対応した一つの IPv6 アドレスを含むエントリ。 INDEX { ipv6IfIndex, ipv6NetToMediaNetAddress } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6NetToMediaNetAddress {ipv6NetToMediaEntry 1}	NA	[規格] メディアに依存した物理アドレスに対応する IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6NetToMediaPhysAddress {ipv6NetToMediaEntry 2}	R/O	[規格] メディアに依存した物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6NetToMediaType {ipv6NetToMediaEntry 3}	R/O	[規格] マッピングのタイプ。 • other (1) • dynamic (2)	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> static (3) local (4) [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6IfNetToMediaState {ipv6NetToMediaEntry 4}	R/O	[規格] NDP テーブルの各エントリの到達可能性状態。 <ul style="list-style-type: none"> reachable (1) stale (2) delay (3) probe (4) invalid (5) unknown (6) [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6IfNetToMediaLastUpdated {ipv6NetToMediaEntry 5}	R/O	[規格] NDP テーブルの各エントリが最後に更新された時の sysUpTime。 [実装] 0 固定。	●
8	ipv6NetToMediaValid {ipv6NetToMediaEntry 6}	R/NW	[規格] エントリが有効かどうかを示すフラグ。 DEFVAL {true} [実装] true 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.16 ipv6IcmpMIB グループ(ICMPv6 MIB)

ipv6IcmpMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC2466 (1998 年 12 月)

(1) 識別子

ipv6IcmpMIB MODULE-IDENTITY ::= {mib-2 56}

ipv6IcmpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6IcmpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.56.1

(2) 実装仕様

ipv6IcmpMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-50 ipv6IcmpMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfIcmpTable {ipv6IcmpMIBObjects 1}	NA	[規格] IPv6 ICMP 統計情報。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ipv6IfIcmpEntry {ipv6IfIcmpTable 1}	NA	[規格] ICMPv6 統計情報エントリ。 INDEX { ipv6IfEntry } [実装] 規格に同じ。	●
3	ipv6IfIcmpInMsgs {ipv6IfIcmpEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースで受信した ICMP メッセージの総数 (エラーを含む)。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ipv6IfIcmpInErrors {ipv6IfIcmpEntry 2}	R/O	[規格] 受信した ICMP メッセージでエラーを検出したメッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ipv6IfIcmpInDestUnreachs {ipv6IfIcmpEntry 3}	R/O	[規格] DestUnreachs の受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ipv6IfIcmpInAdminProhibs {ipv6IfIcmpEntry 4}	R/O	[規格] DestUnreachs 内の AdminProhibit メッセージを受信した総数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ipv6IfIcmpInTimeExcds {ipv6IfIcmpEntry 5}	R/O	[規格] TimeExceed 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ipv6IfIcmpInParmProblems {ipv6IfIcmpEntry 6}	R/O	[規格] ParmProblem 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ipv6IfIcmpInPktTooBig {ipv6IfIcmpEntry 7}	R/O	[規格] PktTooBig 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ipv6IfIcmpInEchos {ipv6IfIcmpEntry 8}	R/O	[規格] Echo 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ipv6IfIcmpInEchoReplies {ipv6IfIcmpEntry 9}	R/O	[規格] EchoReply 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ipv6IfIcmpInRouterSolicits {ipv6IfIcmpEntry 10}	R/O	[規格] RouterSolicit 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	ipv6IfIcmpInRouterAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 11}	R/O	[規格] RouterAdvertisement 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ipv6IfIcmpInNeighborSolicits {ipv6IfIcmpEntry 12}	R/O	[規格] NeighborSolicit 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	ipv6IfIcmpInNeighborAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 13}	R/O	[規格] Neighbor Advertisement 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ipv6IfIcmpInRedirects {ipv6IfIcmpEntry 14}	R/O	[規格] Redirect 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ipv6IfIcmpInGroupMemberQueries {ipv6IfIcmpEntry 15}	R/O	[規格] GroupMemberQuery 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	ipv6IfIcmpInGroupMemberResponses {ipv6IfIcmpEntry 16}	R/O	[規格] GroupMemberResponse 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
19	ipv6IfIcmpInGroupMemberReductions {ipv6IfIcmpEntry 17}	R/O	[規格] GroupMemberReduction 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
20	ipv6IfIcmpOutMsgs {ipv6IfIcmpEntry 18}	R/O	[規格] このインタフェースで送信した ICMP メッセージの総数（エラーを含む）。 [実装] 規格に同じ。	●
21	ipv6IfIcmpOutErrors {ipv6IfIcmpEntry 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP メッセージでエラーを検出したメッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。さらに MTU 長が 1280 以下のインタフェースで、IPv4 over IPv6 トンネルを設定した場合、エラーとなったパケット数。	●
22	ipv6IfIcmpOutDestUnreaches {ipv6IfIcmpEntry 20}	R/O	[規格] DestUnreaches の送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	ipv6IfIcmpOutAdminProhibits	R/O	[規格] DestUnreaches 内の AdminProhibit メッセージを送信した総数。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{ipv6IfIcmpEntry 21}		[実装] 規格に同じ。	
24	ipv6IfIcmpOutTimeEx cds {ipv6IfIcmpEntry 22}	R/O	[規格] TimeExceed 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	ipv6IfIcmpOutParmPr oblems {ipv6IfIcmpEntry 23}	R/O	[規格] ParmProblem 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
26	ipv6IfIcmpOutPktToo Bigs {ipv6IfIcmpEntry 24}	R/O	[規格] PktTooBig 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
27	ipv6IfIcmpOutEchos {ipv6IfIcmpEntry 25}	R/O	[規格] Echo 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
28	ipv6IfIcmpOutEchoRe plies {ipv6IfIcmpEntry 26}	R/O	[規格] EchoReply 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
29	ipv6IfIcmpOutRouterS olicits {ipv6IfIcmpEntry 27}	R/O	[規格] RouterSolicit 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
30	ipv6IfIcmpOutRouterA dvertisements {ipv6IfIcmpEntry 28}	R/O	[規格] RouterAdvertisement 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
31	ipv6IfIcmpOutNeighb orSolicits {ipv6IfIcmpEntry 29}	R/O	[規格] NeighborSolicit 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
32	ipv6IfIcmpOutNeighb orAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 30}	R/O	[規格] Neighbor Advertisement 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
33	ipv6IfIcmpOutRedirect s {ipv6IfIcmpEntry 31}	R/O	[規格] Redirect 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
34	ipv6IfIcmpOutGroupM embQueries {ipv6IfIcmpEntry 32}	R/O	[規格] GroupMemberQuery 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
35	ipv6IfIcmpOutGroupM embResponses {ipv6IfIcmpEntry 33}	R/O	[規格] GroupMemberResponse 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●
36	ipv6IfIcmpOutGroupM embReductions {ipv6IfIcmpEntry 34}	R/O	[規格] GroupMemberReduction 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.17 vrrpMIB グループ

vrrpMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC2787 (2000 年 3 月)
- draft-ietf-vrrp-unified-mib-04 (2005 年 9 月)

2.17.1 vrrpOperations グループ

(1) 識別子

vrrpMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 68}

vrrpOperations OBJECT IDENTIFIER ::= {vrrpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.68.1

(2) 実装仕様

vrrpOperations グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-51 vrrpOperations グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vrrpNodeVersion {vrrpOperations 1}	R/O	[規格] 本装置でサポートしている VRRP のバージョン。 [実装] 規格に同じ。	●
2	vrrpNotificationCntl {vrrpOperations 2}	R/NW	[規格] VRRP 用 SNMP 通知の送信有無。 • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
3	vrrpOperTable {vrrpOperations 3}	NA	[規格] VRRP ルータのためのオペレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。＊	●
4	vrrpOperEntry {vrrpOperTable 1}	NA	[規格] vrrpOper テーブルのエントリ。 INDEX { ifIndex, vrrpOperVrId } [実装] 規格に同じ。	●
5	vrrpOperVrId {vrrpOperEntry 1}	NA	[規格] 仮想ルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	vrrpOperVirtualMacAddr {vrrpOperEntry 2}	R/O	[規格] 仮想ルータの仮想 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
7	vrrpOperState {vrrpOperEntry 3}	R/O	[規格] 現在の VRRP 動作状態。 • initialize (1) • backup (2) • master (3) [実装] 規格に同じ。	●
8	vrrpOperAdminState	R/NW	[規格] VRRP 機能の enable/disable 状態。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{vrrpOperEntry 4}		<ul style="list-style-type: none"> • up (1) • down (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
9	vrrpOperPriority {vrrpOperEntry 5}	R/NW	[規格] 仮想ルータの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	vrrpOperIpAddrCount {vrrpOperEntry 6}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス数。 [実装] 1 固定。	●
11	vrrpOperMasterIpAddr {vrrpOperEntry 7}	R/O	[規格] マスタルータの実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
12	vrrpOperPrimaryIpAddr {vrrpOperEntry 8}	R/NW	[規格] 仮想ルータが使用する実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	vrrpOperAuthType {vrrpOperEntry 9}	R/NW	[規格] 仮想ルータ間で交換される VRRP プロトコルの認証タイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • noAuthentication (1) : VRRP protocol exchanges are not authenticated. • simpleTextPassword (2) : Exchanges are authenticated by a clear text password. • ipAuthenticationHeader (3) : Exchanges are authenticated using the IP authentication header. [実装] 認証なし、またはテキストだけ。ただし、Read_Only です。	●
14	vrrpOperAuthKey {vrrpOperEntry 10}	R/NW	[規格] vrrpOperAuthType の値によって設定される認証用のキー。 [実装] 認証用のキーは返しません。	●
15	vrrpOperAdvertisementInterval {vrrpOperEntry 11}	R/NW	[規格] VRRP パケットの送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
16	vrrpOperPreemptMode {vrrpOperEntry 12}	R/NW	[規格] 優先度の高い仮想ルータが、優先度の低い仮想ルータの代行を行うかの制御をします。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
17	vrrpOperVirtualRouterUpTime {vrrpOperEntry 13}	R/O	[規格] 仮想ルータの動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。	●
18	vrrpOperProtocol {vrrpOperEntry 14}	R/NW	[規格] 仮想ルータの動作プロトコル。 <ul style="list-style-type: none"> • ip (1) • bridge (2) • decnet (3) • other (4) [実装] ip (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
19	vrrpOperRowStatus {vrrpOperEntry 15}	R/NW	[規格] vrrpOperTable のアクセス状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	vrrpAssoIpAddrTable {vrrpOperations 4}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。＊	●
21	vrrpAssoIpAddrEntry {vrrpAssoIpAddrTable 1}	NA	[規格] vrrpAssoIpAddr テーブルのエントリ。 INDEX { ifIndex, vrrpOperVrId, vrrpAssoIpAddr } [実装] 規格に同じ。	●
22	vrrpAssoIpAddr {vrrpAssoIpAddrEntry 1}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
23	vrrpAssoIpAddrRowStatus {vrrpAssoIpAddrEntry 2}	R/NW	[規格] vrrpAssoIpAddrTable のアクセス状態。 • active (1) • createAndGo (4) [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
24	vrrpTrapPacketSrc {vrrpOperations 5}	AN	[規格] IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
25	vrrpTrapAuthErrorType {vrrpOperations 6}	AN	[規格] 認証タイプの不一致要因。 • invalidAuthType (1) • authTypeMismatch (2) • authFailure (3) [実装] 規格に同じ。	●
26	vrrpOperationsTable {vrrpOperations 7}	NA	[規格] VRRP ルータのためのオペレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。＊	●
27	vrrpOperationsEntry {vrrpOperationsTable 1}	NA	[規格] vrrpOper テーブルのエントリ。 INDEX { vrrpOperationsInetAddrType, vrrpOperationsVrId, ifIndex } [実装] 規格に同じ。	●
28	vrrpOperationsInetAddrType {vrrpOperationsEntry 1}	NA	[規格] 現在のタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	●
29	vrrpOperationsVrId {vrrpOperationsEntry 2}	NA	[規格] 仮想ルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
30	vrrpOperationsVirtualMacAddr	R/O	[規格] 仮想ルータの仮想 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{vrrpOperationsEntry 3}			
31	vrrpOperationsState {vrrpOperationsEntry 4}	R/O	[規格] 現在の VRRP 動作状態。 <ul style="list-style-type: none"> • initialize (1) • backup (2) • master (3) [実装] 規格に同じ。	●
32	vrrpOperationsPriority {vrrpOperationsEntry 5}	R/NW	[規格] 仮想ルータの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
33	vrrpOperationsVersion {vrrpOperationsEntry 6}	R/NW	[規格] 実行している VRRP のバージョン。 <ul style="list-style-type: none"> • vrrpv2 (1) • vrrpv3 (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
34	vrrpOperationsAddrCount {vrrpOperationsEntry 7}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス数。 [実装] 1 固定。	●
35	vrrpOperationsMasterIpAddress {vrrpOperationsEntry 9}	R/O	[規格] マスタルータの実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
36	vrrpOperationsPrimaryIpAddress {vrrpOperationsEntry 10}	R/NW	[規格] 仮想ルータが使用する実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
37	vrrpOperationsAdvInterval {vrrpOperationsEntry 11}	R/NW	[規格] VRRP パケットの送信間隔 (単位: 1/100 秒)。 1~4096。 [実装] 100~25500。ただし、Read_Only です。	●
38	vrrpOperationsPreemptMode {vrrpOperationsEntry 12}	R/NW	[規格] 優先度の高い仮想ルータが、優先度の低い仮想ルータの代行を行うかの制御をする。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
39	vrrpOperationsAcceptMode {vrrpOperationsEntry 13}	R/NW	[規格] アドレスオーナーではない場合でも仮想 IP 宛のパケットを受信するかを制御をする。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
40	vrrpOperationsUpTime {vrrpOperationsEntry 14}	R/O	[規格] 仮想ルータの動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{vrrpOperationsEntry 14}			
41	vrrpOperationsRowStatus {vrrpOperationsEntry 15}	R/NW	[規格] vrrpOperTable のアクセス状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
42	vrrpAssociatedIpAddressTable {vrrpOperations 8}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。＊	●
43	vrrpAssociatedIpAddressEntry {vrrpAssociatedIpAddressTable 1}	NA	[規格] vrrpAssoIpAddress テーブルのエントリ。 INDEX { vrrpAssociatedInetAddressType, vrrpOperationsVrId, ifIndex, vrrpAssociatedIpAddress } [実装] 規格に同じ。	●
44	vrrpAssociatedInetAddressType {vrrpAssociatedIpAddressEntry2}	NA	[規格] vrrpAssociatedIpAddress のアドレスタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	●
45	vrrpAssociatedIpAddress {vrrpAssociatedIpAddressEntry 3}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
46	vrrpAssociatedIpAddressRowStatus {vrrpAssociatedIpAddressEntry 4}	R/NW	[規格] vrrpAssoIpAddressTable のアクセス状態。 • active (1) • createAndGo (4) • createAndWait (5) [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
47	vrrpTrapNewMasterReason {vrrpOperations 9}	AN	[規格] マスタに遷移した契機。 • priority (0) • preempted (1) • masterNoResponse (2) [実装] 規格に同じ。	●
48	vrrpTrapProtoErrReason {vrrpOperations 10}	AN	[規格] アドバタイズパケットを破棄した理由。 • hopLimitError (0) • versionError (1) • checksumError (2) • vridError (3) [実装] 規格に同じ。	●

注※ MIB を取得するときに、CPU 使用率が 100%になる、MIB 取得でタイムアウトが起こる、VRRP の状態が同時にマスタになるまたは VRRP の状態が頻繁に切り替わることがあります。連続して MIB を取得する場合、間隔を空けて、次の MIB を取得してください。

2.17.2 vrrpStatistics グループ

(1) 識別子

vrrpMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 68}

vrrpStatistics OBJECT IDENTIFIER ::= {vrrpMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.68.2

(2) 実装仕様

vrrpStatistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-52 vrrpStatistics グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vrrpRouterChecksumErrors {vrrpStatistics 1}	R/O	[規格] チェックサム不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	vrrpRouterVersionErrors {vrrpStatistics 2}	R/O	[規格] バージョン不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	vrrpRouterVrIdErrors {vrrpStatistics 3}	R/O	[規格] 仮想ルータの VRID 不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	vrrpRouterStatsTable {vrrpStatistics 4}	NA	[規格] 仮想ルータの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。*	●
5	vrrpRouterStatsEntry {vrrpRouterStatsTable 1}	NA	[規格] vrrpRouterStats テーブルのエントリ。 INDEX { ifIndex, vrrpOperVrId } [実装] 規格に同じ。	●
6	vrrpStatsBecomeMaster {vrrpRouterStatsEntry 1}	R/O	[規格] マスタへ遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	vrrpStatsAdvertiseRcvd {vrrpRouterStatsEntry 2}	R/O	[規格] VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	vrrpStatsAdvertiseIntervalErrors {vrrpRouterStatsEntry 3}	R/O	[規格] ADVERTISEMENT インターバル不正で受信した、VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	vrrpStatsAuthFailures	R/O	[規格] VRRP 認証エラーパケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{vrrpRouterStatsEntry 4}			
10	vrrpStatsIpTtlErrors {vrrpRouterStatsEntry 5}	R/O	[規格] VRRP 不正 TTL パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
11	vrrpStatsPriorityZeroPktsRcvd {vrrpRouterStatsEntry 6}	R/O	[規格] 優先度 0 である VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	vrrpStatsPriorityZeroPktsSent {vrrpRouterStatsEntry 7}	R/O	[規格] 優先度 0 の VRRP パケットの総送信数。 [実装] 規格に同じ。	●
13	vrrpStatsInvalidTypePktsRcvd {vrrpRouterStatsEntry 8}	R/O	[規格] Type フィールド不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	vrrpStatsAddressListErrors {vrrpRouterStatsEntry 9}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
15	vrrpStatsInvalidAuthType {vrrpRouterStatsEntry 10}	R/O	[規格] 認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
16	vrrpStatsAuthTypeMismatch {vrrpRouterStatsEntry 11}	R/O	[規格] 認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	vrrpStatsPacketLengthErrors {vrrpRouterStatsEntry 12}	R/O	[規格] length 値不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
18	vrrpRouterStatisticsTable {vrrpStatistics 5}	NA	[規格] 仮想ルータの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。※	●
19	vrrpRouterStatisticsEntry {vrrpRouterStatisticsTable 1}	NA	[規格] vrrpRouterStatistics テーブルのエントリ。 INDEX { vrrpOperationsInetAddrType, vrrpOperationsVrId, ifIndex } [実装] 規格に同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
20	vrrpStatisticsBecomeMaster {vrrpRouterStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] マスタへ遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
21	vrrpStatisticsAdvertiseRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	vrrpStatisticsAdvIntervalErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] ADVERTISEMENT インターバル不正で受信した, VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	vrrpStatisticsIpTtlErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 4}	R/O	[規格] VRRP 不正 TTL パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	vrrpStatisticsPriZeroPktsRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 5}	R/O	[規格] 優先度 0 である VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
25	vrrpStatisticsPriZeroPktsSent {vrrpRouterStatisticsEntry 6}	R/O	[規格] 優先度 0 の VRRP パケットの総送信数。 [実装] 規格に同じ。	●
26	vrrpStatisticsInvalidTypePktsRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 7}	R/O	[規格] Type フィールド不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
27	vrrpStatisticsAddressListErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 8}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
28	vrrpStatisticsPacketLengthErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 11}	R/O	[規格] length 値不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
29	vrrpStatisticsDiscontinuityTime {vrrpRouterStatisticsEntry 12}	R/O	[規格] 最新の動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。	●
30	vrrpStatisticsRefreshRate	R/O	[規格] 最小のポーリング間隔 (単位: ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{vrpRouterStatisticsEntry 13}			
31	vrpStatisticsInvalidAuthType {vrpRouterStatisticsEntry 14}	R/O	[規格] パケット認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	●

注※ MIB を取得するときに、CPU 使用率が 100% になる、MIB 取得でタイムアウトが起こる、VRRP の状態が同時にマスタになるまたは VRRP の状態が頻繁に切り替わることがあります。連続して MIB を取得する場合、間隔を空けて、次の MIB を取得してください。

2.18 pimMIB グループ(IPv4 PIM MIB)

pimMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC2934 (2000 年 10 月)

2.18.1 pimJoinPruneInterval

(1) 識別子

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1
pimJoinPruneInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.1

(2) 実装仕様

pimJoinPruneInterval の実装仕様を次の表に示します。

表 2-53 pimJoinPruneInterval の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimJoinPruneInterval {pim 1}	R/NW	[規格] PIM-SM Join/Prune メッセージ送信周期のデフォルト値 (単位: 秒)。 [実装] 60 固定。	●

2.18.2 pimInterfaceTable

(1) 識別子

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1
pimInterfaceTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.2

(2) 実装仕様

pimInterfaceTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-54 pimInterfaceTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimInterfaceTable {pim 2}	NA	[規格] PIM インタフェース表。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	pimInterfaceEntry {pimInterfaceTable 1}	NA	[規格] PIM インタフェース表のエントリ。 INDEX { pimInterfaceIfIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	pimInterfaceIfIndex {pimInterfaceEntry 1}	NA	[規格] PIM インタフェースの ifIndex 値。 [実装] 規格に同じ。	●
4	pimInterfaceAddress {pimInterfaceEntry 2}	R/O	[規格] PIM インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	pimInterfaceNetMask {pimInterfaceEntry 3}	R/O	[規格] PIM インタフェースの IP アドレスのネットワークマスク。 [実装] 規格に同じ。	●
6	pimInterfaceMode {pimInterfaceEntry 4}	R/NW	[規格] PIM インタフェースのモード。 • dense (1) • sparse (2) • sparseDense (3) DEFVAL {dense} [実装] sparse (2) 固定。	●
7	pimInterfaceDR {pimInterfaceEntry 5}	R/O	[規格] PIM インタフェースの Designated Router アドレス。ポイント-ポイント接続のインタフェースの場合は 0.0.0.0 を返す。 [実装] 規格に同じ。	●
8	pimInterfaceHelloInterval {pimInterfaceEntry 6}	R/NW	[規格] PIM インタフェースの Hello メッセージの送信周期 (単位: 秒)。 DEFVAL {30} [実装] 規格に同じ。	●
9	pimInterfaceStatus {pimInterfaceEntry 7}	R/NW	[規格] RowStatus。 [実装] active (1) 固定。	●
10	pimInterfaceJoinPruneInterval {pimInterfaceEntry 8}	R/NW	[規格] PIM インタフェースの Join/Prune メッセージの送信周期 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
11	pimInterfaceCBSPReference {pimInterfaceEntry 9}	R/NW	[規格] BSR 候補としてのこのインタフェースのプリファレンス値。BSR 候補でない場合は-1。 DEFVAL {0} [実装] -1 固定。	●

2.18.3 pimNeighborTable

(1) 識別子

```

pimMIB          OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim              OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

```


pimNeighborTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.3

(2) 実装仕様

pimNeighborTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-55 pimNeighborTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	pimNeighborTable {pim 3}	NA	[規格] PIM 隣接ルータ表。 [実装] 規格に同じ。	●
2	pimNeighborEntry {pimNeighborTable 1}	NA	[規格] PIM 隣接ルータ表エントリ。 INDEX { pimNeighborAddress } [実装] 規格に同じ。	●
3	pimNeighborAddress {pimNeighborEntry 1}	NA	[規格] PIM 隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
4	pimNeighborIfIndex {pimNeighborEntry 2}	R/O	[規格] PIM 隣接ルータに至るインタフェースの ifIndex 値。 [実装] 規格に同じ。	●
5	pimNeighborUpTime {pimNeighborEntry 3}	R/O	[規格] PIM 隣接ルータを学習してからの経過時間(単位:10 ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
6	pimNeighborExpiryTi me {pimNeighborEntry 4}	R/O	[規格] PIM 隣接ルータの生存残時間(単位:10 ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
7	pimNeighborMode {pimNeighborEntry 5}	R/O	[規格] PIM 隣接ルータの PIM モード。 <ul style="list-style-type: none"> • dense (1) • sparse (2) [実装] sparse (2) 固定。	●

2.19 ospfv3MIB グループ(OSPFv3 MIB) 【OS-L3A】

ospfv3MIB グループの準拠規格を次に示します。

- draft-ietf-ospf-ospfv3-mib-03 (2000 年 11 月)

OSPFv3 ドメインを分割しているとき、本 MIB はドメイン番号が最小のドメインの情報だけが対象となります。

2.19.1 ospfv3GeneralGroup

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3GeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.1
```

(2) 実装仕様

ospfv3GeneralGroup の実装仕様を次の表に示します。

表 2-56 ospfv3GeneralGroup の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3RouterId {ospfv3GeneralGroup 1}	R/NW	[規格] 自律システム内のルータ識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
2	ospfv3AdminStat {ospfv3GeneralGroup 2}	R/NW	[規格] ルータの OSPFv3 管理状態。 • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
3	ospfv3VersionNumber {ospfv3GeneralGroup 3}	R/O	[規格] OSPFv3 プロトコルのバージョン番号。 [実装] 規格に同じ (version3 固定)。	●
4	ospfv3AreaBdrRtrStatus {ospfv3GeneralGroup 4}	R/O	[規格] そのルータがエリアボーダールータかどうかを示します。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3ASBdrRtrStatus {ospfv3GeneralGroup 5}	R/NW	[規格] そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfv3AsScopeLsaCount	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{ospfv3GeneralGroup 6}			
7	ospfv3AsScopeLsaChecksumSum {ospfv3GeneralGroup 7}	R/O	[規格] LSDB 中の AsScopeLSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3OriginateNewLsas {ospfv3GeneralGroup 8}	R/O	[規格] 生成された新しい LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3RxNewLsas {ospfv3GeneralGroup 9}	R/O	[規格] 新しい情報を持った LSA を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3ExtAreaLsdbLimit {ospfv3GeneralGroup 10}	R/NW	[規格] LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	●
11	ospfv3MulticastExtensions {ospfv3GeneralGroup 11}	R/NW	[規格] マルチキャスト拡張版 OSPFv3 のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。 [実装] マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfv3ExitOverflowInterval {ospfv3GeneralGroup 12}	R/NW	[規格] ルータがオーバフローステータスになるまでの時間 (単位：秒)。 [実装] 未実装。※	×
13	ospfv3DemandExtensions {ospfv3GeneralGroup 13}	R/NW	[規格] このルータでの Demand ルーティングのサポート。 • true (1) • false (2) [実装] false (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
14	ospfv3TrafficEngineeringSupport {ospfv3GeneralGroup 14}	R/NW	[規格] このルータでのトラフィックエンジニアリング拡張のサポート。 • true (1) • false (2) [実装] false (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●

注※ 拡張機能未サポートのため、未実装です。

2.19.2 ospfv3AreaTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```

ospfv3AreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.2

(2) 実装仕様

ospfv3AreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-57 ospfv3AreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaTable {ospfv3 2}	NA	[規格] ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3AreaEntry {ospfv3AreaTable 1}	NA	[規格] 各エリアの情報リスト。 INDEX { ospfv3AreaId } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3AreaId {ospfv3AreaEntry 1}	R/O	[規格] エリアを識別する番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3ImportAsExtern {ospfv3AreaEntry 2}	R/NW	[規格] そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 <ul style="list-style-type: none"> • importExternal (1) • importNoExternal (2) • importNssa (3) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ospfv3SpfRuns {ospfv3AreaEntry 3}	R/O	[規格] このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3AreaBdrRtrCount {ospfv3AreaEntry 4}	R/O	[規格] このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3AsBdrRtrCount {ospfv3AreaEntry 5}	R/O	[規格] このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3AreaScopeLsaCount {ospfv3AreaEntry 6}	R/O	[規格] このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3AreaScopeLsaCksumSum {ospfv3AreaEntry 7}	R/O	[規格] このエリアの LSDB 中の AreaScopeLSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3AreaSummary {ospfv3AreaEntry 8}	R/NW	[規格] エリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 <ul style="list-style-type: none"> • noAreaSummary (1) • sendAreaSummary (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
11	ospfv3AreaStatus	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{ospfv3AreaEntry 9}		[実装] active (1) 固定。ただし, Read_Only です。	
12	ospfv3StubMetric {ospfv3AreaEntry 10}	R/NW	[規格] Stub または NSSA エリアに広告するデフォルトルートメトリック値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●
13	ospfv3AreaNssaTranslatorRole {ospfv3AreaEntry 11}	R/NW	[規格] NSSA ポーダルータの NSSA トランスレータとしての役割。 [実装] 未実装。*	×
14	ospfv3AreaNssaTranslatorState {ospfv3AreaEntry 12}	R/O	[規格] NSSA トランスレータの状態。 [実装] 未実装。*	×
15	ospfv3AreaNssaTranslatorStabilityInterval {ospfv3AreaEntry 13}	R/NW	[規格] NSSA トランスレータの Stability Interval。 [実装] 未実装。*	×
16	ospfv3AreaNssaTranslatorEvents {ospfv3AreaEntry 14}	R/O	[規格] NSSA トランスレータのイベント数。 [実装] 未実装。*	×

注※ NSSA 未サポートのため, 未実装です。

2.19.3 ospfv3AsLsdbTable

(1) 識別子

ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AsLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.3

(2) 実装仕様

ospfv3AsLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-58 ospfv3AsLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AsLsdbTable {ospfv3 3}	NA	[規格] OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3AsLsdbEntry {ospfv3AsLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfv3AsLsdbType, ospfv3AsLsdbRouterId, ospfv3AsLsdbLsid } [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ospfv3AsLsdbType {ospfv3AsLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 • asExternal (0x4005) [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3AsLsdbRouterId {ospfv3AsLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3AsLsdbLsid {ospfv3AsLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3AsLsdbSequence {ospfv3AsLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3AsLsdbAge {ospfv3AsLsdbEntry 5}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3AsLsdbChecksum {ospfv3AsLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3AsLsdbAdvertisement {ospfv3AsLsdbEntry 7}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	●

2.19.4 ospfv3AreaLsdbTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AreaLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.4
```

(2) 実装仕様

ospfv3AreaLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-59 ospfv3AreaLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaLsdbTable {ospfv3 4}	NA	[規格] OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3AreaLsdbEntry {ospfv3AreaLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfv3AreaLsdbAreaId, ospfv3AreaLsdbType,	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
			ospfv3AreaLsdbRouterId, ospfv3AreaLsdbLsid } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3AreaLsdbAreaId {ospfv3AreaLsdbEntry 1}	R/O	[規格] この LSA の受信元エリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3AreaLsdbType {ospfv3AreaLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ルータ (8193=0x2001) • ネットワーク (8194=0x2002) • interAreaPrefix (8195=0x2003) • interAreaRouter (8196=0x2004) • マルチキャスト (8198=0x2006) • nssa 外部リンク (8199=0x2007) • intraAreaPrefix (8201=0x2009) [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3AreaLsdbRouter Id {ospfv3AreaLsdbEntry 3}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3AreaLsdbLsid {ospfv3AreaLsdbEntry 4}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3AreaLsdbSeque nce {ospfv3AreaLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3AreaLsdbAge {ospfv3AreaLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3AreaLsdbCheck sum {ospfv3AreaLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3AreaLsdbAdvert isement {ospfv3AreaLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	●

2.19.5 ospfv3LinkLsdbTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3LinkLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.5
```

(2) 実装仕様

ospfv3LinkLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-60 ospfv3LinkLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3LinkLsdbTable {ospfv3 5}	NA	[規格] OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3LinkLsdbEntry {ospfv3LinkLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfv3LinkLsdbIfIndex, ospfv3LinkLsdbType, ospfv3LinkLsdbRouterId, ospfv3LinkLsdbLsid } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3LinkLsdbIfIndex {ospfv3LinkLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA を受信したリンクの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3LinkLsdbType {ospfv3LinkLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 • Link (0x0008) [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3LinkLsdbRouterId {ospfv3LinkLsdbEntry 3}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3LinkLsdbLsid {ospfv3LinkLsdbEntry 4}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3LinkLsdbSequence {ospfv3LinkLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3LinkLsdbAge {ospfv3LinkLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	ospfv3LinkLsdbChecksum {ospfv3LinkLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3LinkLsdbAdvertisement {ospfv3LinkLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	●

2.19.6 ospfv3IfTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.7
```

(2) 実装仕様

ospfv3IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-61 ospfv3IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3IfTable {ospfv3 7}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3IfEntry {ospfv3IfTable 1}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX { ospfv3IfIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3IfIndex {ospfv3IfEntry 1}	R/O	[規格] この OSPFv3 インタフェースのインタフェース Index。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3IfAreaId {ospfv3IfEntry 2}	R/NW	[規格] このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	ospfv3IfType {ospfv3IfEntry 3}	R/NW	[規格] インタフェースタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ブロードキャスト (1) • ノンブロードキャスト (2) • Point-Point (3) • Point-Multipoint (5) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfv3IfAdminStat {ospfv3IfEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースの管理状態。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfv3IfRtrPriority {ospfv3IfEntry 5}	R/NW	[規格] このインタフェースのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfv3IfTransitDelay {ospfv3IfEntry 6}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfv3IfRetransInterval {ospfv3IfEntry 7}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	ospfv3IfHelloInterval {ospfv3IfEntry 8}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
11	ospfv3IfRtrDeadInterval {ospfv3IfEntry 9}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
12	ospfv3IfPollInterval {ospfv3IfEntry 10}	R/NW	[規格] 非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfv3IfState {ospfv3IfEntry 11}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • loopback (2) • waiting (3) • PtoP (4) • DR (5) • BDR (6) • other (7) [実装] 規格に同じ。	●
14	ospfv3IfDesignatedRouter {ospfv3IfEntry 12}	R/O	[規格] デジグネーテッドルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
15	ospfv3IfBackupDesignatedRouter {ospfv3IfEntry 14}	R/O	[規格] バックアップデジグネーテッドルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
16	ospfv3IfEvents {ospfv3IfEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
17	ospfv3IfStatus {ospfv3IfEntry 17}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	ospfv3IfMulticastForwarding {ospfv3IfEntry 18}	R/NW	[規格] このインタフェースでマルチキャストする方法。 <ul style="list-style-type: none"> • blocked (1) • multicast (2) • unicast (3) [実装] blocked (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
19	ospfv3IfDemand {ospfv3IfEntry 19}	R/NW	[規格] このインタフェースで Demand OSPFv3 手順を行うかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] false (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
20	ospfv3IfMetricValue {ospfv3IfEntry 20}	R/NW	[規格] このインタフェースのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
21	ospfv3IfLinkScopeLsaCount {ospfv3IfEntry 21}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	●
22	ospfv3IfLinkLsaChecksum {ospfv3IfEntry 22}	R/O	[規格] LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●
23	ospfv3IfInstId {ospfv3IfEntry 23}	R/NW	[規格] この OSPFv3 インタフェースの InstanceID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.19.7 ospfv3VirtIfTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3VirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.8
```

(2) 実装仕様

ospfv3VirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-62 ospfv3VirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3VirtIfTable {ospfv3 8}	NA	[規格] ルータが接続する仮想リンクのインタフェース情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3VirtIfEntry {ospfv3VirtIfTable 1}	NA	[規格] 各仮想リンクのインタフェース情報リスト。 INDEX { ospfv3VirtIfAreaId, ospfv3VirtIfNeighbor }	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			[実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3VirtIfAreaId {ospfv3VirtIfEntry 1}	R/O	[規格] その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3VirtIfNeighbor {ospfv3VirtIfEntry 2}	R/O	[規格] 仮想の隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3VirtIfIndex {ospfv3VirtIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェースのインタフェース Index。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	ospfv3VirtIfTransitDelay {ospfv3VirtIfEntry 4}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfv3VirtIfRetransInterval {ospfv3VirtIfEntry 5}	R/NW	[規格] リンク状態広告（LSA）の再送信間隔（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfv3VirtIfHelloInterval {ospfv3VirtIfEntry 6}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfv3VirtIfRtrDeadInterval {ospfv3VirtIfEntry 7}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	ospfv3VirtIfState {ospfv3VirtIfEntry 8}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • PtoP (4) [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfv3VirtIfEvents {ospfv3VirtIfEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ospfv3VirtIfStatus {ospfv3VirtIfEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータス。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
13	ospfv3VirtIfLinkScopeLsaCount {ospfv3VirtIfEntry 11}	R/O	[規格] リンク状態データベース（LSDB）中の LinkScope リンク状態広告（LSA）の数。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ospfv3VirtIfLinkLsaChecksumSum {ospfv3VirtIfEntry 12}	R/O	[規格] LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	●

2.19.8 ospfv3NbrTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```

ospfv3NbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 9}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.9

(2) 実装仕様

ospfv3NbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-63 ospfv3NbrTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	ospfv3NbrTable {ospfv3 9}	NA	[規格] 仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3NbrEntry {ospfv3NbrTable 1}	NA	[規格] 各隣接局の情報リスト。 INDEX { ospfv3NbrIfIndex, ospfv3NbrIpv6Addr } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3NbrIfIndex {ospfv3NbrEntry 1}	R/O	[規格] 隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3NbrIpv6Addr {ospfv3NbrEntry 2}	R/O	[規格] 隣接ルータの IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3NbrRtrId {ospfv3NbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3NbrOptions {ospfv3NbrEntry 4}	R/O	[規格] 隣接ルータのオプションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3NbrPriority {ospfv3NbrEntry 5}	R/NW	[規格] 隣接ルータのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfv3NbrState {ospfv3NbrEntry 6}	R/O	[規格] この隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3NbrEvents {ospfv3NbrEntry 7}	R/O	[規格] 隣接ルータとの関係で、状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3NbrLsRetransQ Len {ospfv3NbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfv3NbmaNbrStatus	R/NW	[規格] このエントリの有効/無効を示します。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{ospfv3NbrEntry 9}		[実装] 未実装。※	
12	ospfv3NbmaNbrPermanence {ospfv3NbrEntry 10}	R/O	[規格] 隣接ルータを認識した方法。 • dynamic (1) • permanent (2) [実装] 未実装。※	×
13	ospfv3NbrHelloSuppressed {ospfv3NbrEntry 11}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
14	ospfv3NbrIfId {ospfv3NbrEntry 12}	R/O	[規格] 隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している Interface ID。 [実装] 規格に同じ。	●

注※ NBMA 未サポートのため、未実装です。

2.19.9 ospfv3VirtNbrTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3VirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.10
```

(2) 実装仕様

ospfv3VirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-64 ospfv3VirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3VirtNbrTable {ospfv3 10}	NA	[規格] 仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3VirtNbrEntry {ospfv3VirtNbrTable 1}	NA	[規格] 各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { ospfv3VirtNbrArea, ospfv3VirtNbrRtrId } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3VirtNbrArea {ospfv3VirtNbrEntry 1}	R/O	[規格] 通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3VirtNbrRtrId {ospfv3VirtNbrEntry 2}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3VirtNbrIfIndex {ospfv3VirtNbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。 [実装] 規格に同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
6	ospfv3VirtNbrIpv6Addr {ospfv3VirtNbrEntry 4}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータの IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
7	ospfv3VirtNbrOptions {ospfv3VirtNbrEntry 5}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのオプションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	●
8	ospfv3VirtNbrState {ospfv3VirtNbrEntry 6}	R/O	[規格] この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) [実装] 規格に同じ。	●
9	ospfv3VirtNbrEvents {ospfv3VirtNbrEntry 7}	R/O	[規格] この仮想リンクの状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
10	ospfv3VirtNbrLsRetransQLen {ospfv3VirtNbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	●
11	ospfv3VirtNbrHelloSuppressed {ospfv3VirtNbrEntry 9}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
12	ospfv3VirtNbrIfId {ospfv3VirtNbrEntry 10}	R/O	[規格] 隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している InterfaceID。 [実装] 規格に同じ。	●

2.19.10 ospfv3AreaAggregateTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.11
```

(2) 実装仕様

ospfv3AreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-65 ospfv3AreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaAggregateTable {ospfv3 11}	NA	[規格] Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	ospfv3AreaAggregateEntry {ospfv3AreaAggregateTable 1}	NA	[規格] Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のリスト。 INDEX { ospfv3AreaAggregateAreaID, ospfv3AreaAggregateAreaLsdbType, ospfv3AreaAggregateIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	ospfv3AreaAggregateAreaID {ospfv3AreaAggregateEntry 1}	R/O	[規格] アドレス集約したエリア。 [実装] 規格に同じ。	●
4	ospfv3AreaAggregateAreaLsdbType {ospfv3AreaAggregateEntry 2}	R/O	[規格] アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 • interAreaPrefixLsa (0x2003) • nssaExternalLsa (0x2007) [実装] 規格に同じ。	●
5	ospfv3AreaAggregateIndex {ospfv3AreaAggregateEntry 3}	R/O	[規格] アグリゲートテーブルの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
6	ospfv3AreaAggregatePrefix {ospfv3AreaAggregateEntry 4}	R/NW	[規格] IPv6 Prefix。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	ospfv3AreaAggregatePrefixLen {ospfv3AreaAggregateEntry 5}	R/NW	[規格] IPv6 Prefix 長。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	ospfv3AreaAggregateStatus {ospfv3AreaAggregateEntry 6}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●
9	ospfv3AreaAggregateEffect {ospfv3AreaAggregateEntry 7}	R/NW	[規格] 範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 • advertiseMatching (1) • doNotAdvertiseMatching (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.20 IEEE8023-LAG-MIB グループ

IEEE8023-LAG-MIB グループの準拠規格を次に示します。

- IEEE8023-LAG-MIB (2000 年 3 月)

2.20.1 dot3adAgg グループ

(1) 識別子

```
member-body OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us          OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs   OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB     OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

dot3adAgg OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.1
```

(2) 実装仕様

dot3adAgg グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-66 dot3adAgg グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggTable {dot3adAgg 1}	NA	[規格] このシステムで Aggregator に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot3adAggEntry {dot3adAggTable 1}	NA	[規格] Aggregator パラメータのリスト。 INDEX { ifIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot3adAggIndex {dot3adAggEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースを識別するための番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot3adAggMACAddress {dot3adAggEntry 2}	R/O	[規格] Aggregator に割り当てられた MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot3adAggActorSystemPriority {dot3adAggEntry 3}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot3adAggActorSystemID {dot3adAggEntry 4}	R/NW	[規格] システムに対してユニークな識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot3adAggAggregateOrIndividual {dot3adAggEntry 5}	R/O	[規格] Aggregator が Link Aggregation を行っているか、個々のリンクとして取り扱っているかを示す。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot3adAggActorAdminKey	R/O	[規格] Aggregator に対する現在の管理上の Key の値。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot3adAggEntry 6}			
9	dot3adAggActorOperKey {dot3adAggEntry 7}	R/O	[規格] Aggregator に対する現在の操作上の Key の値。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot3adAggPartnerSystemID {dot3adAggEntry 8}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対するユニークな識別子であり、MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
11	dot3adAggPartnerSystemPriority {dot3adAggEntry 9}	R/O	[規格] パートナーのシステム ID に関連したプライオリティ値が示されます。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot3adAggPartnerOperKey {dot3adAggEntry 10}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する操作上のキーの値です。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot3adAggCollectorMaxDelay {dot3adAggEntry 11}	R/NW	[規格] FrameCollector によって、受信されたフレームが AggregatorParser から MACClient に届けられるか、フレームが破棄されるまでの最大遅延時間（単位：10 マイクロ秒）。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot3adAggPortListTable {dot3adAgg 2}	NA	[規格] Aggregator に接続されている AggregationPort のリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot3adAggPortListEntry {dot3adAggPortListTable 1}	NA	[規格] Aggregator に関連したポートのリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot3adAggPortListPorts {dot3adAggPortListEntry 1}	R/O	[規格] Aggregator に関連したポートの全集合である。 [実装] 規格に同じ。	●

2.20.2 dot3adAggPort グループ

(1) 識別子

```

member-body OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us           OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs    OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB      OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIB0bjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

dot3adAggPort OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB0bjects 2}
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.2

```

(2) 実装仕様

dot3adAggPort グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-67 dot3adAggPort グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	dot3adAggPortTable {dot3adAggPort 1}	NA	[規格] すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 設定情報。 [実装] 規格に同じ	●
2	dot3adAggPortEntry {dot3adAggPortTable 1}	NA	[規格] 各 AggregationPort に対する Link Aggregation Control 設定パラメータのリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot3adAggPortIndex {dot3adAggPortEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースを識別するための番号。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot3adAggPortActorSystemPriority {dot3adAggPortEntry 2}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot3adAggPortActorSystemID {dot3adAggPortEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort を持つシステムに対するシステム ID の値を決める MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot3adAggPortActorAdminKey {dot3adAggPortEntry 4}	R/NW	[規格] AggregationPort に対する管理上のキー。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot3adAggPortActorOperKey {dot3adAggPortEntry 5}	R/O	[規格] AggregationPort に対する操作上のキーの値。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot3adAggPortPartnerAdminSystemPriority {dot3adAggPortEntry 6}	R/NW	[規格] Partner のシステム ID に関連した管理上のプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot3adAggPortPartnerOperSystemPriority {dot3adAggPortEntry 7}	R/O	[規格] Partner のシステム ID に関連した操作上のプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot3adAggPortPartnerAdminSystemID {dot3adAggPortEntry 8}	R/NW	[規格] AggregationPort のプロトコルパートナーのシステム ID の管理上の値。 [実装] 00 00 00 00 00 00 固定。	●
11	dot3adAggPortPartnerOperSystemID {dot3adAggPortEntry 9}	R/O	[規格] プロトコルパートナーのシステム ID の操作上の値。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	dot3adAggPortPartnerAdminKey {dot3adAggPortEntry 10}	R/NW	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する管理上のキーの値。 [実装] 0 固定。	●
13	dot3adAggPortPartnerOperKey {dot3adAggPortEntry 11}	R/O	[規格] プロトコルパートナーに対する操作上のキーの値。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot3adAggPortSelectedAggID {dot3adAggPortEntry 12}	R/O	[規格] AggregationPort の Aggregator の識別子の値。 [実装] 規格に同じ。	●
15	dot3adAggPortAttachedAggID {dot3adAggPortEntry 13}	R/O	[規格] AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の識別子の値。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot3adAggPortActorPort {dot3adAggPortEntry 14}	R/O	[規格] AggregationPort に割り当てられたポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
17	dot3adAggPortActorPortPriority {dot3adAggPortEntry 15}	R/NW	[規格] AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	●
18	dot3adAggPortPartnerAdminPort {dot3adAggPortEntry 16}	R/NW	[規格] AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の識別子の値。 [実装] 0 固定。	●
19	dot3adAggPortPartnerOperPort {dot3adAggPortEntry 17}	R/O	[規格] AggregationPort のプロトコルパートナーによって AggregationPort に割り当てられた操作上のポート番号。 [実装] 規格に同じ。	●
20	dot3adAggPortPartnerAdminPortPriority {dot3adAggPortEntry 18}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のポートプライオリティの値。 [実装] 0 固定。	●
21	dot3adAggPortPartnerOperPortPriority {dot3adAggPortEntry 19}	R/O	[規格] パートナーによって AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	●
22	dot3adAggPortActorAdminState	R/NW	[規格] Actor によって LACPDU で送信された管理上の Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示されます。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot3adAggPortEntry 20}			
23	dot3adAggPortActorOperState {dot3adAggPortEntry 21}	R/O	[規格] Actor によって LACPDUs で送信された操作上の Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示されます。	●
24	dot3adAggPortPartnerAdminState {dot3adAggPortEntry 22}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上の Actor_State の値。 [実装] (01000100)2 固定。マネージャによって文字として表示されます。	●
25	dot3adAggPortPartnerOperState {dot3adAggPortEntry 23}	R/O	[規格] プロトコルパートナーによって最も最近 LACPDUs で送信された Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示されます。	●
26	dot3adAggPortAggregateOrIndividual {dot3adAggPortEntry 24}	R/O	[規格] AggregationPort が Aggregate 可能であるか、個々のリンクとしてしか操作できないかを示します。 [実装] 規格に同じ。	●
27	dot3adAggPortStatsTable {dot3adAggPort 2}	NA	[規格] すべてのポートに関する Link Aggregation の情報を持つテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
28	dot3adAggPortStatsEntry {dot3adAggPortStatsTable 1}	NA	[規格] 各ポートに対する Link Aggregation 制御プロトコルの統計データのリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
29	dot3adAggPortStatsLACPDUsRx {dot3adAggPortStatsEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な LACPDUs の数。 [実装] 規格に同じ。	●
30	dot3adAggPortStatsMarkerPDUsRx {dot3adAggPortStatsEntry 2}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerPDUs の数。 [実装] 規格に同じ。	●
31	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUsRx {dot3adAggPortStatsEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerResponsePDUs の数。 [実装] 規格に同じ。	●
32	dot3adAggPortStatsUnknownRx {dot3adAggPortStatsEntry 4}	R/O	[規格] Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが、未知の PDU が含まれているフレームか、または、Slow Protocols の group MAC Address (0180.C200.0002) 宛てだが、Slow Protocols のイーサネットタイプで運ばれていないフレームのどちらかを受信したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
33	dot3adAggPortStatsIllegalRx {dot3adAggPortStatsEntry 5}	R/O	[規格] Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが、不当な形式の PDU を含んでいるか、または、違法な Protocol Subtype の値を含んだフレームの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
34	dot3adAggPortStatsLACPDUstx {dot3adAggPortStatsEntry 6}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された LACPDUs の数。 [実装] 規格に同じ。	●
35	dot3adAggPortStatsMarkerPDUsTx {dot3adAggPortStatsEntry 7}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された MarkerPDUs の数。 [実装] 0 固定。	●
36	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUsTx {dot3adAggPortStatsEntry 8}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された MarkerResponsePDUs の数。 [実装] 規格に同じ。	●
37	dot3adAggPortDebugTable {dot3adAggPort 3}	NA	[規格] すべてのポートに関するリンクアグリゲーションのデバッグ情報を含んだテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
38	dot3adAggPortDebugEntry {dot3adAggPortDebugTable 1}	NA	[規格] ポートに対するデバッグパラメータのリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
39	dot3adAggPortDebugRxState {dot3adAggPortDebugEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Receive ステートマシンの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • currentRx (1) • expired (2) • defaulted (3) • initialize (4) • lacpDisabled (5) • portDisabled (6) [実装] 規格に同じ。	●
40	dot3adAggPortDebugLastRxTime {dot3adAggPortDebugEntry 2}	R/O	[規格] 最後に AggregationPort が LACPDUs を受信したときの aTimeSinceSystemReset の値。 [実装] 規格に同じ。	●
41	dot3adAggPortDebugMuxState {dot3adAggPortDebugEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Mux ステートマシンの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • detached (1) • waiting (2) • attached (3) • collecting (4) • distributing (5) 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> collecting_distributing (6) [実装] 規格に同じ。	
42	dot3adAggPortDebugMuxReason {dot3adAggPortDebugEntry 4}	R/O	[規格] 最も最近 Mux ステートマシンの状態が変更された理由。 [実装] 規格に同じ。	●
43	dot3adAggPortDebugActorChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 5}	R/O	[規格] AggregationPort に対する ActorChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装] 規格に同じ。	●
44	dot3adAggPortDebugPartnerChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 6}	R/O	[規格] AggregationPort に対する PartnerChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装] 規格に同じ。	●
45	dot3adAggPortDebugActorChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 7}	R/O	[規格] ActorChurn ステートマシンが ACTOR_CHURN の状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	●
46	dot3adAggPortDebugPartnerChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 8}	R/O	[規格] PartnerChurn ステートマシンが PARTNER_CHURN 状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	●
47	dot3adAggPortDebugActorSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 9}	R/O	[規格] Actor の Mux 状態マシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	●
48	dot3adAggPortDebugPartnerSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 10}	R/O	[規格] Partner の Mux ステートマシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	●
49	dot3adAggPortDebugActorChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 11}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Actor の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装] 規格に同じ。	●
50	dot3adAggPortDebugPartnerChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 12}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Partner の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.20.3 dot3adTablesLastChanged グループ

(1) 識別子

```
member-body OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

dot3adTablesLastChanged OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIBObjects 3}
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.3
```

(2) 実装仕様

dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-68 dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adTablesLastChanged { lagMIBObjects 3 }	R/O	[規格] dot3adAggTable, dot3adAggPortListTable, または dot3adAggPortTable に変化が起きた最近の時間。 [実装] 規格に同じ。	●

2.21 IEEE802.1X MIB グループ

IEEE802.1X MIB グループの準拠規格を次に示します。

- IEEE8021-PAE-MIB (2001 年 6 月)

(1) 識別子

```
std OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 0}
iso8802 OBJECT IDENTIFIER ::= {std 8802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {iso8802 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021paeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 1}
paeMIBobjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021paeMIB 1}

dot1xPaeSystem OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBobjects 1}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.1

dot1xPaeAuthenticator OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBobjects 2}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.2

dot1xPaeSupplicant OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBobjects 3}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.3

dot1xPaeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021paeMIB 2}
dot1xPaeGroups OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1xPaeConformance 1}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.2.1

dot1xPaeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1xPaeConformance 2}
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.2.2
```

(2) 実装仕様

IEEE802.1X MIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-69 IEEE802.1X MIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1xPaeSystemAuthControl {dot1xPaeSystem 1}	R/NW	[規格] 装置全体における PAE (Port Access Entity) の管理上の enable/disabled 状態 (INTEGER)。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1xPaePortTable {dot1xPaeSystem 2}	NA	[規格] 各 PAE ポートに対するシステムレベルの情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1xPaePortEntry {dot1xPaePortTable 1}	NA	[規格] ポートごとの情報のリスト。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1xPaePortNumber {dot1xPaePortEntry 1}	NA	[規格] PAE ポート番号。テーブルを識別するインデックスとして使用される。 [実装] 規格に同じ。 以下に示すインタフェースに付加された ifIndex。 <ul style="list-style-type: none"> • Ethernet 物理ポート • VLAN グループ 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> • チャンネルグループ <p>ただし、規格外だが、VLAN 単位認証（動的）では次の値となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VLAN グループの ifIndex の最大値+1 	
5	dot1xPaePortProtocolVersion {dot1xPaePortEntry 2}	R/O	<p>[規格] プロトコルバージョン。</p> <p>[実装] 0x01 固定。</p>	●
6	dot1xPaePortCapabilities {dot1xPaePortEntry 3}	R/O	<p>[規格] ポートがサポートしている PAE 機能 (BITS)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • dot1xPaePortAuthCapable (0) • dot1xPaePortSuppCapable (1) <p>[実装] dot1xPaePortAuthCapable (0) 固定。</p>	●
7	dot1xPaePortInitialize {dot1xPaePortEntry 4}	R/NW	<p>[規格] ポートに対する初期化制御。この属性が"TRUE"になるとポートが初期化され、初期化が完了すると属性は"FALSE"に戻る。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
8	dot1xPaePortReauthenticate {dot1xPaePortEntry 5}	R/NW	<p>[規格] ポートに対する再認証制御。この属性を"TRUE"にするとポートに対する Authenticator PAE ステートマシンが Supplicant を再認証する。この属性を"FALSE"にすると何の効果もない。この属性は読み込まれる時にいつでも"FALSE"に戻る。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
9	dot1xAuthConfigTable {dot1xPaeAuthenticator 1}	NA	<p>[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対する構成オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。</p> <p>[実装] 規格に同様。</p>	●
10	dot1xAuthConfigEntry {dot1xAuthConfigTable 1}	NA	<p>[規格] Authenticator PAE に対する構成情報のリスト。</p> <p>INDEX { dot1xPaePortNumber }</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
11	dot1xAuthPaeState {dot1xAuthConfigEntry 1}	R/O	<p>[規格] Authenticator PAE ステートマシンの現在値。</p> <ul style="list-style-type: none"> • initialize (1) • disconnected (2) • connecting (3) • authenticating (4) • authenticated (5) • aborting (6) • held (7) • forceAuth (8) • forceUnauth (9) <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
12	dot1xAuthBackendAuthState {dot1xAuthConfigEntry 2}	R/O	<p>[規格] バックエンド認証ステートマシンの現在値。</p> <ul style="list-style-type: none"> • request (1) • response (2) 	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
			<ul style="list-style-type: none"> • success (3) • fail (4) • timeout (5) • idle (6) • initialize (7) [実装] 規格に同じ。	
13	dot1xAuthAdminControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 3}	R/NW	[規格] ポートに対する管理上制御された方向パラメータの現在値。 [実装] both (0) 固定。	●
14	dot1xAuthOperControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 4}	R/O	[規格] ポートに対する操作上制御された方向パラメータの現在値。 [実装] both (0) 固定。	●
15	dot1xAuthAuthControlledPortStatus {dot1xAuthConfigEntry 5}	R/O	[規格] ポートに対する制御ポートの状態パラメータの現在値。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1xAuthAuthControlledPortControl {dot1xAuthConfigEntry 6}	R/NW	[規格] ポートに対する制御ポートの制御パラメータの現在値。 [実装] 規格に同じ。	●
17	dot1xAuthQuietPeriod {dot1xAuthConfigEntry 7}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 quietPeriod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL{60} [実装] 規格に同じ (0~65535)。	●
18	dot1xAuthTxPeriod {dot1xAuthConfigEntry 8}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 txPeriod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {30} [実装] 規格に同じ (1~65535)。	●
19	dot1xAuthSuppTimeout {dot1xAuthConfigEntry 9}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 suppTimeout の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {30} [実装] 規格に同じ (1~65535)。	●
20	dot1xAuthServerTimeout {dot1xAuthConfigEntry 10}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 serverTimeout の値 (単位: 秒)。 DEFVAL{30} [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1xAuthMaxReq {dot1xAuthConfigEntry 11}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 maxReq の値。 DEFVAL {2} [実装] 規格に同じ (1~10)。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
22	dot1xAuthReAuthPeriod {dot1xAuthConfigEntry 12}	R/NW	[規格] 再認証タイマーステートマシンが用いる現在の定数値 reAuthperiod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {3600} [実装] 0 または 1~65535 (デフォルト: 3600) 0 の場合は, 本装置から自立的に再認証の EAPOL-Request/Identity を送出しない。	●
23	dot1xAuthReAuthEnabled {dot1xAuthConfigEntry 13}	R/NW	[規格] 再認証タイマーステートマシンが使用する enable/disable 制御。 DEFVAL {false (2)} [実装] 規格に同じ。	●
24	dot1xAuthKeyTxEnabled {dot1xAuthConfigEntry 14}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる定数値 keyTransmissionEnabled の現在値。 [実装] false (2) 固定。	●
25	dot1xAuthStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 2}	NA	[規格] 各ポートに関連付けられた Authenticator PAE の統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	●
26	dot1xAuthStatsEntry {dot1xAuthStatsTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する統計情報。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 規格に同じ。	●
27	dot1xAuthEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator が受信したすべての有効なタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
28	dot1xAuthEapolFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 2}	R/O	[規格] Authenticator が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
29	dot1xAuthEapolStartFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 3}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL Start フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
30	dot1xAuthEapolLogoffFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 4}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL Logoff フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
31	dot1xAuthEapolRespIdFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 5}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
32	dot1xAuthEapolRespFramesRx	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム以外の有効な EAP Response フレーム数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot1xAuthStatsEntry 6}		[実装] 規格に同じ。	
33	dot1xAuthEapolReqIdFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 7}	R/O	[規格] Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
34	dot1xAuthEapolReqFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 8}	R/O	[規格] Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム以外の EAP Request フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
35	dot1xAuthInvalidEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 9}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL フレームの中でフレームタイプが承認されなかったフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
36	dot1xAuthEapLengthErrorFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 10}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL フレームの中で Packet Body Length が無効なフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	●
37	dot1xAuthLastEapolFrameVersion {dot1xAuthStatsEntry 11}	R/O	[規格] Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコルバージョン番号。 [実装] 規格に同じ。	●
38	dot1xAuthLastEapolFrameSource {dot1xAuthStatsEntry 12}	R/O	[規格] Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MACAddress。 [実装] 規格に同じ。	●
39	dot1xAuthDiagTable {dot1xPaeAuthenticator 3}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対する診断オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	●
40	dot1xAuthDiagEntry {dot1xAuthDiagTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する診断情報のリスト。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 規格に同じ。	●
41	dot1xAuthEntersConnecting {dot1xAuthDiagEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが他の状態から CONNECTING 状態に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
42	dot1xAuthEapLogoffsWhileConnecting {dot1xAuthDiagEntry 2}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時、EAPOL Logoff メッセージを受信した結果、DISCONNECTEDに移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
43	dot1xAuthEntersAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 3}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時, EAP Response/Identity メッセージを Supplicant から受信した結果, AUTHENTICATING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
44	dot1xAuthAuthSucceedsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 4}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING のとき, バックエンド認証ステートマシンが Supplicant の認証成功を示した結果 (authSuccess = TRUE), AUTHENTICATED に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
45	dot1xAuthAuthTimeoutsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 5}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING のとき, バックエンド認証ステートマシンが認証タイムアウトを示した結果 (authTimeout = TRUE), ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
46	dot1xAuthAuthFailWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 6}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING のとき, バックエンド認証ステートマシンが認証失敗を示した結果 (authFail = TRUE), HELD に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
47	dot1xAuthAuthReauthsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 7}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING のとき, 再認証要求の結果 (reAuthenticate = TRUE), ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
48	dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 8}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING のとき, EAPOL Start メッセージを Supplicant から受信した結果, ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
49	dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 9}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING のとき, EAPOL Logoff メッセージを Supplicant から受信した結果, ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
50	dot1xAuthAuthReauthsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 10}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時, 再認証要求の結果 (reAuthenticate = TRUE), CONNECTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
51	dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 11}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED のとき, Supplicant から受信した EAPOL Start メッセージの結果, CONNECTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	●
52	dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticated	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時, Supplicant から受信した EAPOL Logoff メッセージの結果, DISCONNECTED に移行した回数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot1xAuthDiagEntry 12}		[実装] 規格に同じ。	
53	dot1xAuthBackendResponses {dot1xAuthDiagEntry 13}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが最初の Access Request パケットを認証サーバに送信した回数 (すなわち, RESPONSE 状態で sendRespToServer を実行する)。 [実装] 規格に同じ。	●
54	dot1xAuthBackendAccessChallenges {dot1xAuthDiagEntry 14}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから最初の Access Challenge パケットを受信した回数 (すなわち, aReq は "TRUE" となり, RESPONSE 状態を終了する原因となる)。 [実装] 規格に同じ。	●
55	dot1xAuthBackendOtherRequestsToSupplicant {dot1xAuthDiagEntry 15}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant に EAP Request (Identity, Notification, Failure または Success メッセージ以外) を送信した回数 (すなわち, REQUEST 状態で txReq を実行する)。このことは Authenticator が EAP method を選択することを示唆している。 [実装] 規格に同じ。	●
56	dot1xAuthBackendNonNakResponsesFromSupplicant {dot1xAuthDiagEntry 16}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant から最初の EAP Request に対する応答や, EAP NAK 以外の何らかの応答を受け取った回数 (すなわち rxResp は "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが REQUEST から RESPONSE に移行する。応答は EAP NAK ではない)。このことは Supplicant が Authenticator の選んだ EAP method に応答することができることを示唆している。 [実装] 規格に同じ。	●
57	dot1xAuthBackendAuthSuccesses {dot1xAuthDiagEntry 17}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Success メッセージを受信した回数 (すなわち, aSuccess が "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から SUCCESS に移行する)。このことは Supplicant が認証サーバに認証されたことを示唆する。 [実装] 規格に同じ。	●
58	dot1xAuthBackendAuthFails {dot1xAuthDiagEntry 18}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Failure メッセージを受信した回数 (すなわち, aFail は "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から FAIL に移行する)。このことは Supplicant が認証サーバに認証されなかったことを示唆する。 [実装] 規格に同じ。	●
59	dot1xAuthSessionStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 4}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対するセッション統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	●
60	dot1xAuthSessionStatsEntry {dot1xAuthSessionStatsTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対するセッション統計情報のリスト。現在継続中の各セッションで集計した値, または現在アクティブでない各ポートでの最後の有効なセッションに対する最終的な値を見ることができる。 INDEX { dot1xPaePortNumber }	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			[実装] 規格に同様。	
61	dot1xAuthSessionOctetsRx {dot1xAuthSessionStatsEntry 1}	R/O	[規格] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレームのオクテット数。 [実装] 0 固定。	●
62	dot1xAuthSessionOctetsTx {dot1xAuthSessionStatsEntry 2}	R/O	[規格] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレームのオクテット数。 [実装] 0 固定。	●
63	dot1xAuthSessionFramesRx {dot1xAuthSessionStatsEntry 3}	R/O	[規格] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレーム数。 [実装] 0 固定。	●
64	dot1xAuthSessionFramesTx {dot1xAuthSessionStatsEntry 4}	R/O	[規格] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレーム数。 [実装] 0 固定。	●
65	dot1xAuthSessionId {dot1xAuthSessionStatsEntry 5}	R/O	[規格] セッションに対するユニークな識別子。3 文字以上の表示可能な ASCII 文字列の形式。 [実装] 規格に同じ。	●
66	dot1xAuthSessionAuthenticMethod {dot1xAuthSessionStatsEntry 6}	R/O	[規格] セッションを確立するのに用いられる認証方式 (INTEGER)。 <ul style="list-style-type: none"> • remoteAuthServer (1) • localAuthServer (2) [実装] セッション確立状態の場合だけ意味を持ち、値は remoteAuthServer (1) 固定となる。セッション解除時は意味を持たないで、値は 0 となる。	●
67	dot1xAuthSessionTime {dot1xAuthSessionStatsEntry 7}	R/O	[規格] セッションの持続期間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	●
68	dot1xAuthSessionTerminateCause {dot1xAuthSessionStatsEntry 8}	R/O	[規格] セッション終了の理由。 <ul style="list-style-type: none"> • supplicantLogoff (1) • portFailure (2) • supplicantRestart (3) • reauthFailed (4) • authControlForceUnauth (5) • portReInit (6) • portAdminDisabled (7) • notTerminatedYet (999) [実装] 規格に同じ。ただし、1 度もセッション確立していない場合は、セッション終了要因がない状態のため、値は 0 となる。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
69	dot1xAuthSessionUser Name {dot1xAuthSessionStat sEntry 9}	R/O	[規格] Supplicant PAE を識別するユーザ名。 [実装] 実装。	●
70	dot1xSuppConfigTabl e {dot1xPaeSupplicant 1}	NA	[規格] 各ポートの Supplicant PAE に対する構成オブジェクトテー ブル。リモートシステムよりアクセスした場合、認証される可能性の ある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 未実装。	×
71	dot1xSuppConfigEntry {dot1xSuppConfigTabl e 1}	NA	[規格] Supplicant PAE に対する構成情報のリスト。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 未実装。	×
72	dot1xSuppPaeState {dot1xSuppConfigEntr y 1}	R/O	[規格] Supplicant PAE ステートマシンの現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disconnected (1) • logoff (2) • connecting (3) • authenticating (4) • authenticated (5) • acquired (6) • held (7) [実装] 未実装。	×
73	dot1xSuppHeldPeriod {dot1xSuppConfigEntr y 2}	R/W	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 heldPeriod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {60} [実装] 未実装。	×
74	dot1xSuppAuthPeriod {dot1xSuppConfigEntr y 3}	R/W	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 authPeriod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {30} [実装] 未実装。	×
75	dot1xSuppStartPeriod {dot1xSuppConfigEntr y 4}	R/W	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 startPeriod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {30} [実装] 未実装。	×
76	dot1xSuppMaxStart {dot1xSuppConfigEntr y 5}	R/W	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 maxStart の値。 DEFVAL {3} [実装] 未実装。	×
77	dot1xSuppStatsTable {dot1xPaeSupplicant 2}	NA	[規格] 各ポートの Supplicant PAE に対する統計オブジェクトテー ブル。リモートシステムよりアクセスした場合、認証される可能性の ある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 未実装。	×
78	dot1xSuppStatsEntry	NA	[規格] Supplicant PAE に対する統計情報のリスト。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot1xSuppStatsTable 1}		INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 未実装。	
79	dot1xSuppEapolFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 1}	R/O	[規格] Supplicant が受信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 未実装。	×
80	dot1xSuppEapolFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 2}	R/O	[規格] Supplicant が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 未実装。	×
81	dot1xSuppEapolStartFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 3}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAPOL Start フレーム数。 [実装] 未実装。	×
82	dot1xSuppEapolLogoffFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 4}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAPOL Logoff フレーム数。 [実装] 未実装。	×
83	dot1xSuppEapolRespIdFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 5}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAP Response/Identity フレーム数。 [実装] 未実装。	×
84	dot1xSuppEapolRespFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 6}	R/O	[規格] Supplicant が送信した有効な EAP Response フレーム数 (Response/Identity フレーム以外)。 [実装] 未実装。	×
85	dot1xSuppEapolReqIdFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 7}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAP Request/Identity フレーム数。 [実装] 未実装。	×
86	dot1xSuppEapolReqFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 8}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAP Request フレーム数 (Request/Identity フレーム以外)。 [実装] 未実装。	×
87	dot1xSuppInvalidEapolFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 9}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAPOL フレーム内でフレームタイプが認識されなかったフレーム数。 [実装] 未実装。	×
88	dot1xSuppEapolLengthErrorFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 10}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAPOL フレーム内で Packet Body Length が無効なフレーム数。 [実装] 未実装。	×

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
89	dot1xSuppLastEapolFrameVersion {dot1xSuppStatsEntry 11}	R/O	[規格] Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコ ルバージョン番号。 [実装] 未実装。	×
90	dot1xSuppLastEapolFrameSource {dot1xSuppStatsEntry 12}	R/O	[規格] Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×

2.22 snmpModules グループ

2.22.1 snmpFrameworkMIB グループ (SNMP FRAMEWORK MIB)

snmpFrameworkMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC3411 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

snmpFrameworkMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 10}

snmpFrameworkMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.10.2

snmpEngine OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.10.2.1

(2) 実装仕様

snmpFrameworkMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-70 snmpFrameworkMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpEngineID {snmpEngine 1}	R/O	<p>[規格] SNMP エンジン管理のための ID。 ただし、オール 0、オール 0xff、空 (0 バイト長) にはならない。</p> <p>[実装] コンフィグレーションコマンド snmp-server engineID local で設定、またはエージェントによる自動生成。</p> <p>コンフィグレーションコマンド snmp-server engineID local で設定した場合</p> <p>1~4 オクテット：企業コードと 0x80000000 とのビット OR。 5 オクテット：4 固定。 6~32 オクテット：コンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (27 文字以内)。</p> <p>エージェントによる自動生成の場合</p> <p>1~4 オクテット：企業コードと 0x80000000 とのビット OR。 5 オクテット：128 固定。 6~9 オクテット：乱数。 10~13 オクテット：現在時刻。</p>	●
2	snmpEngineBoots {snmpEngine 2}	R/O	<p>[規格] snmpEngineID が最後に設定されてからの (再) 初期化回数。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
3	snmpEngineTime {snmpEngine 3}	R/O	<p>[規格] snmpEngineBoots がインクリメントされてからの経過時間 (単位：秒)。</p> <p>ただし、最大値を超えたら 0 にリセットされ、snmpEngineBoots がインクリメントされる。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	●
4	snmpEngineMaxMessageSize	R/O	<p>[規格] snmp エンジンが送受信できるメッセージの最大サイズ。</p> <p>[実装] 2048 固定。</p>	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{snmpEngine 4}			

2.22.2 snmpMPDMIB グループ (SNMP MPD MIB)

snmpMPDMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC3412 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

snmpMPDMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 11}

snmpMPDMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpMPDMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.11.2

snmpMPDStats OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpMPDMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.11.2.1

(2) 実装仕様

snmpMPDMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-71 snmpMPDMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpUnknownSecurityModels {snmpMPDStats 1}	R/O	[規格] サポート外 securityModel のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpInvalidMsgs {snmpMPDStats 2}	R/O	[規格] メッセージ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpUnknownPDUGHAndlers {snmpMPDStats 3}	R/O	[規格] アプリケーションで処理できない PDU を含んでいたため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.22.3 snmpTargetMIB グループ (SNMP TARGET MIB)

snmpTargetMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC3413 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

snmpTargetMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 12}

snmpTargetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpTargetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.12.1

(2) 実装仕様

snmpTargetMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-72 snmpTargetMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpTargetSpinLock {snmpTargetObjects 1}	R/NW	[規格] 複数のマネージャから SNMP-TARGET-MIB モジュールのテーブルエントリが変更要求を受けた場合のロック操作に使用される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
2	snmpTargetAddrTable {snmpTargetObjects 2}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpTargetAddrEntry {snmpTargetAddrTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレスエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetAddrName } [実装] 規格に同じ。	●
4	snmpTargetAddrName {snmpTargetAddrEntry 1}	NA	[規格] snmpTargetAddrEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の<manager-address>に対応します。	●
5	snmpTargetAddrTDomain {snmpTargetAddrEntry 2}	R/NW	[規格] snmpTargetAddrTAddress オブジェクトのアドレスの伝送タイプ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の<manager-address>の種類に対応します。	●
6	snmpTargetAddrTAddress {snmpTargetAddrEntry 3}	R/NW	[規格] 伝送アドレス。 本アドレスのフォーマットは、snmpTargetAddrTDomain で示される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の<manager-address>に対応します。	●
7	snmpTargetAddrTimeout {snmpTargetAddrEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリで定義される伝送アドレスと通信したときのタイムアウト値 (単位: 10 ミリ秒)。 デフォルト値=1500。 [実装] 0 固定。	●
8	snmpTargetAddrRetryCount {snmpTargetAddrEntry 5}	R/NW	[規格] 送信メッセージのレスポンスが届かなかった時のデフォルトのリトライ回数。 デフォルト値=3。 [実装] 0 固定。	●
9	snmpTargetAddrTagList {snmpTargetAddrEntry 6}	R/NW	[規格] snmpNotifyTag のリスト。 デフォルト値=""。 [実装] "TRAP"固定。	●
10	snmpTargetAddrParams {snmpTargetAddrEntry 7}	R/NW	[規格] snmpTargetParamsTable のエントリ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の<manager-address>に対応します。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	snmpTargetAddrStorageType {snmpTargetAddrEntry 8}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値=nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
12	snmpTargetAddrRowStatus {snmpTargetAddrEntry 9}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、snmpTargetAddrTDomain, snmpTargetAddrTAddress, snmpTargetAddrParams が設定されるまで notReady (3) が設定される。ただし、本オブジェクトが active (1) の場合、snmpTargetAddrTDomain, snmpTargetAddrTAddress を変更してはならない。 [実装] active (1) 固定。本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-server host に対応します。	●
13	snmpTargetParamsTable {snmpTargetObjects 3}	NA	[規格] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
14	snmpTargetParamsEntry {snmpTargetParamsTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpTargetParamsName {snmpTargetParamsEntry 1}	NA	[規格] snmpTargetParamsEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host の<manager-address>に対応します。	●
16	snmpTargetParamsMPModel {snmpTargetParamsEntry 2}	R/NW	[規格] SNMP メッセージを生成するときに用いるメッセージ処理モデル。 0～255 は IANA で管理される。 <ul style="list-style-type: none"> 0 : SNMPv1 1 : SNMPv2C 2 : SNMPv2u, SNMPv2* 3 : SNMPv3 256 以上は企業独自。 [実装] SNMPv3 (3) 固定。	●
17	snmpTargetParamsSecurityModel {snmpTargetParamsEntry 3}	R/NW	[規格] SNMP メッセージを生成するときのセキュリティモデル。 1～255 は IANA で管理される。 <ul style="list-style-type: none"> 0 : 特定のモデルなし 1 : SNMPv1 2 : SNMPv2C 3 : User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM (3) 固定。	●
18	snmpTargetParamsSecurityName	R/NW	[規格] SNMP メッセージが生成されるときに用いられた手法を示す securityName。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{snmpTargetParamsEntry 4}		[実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の<community-string>に対応します。	
19	snmpTargetParamsSecurityLevel {snmpTargetParamsEntry 5}	R/NW	[規格] SNMP メッセージ生成時のセキュリティレベル。 <ul style="list-style-type: none"> • noAuthNoPriv (1) : 認証なし, プライバシーなし • authNoPriv (2) : 認証あり, プライバシーなし • authPriv (3) : 認証あり, プライバシーあり [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の{noauth auth priv}の選択に対応します。	●
20	snmpTargetParamsStorageType {snmpTargetParamsEntry 6}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
21	snmpTargetParamsRowStatus {snmpTargetParamsEntry 7}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合, snmpTargetParamsMPModel, snmpTargetParamsSecurityModel, snmpTargetParamsSecurityName, snmpTargetParamsSecurityLevel が設定されるまで notReady (3) が設定される。ただし, 本オブジェクトが active (1) の場合, snmpTargetParamsMPModel, snmpTargetParamsSecurityModel, snmpTargetParamsSecurityName, snmpTargetParamsSecurityLevel を変更してはならない。 [実装] active (1) 固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server host に対応します。	●
22	snmpUnavailableContexts {snmpTargetObjects 4}	R/O	[規格] メッセージ中のコンテキストが利用不可のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	snmpUnknownContexts {snmpTargetObjects 5}	R/O	[規格] メッセージ中のコンテキストが理解不可のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●

2.22.4 snmpNotificationMIB グループ (SNMP NOTIFICATION MIB)

snmpNotificationMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC3413 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

snmpNotificationMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 13}

snmpNotifyObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpNotificationMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.13.1

(2) 実装仕様

snmpNotificationMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-73 snmpNotificationMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpNotifyTable {snmpNotifyObjects 1}	NA	[規格] Notification を受信する管理対象および選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	snmpNotifyEntry {snmpNotifyTable 1}	NA	[規格] Notification を受信する管理対象群および選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpNotifyName } [実装] 規格に同じ。	●
3	snmpNotifyName {snmpNotifyEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyEntry の名前。 [実装] "TRAP"固定。	●
4	snmpNotifyTag {snmpNotifyEntry 2}	R/NW	[規格] snmpTargetAddrTable のエントリを特定するためのタグ値。 デフォルト値=""。 [実装] "TRAP"固定。	●
5	snmpNotifyType {snmpNotifyEntry 3}	R/NW	[規格] Notification の型。 デフォルト値=trap (1)。 <ul style="list-style-type: none"> • trap (1) • inform (2) [実装] trap (1) 固定。	●
6	snmpNotifyStorageType {snmpNotifyEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値=nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
7	snmpNotifyRowStatus {snmpNotifyEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active (1) 固定。	●
8	snmpNotifyFilterProfileTable {snmpNotifyObjects 2}	NA	[規格] Notification フィルタ定義を特定の対象パラメータに結びつけるテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
9	snmpNotifyFilterProfileEntry {snmpNotifyFilterProfileTable 1}	NA	[規格] Notification を生成する時に使用するフィルタ定義エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装] 規格に同じ。	●
10	snmpNotifyFilterProfileName {snmpNotifyFilterProfileEntry 1}	R/NW	[規格] フィルタ定義の名前。 snmpTargetParamsTable と関連付けられる。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。コンフィグレーションコマンド snmp-server host の<manager-address>に対応します。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	snmpNotifyFilterProfileStorageType {snmpNotifyFilterProfileEntry 2}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値=nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
12	snmpNotifyFilterProfileRowStatus {snmpNotifyFilterProfileEntry 3}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、snmpNotifyFilterProfileName が設定されるまで notReady (3) が設定される。 [実装] active(1)固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server host に対応します。	●
13	snmpNotifyFilterTable {snmpNotifyObjects 3}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルタ定義のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
14	snmpNotifyFilterEntry {snmpNotifyFilterTable 1}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルタ定義のエントリ。 INDEX { snmpNotifyFilterProfileName, IMPLIED snmpNotifyFilterSubtree } [実装] 規格に同じ。	●
15	snmpNotifyFilterSubtree {snmpNotifyFilterEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyFilterMask の対応するインスタンスに組み合わされるとき、フィルタ定義に含む、もしくは除外するサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host のトラップ送信モードに対応します。	●
16	snmpNotifyFilterMask {snmpNotifyFilterEntry 2}	R/NW	[規格] snmpNotifyFilterSubtree の対応するインスタンスに組み合わされるとき、フィルタ定義に含む、もしくは除外するサブツリーファミリを定義するビットマスク。 <ul style="list-style-type: none"> • '1': 正確に合致する • '0': ワイルドキャラ もしこのオブジェクトの長さが 0 であれば、この拡張規則は、すべて 1 でパディングになり、フィルタサブツリーファミリは snmpNotifyFilterSubtree の対応インスタンスによりユニークに特定されるサブツリーになる。 デフォルト値="H"。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host のトラップ送信モードに対応します。	●
17	snmpNotifyFilterType {snmpNotifyFilterEntry 3}	R/NW	[規格] このオブジェクトは本エントリで定義されるフィルタサブツリーファミリがフィルタに含まれるか除外されるかを示す。 デフォルト値=included。 <ul style="list-style-type: none"> • included (1) • excluded (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			コンフィグレーションコマンド snmp-server host のトラップ送信モードに対応します。	
18	snmpNotifyFilterStorageType {snmpNotifyFilterEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値=nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
19	snmpNotifyFilterRowStatus {snmpNotifyFilterEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active(1)固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server host のトラップ送信モードに対応します。	●

2.22.5 snmpUsmMIB グループ (SNMP USER BASED SM MIB)

snmpUsmMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC3414 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

snmpUsmMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 15}

usmMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpUsmMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1

usmStats OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.1

usmUser OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.2

(2) 実装仕様

snmpUsmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-74 snmpUsmMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	usmStatsUnsupportedSecLevels {usmStats 1}	R/O	[規格] セキュリティレベル不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
2	usmStatsNotInTimeWindows {usmStats 2}	R/O	[規格] WindowTime が範囲外のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
3	usmStatsUnknownUserNames {usmStats 3}	R/O	[規格] ユーザ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
4	usmStatsUnknownEngineIDs	R/O	[規格] 認識外の snmpEngineID を参照しているため廃棄された受信パケットの総数。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{usmStats 4}		[実装] 規格に同じ。	
5	usmStatsWrongDigests {usmStats 5}	R/O	[規格] 期待されるダイジェスト値を含んでいないため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
6	usmStatsDecryptionErrors {usmStats 6}	R/O	[規格] 復号できなかったため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	●
7	usmUserSpinLock {usmUser 1}	R/NW	[規格] usmUserTable の秘密を変更する場合のロック操作に使用される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	usmUserTable {usmUser 2}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD (Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
9	usmUserEntry {usmUserTable 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD (Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブルのエントリ。 INDEX { usmUserEngineID, usmUserName } [実装] 規格に同じ。	●
10	usmUserEngineID {usmUserEntry 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの管理のための ID。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server engineID local に対応します。	●
11	usmUserName {usmUserEntry 2}	NA	[規格] ユーザを示す判読可能な名前。 これは USM が依存するセキュリティ ID。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server user の<user-name>に対応します。	●
12	usmUserSecurityName {usmUserEntry 3}	R/O	[規格] セキュリティモデルに依存しない形式のユーザを示す判読可能な名前。usmUserName と同じ値。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server user の<user-name>に対応します。	●
13	usmUserCloneFrom {usmUserEntry 4}	R/NW	[規格] 新しいエントリを追加する際に複製元となる別のエントリへのポインタ。 このオブジェクトが読まれる場合、0.0 のオブジェクト ID が返される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
14	usmUserAuthProtocol {usmUserEntry 5}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンの認証プロトコル。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server user の auth パラメータの{md5 sha}の選択に対応します。	●
15	usmUserAuthKeyChange {usmUserEntry 6}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定される。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値="H。 [実装] ""固定。	
16	usmUserOwnAuthKeyChange {usmUserEntry 7}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値="H。 [実装] ""固定。	●
17	usmUserPrivProtocol {usmUserEntry 8}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンのプライバシープロトコルが使用。 デフォルト値=usmNoPrivProtocol。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server user の priv パラメータの des に対応します。	●
18	usmUserPrivKeyChange {usmUserEntry 9}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される暗号キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値="H。 [実装] ""固定。	●
19	usmUserOwnPrivKeyChange {usmUserEntry 10}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される暗号キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値="H。 [実装] ""固定。	●
20	usmUserPublic {usmUserEntry 11}	R/NW	[規格] ユーザの認証キー、暗号キーを変更する処理で生成される値。 後でキーの変更が有効であったか判定するために利用できる。 デフォルト値="H。 [実装] ""固定。	●
21	usmUserStorageType {usmUserEntry 12}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
22	usmUserStatus {usmUserEntry 13}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active (1) 固定。	●

2.22.6 snmpVacmMIB グループ (SNMP VIEW BASED ACM MIB)

snmpVacmMIB グループの準拠規格を次に示します。

- RFC3415 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

snmpVacmMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 16}

vacmMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpVacmMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.16.1

vacmMIBViews OBJECT IDENTIFIER ::= {vacmMIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.16.1.5

(2) 実装仕様

snmpVacmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-75 snmpVacmMIB グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	vacmContextTable {vacmMIBObjects 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	vacmContextEntry {vacmContextTable 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブルのエントリ。 INDEX { vacmContextName } [実装] 規格に同じ。	●
3	vacmContextName {vacmContextEntry 1}	R/O	[規格] 特定の SNMP エンティティの特定のコンテキストを示す読解可能な名前。 空の contextName は、デフォルトコンテキストを示す。 [実装] デフォルトコンテキスト固定。	●
4	vacmSecurityToGroup Table {vacmMIBObjects 2}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するために使われるテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	vacmSecurityToGroup Entry {vacmSecurityToGrou pTable 1}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するために使われるエントリ。 securityModel と securityName をペアにした groupName を示す。 INDEX { vacmSecurityModel, vacmSecurityName } [実装] 規格に同じ。	●
6	vacmSecurityModel {vacmSecurityToGrou pEntry 1}	NA	[規格] 本エントリで参照される vacmSecurityName のセキュリティモデル。 0 は指定できない。 1～255 は IANA で管理される。 <ul style="list-style-type: none"> • 0：特定のモデルなし • 1：SNMPv1 • 2：SNMPv2C • 3：User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM (3) 固定。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
7	vacmSecurityName {vacmSecurityToGroupEntry 2}	NA	[規格] 本エントリの securityName。本エントリから groupName に対応付けるために使用される。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server user の<user-name>に対応します。	●
8	vacmGroupName {vacmSecurityToGroupEntry 3}	R/NW	[規格] 本エントリが所属するグループ名。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server user の<group- name>に対応します。	●
9	vacmSecurityToGroup StorageType {vacmSecurityToGroupEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値=nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
10	vacmSecurityToGroup Status {vacmSecurityToGroupEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、vacmGroupName が設定されるま で notReady (3) が設定される。 [実装] active(1)固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server user に対応します。	●
11	vacmAccessTable {vacmMIBObjects 4}	NA	[規格] グループのアクセス権のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
12	vacmAccessEntry {vacmAccessTable 1}	NA	[規格] グループのアクセス権のエントリ。 INDEX { vacmGroupName, vacmAccessContextPrefix, vacmAccessSecurityModel, vacmAccessSecurityLevel } [実装] 規格に同じ。	●
13	vacmAccessContextPr efix {vacmAccessEntry 1}	NA	[規格] 本エントリでアクセス権を取得するために比較する値。 [実装] ""固定。	●
14	vacmAccessSecurityM odel {vacmAccessEntry 2}	NA	[規格] 本エントリのアクセス権を取得する為に必要な securityModel。 1～255 は IANA で管理される。 • 0：特定のモデルなし • 1：SNMPv1 • 2：SNMPv2C • 3：User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM (3) 固定。	●
15	vacmAccessSecurityLe vel {vacmAccessEntry 3}	NA	[規格] 本エントリのアクセス権を取得する為に必要なセキュリ ティレベル。 • noAuthNoPriv (1)：認証なし、プライバシーなし	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			<ul style="list-style-type: none"> authNoPriv (2) : 認証あり, プライバシーなし authPriv (3) : 認証あり, プライバシーあり [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server group の {noauth auth priv} の選択に対応します。	
16	vacmAccessContextMatch {vacmAccessEntry 4}	R/NW	[規格] <ul style="list-style-type: none"> exact (1) : contextName が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択される。 prefix (2) : contextName の先頭文字が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択される。 デフォルト値=exact。 [実装] exact (1) 固定。	●
17	vacmAccessReadOnlyViewName {vacmAccessEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリが読み込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値="H"。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server group の read パラメータの <view-name> に対応します。	●
18	vacmAccessWriteViewName {vacmAccessEntry 6}	R/NW	[規格] 本エントリが書き込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値="H"。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server group の write パラメータの <view-name> に対応します。	●
19	vacmAccessNotifyViewName {vacmAccessEntry 7}	R/NW	[規格] 本エントリが notifications アクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値="H"。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server group の notify パラメータの <view-name> に対応します。	●
20	vacmAccessStorageType {vacmAccessEntry 8}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値=nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
21	vacmAccessStatus {vacmAccessEntry 9}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active(1) 固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server group に対応します。	●
22	vacmViewSpinLock {vacmMIBViews 1}	R/NW	[規格] ビュー作成もしくは変更の SET 操作を行うため, 共同する SNMP コマンドジェネレータアプリケーションに協調を許すための勧告ロック。 これは, 勧告ロックであるので, 使用は強制でない。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
23	vacmViewTreeFamily Table {vacmMIBViews 2}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存テーブル。 すべてのビューサブツリーは、包含も除外も、このテーブルで定義される。 [実装] 規格に同じ。	●
24	vacmViewTreeFamily Entry {vacmViewTreeFamily Table 1}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存エントリ。 INDEX { vacmViewTreeFamilyViewName, vacmViewTreeFamilySubtree } [実装] 規格に同じ。	●
25	vacmViewTreeFamily ViewName {vacmViewTreeFamily Entry 1}	NA	[規格] 目視で判読可能なビューサブツリーファミリの名前。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server view の<view-name>に対応します。	●
26	vacmViewTreeFamily Subtree {vacmViewTreeFamily Entry 2}	NA	[規格] ビューサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server view の<oid-tree>に対応します。	●
27	vacmViewTreeFamily Mask {vacmViewTreeFamily Entry 3}	R/NW	[規格] vacmViewTreeFamilySubtree のマスク値。 • 1 : 正確な一致が発生しなければならない。 • 0 : 'wild card'を示す。 このオブジェクトの長さが 0 の場合、すべて '1' のマスクが使用される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server view の<oid-tree>のワイルドカード指定 (*) に対応します。	●
28	vacmViewTreeFamily Type {vacmViewTreeFamily Entry 4}	R/NW	[規格] MIB ビューの包含または除外を示す。 デフォルト値=included。 • included (1) • excluded (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server view の{included excluded}の選択に対応します。	●
29	vacmViewTreeFamily StorageType {vacmViewTreeFamily Entry 5}	R/NW	[規格] このエントリの保存形式。 デフォルト値=nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	●
30	vacmViewTreeFamily Status {vacmViewTreeFamily Entry 6}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active(1)固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server view に対応します。	●

2.23 ieee8021CfmMib グループ

ieee8021CfmMib グループの準拠規格を次に示します。

- IEEE8021-CFM-MIB (2007 年 12 月)

注意事項

識別子 ieee802dot1 および ieee802dot1mibs について

- 本 MIB のオブジェクト識別子を指定して本装置外から GetNextRequest オペレーションを実行すると、正しい値が取得できないおそれがあります。
- 本 MIB のオブジェクト識別子を指定して snmp getnext コマンド、snmp walk コマンドまたは snmp lookup コマンドを実行すると、正しい値を取得できません。
- snmp getnext コマンド、snmp walk コマンドおよび snmp lookup コマンドで CFM の MIB を取得する場合、ieee8021CfmMib 以下から実行してください。

2.23.1 dot1agCfmStackTable

(1) 識別子

```

org                OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee               OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds      OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1       OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs   OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib    OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmStack    OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 1}

dot1agCfmStackTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmStack 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.1.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmStackTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-76 dot1agCfmStackTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmStackTable {dot1agCfmStack 1}	NA	[規格] MP に付与されたインタフェース情報。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmStackEntry {dot1agCfmStackTable 1}	NA	[規格] スタックテーブルのエントリ。 INDEX { dot1agCfmStackifIndex, dot1agCfmStackVlanIdOrNone, dot1agCfmStackMdLevel, dot1agCfmStackDirection } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmStackifIndex	NA	[規格] MEP にあるポートを表します。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot1agCfmStackEntry 1}		[実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmStackVlanId OrNone {dot1agCfmStackEntry 2}	NA	[規格] MP に割り当てられた VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmStackMdLevel {dot1agCfmStackEntry 3}	NA	[規格] MP のドメインレベル。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1agCfmStackDirection {dot1agCfmStackEntry 4}	NA	[規格] MP の Direction。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1agCfmStackMdIndex {dot1agCfmStackEntry 5}	R/O	[規格] dot1agCfmMdTable でのドメインのインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1agCfmStackMaIndex {dot1agCfmStackEntry 6}	R/O	[規格] dot1agCfmMaNetTable と dot1agCfmMaCompTable での MA のインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1agCfmStackMepId {dot1agCfmStackEntry 7}	R/O	[規格] MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1agCfmStackMacAddress {dot1agCfmStackEntry 8}	R/O	[規格] MP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

2.23.2 dot1agCfmVlanTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 3}

dot1agCfmVlanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.3.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmVlanTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-77 dot1agCfmVlanTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmVlanTable {dot1agCfmVlan 1}	NA	[規格] VLAN のアソシエーションを定義する。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmVlanEntry {dot1agCfmVlanTable 1}	NA	[規格] VLAN テーブルのエントリ。 INDEX { dot1agCfmVlanComponentId, dot1agCfmVlanVid } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmVlanComponentId {dot1agCfmVlanEntry 1}	NA	[規格] dot1agCfmVlanEntry の情報が適用されるシステムの中のコンポーネント。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmVlanVid {dot1agCfmVlanEntry 2}	NA	[規格] MA の VLAN グループの中の VLAN。 プライマリ VLAN ではない。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmVlanPrimaryVid {dot1agCfmVlanEntry 3}	R/NC	[規格] プライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmVlanRowStatus {dot1agCfmVlanEntry 4}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.23.3 dot1agCfmMd

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}

dot1agCfmMd  OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.5

dot1agCfmMdTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMd 2}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.5.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMd グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-78 dot1agCfmMd グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	dot1agCfmMdTableNextIndex {dot1agCfmMd 1}	R/O	[規格] dot1agCfmMdTable を生成するときに使用するインデックス。 [実装] 0 固定。	●
2	dot1agCfmMdTable {dot1agCfmMd 2}	NA	[規格] ドメインテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMdEntry {dot1agCfmMdTable 1}	NA	[規格] ドメインテーブルのエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex } [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMdIndex {dot1agCfmMdEntry 1}	NA	[規格] ドメインテーブルのインデックス。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmMdFormat {dot1agCfmMdEntry 2}	R/NC	[規格] ドメイン名称のタイプ。 • none (1) • dnsLikeName (2) • macAddressAndUint (3) • charString (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmMdName {dot1agCfmMdEntry 3}	R/NC	[規格] ドメイン名称。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	dot1agCfmMdMdLevel {dot1agCfmMdEntry 4}	R/NC	[規格] ドメインレベル。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	dot1agCfmMdMhfCreation {dot1agCfmMdEntry 5}	R/NC	[規格] MIP 生成可否。 • defMHFnone (1) • defMHFdefault (2) • defMHFexplicit (3) [実装] defMHFexplicit (3) 固定。ただし、Read_Only です。	●
9	dot1agCfmMdMhfIdPermission {dot1agCfmMdEntry 6}	R/NC	[規格] Sender ID TLV に含まれる値。 • sendIdNone (1) • sendIdChassis (2) • sendIdManage (3) • sendIdChassisManage (4) [実装] sendIdChassis (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
10	dot1agCfmMdMaNextIndex {dot1agCfmMdEntry 7}	R/O	[規格] dot1agCfmMaNetTable と dot1agCfmMaCompTable を生成するときに使用するインデックス値。 [実装] 0 固定。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	dot1agCfmMdRowStatus {dot1agCfmMdEntry 8}	R/NC	[規格] Table の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • active (1) • notInService (2) [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.23.4 dot1agCfmMaNetTable

(1) 識別子

```

org                OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee               OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds      OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1       OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs   OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib    OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa       OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaNetTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaNetTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-79 dot1agCfmMaNetTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaNetTable {dot1agCfmMa 1}	NA	[規格] MA テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMaNetEntry {dot1agCfmMaNetTable 1}	NA	[規格] MA テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMaIndex {dot1agCfmMaNetEntry 1}	NA	[規格] MA テーブルの INDEX。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMaNetFormat {dot1agCfmMaNetEntry 2}	R/NC	[規格] MA 名称のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ieeeReserved (0) • primaryVid (1) • charString (2) • unsignedInt16 (3) • rfc2865VpnId (4) 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			[実装] 本装置では (1) ~ (3) を返す。ただし、Read_Only です。	
5	dot1agCfmMaNetName {dot1agCfmMaNetEntry 3}	R/NC	[規格] MA 名称。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmMaNetCcmInterval {dot1agCfmMaNetEntry 4}	R/NC	[規格] CCM 転送時間間隔。 <ul style="list-style-type: none"> intervalInvalid (0) interval300Hz (1) interval10ms (2) interval100ms (3) interval1s (4) interval10s (5) interval1min (6) interval10min (7) [実装] 本装置では (4) ~ (7) を返す。ただし、Read_Only です。	●
7	dot1agCfmMaNetRowStatus {dot1agCfmMaNetEntry 5}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> active (1) notInService (2) [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.23.5 dot1agCfmMaCompTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa  OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaCompTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 2}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaCompTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-80 dot1agCfmMaCompTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaCompTable	NA	[規格] MA テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot1agCfmMa 2}			
2	dot1agCfmMaCompEntry {dot1agCfmMaCompTable 1}	NA	[規格] MA テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMaComponentId, dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMaComponentId {dot1agCfmMaCompEntry 1}	NA	[規格] dot1agCfmMaCompEntry の情報が適用されるシステムの中のコンポーネント。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMaCompPrimaryVlanId {dot1agCfmMaCompEntry 2}	R/NC	[規格] プライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	dot1agCfmMaCompMhfCreation {dot1agCfmMaCompEntry 3}	R/NC	[規格] MA での MIP の生成条件。 • defMHFnone (1) • defMHFdefault (2) • defMHFexplicit (3) • defMHFdefer (4) [実装] 本装置では defMHFexplicit (3)。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmMaCompIdPermission {dot1agCfmMaCompEntry 4}	R/NC	[規格] Sender ID TLV。 • sendIdNone (1) • sendIdChassis (2) • sendIdManage (3) • sendIdChassisManage (4) [実装] sendIdChassis (2) 固定。ただし、Read_Only です。	●
7	dot1agCfmMaCompNumberOfVids {dot1agCfmMaCompEntry 5}	R/NC	[規格] MA 内の VLAN 数。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	dot1agCfmMaCompRowStatus {dot1agCfmMaCompEntry 6}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	●

2.23.6 dot1agCfmMaMepListTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
            OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
            {standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa  OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaMepListTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 3}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.3

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaMepListTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-81 dot1agCfmMaMepListTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaMepListTable {dot1agCfmMa 3}	NA	[規格] MA に属する MEP ID のリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMaMepListEntry {dot1agCfmMaMepListTable 1}	NA	[規格] MEP テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMaMepListIdentifier } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMaMepListIdentifier {dot1agCfmMaMepListEntry 1}	NA	[規格] MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMaMepListRowStatus {dot1agCfmMaMepListEntry 2}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●

2.23.7 dot1agCfmMepTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
            OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
            {standards-association-numbered-series-standards 802}

```

```

ieee802dot1      OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs  OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib   OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep     OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmMepTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMepTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-82 dot1agCfmMepTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMepTable {dot1agCfmMep 1}	NA	[規格] MEP テーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMepEntry {dot1agCfmMepTable 1}	NA	[規格] MEP テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMepIdentifier {dot1agCfmMepEntry 1}	NA	[規格] MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMepIfIndex {dot1agCfmMepEntry 2}	R/NC	[規格] MEP が定義されているインタフェースの Ifindex。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
5	dot1agCfmMepDirection {dot1agCfmMepEntry 3}	R/NC	[規格] MEP の方向。 • down (1) • up (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
6	dot1agCfmMepPrimaryVid {dot1agCfmMepEntry 4}	R/NC	[規格] MEP のプライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
7	dot1agCfmMepActive {dot1agCfmMepEntry 5}	R/NC	[規格] MEP の状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
8	dot1agCfmMepFngState {dot1agCfmMepEntry 6}	R/O	[規格] MEP 障害状態。 • fngReset (1) • fngDefect (2) • fngReportDefect (3) • fngDefectReported (4) • fngDefectClearing (5) [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	dot1agCfmMepCciEnabled {dot1agCfmMepEntry 7}	R/NC	[規格] true のときに CCM を生成する。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
10	dot1agCfmMepCcmLtmPriority {dot1agCfmMepEntry 8}	R/NC	[規格] CCM とリンクトレースメッセージの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
11	dot1agCfmMepMacAddress {dot1agCfmMepEntry 9}	R/O	[規格] MEP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1agCfmMepLowPrDef {dot1agCfmMepEntry 10}	R/NC	[規格] 障害優先度の最小値。 <ul style="list-style-type: none"> • allDef (1) • macRemErrXcon (2) • remErrXcon (3) • errXcon (4) • xcon (5) • noXcon (6) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
13	dot1agCfmMepFngAlarmTime {dot1agCfmMepEntry 11}	R/NC	[規格] 障害警報を発行する前の障害の時刻。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
14	dot1agCfmMepFngResetTime {dot1agCfmMepEntry 12}	R/NC	[規格] 障害警報をリセットする前の障害の時刻。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
15	dot1agCfmMepHighestPrDefect {dot1agCfmMepEntry 13}	R/O	[規格] MEP での最も高い障害優先度。 <ul style="list-style-type: none"> • none (0) • defRDICCM (1) • defMACstatus (2) • defRemoteCCM (3) • defErrorCCM (4) • defXconCCM (5) [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1agCfmMepDefects {dot1agCfmMepEntry 14}	R/O	[規格] 各エラーをビットで表した値。 <ul style="list-style-type: none"> • bDefRDICCM (0) • bDefMACstatus (1) • bDefRemoteCCM (2) • bDefErrorCCM (3) • bDefXconCCM (4) 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			[実装] 規格に同じ。	
17	dot1agCfmMepErrorCcmLastFailure {dot1agCfmMepEntry 15}	R/O	[規格] DefErrorCCM 障害を契機とした最終受信 CCM。 [実装] 規格に同じ。ただし、CFM PDU 58byte までです。	●
18	dot1agCfmMepXconCcmLastFailure {dot1agCfmMepEntry 16}	R/O	[規格] DefXconCCM 障害を契機とした最終受信 CCM。 [実装] 規格に同じ。ただし、CFM PDU 58byte までです。	●
19	dot1agCfmMepCcmSequenceErrors {dot1agCfmMepEntry 17}	R/O	[規格] Out Of Sequence となった CCM の総計。 [実装] 規格に同じ。	●
20	dot1agCfmMepCciSentCcms {dot1agCfmMepEntry 18}	R/O	[規格] 転送された CC メッセージの総計。 [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1agCfmMepNextLbmTransId {dot1agCfmMepEntry 19}	R/O	[規格] ループバックメッセージでの次のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	●
22	dot1agCfmMepLbrIn {dot1agCfmMepEntry 20}	R/O	[規格] ループバックリプライ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
23	dot1agCfmMepLbrInOutOfOrder {dot1agCfmMepEntry 21}	R/O	[規格] ループバックリプライの Out Of Order 受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
24	dot1agCfmMepLbrBadMsdu {dot1agCfmMepEntry 22}	R/O	[規格] 不一致の mac_service_data_unit を受信したループバックリプライの総計。 [実装] 規格に同じ。	●
25	dot1agCfmMepLtmNextSeqNumber {dot1agCfmMepEntry 23}	R/O	[規格] リンクトレースメッセージでの次の転送 ID。 [実装] 規格に同じ。	●
26	dot1agCfmMepUnexpLtrIn {dot1agCfmMepEntry 24}	R/O	[規格] 想定外のリンクトレースリプライ受信数。 [実装] 規格に同じ。	●
27	dot1agCfmMepLbrOut	R/O	[規格] 転送されたループバックリプライ送信数。 [実装] 規格に同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{dot1agCfmMepEntry 25}			
28	dot1agCfmMepTransmit LbmStatus {dot1agCfmMepEntry 26}	R/NC	[規格] ループバックメッセージを転送するかを示す。 [実装] true 固定。	●
29	dot1agCfmMepTransmit LbmDestMacAddress {dot1agCfmMepEntry 27}	R/NC	[規格] ループバックメッセージの宛先 MAC アドレス。 項番 31 が false のとき有効。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
30	dot1agCfmMepTransmit LbmDestMepId {dot1agCfmMepEntry 28}	R/NC	[規格] ループバックメッセージの宛先 MEP ID。 項番 31 が true のとき有効。 [実装] 本システムでは項番 31 は false 固定のため未サポート。	×
31	dot1agCfmMepTransmit LbmDestIsMepId {dot1agCfmMepEntry 29}	R/NC	[規格] <ul style="list-style-type: none"> • true : MEP ID は、ループバック転送として使用される。 • false : MEP の宛先 MAC アドレスは、ループバック転送として使用される。 [実装] false 固定。ただし、Read_Only です。	●
32	dot1agCfmMepTransmit LbmMessages {dot1agCfmMepEntry 30}	R/NC	[規格] 送信されるループバックメッセージ数。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
33	dot1agCfmMepTransmit LbmDataTlv {dot1agCfmMepEntry 31}	R/NC	[規格] Data TLV のデータ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
34	dot1agCfmMepTransmit LbmVlanPriority {dot1agCfmMepEntry 32}	R/NC	[規格] VLAN Tag に使用される優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
35	dot1agCfmMepTransmit LbmVlanDropEnable {dot1agCfmMepEntry 33}	R/NC	[規格] VLAN Tag での Drop Enable bit 値。 [実装] false 固定。ただし、Read_Only です。	●
36	dot1agCfmMepTransmit LbmResultOK {dot1agCfmMepEntry 34}	R/O	[規格] オペレーション結果。 [実装] true 固定。	●
37	dot1agCfmMepTransmit LbmSeqNumber	R/O	[規格] 最初に送信したループバックメッセージのループバックトラ ンザクション ID (dot1agCfmMepNextLbmTransId)。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot1agCfmMepEntry 35}		[実装] 直前に送信したループバックメッセージのループバックトランザクション ID。	
38	dot1agCfmMepTransmitLtmStatus {dot1agCfmMepEntry 36}	R/O	[規格] リンクトレースメッセージの転送状態。 [実装] 規格に同じ。	●
39	dot1agCfmMepTransmitLtmFlags {dot1agCfmMepEntry 37}	R/NC	[規格] MEP によって転送されたリンクトレースメッセージフラグ。 [実装] 0 固定。ただし、Read_Only です。	●
40	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetMacAddress {dot1agCfmMepEntry 38}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージの宛先 MAC アドレス。 項番 42 が false のとき有効。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
41	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetMepId {dot1agCfmMepEntry 39}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージの宛先 MEP ID。 項番 42 が true のとき有効。 [実装] 本システムでは項番 42 は false 固定のため未サポート。	×
42	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetIsMepId {dot1agCfmMepEntry 40}	R/NC	[規格] <ul style="list-style-type: none"> • true : 宛先 MEP ID • false : 宛先 MAC アドレス [実装] false 固定。ただし、Read_Only です。	●
43	dot1agCfmMepTransmitLtmTtl {dot1agCfmMepEntry 41}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージでの TTL。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
44	dot1agCfmMepTransmitLtmResult {dot1agCfmMepEntry 42}	R/O	[規格] オペレーション結果。 [実装] true 固定。	●
45	dot1agCfmMepTransmitLtmSeqNumber {dot1agCfmMepEntry 43}	R/O	[規格] 送信されたリンクトレースメッセージの ID。 [実装] 規格に同じ。	●
46	dot1agCfmMepTransmitLtmEgressIdentifier {dot1agCfmMepEntry 44}	R/NC	[規格] 送信するリンクトレースメッセージのリンクトレースメッセージトランザクション識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	●
47	dot1agCfmMepRowStatus {dot1agCfmMepEntry 45}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • active (1) • notInService (2) 	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
			[実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

2.23.8 dot1agCfmLtrTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmLtrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 2}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmLtrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-83 dot1agCfmLtrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmLtrTable {dot1agCfmMep 2}	NA	[規格] リンクトレースリプライのリスト。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmLtrEntry {dot1agCfmLtrTable 1}	NA	[規格] リンクトレースリプライリストテーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier, dot1agCfmLtrSeqNumber, dot1agCfmLtrReceiveOrder } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmLtrSeqNumber {dot1agCfmLtrEntry 1}	NA	[規格] リンクトレースリプライリストの識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmLtrReceiveOrder {dot1agCfmLtrEntry 2}	NA	[規格] 複数のリンクトレースリプライを区別するための識別子。 [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmLtrTtl {dot1agCfmLtrEntry 3}	R/O	[規格] リンクトレースリプライの TTL。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1agCfmLtrForwarded	R/O	[規格] MP によって転送されたかを示す。 [実装] 規格に同じ。	●

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
	{dot1agCfmLtrEntry 4}			
7	dot1agCfmLtrTerminalMep {dot1agCfmLtrEntry 5}	R/O	[規格] 転送されてリンクトレースリプライが MA 内の MEP に届いたかを示す。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1agCfmLtrLastEgressIdentifier {dot1agCfmLtrEntry 6}	R/O	[規格] 最終 Egress ID。 [実装] 規格に同じ。	●
9	dot1agCfmLtrNextEgressIdentifier {dot1agCfmLtrEntry 7}	R/O	[規格] 次の Egress ID。 [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1agCfmLtrRelay {dot1agCfmLtrEntry 8}	R/O	[規格] リレイアクションフィールドの値。 <ul style="list-style-type: none"> • rlyHit (1) • rlyFdb (2) • rlyMpdb (3) [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1agCfmLtrChassisIdSubtype {dot1agCfmLtrEntry 9}	R/O	[規格] シャーシフォーマットの値。 <ul style="list-style-type: none"> • chassisComponent (1) • interfaceAlias (2) • portComponent (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • interfaceName (6) • local (7) [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1agCfmLtrChassisId {dot1agCfmLtrEntry 10}	R/O	[規格] Sender ID TLV のシャーシ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1agCfmLtrManAddressDomain {dot1agCfmLtrEntry 11}	R/O	[規格] TDomain。 [実装] 規格に同じ。	●
14	dot1agCfmLtrManAddress {dot1agCfmLtrEntry 12}	R/O	[規格] SNMP Agent のアドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、30byte までです。	●
15	dot1agCfmLtrIngress {dot1agCfmLtrEntry 13}	R/O	[規格] リンクトレースリプライの Ingress Action フィールドの戻り値。 [実装] 規格に同じ。	●
16	dot1agCfmLtrIngressMac {dot1agCfmLtrEntry 14}	R/O	[規格] Ingress MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
17	dot1agCfmLtrIngressPortIdSubtype {dot1agCfmLtrEntry 15}	R/O	[規格] 物理ポートのフォーマット。 <ul style="list-style-type: none"> • interfaceAlias (1) • portComponent (2) • macAddress (3) • networkAddress (4) • interfaceName (5) • agentCircuitId (6) • local (7) [実装] 規格に同じ。	●
18	dot1agCfmLtrIngressPortId {dot1agCfmLtrEntry 16}	R/O	[規格] ポート ID。 [実装] 規格に同じ。	●
19	dot1agCfmLtrEgress {dot1agCfmLtrEntry 17}	R/O	[規格] リンクトレースリプライの Egress アクションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	●
20	dot1agCfmLtrEgressMac {dot1agCfmLtrEntry 18}	R/O	[規格] Egress MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
21	dot1agCfmLtrEgressPortIdSubtype {dot1agCfmLtrEntry 19}	R/O	[規格] Egress Port ID のフォーマット。 <ul style="list-style-type: none"> • interfaceAlias (1) • portComponent (2) • macAddress (3) • networkAddress (4) • interfaceName (5) • agentCircuitId (6) • local (7) [実装] 規格に同じ。	●
22	dot1agCfmLtrEgressPortId {dot1agCfmLtrEntry 20}	R/O	[規格] Egress Port ID。 [実装] 規格に同じ。	●
23	dot1agCfmLtrOrganizationSpecificTlv {dot1agCfmLtrEntry 21}	R/O	[規格] Organization-Specific TLV の OUI。 [実装] 規格に同じ。ただし、30byte までです。	●

2.23.9 dot1agCfmMepDbTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1  OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}

```

```

ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmMepDbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 3}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.3

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMepDbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-84 dot1agCfmMepDbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMepDbTable {dot1agCfmMep 3}	NA	[規格] MEP データベーステーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
2	dot1agCfmMepDbEntry {dot1agCfmMepDbTable 1}	NA	[規格] MEP データベーステーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier, dot1agCfmMepDbRMepIdentifier } [実装] 規格に同じ。	●
3	dot1agCfmMepDbRMepIdentifier {dot1agCfmMepDbEntry 1}	NA	[規格] リモート MEP の MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	●
4	dot1agCfmMepDbRMepState {dot1agCfmMepDbEntry 2}	R/O	[規格] リモート MEP の操作状況。 • rMepIdle (1) • rMepStart (2) • rMepFailed (3) • rMepOk (4) [実装] 規格に同じ。	●
5	dot1agCfmMepDbRMepFailedOkTime {dot1agCfmMepDbEntry 3}	R/O	[規格] リモート MEP が最後に Fail または OK になってからの経過時間。 [実装] 規格に同じ。	●
6	dot1agCfmMepDbMacAddress {dot1agCfmMepDbEntry 4}	R/O	[規格] リモート MEP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●
7	dot1agCfmMepDbRdi {dot1agCfmMepDbEntry 5}	R/O	[規格] 最後に受信した CCM の RDI ビット。 [実装] 規格に同じ。	●
8	dot1agCfmMepDbPortStatusTlv	R/O	[規格] リモート MEP から受信した最後の CCM の TLV のポート状態。	●

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
	{dot1agCfmMepDbEntry 6}		<ul style="list-style-type: none"> • psNoPortStateTLV (0) • psBlocked (1) • psUp (2) [実装] 規格に同じ。	
9	dot1agCfmMepDbInterfaceStatusTlv {dot1agCfmMepDbEntry 7}	R/O	[規格] リモート MEP から受信した最後の CCM の TLV のインタフェース状態。 <ul style="list-style-type: none"> • isNoInterfaceStatusTLV (0) • isUp (1) • isDown (2) • isTesting (3) • isUnknown (4) • isDormant (5) • isNotPresent (6) • isLowerLayerDown (7) [実装] 規格に同じ。	●
10	dot1agCfmMepDbChassisIdSubtype {dot1agCfmMepDbEntry 8}	R/O	[規格] 最後に受信した CCM のシャーシ ID のフォーマット。 <ul style="list-style-type: none"> • chassisComponent (1) • interfaceAlias (2) • portComponent (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • interfaceName (6) • local (7) [実装] 規格に同じ。	●
11	dot1agCfmMepDbChassisId {dot1agCfmMepDbEntry 9}	R/O	[規格] 最後に受信した CCM のシャーシ ID。 [実装] 規格に同じ。	●
12	dot1agCfmMepDbManAddressDomain {dot1agCfmMepDbEntry 10}	R/O	[規格] TDomain。 [実装] 規格に同じ。	●
13	dot1agCfmMepDbManAddress {dot1agCfmMepDbEntry 11}	R/O	[規格] TAddress。 [実装] 規格に同じ。ただし、30byte までです。	●

3

プライベート MIB

この章では本装置で使用するプライベート MIB の実装仕様について説明します。

3.1 axsStats グループ(統計情報 MIB)

3.1.1 axslfStats グループ

(1) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axslfStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4

(2) 実装仕様

axslfStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-1 axslfStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslfStatsTable {axslfStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブル。	●※
2	axslfStatsEntry {axslfStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 INDEX { axslfStatsIndex }	●
3	axslfStatsIndex {axslfStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインタフェースインデックス。 ifIndex と同じ。	●
4	axslfStatsName {axslfStatsEntry 2}	DisplayString	R/O	インタフェースの名称。 ifDescr と同じ。	●
5	axslfStatsInMegaOctets {axslfStatsEntry 3}	Counter	R/O	受信した総オクテット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。 オクテット数の算出には、フレーム長のMAC ヘッダから FCS までの範囲を使用しています。	●
6	axslfStatsInUcastMegaPkts {axslfStatsEntry 4}	Counter	R/O	受信したユニキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
7	axslfStatsInMulticastMegaPkts {axslfStatsEntry 5}	Counter	R/O	受信したマルチキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
8	axslfStatsInBroadcastMegaPkts {axslfStatsEntry 6}	Counter	R/O	受信したブロードキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
9	axslfStatsOutMegaOctets {axslfStatsEntry 7}	Counter	R/O	送信した総オクテット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。 オクテット数の算出には、フレーム長のMAC ヘッダから FCS までの範囲を使用しています。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
10	axsIfStatsOutUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 8}	Counter	R/O	ユニキャスト送信したパケット数。(単位：メガ)。 メガ未満は切り捨て。	●
11	axsIfStatsOutMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 9}	Counter	R/O	マルチキャスト送信したパケット数(単位：メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
12	axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 10}	Counter	R/O	ブロードキャスト送信したパケット数(単位：メガ)。メガ未満は切り捨て。	●
13	axsIfStatsHighSpeed {axsIfStatsEntry 11}	Counter	R/O	回線速度(単位：Mbit/s)。Mbit/s 未満は切り捨て。コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は該当インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。	●

注※ 対象はイーサネットインタフェースです。

3.1.2 axsQoS グループ

(1) axsEtherTxQoS グループ

(a) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
 axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}
 axsEtherTxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1

(b) 実装仕様

axsEtherTxQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-2 axsEtherTxQoS グループの実装仕様 (イーサネットインタフェースの QoS 統計情報)

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsEtherTxQoSStatsTable {axsEtherTxQoS 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	QoS 統計情報のポート送信キューのテーブル情報。	●
2	axsEtherTxQoSStatsEntry {axsEtherTxQoSStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	イーサネットインタフェースごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 INDEX { axsEtherTxQoSStatsIndex }	●
3	axsEtherTxQoSStatsIndex {axsEtherTxQoSStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (イーサネットインタフェースの ifIndex 値) を示します。 1～ifNumber までの値。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsEtherTxQoSStatsMaxQnum {axsEtherTxQoSStatsEntry 2}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのポート送信キューのキュー数の最大値を示します。	●
5	axsEtherTxQoSStatsLimitQlen {axsEtherTxQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの出力優先度キュー長の限界値（該当ポートのすべてのキューのうち最大キュー長）を示します。	●
6	axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 4}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの総送信フレーム数を示します。 • 0 固定	▲
7	axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh {axsEtherTxQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの総送信バイト数（上位 4 バイト）を示します。 • 0 固定	▲
8	axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow {axsEtherTxQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの総送信バイト数（下位 4 バイト）を示します。 • 0 固定	▲
9	axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの総廃棄フレーム数を示します。 • Tail_drop, HOL1, および HOL2 の合計値 Tail_drop, HOL1, および HOL は show qos queueing コマンドで表示されます。	●
10	axsEtherTxQoSStatsQueueTable {axsEtherTxQoS 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースのポート送信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。	●
11	axsEtherTxQoSStatsQueueEntry {axsEtherTxQoSStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースのポート送信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 INDEX { axsEtherTxQoSStatsQueueIndex, axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex }	●
12	axsEtherTxQoSStatsQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値（イーサネットインタフェースの ifIndex 値）を示します。 1～ifNumber までの値。	●
13	axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1～axsEtherTxQoSStatsMaxQnum までの値。	●
14	axsEtherTxQoSStatsQueueQueueLength {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 3}	INTEGER	R/O	情報採取時のポート送信キューの出力優先度キュー長を示します。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
15	axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去または初期化してからの該当インタフェースのポート送信キューの最大の出力優先度キュー長を示します。 • 0 固定	▲
16	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	ポート送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 1 での廃棄フレーム数を示します。 • 0 固定	▲
17	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	ポート送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 2 での廃棄フレーム数を示します。 • 0 固定	▲
18	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	ポート送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 3 での廃棄フレーム数を示します。 • 0 固定	▲
19	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	ポート送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 4 での廃棄フレーム数を示します。 • 0 固定	▲

(2) axsToCpuQoS グループ

(a) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
 axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}
 axsToCpuQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 11}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11

(b) 実装仕様

axsToCpuQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-3 axsToCpuQoS グループの実装仕様 (CPU への送信キューの QoS 統計情報)

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsToCpuQoSStatsTable {axsToCpuQoS 1}	NOT- ACCESSIBLE	NA	QoS 統計情報の CPU への送信キューのテーブル情報。	●
2	axsToCpuQoSStatsEntry {axsToCpuQoSStatsTable 1}	NOT- ACCESSIBLE	NA	CPU への送信キューの QoS 統計情報に関するエントリ。 INDEX { axsToCpuQoSStatsIndex }	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	axsToCpuQoSStatsIndex {axsToCpuQoSStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	取得対象の CPU への送信キューが存在する部位内の番号を示します。 • 1 固定	▲
4	axsToCpuQoSStatsMaxQnum {axsToCpuQoSStatsEntry 2}	INTEGER	R/O	CPU への送信キューのキュー数の最大値を示します。	●
5	axsToCpuQoSStatsLimitQlen {axsToCpuQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	CPU への送信キュー内該当キューの出力優先度キュー長の限界値（該当するすべてのキューのうち最大キュー長）を示します。	●
6	axsToCpuQoSStatsTotalOutFrames {axsToCpuQoSStatsEntry 4}	Counter	R/O	CPU への送信キューの総送信フレーム数を示します。 • 0 固定	▲
7	axsToCpuQoSStatsTotalOutBytesHigh {axsToCpuQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	CPU への送信キューの総送信バイト数（上位 4 バイト）を示します。バイト数に FCS は含みません。 • 0 固定	▲
8	axsToCpuQoSStatsTotalOutBytesLow {axsToCpuQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	CPU への送信キューの総送信バイト数（下位 4 バイト）を示します。バイト数に FCS は含みません。 • 0 固定	▲
9	axsToCpuQoSStatsTotalDiscardFrames {axsToCpuQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	CPU への送信キューの総廃棄フレーム数を示します。	●
10	axsToCpuQoSStatsQueueTable {axsToCpuQoS 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	CPU への送信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。	●
11	axsToCpuQoSStatsQueueEntry {axsToCpuQoSStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	CPU への送信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 INDEX { axsToCpuQoSStatsQueueIndex, axsToCpuQoSStatsQueueQueueIndex }	●
12	axsToCpuQoSStatsQueueIndex {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	取得対象の CPU への送信キューが存在する部位内の番号を示します。 • 1 固定	▲
13	axsToCpuQoSStatsQueueQueueIndex {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1～axsToCpuQoSStatsMaxQnum までの値。	●
14	axsToCpuQoSStatsQueueQlen	INTEGER	R/O	情報採取時の CPU への送信キューの出力優先度キュー長を示します。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
	{axsToCpuQoSStatsQueueEntry 3}				
15	axsToCpuQoSStatsQueueMaxQlen {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去または初期化してからの、CPU への送信キュー内該当キューの最大の出力優先度キュー長を示します。 • 0 固定	▲
16	axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	CPU への送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 1 での廃棄フレーム数を示します。 • 0 固定	▲
17	axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	CPU への送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 2 での廃棄フレーム数を示します。 • 0 固定	▲
18	axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	CPU への送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 3 での廃棄フレーム数を示します。 • 0 固定	▲
19	axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 {axsToCpuQoSStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	CPU への送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 4 での廃棄フレーム数を示します。 • 0 固定	▲

3.1.3 axsDHCP グループ

(1) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
 axsDHCP OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 10}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10

(2) 実装仕様

axsDHCP グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-4 axsDHCP グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
1	axsDHCP {axsStats 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	DHCP サーバに関する統計情報。	●
2	axsDHCPAddrValue {axsDHCP 1}	INTEGER	R/O	割り当て可能な IP アドレス数。	●

3 プライベート MIB

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
3	axsDHCPFreeAddrValue {axsDHCP 2}	INTEGER	R/O	未割り当て IP アドレス数。	●

3.2 axsGsrpMIB グループ(GSRP グループ情報)

3.2.1 axsGsrpGroupTable グループ

(1) 識別子

axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}

axsGsrpGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1

(2) 実装仕様

axsGsrpGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-5 axsGsrpGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpGroupTable {axsGsrp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP グループ情報を格納するテーブル。	●
2	axsGsrpGroupEntry {axsGsrpGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP グループ情報のリスト。 INDEX { axsGsrpGroupId }	●
3	axsGsrpGroupId {axsGsrpGroupEntry 1}	INTEGER	NA	GSRP グループ ID。	●
4	axsGsrpGroupRowStatus {axsGsrpGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効/無効状態を示します。 Valid (1) 固定。	●
5	axsGsrpMacAddress {axsGsrpGroupEntry 3}	MacAddress	R/O	本装置の MAC アドレス。	●
6	axsGsrpAdvertiseHoldTime {axsGsrpGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	Advertise フレームの保持時間 (単位: ミリ秒)。	●
7	axsGsrpAdvertiseInterval {axsGsrpGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	Advertise フレームの送信間隔 (単位: ミリ秒)。	●
8	axsGsrpSelectionPattern {axsGsrpGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	マスタ/バックアップ選択パターン。 • Ports-Priority-MAC (1) • Priority-Ports-MAC (2)	●
9	axsGsrpLayer3Redundancy {axsGsrpGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	レイヤ 3 冗長切替の状態。 • Off (1) • On (2)	●

3.2.2 axsGsrpVlanGroupTable グループ

(1) 識別子

axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}

axsGsrpVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2

(2) 実装仕様

axsGsrpVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-6 axsGsrpVlanGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpVlanGroupTable { axsGsrp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブル。	●
2	axsGsrpVlanGroupEntry {axsGsrpVlanGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP VLAN グループ情報のリスト。 INDEX { axsGsrpGroupId, axsGsrpVlanGroupId }	●
3	axsGsrpVlanGroupId {axsGsrpVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	GSRP VLAN グループ ID (1~64)。	●
4	axsGsrpVlanGroupRowStatus {axsGsrpVlanGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効/無効状態を示します。 Valid (1) 固定	●
5	axsGsrpState {axsGsrpVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	GSRP グループの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • BackUp (1) • BackUp (Waiting) (2) • Master (3) • BackUp (No Neighbor) (4) • BackUp (Lock) (5) 	●
6	axsGsrpPriority {axsGsrpVlanGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	構成された優先度。	●
7	axsGsrpActivePorts {axsGsrpVlanGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	アクティブポートの数。	●
8	axsGsrpTransitionToMasterCounts {axsGsrpVlanGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	バックアップ状態からマスタ状態に移行した回数。	●
9	axsGsrpTransitionFromMasterCounts {axsGsrpVlanGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	マスタ状態からバックアップ状態に移行した回数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axsGsrpLastTransitionTime {axsGsrpVlanGroupEntry 8}	TimeStamp	R/O	マスタ状態からバックアップ状態, またはバックアップ状態からマスタ状態に遷移した最終時刻。	●
11	axsGsrpVirtualMacAddress {axsGsrpVlanGroupEntry 9}	MacAddress	R/O	GSRP VLAN グループの仮想 MAC アドレス。	●

3.2.3 axsGsrpNeighborGroupTable グループ

(1) 識別子

axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}

axsGsrpNeighborGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3

(2) 実装仕様

axsGsrpNeighborGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-7 axsGsrpNeighborGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpNeighborGroupTable {axsGsrp 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP グループ情報を格納するテーブル。	●
2	axsGsrpNeighborGroupEntry {axsGsrpNeighborGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP グループ情報のリスト。 INDEX { axsGsrpNeighborGroupId, axsGsrpNeighborMacAddress }	●
3	axsGsrpNeighborGroupId {axsGsrpNeighborGroupEntry 1}	INTEGER	NA	対向装置の GSRP グループ ID。	●
4	axsGsrpNeighborMacAddress {axsGsrpNeighborGroupEntry 2}	MacAddress	NA	対向装置の MAC アドレス。	●
5	axsGsrpNeighborAdvertiseHoldTime {axsGsrpNeighborGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	対向装置の Advertise フレームの保持時間 (単位：ミリ秒)。	●
6	axsGsrpNeighborAdvertiseInterval {axsGsrpNeighborGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	対向装置の Advertise フレームの送信間隔 (単位：ミリ秒)。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
7	axsGsrpNeighborSelectionPattern {axsGsrpNeighborGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	対向装置のマスタ/バックアップ選択パターン。 <ul style="list-style-type: none"> Port-Priority-MAC (1) Priority-Port-MAC (2) 	●

3.2.4 axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ

(1) 識別子

axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}

axsGsrpNeighborVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 4}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4

(2) 実装仕様

axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-8 axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsGsrpNeighborVlanGroupTable {axsGsrp 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブル。	●
2	axsGsrpNeighborVlanGroupEntry {axsGsrpNeighborGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ情報のリスト。 INDEX { axsGsrpNeighborGroupId, axsGsrpNeighborVlanGroupId, axsGsrpNeighborMacAddress }	●
3	axsGsrpNeighborVlanGroupId {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ ID (1～64)。	●
4	axsGsrpNeighborState {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 2}	INTEGER	R/O	対向装置の GSRP グループの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> BackUp (1) BackUp (Waiting) (2) Master (3) BackUp (No Neighbor) (4) BackUp (Lock) (5) 	●
5	axsGsrpNeighborPriority {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	対向装置の構成された優先度。	●
6	axsGsrpNeighborActivePorts	INTEGER	R/O	対向装置のアクティブポートの数。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 4}				

3.3 axsFdb グループ(MAC アドレステーブルグループ MIB)

(1) 識別子

axsMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 1}

axsFdb OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5

(2) 実装仕様

axsFdb グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-9 axsFdb グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFdbCounterTable {axsFdb 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブル。	●
2	axsFdbCounterEntry {axsFdbCounterTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブルのエントリ。 INDEX { axsFdbCounterNifIndex, axsFdbCounterLineIndex }	●
3	axsFdbCounterNifIndex {axsFdbCounterEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 • 1 固定	●
4	axsFdbCounterLineIndex {axsFdbCounterEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	LINE 搭載スロットの位置情報を示します。	●
5	axsFdbCounterCounts {axsFdbCounterEntry 3}	Counter32	R/O	このポートで学習している MAC アドレステーブルエントリ数。	●
6	axsFdbCounterType {axsFdbCounterEntry 4}	INTEGER	R/O	学習制限の設定有無, および設定時に最大 MAC アドレステーブル数を超えた場合の未学習フレームの挙動。 • Unlimited (0) • Limited and Forward (1) • Limited and Discard (2) 本装置では固定値 (0) を返す。	●
7	axsFdbCounterLimits {axsFdbCounterEntry 5}	Counter32	R/O	このポートで学習可能な最大 MAC アドレステーブルエントリ数。 • 0: 学習禁止 • 1~100000: コンフィグレーションコマンド mac-address-table static で設定した数	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
				本装置では固定値（0）を返す。	

3.4 axsVlan グループ(VLAN 情報 MIB)

本グループで使用するポート番号は物理ポート番号、チャンネルグループ番号、仮想リンク ID のすべてを一意に識別するための番号とし、それぞれ次の形式で求めたものです。

- 物理ポートのポート番号
物理ポートは一意に識別されます。
ポート番号：物理ポート番号
- チャンネルグループのポート番号
リンクアグリゲーションのチャンネルグループ番号から下記のようにポート番号を算出します。
ポート番号：65（固定値）＋チャンネルグループ番号
- 仮想リンクのポート番号
仮想リンクは仮想リンク ID から下記のようにポート番号を算出します。
ポート番号：193（固定値）＋仮想リンク ID
仮想リンクのポート番号は axsVBStpPortTable グループだけに適用します。

3.4.1 axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報)

(1) axsVBBaseTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1

(b) 実装仕様

axsVBBaseTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-10 axsVBBaseTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBBaseTable {axsVlanBridgeBase 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dBase 情報テーブル。	●
2	axsVBBaseEntry {axsVBBaseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBBaseTable の各 VLAN ID の情報エントリ。 INDEX { axsVBBaseIndex }	●
3	axsVBBaseIndex {axsVBBaseEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	●
4	axsVBBaseBridgeAddress {axsVBBaseEntry 2}	MacAddress	R/O	VLAN の MAC アドレス。 • VLAN ごとの MAC 機能使用時：VLAN ごとの MAC アドレス	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
				<ul style="list-style-type: none"> 未使用時：装置 MAC アドレス 	
5	axsVBBaseNumPorts {axsVBBaseEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポート数。	●
6	axsVBBaseType {axsVBBaseEntry 4}	INTEGER	R/O	VLAN が実行することができるブリッジ ングのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> unknown (1) transparent-only (2) sourceroute-only (3) srt (4) 本装置では transparent-only (2) 固定。	▲
7	axsVBBaseVlanIfIndex {axsVBBaseEntry 5}	INTEGER	R/O	VLAN のインタフェースの ifIndex の値。	●
8	axsVBBaseVlanType {axsVBBaseEntry 6}	INTEGER	R/O	VLAN のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> port-based (1) mac-based (2) protocol-based (3) 	●
9	axsVBBaseVlanID {axsVBBaseEntry 7}	VlanIdOrZe ro	R/O	VLAN に対応する VLAN Tag の VLAN ID の値。	●
10	axsVBBaseAssociatedPrimary Vlan {axsVBBaseEntry 8}	VlanIdOrZe ro	R/O	プライベート VLAN 機能を使用し、かつ、 この VLAN が Secondary VLAN として設 定されている場合に、この VLAN に対応し ている Primary VLAN の VLAN ID を返 す。 この VLAN がプライベート VLAN 機能 を使用していない、または Secondary VLAN ではない、もしくは対応する Primary VLAN が設定されていない時は 0 を返す。 本装置では固定値 (0) を返す。	●
11	axsVBBaseIfStatus {axsVBBaseEntry 9}	INTEGER	R/O	VLAN の上位プロトコルに対するインタ フェース状態。 <ul style="list-style-type: none"> Up (1) Down (2) 	●
12	axsVBBaseLastChange {axsVBBaseEntry 10}	TimeTicks	R/O	VLAN のトポロジが変更したときの sysUpTime 値。	●
13	axsVBBasePrivateVlanType {axsVBBaseEntry 11}	INTEGER	R/O	VLAN のプライベート VLAN タイプ。プ ライベート VLAN 機能を使用していない場 合は normal (1) を返す。 <ul style="list-style-type: none"> normal (1) primary (2) isolated (3) 	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				<ul style="list-style-type: none"> community (4) 本装置では固定値 (1) を返す。	

(2) axsVBBasePortTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1

(b) 実装仕様

axsVBBasePortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-11 axsVBBasePortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBBasePortTable {axsVlanBridgeBase 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dBasePortTable 情報テーブル。	●
2	axsVBBasePortEntry {axsVBBasePortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBBasePortTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBBasePortIndex, axsVBBasePort }	●
3	axsVBBasePortIndex {axsVBBasePortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	●
4	axsVBBasePort {axsVBBasePortEntry 2}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートのポート番号 (1~65535)。 本ポート番号は物理ポートとチャネルグループを対象とする。	●
5	axsVBBasePortIfIndex {axsVBBasePortEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートに対応する ifIndex 値。	●
6	axsVBBasePortCircuit {axsVBBasePortEntry 4}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	VLAN に設定されている異なるポートに対して、axsVBBasePortIfIndex が同じ値となる場合にポートを識別する識別子。 本装置では固定値 0.0 を返す。	▲
7	axsVBBasePortDelayExceededDiscards {axsVBBasePortEntry 5}	Counter	R/O	VLAN に設定されているポートで発生した通過遅延による廃棄フレームの総数。 本装置では固定値 0 を返す。	▲

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
8	axsVBBasePortMtuExceededDiscards {axsVBBasePortEntry 6}	Counter	R/O	VLAN に設定されているポートで発生したデータオーバーフローによる破棄フレームの総数。 本装置では固定値 0 を返す。	▲
9	axsVBBasePortState {axsVBBasePortEntry 7}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートの STP ポート状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disable (1) • blocking (2) • listening (3) • learning (4) • forwarding (5) • broken (6) • fix-forwarding (7) 本装置は disable (1), blocking (2), listening (3), learning (4), forwarding (5), fix-forwarding (7) のどれかを返す。	●
10	axsVBBasePortTaggedState {axsVBBasePortEntry 8}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートの VLAN Tag 設定の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 設定なし (1) • 設定あり (2) 	●
11	axsVBBasePortTranslatedTagID {axsVBBasePortEntry 9}	VlanIdOrZero	R/O	Tag 変換が設定されている場合、このポートに設定されている VLAN の Translated ID (1~4094)。 Tag 変換の設定がされていない場合、0 を返す。	●

(3) axsVBStpTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2

(b) 実装仕様

axsVBStpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-12 axsVBStpTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStpTable {axsVlanBridgeStp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStpTable 情報テーブル。 本テーブルは PVST+ の VLAN ごとの スパニング・ツリー情報を対象とする。	●
2	axsVBStpEntry {axsVBStpTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStpTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBStpIndex }	●
3	axsVBStpIndex {axsVBStpEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	●
4	axsVBStpProtocolSpecification {axsVBStpEntry 2}	INTEGER	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの プロトコル種別。 <ul style="list-style-type: none"> • unknown (1) • decLb100 (2) • ieee8021d (3) • ieee8021w (4) 本装置は ieee8021d (3) または ieee8021w (4) を返す。	●
5	axsVBStpPriority {axsVBStpEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの プライオリティの値 (0~65535)。	●
6	axsVBStpTimeSinceTopologyChange {axsVBStpEntry 4}	TimeTicks	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの トポロジ変化が起きてからの経過時間 (単位: 1/100 秒)。	●
7	axsVBStpTopChanges {axsVBStpEntry 5}	Counter	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの トポロジ変化回数。	●
8	axsVBStpDesignatedRoot {axsVBStpEntry 6}	BridgeId	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの ルートブリッジ識別子。	●
9	axsVBStpRootCost {axsVBStpEntry 7}	INTEGER	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの 持つルートパスコスト値。	●
10	axsVBStpRootPort {axsVBStpEntry 8}	INTEGER	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの 持つルートポート値。	●
11	axsVBStpMaxAge {axsVBStpEntry 9}	Timeout	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの 持つ最大エージング時間 (単位: 1/100 秒)。	●
12	axsVBStpHelloTime {axsVBStpEntry 10}	Timeout	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの 持つ Hello 時間 (単位: 1/100 秒)。	●
13	axsVBStpHoldTime {axsVBStpEntry 11}	INTEGER	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの 持つ Hold 時間 (単位: 1/100 秒)。	●
14	axsVBStpForwardDelay {axsVBStpEntry 12}	Timeout	R/O	VLAN ごとの スパニング・ツリーの 持つ転送遅延時間 (単位: 1/100 秒)。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
15	axsVBStpBridgeMaxAge {axsVBStpEntry 13}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する最大エージング時間 (値: 600~4000, 単位: 1/100 秒)。	●
16	axsVBStpBridgeHelloTime {axsVBStpEntry 14}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する Hello 時間 (値: 100~1000, 単位: 1/100 秒)。	●
17	axsVBStpBridgeForwardDelay {axsVBStpEntry 15}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する転送遅延時間 (値: 400~3000, 単位: 1/100 秒)。	●

(4) axsVBStpPortTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2

(b) 実装仕様

axsVBStpPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-13 axsVBStpPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStpPortTable {axsVlanBridgeStp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStpPortTable 情報テーブル。 本テーブルは PVST+ の VLAN ごとのスパニング・ツリーポート情報を対象とする。	●
2	axsVBStpPortEntry {axsVBStpPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStpPortTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBStpPortIndex, axsVBStpPort }	●
3	axsVBStpPortIndex {axsVBStpPortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	●
4	axsVBStpPort {axsVBStpPortEntry 2}	INTEGER	R/O	この構成エントリに対応するポート番号 (1~65535)。 本ポート番号は物理ポート、チャンネルグループおよび仮想リンクを対象とする。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsVBStpPortPriority {axsVBStpPortEntry 3}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの優先度 (0～255)。	●
6	axsVBStpPortState {axsVBStpPortEntry 4}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disabled (1) • blocking (2) • listening (3) • learning (4) • forwarding (5) • broken (6) 本装置では disabled (1), blocking (2), listening (3), learning (4), forwarding (5) のどれかを返す。	●
7	axsVBStpPortEnable {axsVBStpPortEntry 5}	INTEGER	R/O	このポートで VLAN ごとのスパンニング・ツリーが有効であることを示す。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) 	●
8	axsVBStpPortPathCost {axsVBStpPortEntry 6}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとのパスコスト値 (1～200000000)。	●
9	axsVBStpPortDesignatedRoot {axsVBStpPortEntry 7}	BridgeId	R/O	このポートが受信した指定ブリッジからの BPDU に格納された VLAN ごとのルートブリッジ識別子の値。	●
10	axsVBStpPortDesignatedCost {axsVBStpPortEntry 8}	INTEGER	R/O	このポートに接続されている指定ポートの VLAN ごとのパスコスト値。	●
11	axsVBStpPortDesignatedBridge {axsVBStpPortEntry 9}	BridgeId	R/O	このポートが指定ブリッジとみなしている VLAN ごとのブリッジのブリッジ識別子。	●
12	axsVBStpPortDesignatedPort {axsVBStpPortEntry 10 }	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	このポートに接続されている VLAN ごとの指定ブリッジのポート識別子。	●
13	axsVBStpPortForwardTransitions {axsVBStpPortEntry 11}	Counter	R/O	このポートがラーニング状態からフォワーディング状態に遷移した VLAN ごとの回数。	●

(5) axsVBTpTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

(b) 実装仕様

axsVBTPTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-14 axsVBTPTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTPTable {axsVlanBridgeTp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTp 情報テーブル。	●
2	axsVBTPEntry {axsVBTPTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBTPTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBTPIndex }	●
3	axsVBTPIndex {axsVBTPEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	●
4	axsVBTPLearnedEntryDiscards {axsVBTPEntry 2}	Counter	R/O	MAC アドレステーブルに空き領域がないために、破棄されたエントリの数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲
5	axsVBTPAgingTime {axsVBTPEntry 3}	INTEGER	R/O	ダイナミックに学習した MAC アドレス テーブルのエントリをエージング・アウトさせるためのタイムアウト期間 (単位: 秒)。 <ul style="list-style-type: none"> エージングモードの場合: 10~1000000 エージングモードでない場合: 0 	×

(6) axsVBTPFdbTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

(b) 実装仕様

axsVBTPFdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-15 axsVBTPFdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTPFdbTable {axsVlanBridgeTp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTpFdbTable 情報 テーブル。本テーブルでは、 GetNextRequest については応答せず、次 の MIB オブジェクトを応答する。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsVBTPFdbEntry {axsVBTPFdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBTPFdbTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBTPFdbIndex, axsVBTPFdbAddress }	●
3	axsVBTPFdbIndex {axsVBTPEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	●
4	axsVBTPFdbAddress {axsVBTPEntry 2}	MacAddress	R/O	MAC アドレステーブルエントリのユニキャスト MAC アドレス。	●
5	axsVBTPFdbPort {axsVBTPEntry 3}	INTEGER	R/O	axsVBTPFdbAddress の示す MAC アドレスをソースアドレスとして持つフレームを受信したポート番号。 0 の場合、ポート番号を学習していないことを示す。	●
6	axsVBTPFdbStatus {axsVBTPEntry 4}	INTEGER	R/O	MAC アドレステーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • learned (3) • self (4) • mgmt (5) ダイナミックエントリは learned (3) を返す。 スタティックエントリは mgmt (5) を返す。	●

(7) axsVBTPPortTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

(b) 実装仕様

axsVBTPPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-16 axsVBTPPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTPPortTable {axsVlanBridgeTp 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTpPortTable 情報テーブル。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
2	axsVBTPPortEntry {axsVBTPPortTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	各ポートの axsVBTPPortTable 情報エン トリ。 INDEX { axsVBTPPortIndex, axsVBTPPort }	●
3	axsVBTPPortIndex {axsVBTPPortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	●
4	axsVBTPPort {axsVBTPPortEntry 2}	INTEGER	R/O	このエントリが含む管理情報がどのポート に対応するかを示すポート番号 (1～ 65535)。 本ポート番号は物理ポートとチャネルグ ループを対象とする。	●
5	axsVBTPPortMaxInfo {axsVBTPPortEntry 3}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの最大 INFO フィールドサイズ (MAC ヘッドおよび FCS を含まない)。	●
6	axsVBTPPortInFrames {axsVBTPPortEntry 4}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの受信フレーム 数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲
7	axsVBTPPortOutFrames {axsVBTPPortEntry 5}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの送信フレーム 数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲
8	axsVBTPPortInDiscards {axsVBTPPortEntry 6}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの受信フレーム破 棄数。 本装置では固定値 (0) を返す。	▲

(8) axsVBStaticTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5

(b) 実装仕様

axsVBStaticTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-17 axsVStaticTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVStaticTable {axsVlanBridgeStatic 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStaticTable 情報テーブル。 本テーブルでは GetNextRequest については応答せず、次の MIB オブジェクトを応答する。	●
2	axsVStaticEntry {axsVStaticTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVStaticTable の構成エントリ。 INDEX { axsVStaticIndex, axsVStaticAddress }	●
3	axsVStaticIndex {axsVStaticEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	●
4	axsVStaticAddress {axsVStaticEntry 2}	MacAddress	R/O	ユニキャスト、グループ、ブロードキャストのどれかの MAC アドレス。	●
5	axsVStaticReceivePort {axsVStaticEntry 3}	INTEGER	R/O	このエントリを適用する受信ポート番号。 全ての受信ポートを対象とするときは 0。 本装置では固定値 (0) を返す。	●
6	axsVStaticAllowedToGoTo {axsVStaticEntry 4}	OCTET STRING	R/O	本エントリの持つ MAC アドレスを宛先とするフレームを転送する時の転送先ポートを示すポートのビットマップ。	●
7	axsVStaticStatus {axsVStaticEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリの状態を示す。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • permanent (3) • deleteOnReset (4) • deleteOnTimeout (5) 本装置では、スタティックエントリを permanent (3), IGMP/MLD snooping エントリを deleteOnReset (4) として返す。	●

(9) axsVlanBridge (その他) グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

(b) 実装仕様

axsVlanBridge (その他) グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-18 axsVlanBridge (その他) グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVlanBridgeMaxVlans {axsVlanBridge 101}	VlanIndex	R/O	本装置の VLAN ID の最大値。 本装置では固定値 (4094) を返す。	●
2	axsVlanBridgeMaxSpans {axsVlanBridge 102}	VlanIndex	R/O	本装置でスパンニング・ツリーの動作する VLAN の VLAN ID の最大値。 本装置では固定値 (4094) を返す。	●

3.4.2 axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB)

(1) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanTagTranslation OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10

axsVlanTagTranslationTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanTagTranslation 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1

(2) 実装仕様

axsVlanTagTranslation の実装仕様を次の表に示します。

表 3-19 axsVlanTagTranslation グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVlanTagTranslationTable {axsVlanTagTranslation 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換に関する情報テーブル。	●
2	axsVlanTagTranslationEntry {axsVlanTagTranslationTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換に関する情報テーブルのエントリ。 INDEX { axsVlanTagTranslationVlanId, axsVlanTagTranslationTranslatedId }	●
3	axsVlanTagTranslationVlanId {axsVlanTagTranslationEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換を設定している VLAN ID (1～4094)。	●
4	axsVlanTagTranslationTranslatedId {axsVlanTagTranslationEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換で設定している Translated ID (1～4094)。	●
5	axsVlanTagTranslationPorts {axsVlanTagTranslationEntry 3}	PortList	R/O	Tag 変換で、同一の VLAN で同一の Translated ID を設定しているポートリスト。	●

3.5 axsOadp グループ (OADP 情報 MIB)

3.5.1 axsOadpGlobalInfo グループ

(1) 識別子

axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1

(2) 実装仕様

axsOadpGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-20 axsOadpGlobalInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpGlobalActive {axsOadpGlobalInfo 1}	TruthValue	R/O	OADP 機能の active 状態。コンフィグレーションコマンド oadp run を設定したかどうかの状態。 <ul style="list-style-type: none">run (1)run を設定していない (2)	●
2	axsOadpGlobalCdpActive {axsOadpGlobalInfo 2}	TruthValue	R/O	CDP 受信機能の active 状態。コンフィグレーションコマンド oadp cdp-listener を設定したかどうかの状態。 <ul style="list-style-type: none">cdp-listener (1)cdp-listener を設定していない (2)	●
3	axsOadpGlobalMessageInterval {axsOadpGlobalInfo 3}	INTEGER (5..254)	R/O	OADP フレーム送信間隔。コンフィグレーションコマンド oadp interval-time で設定した値 (単位: 秒)。	●
4	axsOadpGlobalHoldTime {axsOadpGlobalInfo 4}	INTEGER (10..255)	R/O	本装置が送信した OADP フレームに関して、隣接装置が保持する時間。コンフィグレーションコマンド oadp hold-time で設定した値 (単位: 秒)。	●
5	axsOadpGlobalCacheLastChange {axsOadpGlobalInfo 5}	TimeTicks	R/O	axsOadpNeighborTable 情報が更新されたときの sysUpTime の値。	●
6	axsOadpGlobalName {axsOadpGlobalInfo 6}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	本装置の装置識別子。	●
7	axsOadpGlobalNameType {axsOadpGlobalInfo 7}	INTEGER	R/O	axsOadpGlobalName の種類。 <ul style="list-style-type: none">other (1)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				<ul style="list-style-type: none"> • sysName (2) • serialNumber (3) • MACaddress (4) 	

3.5.2 axsOadpPortInfo グループ

(1) 識別子

axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpPortInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2

(2) 実装仕様

axsOadpPortInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-21 axsOadpPortInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpPortConfigTable {axsOadpPortInfo 1}	SEQUENCE OF OadpPortConfigEntry	NA	OADP ポート情報に関するテーブル。	●
2	axsOadpPortConfigEntry {axsOadpPortConfigTable 1}	OadpPortConfigEntry	NA	OADP ポート情報に関するエントリ (ポートごと)。 INDEX { axsOadpPortConfigIfIndex }	●
3	axsOadpPortConfigIfIndex {axsOadpPortConfigEntry 1}	InterfaceIndex	R/O	ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 ifIndex が付与されている物理ポート、チャネルグループが対象。	●
4	axsOadpPortConfigActive {axsOadpPortConfigEntry 2}	TruthValue	R/O	該当ポートに関する active 状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enable (1) • disable (2) 	●

3.5.3 axsOadpNeighborInfo グループ

(1) 識別子

axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpNeighborInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3

(2) 実装仕様

axsOadpNeighborInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-22 axsOadpNeighborInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpNeighborTable {axsOadpNeighborInfo 1}	SEQUENCE OF OadpNeighborEntry	NA	OADP 隣接ノードに関するテーブル。	●
2	axsOadpNeighborEntry {axsOadpNeighborTable 1}	OadpNeighborEntry	NA	OADP 隣接ノードに関するエントリ（隣接情報毎）。 INDEX { axsOadpIfIndex, axsOadpTagID, axsOadpNeighborIndex, axsOadpNeighborTagID }	●
3	axsOadpIfIndex {axsOadpNeighborEntry 1}	InterfaceIndex	R/O	受信インタフェースの ifIndex。	●
4	axsOadpTagID {axsOadpNeighborEntry 2}	INTEGER (0..4095)	R/O	MAC フレームに付加されていた IEEE802.1Q VLAN Tag の VLAN ID。	●
5	axsOadpNeighborIndex {axsOadpNeighborEntry 3}	INTEGER	R/O	隣接ノードを一意に識別する番号（1～ $2^{31}-1$ ）。	●
6	axsOadpNeighborTagID {axsOadpNeighborEntry 4}	INTEGER (0..4095)	R/O	隣接ノードから送信された OADP PDU 内の TagID TLV に設定された値。CDP の場合は常に 0。	●
7	axsOadpNeighborVendorType {axsOadpNeighborEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ノードを発見するために使ったプロトコルタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • OADP (2) • CDP (3) 	●
8	axsOadpNeighborSNMPAgentAddressType {axsOadpNeighborEntry 6}	INTEGER	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントアドレスの種類。 <ul style="list-style-type: none"> • ipv4 (1) • ipv6 (20) • other-notSupported (65535) 	●
9	axsOadpNeighborSNMPAgentAddress {axsOadpNeighborEntry 7}	DisplayString	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントアドレスを DisplayString 化した情報。アドレス情報がない場合 (axsOadpNeighborSNMPAgentAddress	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				Type が other-notSupported) は NULL 文字。	
10	axsOadpNeighborDescr {axsOadpNeighborEntry 8}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysDescr 相当の文字列。	●
11	axsOadpNeighborDeviceID {axsOadpNeighborEntry 9}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの装置識別子。OADP では axsOadpGlobalName で定義される文字列が格納される。	●
12	axsOadpNeighborSlotPort {axsOadpNeighborEntry 10}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの送信インタフェースを一意に識別する文字列。(NIF 番号/ポート番号)	●
13	axsOadpNeighborIfIndex {axsOadpNeighborEntry 11}	InterfaceIndex	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifIndex。CDP の場合は常に 0。	●
14	axsOadpNeighborIfSpeed {axsOadpNeighborEntry 12}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifSpeed。CDP の場合は常に 0。	●
15	axsOadpNeighborDeviceType {axsOadpNeighborEntry 13}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの装置名称。	●
16	axsOadpNeighborService {axsOadpNeighborEntry 14}	OCTET STRING (SIZE(0..4))	R/O	隣接ノードが提供できる機能（論理和の値）。 <ul style="list-style-type: none"> Router (0x01) Transparent Bridge (0x02) Source-route Bridge (0x04) Switch (0x08) Host (0x10) IGMP report を forward しない (0x20) Repeater (0x40) 	●
17	axsOadpNeighborVTPMgmtDomain {axsOadpNeighborEntry 15}	DisplayString (SIZE(0..32))	R/O	隣接ノードの送信インタフェースに関連する VTP Management Domain。	●
18	axsOadpNeighborNativeVLAN {axsOadpNeighborEntry 16}	INTEGER (0..4095)	R/O	隣接ノードの送信インタフェースに関連する Native VLAN ID。	●
19	axsOadpNeighborDuplex {axsOadpNeighborEntry 17}	INTEGER	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの Duplex 情報。 <ul style="list-style-type: none"> unknown (1) 	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
				<ul style="list-style-type: none"> • HALF (2) • FULL (3) 	
20	axsOadpNeighborApplianceID {axsOadpNeighborEntry 18}	Gauge (0..255)	R/O	隣接ノードの Appliance ID。	●
21	axsOadpNeighborVlanID {axsOadpNeighborEntry 19}	Gauge (0..4095)	R/O	隣接ノードの VoIP 用の VLAN ID。	●
22	axsOadpNeighborPowerConsumption {axsOadpNeighborEntry 20}	Gauge	R/O	隣接ノードの VoIP 消費電力 (単位: ミリワット)。	●
23	axsOadpNeighborMTU {axsOadpNeighborEntry 21}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの MTU。	●
24	axsOadpNeighborSysName {axsOadpNeighborEntry 22}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysName。	●
25	axsOadpNeighborSysObjectID {axsOadpNeighborEntry 23}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	隣接ノードの sysObjectID。	●
26	axsOadpNeighborSecondary SNMPAgentAddressType {axsOadpNeighborEntry 24}	INTEGER	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントセカンダリアドレスの種類。 <ul style="list-style-type: none"> • ipv4 (1) • ipv6 (20) • other-notSupported (65535) 	●
27	axsOadpNeighborSecondary SNMPAgentAddress {axsOadpNeighborEntry 25}	DisplayString	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントセカンダリアドレスを DisplayString 化した情報。アドレス情報がない場合 (axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType が other-notSupported) は NULL 文字。	●
28	axsOadpNeighborPhysLocation {axsOadpNeighborEntry 26}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysLocation。	●
29	axsOadpNeighborCacheLastChange {axsOadpNeighborEntry 27}	TimeTicks	R/O	隣接ノードに関する axsOadpNeighborEntry が更新されたときの sysUpTime。	●
30	axsOadpNeighborIfHighSpeed {axsOadpNeighborEntry 28}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifHighSpeed。CDP の場合は常に 0。	●

3.6 axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)

3.6.1 axsAccessFilterStats グループ

(1) 識別子

axsFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}

axsAccessFilterStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9

(2) 実装仕様

axsAccessFilterStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-23 axsAccessFilterStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsAccessFilterStatsInTable {axsAccessFilterStats 1}	SEQUENCE OF AxsAccessFilterStatsInEntry	NA	Inbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	●
2	axsAccessFilterStatsInEntry {axsAccessFilterStatsInTable 1}	AxsAccessFilterStatsInEntry	NA	Inbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsAccessFilterStatsInifIndex, axsAccessFilterStatsInifIndexType, axsAccessFilterStatsInListIndex, axsAccessFilterStatsInSequenceNumber }	●
3	axsAccessFilterStatsInifIndex {axsAccessFilterStatsInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	●
4	axsAccessFilterStatsInifIndexType {axsAccessFilterStatsInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 ・ イーサネットインタフェース指定 (1) ・ VLAN インタフェース指定 (2)	●
5	axsAccessFilterStatsInListIndex {axsAccessFilterStatsInEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別するアクセスリストのインデックス値。	●
6	axsAccessFilterStatsInSequenceNumber {axsAccessFilterStatsInEntry 4}	Unsigned32	NA	アクセスリストの識別子に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	●
7	axsAccessFilterStatsInListName {axsAccessFilterStatsInEntry 5}	DisplayString	R/O	アクセスリストのインデックスに対応したアクセスリストの識別子。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsAccessFilterStatsInMatchedPackets {axsAccessFilterStatsInEntry 6}	Counter64	R/O	アクセスリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 axsAccessFilterStatsInSequenceNumber が 4294967295 の場合、アクセスリストのすべてのフロー検出条件に一致せず廃棄されたパケット数を示します。	●※
9	axsAccessFilterStatsOutTable {axsAccessFilterStats 2}	SEQUENCE OF AxsAccessFilterStatsOutEntry	NA	Outbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	●
10	axsAccessFilterStatsOutEntry {axsAccessFilterStatsOutTable 1}	AxsAccessFilterStatsOutEntry	NA	Outbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsAccessFilterStatsOutifIndex, axsAccessFilterStatsOutifIndexType, axsAccessFilterStatsOutListIndex, axsAccessFilterStatsOutSequenceNumber }	●
11	axsAccessFilterStatsOutifIndex {axsAccessFilterStatsOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	●
12	axsAccessFilterStatsOutifIndexType {axsAccessFilterStatsOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 ・ イーサネットインタフェース指定 (1) ・ VLAN インタフェース指定 (2)	●
13	axsAccessFilterStatsOutListIndex {axsAccessFilterStatsOutEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別するアクセスリストのインデックス値。	●
14	axsAccessFilterStatsOutSequenceNumber {axsAccessFilterStatsOutEntry 4}	Unsigned32	NA	アクセスリストの識別子に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	●
15	axsAccessFilterStatsOutListName {axsAccessFilterStatsOutEntry 5}	DisplayString	R/O	アクセスリストのインデックスに対応したアクセスリストの識別子。	●
16	axsAccessFilterStatsOutMatchedPackets {axsAccessFilterStatsOutEntry 6}	Counter64	R/O	アクセスリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 axsAccessFilterStatsOutSequenceNumber が 4294967295 の場合、アクセスリスト	●※

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				のすべてのフロー検出条件に一致せず廃棄されたパケット数を示します。	

注※ SYNTAX は Counter64 となっていますが 4294967295 を超えると 0 に戻ります。

3.6.2 axsQosFlowStats グループ

(1) 識別子

axsFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}
 axsQosFlowStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 11}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11

(2) 実装仕様

axsQosFlowStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-24 axsQosFlowStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsQosFlowStatsInTable {axsQosFlowStats 1}	SEQUENCE OF AxsQosFlowStatsInEntry	NA	Inbound の QoS フローリストで設定した QoS フロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	●
2	axsQosFlowStatsInEntry {axsQosFlowStatsInTable 1}	AxsQosFlowStatsInEntry	NA	Inbound の QoS フローリストで設定した QoS フロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsQosFlowStatsInifIndex, axsQosFlowStatsInifIndexType, axsQosFlowStatsInListIndex, axsQosFlowStatsInSequenceNumber }	●
3	axsQosFlowStatsInifIndex {axsQosFlowStatsInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	●
4	axsQosFlowStatsInifIndexType {axsQosFlowStatsInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • イーサネットインタフェース指定 (1) • VLAN インタフェース指定 (2)	●
5	axsQosFlowStatsInListIndex {axsQosFlowStatsInEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別する QoS フローリストのインデックス値。	●
6	axsQosFlowStatsInSequenceNumber {axsQosFlowStatsInEntry 4}	Unsigned32	NA	QoS フローリスト名称に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsQosFlowStatsInListName {axsQosFlowStatsInEntry 5}	DisplayString	R/O	QoS フローリストのインデックスに対応した QoS フローリスト名称。	●
8	axsQosFlowStatsInMatchedPackets {axsQosFlowStatsInEntry 6}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 帯域監視機能を使用している場合は 0 (ゼロ) になります。	●※
9	axsQosFlowStatsInMatchedPacketsMinUnder {axsQosFlowStatsInEntry 7}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を遵守したパケット数。 最低帯域監視を使用していない場合は 0 (ゼロ) になります。	●※
10	axsQosFlowStatsInMatchedPacketsMinOver {axsQosFlowStatsInEntry 8}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視に違反したパケット数。 最低帯域監視を使用していない場合は 0 (ゼロ) になります。	●※
11	axsQosFlowStatsInMatchedPacketsMaxUnder {axsQosFlowStatsInEntry 9}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を遵守したパケット数。 最大帯域制御を使用していない場合は 0 (ゼロ) になります。	●※
12	axsQosFlowStatsInMatchedPacketsMaxOver {axsQosFlowStatsInEntry 10}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御に違反したパケット数。 最大帯域制御を使用していない場合は 0 (ゼロ) になります。	●※

注※ SYNTAX は Counter64 となっていますが 4294967295 を超えると 0 に戻ります。

3.7 axsL2ldMIB グループ (L2 ループ検知情報 MIB)

3.7.1 axsL2ldGlobalInfo グループ

(1) 識別子

axsL2ld OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 10}

axsL2ldGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ld 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1

axsL2ldVersion OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ldGlobalInfo 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.1

(2) 実装仕様

axsL2ldGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-25 axsL2ldGlobalInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsL2ldVersion {axsL2ldGlobalInfo 1}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知のバージョン。 • Version 1 (1)	●
2	axsL2ldLoopDetectionId {axsL2ldGlobalInfo 2}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知 ID。 • 0 固定	●
3	axsL2ldIntervalTime {axsL2ldGlobalInfo 3}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームの送信間隔 (単位：秒)。	●
4	axsL2ldOutputRate {axsL2ldGlobalInfo 4}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームの送信レート (単位：packet/s)。	●
5	axsL2ldThreshold {axsL2ldGlobalInfo 5}	INTEGER	R/O	ポートを inactive 状態にするまでの検出回数。	●
6	axsL2ldHoldTime {axsL2ldGlobalInfo 6}	INTEGER	R/O	検出回数の保持時間 (単位：秒)。	●
7	axsL2ldAutoRestoreTime {axsL2ldGlobalInfo 7}	INTEGER	R/O	inactive 状態にしたポートを自動で active 状態にするまでの時間 (単位：秒)。	●
8	axsL2ldConfigurationVlanPortCounts {axsL2ldGlobalInfo 8}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームを送信するように設定している VLAN ポート数。	●
9	axsL2ldCapacityVlanPortCounts {axsL2ldGlobalInfo 9}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレーム送信レートで送信可能な VLAN ポート数。	●

3.7.2 axsL2ldPortTable グループ

(1) 識別子

axsL2ld OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 10}

axsL2ldPortTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ld 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2

(2) 実装仕様

axsL2ldPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-26 axsL2ldPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsL2ldPortTable {axsL2ld 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	L2 ループ検知のポート情報を格納するテーブル。	●
2	axsL2ldPortEntry {axsL2ldPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	L2 ループ検知のポート情報のリスト。 INDEX { axsL2ldPortIndex, axsL2ldPortIfIndex }	●
3	axsL2ldPortIndex {axsL2ldPortEntry 1}	INTEGER	R/O	1 固定。	●
4	axsL2ldPortIfIndex {axsL2ldPortEntry 2}	INTEGER	R/O	ポートの ifIndex※。	●
5	axsL2ldPortStatus {axsL2ldPortEntry 3}	INTEGER	R/O	ポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> Up (1) : ポートが Up 状態 Down (2) : ポートが Down 状態 Down (loop) (3) : ポートが L2 ループ検知機能により Down 状態 	●
6	axsL2ldPortType {axsL2ldPortEntry 4}	INTEGER	R/O	ポートの種別。 <ul style="list-style-type: none"> trap (1) : 検知ポート send-inact (2) : 検知送信閉塞ポート send (3) : 検知送信ポート uplink (4) : アップリンクポート exception (5) : 検知対象外ポート 	●
7	axsL2ldPortDetectCount {axsL2ldPortEntry 5}	INTEGER	R/O	L2 ループ検出回数。保持時間内で L2 ループ検知フレームを受信している回数。	●
8	axsL2ldPortAutoRestoringTimer {axsL2ldPortEntry 6}	INTEGER	R/O	自動復旧するまでの時間 (単位: 秒)。 ポートが active 状態の場合は 0 (ゼロ) になります。	●
9	axsL2ldPortSourcePortIfindex {axsL2ldPortEntry 7}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したときの送信したポートの ifIndex※。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axsL2ldPortDestinationPortIfIndex {axsL2ldPortEntry 8}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したポートの ifIndex [※] 。	●
11	axsL2ldPortSourceVlan {axsL2ldPortEntry 9}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したときの送信時の VLAN ID。	●
12	axsL2ldPortHCInFrames {axsL2ldPortEntry 10}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの受信数。	●
13	axsL2ldPortHCOutFrames {axsL2ldPortEntry 11}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの送信数。	●
14	axsL2ldPortHCInDiscards {axsL2ldPortEntry 12}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの受信廃棄数。	●
15	axsL2ldPortInactiveCount {axsL2ldPortEntry 13}	INTEGER	R/O	inactive 状態にした回数。	●
16	axsL2ldPortLastInactiveTime {axsL2ldPortEntry 14}	TimeStamp	R/O	最後に inactive 状態にした時間。	●
17	axsL2ldPortLastInFramesTime {axsL2ldPortEntry 15}	TimeStamp	R/O	最後に L2 ループ検知フレームを受信した時間。	●

注※ リンクアグリゲーションのポートの場合、リンクアグリゲーションの ifIndex を使用する。

3.8 axsOspfMIB グループ(マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 【OS-L3A】

3.8.1 axsOspfGeneralTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfGeneralTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1

(2) 実装仕様

axsOspfGeneralTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-27 axsOspfGeneralTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfGeneralTable {axsOspf 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfGeneralEntry {axsOspfGeneralTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 情報のリスト。 INDEX { axsOspfGeneralDomainNumber }	●
3	axsOspfGeneralDomainNumber {axsOspfGeneralEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfRouterId {axsOspfGeneralEntry 2}	IpAddress	R/O	ルータのルータ識別子。	●
5	axsOspfAdminStat {axsOspfGeneralEntry 3}	INTEGER	R/O	ルータの OSPF 管理状態。 • enabled (1) • disabled (2)	●
6	axsOspfVersionNumber {axsOspfGeneralEntry 4}	INTEGER	R/O	OSPF プロトコルのバージョン番号。2 固定。	●
7	axsOspfAreaBdrRtrStatus {axsOspfGeneralEntry 5}	INTEGER	R/O	そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2)	●
8	axsOspfASBdrRtrStatus {axsOspfGeneralEntry 6}	INTEGER	R/O	そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsOspfExternLsaCount {axsOspfGeneralEntry 7}	Gauge	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。	●
10	axsOspfExternLsaCksumSum {axsOspfGeneralEntry 8}	INTEGER	R/O	LSDB 中の外部 LSA の LS チェックサムの合計。	●
11	axsOspfTOSSupport {axsOspfGeneralEntry 9}	INTEGER	R/O	そのルータが TOS ベースルーティングをサポートするかどうかのフラグ。false (2) 固定。 • true (1) • false (2)	●
12	axsOspfOriginateNewLsas {axsOspfGeneralEntry 10}	Counter	R/O	生成された新しい LSA の数。	●
13	axsOspfRxNewLsas {axsOspfGeneralEntry 11}	Counter	R/O	新しい情報を持った LSA を受信した回数。	●
14	axsOspfExtLsdbLimit {axsOspfGeneralEntry 12}	INTEGER	R/O	LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。-1 固定。	●
15	axsOspfMulticastExtensions {axsOspfGeneralEntry 13}	INTEGER	R/O	マルチキャスト拡張版 OSPF のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。ただし、マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。	●

3.8.2 axsOspfAreaTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2

(2) 実装仕様

axsOspfAreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-28 axsOspfAreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaTable {axsOspf 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfAreaEntry {axsOspfAreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各エリアの情報リスト。 INDEX { axsOspfAreaDomainNumber,	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				axsOspfAreaId }	
3	axsOspfAreaDomainNumber {axsOspfAreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfAreaId {axsOspfAreaEntry 2}	IpAddress	R/O	エリアを識別する番号。	●
5	axsOspfAuthType {axsOspfAreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのエリアで採用する認証のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> なし (0) シンプルパスワード (1) md5 (2) 	●
6	axsOspfImportAsExtern {axsOspfAreaEntry 4}	INTEGER	R/O	そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 <ul style="list-style-type: none"> importExternal (1) importNoExternal (2) importNssa (3) 	●
7	axsOspfSpfRuns {axsOspfAreaEntry 5}	Counter	R/O	このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。	●
8	axsOspfAreaBdrRtrCount {axsOspfAreaEntry 6}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できるエリアボーダ ルータの合計数。	●
9	axsOspfAsBdrRtrCount {axsOspfAreaEntry 7}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できる AS バウンダリ ルータの合計数。	●
10	axsOspfAreaLsaCount {axsOspfAreaEntry 8}	Gauge	R/O	AS 外部 LSA を除く、このエリアの LSDB 中の LSA の数。	●
11	axsOspfAreaLsaCksumSum {axsOspfAreaEntry 9}	INTEGER	R/O	このエリアの LSDB に含まれる LSA の LS チェックサムの合計。	●
12	axsOspfAreaSummary {axsOspfAreaEntry 10}	INTEGER	R/O	スタブエリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 <ul style="list-style-type: none"> noAreaSummary (1) sendAreaSummary (2) 	●
13	axsOspfAreaStatus {axsOspfAreaEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●

3.8.3 axsOspfStubAreaTable

(1) 識別子

axs0spf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axs0spfStubAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axs0spf 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3

(2) 実装仕様

axsOspfStubAreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-29 axsOspfStubAreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfStubAreaTable {axsOspf 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブル。	●
2	axsOspfStubAreaEntry {axsOspfStubAreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各スタブエリアの情報リスト。 INDEX { axsOspfStubDomainNumber, axsOspfStubAreaId, axsOspfStubTOS }	●
3	axsOspfStubDomainNumber {axsOspfStubAreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfStubAreaId {axsOspfStubAreaEntry 2}	IpAddress	R/O	スタブエリアの ID。	●
5	axsOspfStubTOS {axsOspfStubAreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのスタブエリアでのサービスのタイプ。 ただし、0 固定。	●
6	axsOspfStubMetric {axsOspfStubAreaEntry 4}	INTEGER	R/O	そのスタブエリアでのサービスタイプに対応したメトリック。	●
7	axsOspfStubStatus {axsOspfStubAreaEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●
8	axsOspfStubMetricType {axsOspfStubAreaEntry 6}	INTEGER	R/O	デフォルトルートとして広告したメトリックのタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ospfMetric (1) comparableCost (2) nonComparable (3) 	●

3.8.4 axsOspfLsdbTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4

(2) 実装仕様

axsOspfLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-30 axsOspfLsdbTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsOspfLsdbTable {axsOspf 4}	NOT- ACCESSIBL E	NA	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfLsdbEntry {axsOspfLsdbTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { axsOspfLsdbDomainNumber, axsOspfLsdbAreaId, axsOspfLsdbType, axsOspfLsdbLsid, axsOspfLsdbRouterId }	●
3	axsOspfLsdbDomainNumber {axsOspfLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfLsdbAreaId {axsOspfLsdbEntry 2}	IpAddress	R/O	この LSA の受信元エリアのエリア ID。	●
5	axsOspfLsdbType {axsOspfLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ルータ (1) • ネットワーク (2) • サマリー (3) • AS サマリー (4) • AS 外部リンク (5) • マルチキャスト (6) • nssa 外部リンク (7) 	●
6	axsOspfLsdbLsid {axsOspfLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	個々のルーティングドメインを識別する ID。	●
7	axsOspfLsdbRouterId {axsOspfLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	●
8	axsOspfLsdbSequence {axsOspfLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
9	axsOspfLsdbAge {axsOspfLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。	●
10	axsOspfLsdbChecksum {axsOspfLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	●
11	axsOspfLsdbAdvertisement {axsOspfLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	●

3.8.5 axsOspfAreaRangeTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfAreaRangeTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5

(2) 実装仕様

axsOspfAreaRangeTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-31 axsOspfAreaRangeTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaRangeTable {axsOspf 5}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfAreaRangeEntry {axsOspfAreaRangeTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するリスト。 INDEX { axsOspfAreaRangeDomainNumber, axsOspfAreaRangeAreaId, axsOspfAreaRangeNet }	●
3	axsOspfAreaRangeDomainNumber {axsOspfAreaRangeEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfAreaRangeAreaId {axsOspfAreaRangeEntry 2}	IpAddress	R/O	属するエリアの ID。	●
5	axsOspfAreaRangeNet {axsOspfAreaRangeEntry 3}	IpAddress	R/O	この範囲内のネット/サブネットの IP アドレス。	●
6	axsOspfAreaRangeMask {axsOspfAreaRangeEntry 4}	IpAddress	R/O	axsOspfAreaRangeNet にかけるべきサブネットマスク。	●
7	axsOspfAreaRangeStatus {axsOspfAreaRangeEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●
8	axsOspfAreaRangeEffect {axsOspfAreaRangeEntry 6}	INTEGER	R/O	広告するエリアの範囲を示します。 <ul style="list-style-type: none"> エリア外に広告されるサブネット (1) エリア外に広告しないサブネット (2) 	●

3.8.6 axsOspfIfTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7

(2) 実装仕様

axsOspfIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-32 axsOspfIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfIfTable {axsOspf 7}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfIfEntry {axsOspfIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX { axsOspfIfDomainNumber, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf }	●
3	axsOspfIfDomainNumber {axsOspfIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfIfIpAddress {axsOspfIfEntry 2}	IpAddress	R/O	この OSPF インタフェースの IP アドレス。	●
5	axsOspfAddressLessIf {axsOspfIfEntry 3}	INTEGER	R/O	このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。	●
6	axsOspfIfAreaId {axsOspfIfEntry 4}	IpAddress	R/O	このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。	●
7	axsOspfIfType {axsOspfIfEntry 5}	INTEGER	R/O	インタフェースタイプ。 • ブロードキャスト (1) • ノンブロードキャスト (2) • Point-Point (3) • Point-Multipoint (5)	●
8	axsOspfIfAdminStat {axsOspfIfEntry 6}	INTEGER	R/O	インタフェースの管理状態。 • enabled (1) • disabled (2)	●
9	axsOspfIfRtrPriority {axsOspfIfEntry 7}	INTEGER	R/O	このインタフェースのプライオリティ。	●
10	axsOspfIfTransitDelay {axsOspfIfEntry 8}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。	●
11	axsOspfIfRetransInterval {axsOspfIfEntry 9}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。	●
12	axsOspfIfHelloInterval {axsOspfIfEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
13	axsOspfIfRtrDeadInterval {axsOspfIfEntry 11}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位：秒)。	●
14	axsOspfIfPollInterval {axsOspfIfEntry 12}	INTEGER	R/O	非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔 (単位：秒)。	●
15	axsOspfIfState {axsOspfIfEntry 13}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • loopback (2) • waiting (3) • PtoP (4) • DR (5) • BDR (6) • other (7) 	●
16	axsOspfIfDesignatedRouter {axsOspfIfEntry 14}	IpAddress	R/O	ディジグネーテッドルータの IP アドレス。	●
17	axsOspfIfBackupDesignatedRouter {axsOspfIfEntry 15}	IpAddress	R/O	バックアップディジグネーテッドルータの IP アドレス。	●
18	axsOspfIfEvents {axsOspfIfEntry 16}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
19	axsOspfIfAuthKey {axsOspfIfEntry 17}	OCTET STRING	R/O	このインタフェースでの認証キー。	●
20	axsOspfIfStatus {axsOspfIfEntry 18}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●
21	axsOspfIfMulticastForwarding {axsOspfIfEntry 19}	INTEGER	R/O	このインタフェースでマルチキャストする方法。 blocked (1) 固定。 <ul style="list-style-type: none"> • blocked (1) • multicast (2) • unicast (3) 	●

3.8.7 axsOspfIfMetricTable

(1) 識別子

axs0spf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfIfMetricTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axs0spf 8}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8

(2) 実装仕様

axsOspfIfMetricTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-33 axsOspfIfMetricTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfIfMetricTable {axsOspf 8}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfIfMetricEntry {axsOspfIfMetricTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各インタフェースのサービスタイプメトリックの情報リスト。 INDEX { axsOspfIfMetricDomainNumber, axsOspfIfMetricIpAddress, axsOspfIfMetricAddressLessIf, axsOspfIfMetricTOS }	●
3	axsOspfIfMetricDomainNumber {axsOspfIfMetricEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfIfMetricIpAddress {axsOspfIfMetricEntry 2}	IpAddress	R/O	この OSPF インタフェースの IP アドレス。	●
5	axsOspfIfMetricAddressLessIf {axsOspfIfMetricEntry 3}	INTEGER	R/O	このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。	●
6	axsOspfIfMetricTOS {axsOspfIfMetricEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェースのサービスのタイプ。 0 固定。	●
7	axsOspfIfMetricValue {axsOspfIfMetricEntry 5}	INTEGER	R/O	このインタフェースのこのサービスタイプのメトリック。	●
8	axsOspfIfMetricStatus {axsOspfIfMetricEntry 6}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●

3.8.8 axsOspfVirtIfTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfVirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9

(2) 実装仕様

axsOspfVirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-34 axsOspfVirtIfTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsOspfVirtIfTable {axsOspf 9}	NOT- ACCESSIBL E	NA	ルータが接続する仮想インタフェースの情報 を格納するテーブル。	●
2	axsOspfVirtIfEntry {axsOspfVirtIfTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX { axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor }	●
3	axsOspfVirtIfDomainNumber {axsOspfVirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfVirtIfAreaId {axsOspfVirtIfEntry 2}	IpAddress	R/O	その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。	●
5	axsOspfVirtIfNeighbor {axsOspfVirtIfEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想の隣接ルータのルータ ID。	●
6	axsOspfVirtIfTransitDelay {axsOspfVirtIfEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パ ケットを送信するために必要とされる時間 (単位：秒)。	●
7	axsOspfVirtIfRetransInterval {axsOspfVirtIfEntry 5}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単 位：秒)。	●
8	axsOspfVirtIfHelloInterval {axsOspfVirtIfEntry 6}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔 (単位：秒)。	●
9	axsOspfVirtIfRtrDeadInterval {axsOspfVirtIfEntry 7}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位： 秒)。	●
10	axsOspfVirtIfState {axsOspfVirtIfEntry 8}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 • down (1) • PtoP (4)	●
11	axsOspfVirtIfEvents {axsOspfVirtIfEntry 9}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変わったか、エ ラーが発生した回数。	●
12	axsOspfVirtIfAuthKey {axsOspfVirtIfEntry 10}	OCTET STRING	R/O	このインタフェースでの認証キー。	●
13	axsOspfVirtIfStatus {axsOspfVirtIfEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●

3.8.9 axsOspfNbrTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 10}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10

(2) 実装仕様

axsOspfNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-35 axsOspfNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfNbrTable {axsOspf 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfNbrEntry {axsOspfNbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各隣接局の情報リスト。 INDEX { axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex }	●
3	axsOspfNbrDomainNumber {axsOspfNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfNbrIpAddress {axsOspfNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	隣接ルータの IP アドレス。	●
5	axsOspfNbrAddressLessIndex {axsOspfNbrEntry 3}	INTEGER	R/O	隣接ルータのインタフェースがアドレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。	●
6	axsOspfNbrRtrId {axsOspfNbrEntry 4}	IpAddress	R/O	隣接ルータのルータ ID。	●
7	axsOspfNbrOptions {axsOspfNbrEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ルータのオプション実行能力。 <ul style="list-style-type: none"> • Bit 0 : サービスタイプベースルーティング • Bit 1 : 外部エリアの処理 • Bit 2 : IP マルチキャストルーティング • Bit 3 : NSSA と関係したエリア 	●
8	axsOspfNbrPriority {axsOspfNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接ルータのプライオリティ。	●
9	axsOspfNbrState {axsOspfNbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) 	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				<ul style="list-style-type: none"> full (8) 	
10	axsOspfNbrEvents {axsOspfNbrEntry 8}	Counter	R/O	隣接ルータとの関係で、状態が変わったか、エラーが発生した回数。	●
11	axsOspfNbrLsRetransQLen {axsOspfNbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	●
12	axsOspfNbmaNbrStatus {axsOspfNbrEntry 10}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。 axsOspfIfType が nbma 時だけアクセス可。	●
13	axsOspfNbmaNbrPermanence {axsOspfNbrEntry 11}	INTEGER	R/O	隣接ルータとルーティングする方法。 <ul style="list-style-type: none"> dynamic (1) permanent (2) 	●

3.8.10 axsOspfVirtNbrTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfVirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11

(2) 実装仕様

axsOspfVirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-36 axsOspfVirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfVirtNbrTable {axsOspf 11}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfVirtNbrEntry {axsOspfVirtNbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId }	●
3	axsOspfVirtNbrDomainNumber {axsOspfVirtNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfVirtNbrArea {axsOspfVirtNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	通過するエリアのエリア ID。	●
5	axsOspfVirtNbrRtrId	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータのルータ ID。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
	{axsOspfVirtNbrEntry 3}				
6	axsOspfVirtNbrIpAddr {axsOspfVirtNbrEntry 4}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータの IP アドレス。	●
7	axsOspfVirtNbrOptions {axsOspfVirtNbrEntry 5}	INTEGER	R/O	仮想隣接ルータのオプション実行能力。 <ul style="list-style-type: none"> • Bit 1 : サービスタイプベースルーティング • Bit 2 : IP マルチキャストルーティング 	●
8	axsOspfVirtNbrState {axsOspfVirtNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) 	●
9	axsOspfVirtNbrEvents {axsOspfVirtNbrEntry 7}	Counter	R/O	この仮想リンクの状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
10	axsOspfVirtNbrLsRetransQLen {axsOspfVirtNbrEntry 8}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	●

3.8.11 axsOspfExtLsdbTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfExtLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 12}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12

(2) 実装仕様

axsOspfExtLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-37 axsOspfExtLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsOspfExtLsdbTable {axsOspf 12}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブル。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
2	axsOspfExtLsdbEntry {axsOspfExtLsdbTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { axsOspfExtLsdbDomainNumber, axsOspfExtLsdbType, axsOspfExtLsdbLsid, axsOspfExtLsdbRouterId }	●
3	axsOspfExtLsdbDomainNumb er {axsOspfExtLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfExtLsdbType {axsOspfExtLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 • asExternalLink (5)	●
5	axsOspfExtLsdbLsid {axsOspfExtLsdbEntry 3}	IpAddress	R/O	リンクステータス ID。リンクステータス ID はルータ ID または IP アドレスのどち らかを含むフィールドです。	●
6	axsOspfExtLsdbRouterId {axsOspfExtLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	自律システム内の生成元ルータを一意に識 別するための 32 ビット番号。	●
7	axsOspfExtLsdbSequence {axsOspfExtLsdbEntry 5}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
8	axsOspfExtLsdbAge {axsOspfExtLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA が生成されてからの経過時間 (単位： 秒)。	●
9	axsOspfExtLsdbChecksum {axsOspfExtLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	Age フィールドを含めない、広告内容の チェックサム。	●
10	axsOspfExtLsdbAdvertisement {axsOspfExtLsdbEntry 8}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む完全な全体 LSA。	●

3.8.12 axsOspfAreaAggregateTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfAreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 14}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14

(2) 実装仕様

axsOspfAreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-38 axsOspfAreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaAggregateTable {axsOspf 14}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブル。	●
2	axsOspfAreaAggregateEntry {axsOspfAreaAggregateTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのリスト。 INDEX{ axsOspfAreaAggregateDomainNumber, axsOspfAreaAggregateAreaID, axsOspfAreaAggregateLsdbType, axsOspfAreaAggregateNet, axsOspfAreaAggregateMask }	●
3	axsOspfAreaAggregateDomainNumber {axsOspfAreaAggregateEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfAreaAggregateAreaID {axsOspfAreaAggregateEntry 2}	IpAddress	R/O	アドレス集約したエリア。	●
5	axsOspfAreaAggregateLsdbType {axsOspfAreaAggregateEntry 3}	INTEGER	R/O	アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none">summaryLink (3)nssaExternalLink (7)	●
6	axsOspfAreaAggregateNet {axsOspfAreaAggregateEntry 4}	IpAddress	R/O	ネットワークまたはサブネットの IP アドレス。	●
7	axsOspfAreaAggregateMask {axsOspfAreaAggregateEntry 5}	IpAddress	R/O	ネットワークまたはサブネットに関するサブネットマスク。	●
8	axsOspfAreaAggregateStatus {axsOspfAreaAggregateEntry 6}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●
9	axsOspfAreaAggregateEffect {axsOspfAreaAggregateEntry 7}	INTEGER	R/O	範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 <ul style="list-style-type: none">advertiseMatching (1)doNotAdvertiseMatching (2)	●

3.8.13 axsOspfTrap

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfTrap OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 16}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16

(2) 実装仕様

axsOspfTrap の実装仕様を次の表に示します。

表 3-39 axsOspfTrap の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfTrapControlTable {axsOspfTrap 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SNMP 通知に関する取得情報。	●
2	axsOspfTrapControlEntry {axsOspfTrapControlTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SNMP 通知に関する取得情報リスト。 INDEX { axsOspfTrapDomainNumber }	●
3	axsOspfTrapDomainNumber {axsOspfTrapControlEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	●
4	axsOspfSetTrap {axsOspfTrapControlEntry 2}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	SNMP 通知が可能なイベントを示すビットマップ。各ビットが axsOspfTraps のオブジェクトを示す (0x100fe 固定)。 2 ¹ ビット (0x00000002) : axsOspfVirtIfStateChange ~ 2 ¹⁶ ビット (0x00010000) : axsOspfIfStateChange	●
5	axsOspfConfigErrorType {axsOspfTrapControlEntry 3}	INTEGER	R/O	最後に発生したエラーイベント。 <ul style="list-style-type: none"> • noError (0) • badVersion (1) • areaMismatch (2) • unknownNbmaNbr (3) • unknownVirtualNbr (4) • authTypeMismatch (5) • authFailure (6) • netMaskMismatch (7) • helloIntervalMismatch (8) • deadIntervalMismatch (9) • optionMismatch (10) 	●
6	axsOspfPacketType {axsOspfTrapControlEntry 4}	INTEGER	R/O	最後のエラーパケット種別。 <ul style="list-style-type: none"> • noError (0) • hello (1) 	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
				<ul style="list-style-type: none"> • dbDescript (2) • lsReq (3) • lsUpdate (4) • lsAck (5) 	
7	axsOspfPacketSrc {axsOspfTrapControlEntry 5}	IpAddress	R/O	最後のエラーパケットの送信元アドレス。 エラーイベントが発生していない場合は 0.0.0.0。	●
8	axsOspfTraps {axsOspfTrap 2}	NOT- ACCESSIBL E	NA	SNMP 通知。	●

3.9 axsOspfV3MIB グループ(マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB) 【OS-L3A】

3.9.1 axsOspfV3GeneralTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3GeneralTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1

(2) 実装仕様

axsOspfV3GeneralTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-40 axsOspfV3GeneralTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3GeneralTable {axsOspfV3 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfV3GeneralEntry {axsOspfV3GeneralTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 情報のリスト。 INDEX { axsOspfV3GeneralDomainNumber }	●
3	axsOspfV3GeneralDomainNumber {axsOspfV3GeneralEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3RouterId {axsOspfV3GeneralEntry 2}	IpAddress	R/O	ルータのルータ識別子。	●
5	axsOspfV3AdminStat {axsOspfV3GeneralEntry 3}	INTEGER	R/O	ルータの OSPFv3 管理状態。 • enabled (1) • disabled (2)	●
6	axsOspfV3VersionNumber {axsOspfV3GeneralEntry 4}	INTEGER	R/O	OSPFv3 プロトコルのバージョン番号。3 固定。	●
7	axsOspfV3AreaBdrRtrStatus {axsOspfV3GeneralEntry 5}	INTEGER	R/O	そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2)	●
8	axsOspfV3ASBdrRtrStatus {axsOspfV3GeneralEntry 6}	INTEGER	R/O	そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsOspfV3AsScopeLsaCount {axsOspfV3GeneralEntry 7}	Gauge	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。	●
10	axsOspfV3AsScopeLsaChecksum {axsOspfV3GeneralEntry 8}	INTEGER	R/O	LSDB 中の AsScopeLSA の LS チェックサムの合計。	●
11	axsOspfV3OriginateNewLsas {axsOspfV3GeneralEntry 9}	Counter	R/O	生成された新しい LSA の数。	●
12	axsOspfV3RxNewLsas {axsOspfV3GeneralEntry 10}	Counter	R/O	新しい情報を持った LSA を受信した回数。	●
13	axsOspfV3ExtAreaLsdbLimit {axsOspfV3GeneralEntry 11}	INTEGER	R/O	LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合, 制限なし。-1 固定。	●
14	axsOspfV3MulticastExtensions {axsOspfV3GeneralEntry 12}	INTEGER	R/O	マルチキャスト拡張版 OSPFv3 のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は, マルチキャストフォワーディング非サポート。ただし, マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。	●
15	axsOspfV3DemandExtensions {axsOspfV3GeneralEntry 14}	INTEGER	R/O	このルータでの Demand ルーティングのサポート。 false (2) 固定。	●
16	axsOspfV3TrafficEngineeringSupport {axsOspfV3GeneralEntry 15}	INTEGER	R/O	このルータでのトラフィックエンジニアリング拡張のサポート。false (2) 固定。	●

3.9.2 axsOspfV3AreaTable

(1) 識別子

```
axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}
axsOspfV3AreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2
```

(2) 実装仕様

axsOspfV3AreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-41 axsOspfV3AreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AreaTable {axsOspfV3 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsOspfV3AreaEntry {axsOspfV3AreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各エリアの情報リスト。 INDEX { axsOspfV3AreaDomainNumber, axsOspfV3AreaId }	●
3	axsOspfV3AreaDomainNumber {axsOspfV3AreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3AreaId {axsOspfV3AreaEntry 2}	IpAddress	R/O	エリアを識別する番号。	●
5	axsOspfV3ImportAsExtern {axsOspfV3AreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 <ul style="list-style-type: none"> • importExternal (1) • importNoExternal (2) • importNssa (3) 	●
6	axsOspfV3SpfRuns {axsOspfV3AreaEntry 4}	Counter	R/O	このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。	●
7	axsOspfV3AreaBdrRtrCount {axsOspfV3AreaEntry 5}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できるエリアボーダールータの合計数。	●
8	axsOspfV3AsBdrRtrCount {axsOspfV3AreaEntry 6}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。	●
9	axsOspfV3AreaScopeLsaCount {axsOspfV3AreaEntry 7}	Gauge	R/O	このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の数。	●
10	axsOspfV3AreaScopeLsaChecksumSum {axsOspfV3AreaEntry 8}	INTEGER	R/O	このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の LS チェックサム合計。	●
11	axsOspfV3AreaSummary {axsOspfV3AreaEntry 9}	INTEGER	R/O	スタブエリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 <ul style="list-style-type: none"> • noAreaSummary (1) • sendAreaSummary (2) 	●
12	axsOspfV3AreaStatus {axsOspfV3AreaEntry 10}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●
13	axsOspfV3StubMetric {axsOspfV3AreaEntry 11}	INTEGER	R/O	Stub または NSSA エリアに広告するデフォルトルートメトリック値。	●

3.9.3 axsOspfV3AsLsdbTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3AsLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3

(2) 実装仕様

axsOspfV3AsLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-42 axsOspfV3AsLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AsLsdbTable {axsOspfV3 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfV3AsLsdbEntry {axsOspfV3AsLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { axsOspfV3AsLsdbDomainNumber, axsOspfV3AsLsdbType, axsOspfV3AsLsdbRouterId, axsOspfV3AsLsdbLsid }	●
3	axsOspfV3AsLsdbDomainNumber {axsOspfV3AsLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3AsLsdbType {axsOspfV3AsLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 • asExternal (0x4005)	●
5	axsOspfV3AsLsdbRouterId {axsOspfV3AsLsdbEntry 3}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	●
6	axsOspfV3AsLsdbLsid {axsOspfV3AsLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	●
7	axsOspfV3AsLsdbSequence {axsOspfV3AsLsdbEntry 5}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
8	axsOspfV3AsLsdbAge {axsOspfV3AsLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。	●
9	axsOspfV3AsLsdbChecksum {axsOspfV3AsLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	●
10	axsOspfV3AsLsdbAdvertisement {axsOspfV3AsLsdbEntry 8}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	●

3.9.4 axsOspfV3AreaLsdbTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3AreaLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4

(2) 実装仕様

axsOspfV3AreaLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-43 axsOspfV3AreaLsdbTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsOspfV3AreaLsdbTable {axsOspfV3 4}	NOT- ACCESSIBL E	NA	OSPFv3 プロセスの AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfV3AreaLsdbEntry {axsOspfV3AreaLsdbTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { axsOspfV3AreaLsdbDomainNumber, axsOspfV3AreaLsdbAreaId, axsOspfV3AreaLsdbType, axsOspfV3AreaLsdbRouterId, axsOspfV3AreaLsdbLsid }	●
3	axsOspfV3AreaLsdbDomainN umber {axsOspfV3AreaLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3AreaLsdbAreaId {axsOspfV3AreaLsdbEntry 2}	IpAddress	R/O	この LSA の受信元エリアのエリア ID。	●
5	axsOspfV3AreaLsdbType {axsOspfV3AreaLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ルータ (8193=0x2001) • ネットワーク (8194=0x2002) • interAreaPrefix (8195=0x2003) • interAreaRouter (8196=0x2004) • マルチキャスト (8198=0x2006) • nssa 外部リンク (8199=0x2007) • intraAreaPrefix (8201=0x2009) 	●
6	axsOspfV3AreaLsdbRouterId {axsOspfV3AreaLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	●
7	axsOspfV3AreaLsdbLsid {axsOspfV3AreaLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	●
8	axsOspfV3AreaLsdbSequence {axsOspfV3AreaLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsOspfV3AreaLsdbAge {axsOspfV3AreaLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間（単位：秒）。	●
10	axsOspfV3AreaLsdbChecksum {axsOspfV3AreaLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	●
11	axsOspfV3AreaLsdbAdvertise ment {axsOspfV3AreaLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	●

3.9.5 axsOspfV3LinkLsdbTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3LinkLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5

(2) 実装仕様

axsOspfV3LinkLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-44 axsOspfV3LinkLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3LinkLsdbTable {axsOspfV3 5 }	NOT- ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfV3LinkLsdbEntry {axsOspfV3LinkLsdbTable 1 }	NOT- ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { axsOspfV3LinkLsdbDomainNumber, axsOspfV3LinkLsdbIfIndex, axsOspfV3LinkLsdbType, axsOspfV3LinkLsdbRouterId, axsOspfV3LinkLsdbLsid }	●
3	axsOspfV3LinkLsdbDomainNumber {axsOspfV3LinkLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3LinkLsdbIfIndex {axsOspfV3LinkLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA を受信したリンクの識別子。	●
5	axsOspfV3LinkLsdbType {axsOspfV3LinkLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 • Link (0x0008)	●
6	axsOspfV3LinkLsdbRouterId {axsOspfV3LinkLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsOspfV3LinkLsdbLsid {axsOspfV3LinkLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	●
8	axsOspfV3LinkLsdbSequence {axsOspfV3LinkLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	●
9	axsOspfV3LinkLsdbAge {axsOspfV3LinkLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間（単位：秒）。	●
10	axsOspfV3LinkLsdbChecksum {axsOspfV3LinkLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	●
11	axsOspfV3LinkLsdbAdvertise ment {axsOspfV3LinkLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	●

3.9.6 axsOspfV3IfTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7

(2) 実装仕様

axsOspfV3IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-45 axsOspfV3IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3IfTable {axsOspfV3 7}	NOT- ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfV3IfEntry {axsOspfV3IfTable 1}	NOT- ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX { axsOspfV3IfDomainNumber, axsOspfV3IfIndex }	●
3	axsOspfV3IfDomainNumber {axsOspfV3IfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFV3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3IfIndex {axsOspfV3IfEntry 2}	INTEGER	R/O	この OSPFV3 インタフェースのインタフェース Index。	●
5	axsOspfV3IfAreaId {axsOspfV3IfEntry 3}	IpAddress	R/O	このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
6	axsOspfV3IfType {axsOspfV3IfEntry 4}	INTEGER	R/O	インタフェースタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ブロードキャスト (1) • ノンブロードキャスト (2) • Point-Point (3) • Point-Multipoint (5) 	●
7	axsOspfV3IfAdminStat {axsOspfV3IfEntry 5}	INTEGER	R/O	インタフェースの管理状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) 	●
8	axsOspfV3IfRtrPriority {axsOspfV3IfEntry 6}	INTEGER	R/O	このインタフェースのプライオリティ。	●
9	axsOspfV3IfTransitDelay {axsOspfV3IfEntry 7}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。	●
10	axsOspfV3IfRetransInterval {axsOspfV3IfEntry 8}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。	●
11	axsOspfV3IfHelloInterval {axsOspfV3IfEntry 9}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。	●
12	axsOspfV3IfRtrDeadInterval {axsOspfV3IfEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。	●
13	axsOspfV3IfPollInterval {axsOspfV3IfEntry 11}	INTEGER	R/O	非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔 (単位: 秒)。	●
14	axsOspfV3IfState {axsOspfV3IfEntry 12}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • loopback (2) • waiting (3) • PtoP (4) • DR (5) • BDR (6) • other (7) 	●
15	axsOspfV3IfDesignatedRouter {axsOspfV3IfEntry 13}	IpAddress	R/O	ディジグネーテッドルータのルータ ID。	●
16	axsOspfV3IfBackupDesignatedRouter {axsOspfV3IfEntry 15}	IpAddress	R/O	バックアップディジグネーテッドルータのルータ ID。	●
17	axsOspfV3IfEvents {axsOspfV3IfEntry 16}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
18	axsOspfV3IfStatus	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
	{axsOspfV3IfEntry 18}			active (1) 固定。	
19	axsOspfV3IfMulticastForwarding {axsOspfV3IfEntry 19}	INTEGER	R/O	このインタフェースでマルチキャストする方法。 blocked (1) 固定。 • blocked (1) • multicast (2) • unicast (3)	●
20	axsOspfV3IfDemand {axsOspfV3IfEntry 20}	INTEGER	R/O	このインタフェースで Demand OSPFv3 手順を行うかどうかを示します。 false (2) 固定。 • true (1) • false (2)	●
21	axsOspfV3IfMetricValue {axsOspfV3IfEntry 21}	INTEGER	R/O	このインタフェースのメトリック。	●
22	axsOspfV3IfLinkScopeLsaCount {axsOspfV3IfEntry 22}	INTEGER	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。	●
23	axsOspfV3IfLinkLsaChecksumSum {axsOspfV3IfEntry 23}	INTEGER	R/O	LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。	●
24	axsOspfV3IfInstId {axsOspfV3IfEntry 24}	INTEGER	R/O	この OSPFv3 インタフェースの InstanceID。	●

3.9.7 axsOspfV3VirtIfTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3VirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8

(2) 実装仕様

axsOspfV3VirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-46 axsOspfV3VirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3VirtIfTable {axsOspfV3 8}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsOspfV3VirtIfEntry {axsOspfV3VirtIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX { axsOspfV3VirtIfDomainNumber, axsOspfV3VirtIfAreaId, axsOspfV3VirtIfNeighbor }	●
3	axsOspfV3VirtIfDomainNumber {axsOspfV3VirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3VirtIfAreaId {axsOspfV3VirtIfEntry 2}	IpAddress	R/O	その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。	●
5	axsOspfV3VirtIfNeighbor {axsOspfV3VirtIfEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想の隣接ルータのルータ ID。	●
6	axsOspfV3VirtIfIndex {axsOspfV3VirtIfEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェースのインタフェース Index。	●
7	axsOspfV3VirtIfTransitDelay {axsOspfV3VirtIfEntry 5}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するために必要とされる時間 (単位：秒)。	●
8	axsOspfV3VirtIfRetransInterval {axsOspfV3VirtIfEntry 6}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位：秒)。	●
9	axsOspfV3VirtIfHelloInterval {axsOspfV3VirtIfEntry 7}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔 (単位：秒)。	●
10	axsOspfV3VirtIfRtrDeadInterval {axsOspfV3VirtIfEntry 8}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位：秒)。	●
11	axsOspfV3VirtIfState {axsOspfV3VirtIfEntry 9}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 • down (1) • PtoP (4)	●
12	axsOspfV3VirtIfEvents {axsOspfV3VirtIfEntry 10}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
13	axsOspfV3VirtIfStatus {axsOspfV3VirtIfEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●
14	axsOspfV3VirtIfLinkScopeLsaCount {axsOspfV3VirtIfEntry 12}	INTEGER	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。	●
15	axsOspfV3VirtIfLinkLsaChecksumSum {axsOspfV3VirtIfEntry 13}	INTEGER	R/O	LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。	●

3.9.8 axsOspfV3NbrTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3NbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 9}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9

(2) 実装仕様

axsOspfV3NbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-47 axsOspfV3NbrTable の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsOspfV3NbrTable {axsOspfV3 9}	NOT- ACCESSIBL E	NA	仮想ではない隣接局の情報を格納するテー ブル。	●
2	axsOspfV3NbrEntry {axsOspfV3NbrTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	各隣接局の情報リスト。 INDEX { axsOspfV3NbrDomainNumber, axsOspfV3NbrIfIndex, axsOspfV3NbrIpv6Addr }	●
3	axsOspfV3NbrDomainNumber {axsOspfV3NbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3NbrIfIndex {axsOspfV3NbrEntry 2}	INTEGER	R/O	隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。	●
5	axsOspfV3NbrIpv6Addr {axsOspfV3NbrEntry 3}	Ipv6Addres s	R/O	隣接ルータの IPv6 アドレス。	●
6	axsOspfV3NbrRtrId {axsOspfV3NbrEntry 4}	IpAddress	R/O	隣接ルータのルータ ID。	●
7	axsOspfV3NbrOptions {axsOspfV3NbrEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ルータのオプションフィールド。	●
8	axsOspfV3NbrPriority {axsOspfV3NbrEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接ルータのプライオリティ。	●
9	axsOspfV3NbrState {axsOspfV3NbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) 	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				• full (8)	
10	axsOspfV3NbrEvents {axsOspfV3NbrEntry 8}	Counter	R/O	隣接ルータとの関係で、状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
11	axsOspfV3NbrLsRetransQLen {axsOspfV3NbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	●
12	axsOspfV3NbrHelloSuppressed {axsOspfV3NbrEntry 12}	INTEGER	R/O	Hello が隣接に抑止されているかを示します。	●
13	axsOspfV3NbrIfId {axsOspfV3NbrEntry 13}	INTEGER	R/O	隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している Interface ID。	●

3.9.9 axsOspfV3VirtNbrTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3VirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10

(2) 実装仕様

axsOspfV3VirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-48 axsOspfV3VirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3VirtNbrTable {axsOspfV3 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。	●
2	axsOspfV3VirtNbrEntry {axsOspfV3VirtNbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { axsOspfV3VirtNbrDomainNumber, axsOspfV3VirtNbrArea, axsOspfV3VirtNbrRtrId }	●
3	axsOspfV3VirtNbrDomainNumber {axsOspfV3VirtNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3VirtNbrArea {axsOspfV3VirtNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	通過するエリアのエリア ID。	●
5	axsOspfV3VirtNbrRtrId {axsOspfV3VirtNbrEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータのルータ ID。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
6	axsOspfV3VirtNbrIfIndex {axsOspfV3VirtNbrEntry 4}	INTEGER	R/O	隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。	●
7	axsOspfV3VirtNbrIpv6Addr {axsOspfV3VirtNbrEntry 5}	Ipv6Address	R/O	仮想隣接ルータの IPv6 アドレス。	●
8	axsOspfV3VirtNbrOptions {axsOspfV3VirtNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	仮想隣接ルータのオプションフィールド。	●
9	axsOspfV3VirtNbrState {axsOspfV3VirtNbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) 	●
10	axsOspfV3VirtNbrEvents {axsOspfV3VirtNbrEntry 8}	Counter	R/O	この仮想リンクの状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	●
11	axsOspfV3VirtNbrLsRetransQ Len {axsOspfV3VirtNbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	●
12	axsOspfV3VirtNbrHelloSuppressed {axsOspfV3VirtNbrEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello が隣接に抑止されているかを示します。	●
13	axsOspfV3VirtNbrIfId {axsOspfV3VirtNbrEntry 11}	INTEGER	R/O	隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している InterfaceID。	●

3.9.10 axsOspfV3AreaAggregateTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3AreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 11}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11

(2) 実装仕様

axsOspfV3AreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-49 axsOspfV3AreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AreaAggregateTable {axsOspfV3 11}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブル。	●
2	axsOspfV3AreaAggregateEntry {axsOspfV3AreaAggregateTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のリスト。 INDEX { axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber, axsOspfV3AreaAggregateAreaID, axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType, axsOspfV3AreaAggregateIndex }	●
3	axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber {axsOspfV3AreaAggregateEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	●
4	axsOspfV3AreaAggregateAreaID {axsOspfV3AreaAggregateEntry 2}	IpAddress	R/O	アドレス集約したエリア。	●
5	axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType {axsOspfV3AreaAggregateEntry 3}	INTEGER	R/O	アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • interAreaPrefixLsa (0x2003) • nssaExternalLink (0x2007) 	●
6	axsOspfV3AreaAggregateIndex {axsOspfV3AreaAggregateEntry 4}	INTEGER	R/O	アグリゲートテーブルの識別子。	●
7	axsOspfV3AreaAggregatePrefix {axsOspfV3AreaAggregateEntry 5}	Ipv6Address	R/O	IPv6 Prefix。	●
8	axsOspfV3AreaAggregatePrefixLen {axsOspfV3AreaAggregateEntry 6}	INTEGER	R/O	IPv6 Prefix 長。	●
9	axsOspfV3AreaAggregateStatus {axsOspfV3AreaAggregateEntry 7}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	●
10	axsOspfV3AreaAggregateEffect	INTEGER	R/O	範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{axsOspfV3AreaAggregateEntry 8}			<ul style="list-style-type: none">• advertiseMatching (1)• doNotAdvertiseMatching (2)	

3.10 axsUlr グループ (アップリンク・リダンダント情報 MIB)

3.10.1 axsUlrGlobalInfo グループ

(1) 識別子

axsUlr OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 20}

axsUlrGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsUlr 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1

(2) 実装仕様

axsUlrGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-50 axsUlrGlobalInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsUlrID {axsUlrGlobalInfo 2}	MacAddress	R/O	装置のシステム ID。	●
2	axsUlrConfigurationPortCounts {axsUlrGlobalInfo 3}	INTEGER	R/O	プライマリポート数とセカンダリポート数を合わせた数。	●
3	axsUlrStartupActivePortSelection {axsUlrGlobalInfo 4}	INTEGER	R/O	装置起動時のアクティブポート固定機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Off (1) : 設定なし On (2) : 設定あり 	●

3.10.2 axsUlrPortTable グループ

(1) 識別子

axsUlr OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 20}

axsUlrPortTable Group OBJECT IDENTIFIER ::= {axsUlr 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2

(2) 実装仕様

axsUlrPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-51 axsUlrPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsUlrPortTable {axsUlr 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	アップリンク・リダンダントのポート情報を格納するテーブル。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
2	axsUlrPortEntry {axsUlrPortTable 1}	NOT- ACCESSI BLE	NA	アップリンク・リダundantのポート情報のリス ト。 INDEX { axsUlrPortIfIndex }	●
3	axsUlrPortIfIndex {axsUlrPortEntry 1}	INTEGER	R/O	ポートまたはチャンネルグループの ifIndex。	●
4	axsUlrPortType {axsUlrPortEntry 2}	INTEGER	R/O	ポートの種別。 <ul style="list-style-type: none"> • Primary (1) : プライマリポート • Secondary (2) : セカンダリポート 	●
5	axsUlrPairedPortIfIndex {axsUlrPortEntry 3}	INTEGER	R/O	対になるポートまたは対になるチャンネルグループ の ifIndex。	●
6	axsUlrPortStatus {axsUlrPortEntry 4}	INTEGER	R/O	ポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • Forwarding (1) : Forwarding • Down (2) : ポートがダウンまたはチャンネルグ ループがダウン • Blocking (3) : Blocking 	●
7	axsUlrPairedPortStatus {axsUlrPortEntry 5}	INTEGER	R/O	対になるポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • Forwarding (1) : Forwarding • Down (2) : ポートがダウンまたはチャンネルグ ループがダウン • Blocking (3) : Blocking 	●
8	axsUlrAutoChangeToPrimary {axsUlrPortEntry 6}	INTEGER	R/O	自動切り戻しの設定。 <ul style="list-style-type: none"> • Off (1) : 設定なし • On (2) : 設定あり 	●
9	axsUlrAutoChangeToPrimary Delay {axsUlrPortEntry 7}	INTEGER	R/O	自動切り戻し時間 (単位: 秒)。	●
10	axsUlrAutoChangeToPrimaryR est {axsUlrPortEntry 8}	INTEGER	R/O	自動切り戻しまでの残時間 (単位: 秒)。	●
11	axsUlrStartupActivePortSelecti onStatus {axsUlrPortEntry 9}	INTEGER	R/O	装置起動時のアクティブポート固定機能の動作状 態。 <ul style="list-style-type: none"> • Off (1) : 動作していない • On (2) : 動作中 	●
12	axsUlrFlushTransmit {axsUlrPortEntry 10}	INTEGER	R/O	フラッシュ制御フレームの送信設定。 <ul style="list-style-type: none"> • Off (1) : 設定なし • On (2) : 設定あり 	●

3 プライベート MIB

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsUlrFlushVlan {axsUlrPortEntry 11}	INTEGER	R/O	フラッシュ制御フレームを送信する VLAN の VLAN ID。 <ul style="list-style-type: none"> • 未設定 (0) • 送信に使用している VLAN ID 	●
14	axsUlrMacAddressUpdateTransmit {axsUlrPortEntry 12}	INTEGER	R/O	MAC アドレスアップデートフレームの送信回数。	●
15	axsUlrLastActivePortDecisionTime {axsUlrPortEntry 13}	TimeStamp	R/O	最後にアクティブポートが決定した時間。	●
16	axsUlrLastFlushTransmitTime {axsUlrPortEntry 14}	TimeStamp	R/O	最後にフラッシュ制御フレームを送信した時間。	●
17	axsUlrLastMacUpdateTransmitTime {axsUlrPortEntry 15}	TimeStamp	R/O	最後に MAC アドレスアップデートフレームを送信した時間。	●
18	axsUlrLastChangeFactor {axsUlrPortEntry 16}	INTEGER	R/O	最後にアクティブポートが決定したときの要因。 <ul style="list-style-type: none"> • command (1) • configure (2) • primary down (3) • primary up (4) • secondary down (5) • secondary up (6) • preemption (7) 	●
19	axsUlrFlushTransmitTotalPackets {axsUlrPortEntry 17}	INTEGER	R/O	フラッシュ制御フレームの送信数。	●
20	axsUlrMacAddressUpdateTransmitTotalPackets {axsUlrPortEntry 18}	INTEGER	R/O	MAC アドレスアップデートフレームの送信数。	●
21	axsUlrMacAddressUpdateTransmitOverflow {axsUlrPortEntry 19}	INTEGER	R/O	MAC アドレスアップデートフレームオーバー数。	●
22	axsUlrActiveDecisionCount {axsUlrPortEntry 20}	INTEGER	R/O	対象のポートを含むアップリンクポートでアクティブポートが決定した回数。	●

3.11 axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)

axsStatic グループは、axsStaticGatewayStateChange の variable として使用するオブジェクトを集めた MIB グループです。どのオブジェクトも、SNMP 通知以外の方法ではデータを取得できません。

3.11.1 axsStaticTable グループ

(1) 識別子

```
axsStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 38}
```

```
axsStaticTable Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStatic 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1
```

(2) 実装仕様

axsStaticTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-52 axsStaticTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsStaticTable {axsStatic 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタティック情報を格納するテーブル。	●
2	axsStaticGatewayEntry {axsStaticTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタティック情報のリスト。 INDEX { axsStaticGatewayAddr }	●
3	axsStaticGatewayAddr {axsStaticGatewayEntry 1}	IpAddress	AN	ゲートウェイの IP アドレス。	●
4	axsStaticGatewayState {axsStaticGatewayEntry 2}	INTEGER	AN	ゲートウェイの状態。 • reachable (1) • unreachable (2)	●

3.11.2 axsStaticIpv6Table グループ

(1) 識別子

```
axsStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 38}
```

```
axsStaticIpv6Table Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStatic 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3
```

(2) 実装仕様

axsStaticIpv6Table の実装仕様を次の表に示します。

表 3-53 axsStaticIpv6Table の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsStaticIpv6Table {axsStatic 3}	NOT- ACCESSIBL E	NA	IPv6 スタティック情報を格納するテーブ ル。	●
2	axsStaticIpv6GatewayEntry {axsStaticIpv6Table 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	IPv6 スタティック情報のリスト。 INDEX { axsStaticIpv6Ifindex, axsStaticIpv6GatewayAddr }	●
3	axsStaticIpv6Ifindex {axsStaticIpv6GatewayEntry 1}	INTEGER	AN	ゲートウェイのインタフェース index。 <ul style="list-style-type: none"> • コンフィグレーションに noresolv パラ メータ指定あり：インタフェース index 番号 • コンフィグレーションに noresolv パラ メータ指定なし：0 固定 	●
4	axsStaticIpv6GatewayAddr {axsStaticIpv6GatewayEntry 2}	Ipv6Addres s	AN	ゲートウェイの IPv6 アドレス。	●
5	axsStaticIpv6GatewayState {axsStaticIpv6GatewayEntry 3}	INTEGER	AN	ゲートウェイの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • reachable (1) • unreachable (2) 	●

3.12 axsTrackObjectMIB グループ（トラック情報 MIB）【OS-L3A】

3.12.1 axsTrackObjectGeneralGroup

(1) 識別子

axsTrackObject OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 41}

axsTrackObjectGeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {axsTrackObject 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.1

(2) 実装仕様

axsTrackObjectGeneralGroup の実装仕様を次の表に示します。

表 3-54 axsTrackObjectGeneralGroup の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsTrackObjectGeneralLastChange {axsTrackObjectGeneralGroup 1}	TimeTicks	R/O	axsTrackObject 配下の読み込み可能なオブジェクトの中で、最後に値が変わったオブジェクトの変更時刻。sysUpTime の形式。	●

3.12.2 axsTrackObjectTable

(1) 識別子

axsTrackObject OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 41}

axsTrackObjectTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsTrackObject 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3

(2) 実装仕様

axsTrackObjectTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-55 axsTrackObjectTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsTrackObjectTable {axsTrackObject 3}	SEQUENCE OF AxsTrackObjectEntry	NA	トラックの情報を含むテーブル。	●
2	axsTrackObjectEntry {axsTrackObjectTable 1}	AxsTrackObjectEntry	NA	トラックの情報。 INDEX {axsTrackObjectId}	●
3	axsTrackObjectId {axsTrackObjectEntry 1}	INTEGER	R/O	トラックの識別子であるトラック番号。	●
4	axsTrackObjectState	INTEGER	R/O	トラック状態。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{axsTrackObjectEntry 2}			<ul style="list-style-type: none"> • Up (1) • Down (2) 	
5	axsTrackObjectOperation {axsTrackObjectEntry 3}	INTEGER	R/O	トラックの動作状態。 <ul style="list-style-type: none"> • Active (1) • Transit (2) • Disabled (3) • Init (4) 	●
6	axsTrackObjectType {axsTrackObjectEntry 4}	INTEGER	R/O	トラック種別。 <ul style="list-style-type: none"> • IPv4 ICMP (1) 	●
7	axsTrackObjectNetIndex {axsTrackObjectEntry 5}	INTEGER	R/O	0 固定。	●

3.13 axsPolicyBase グループ（ポリシーベース情報 MIB）【OS-L3A】

本グループは、ポリシーベースルーティングの経路情報の変化に関する SNMP 通知で使用する MIB グループです。

3.13.1 axsPolicyBaseRouting グループ

(1) 識別子

axsPolicyBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMIB 45}

axsPolicyBaseRouting OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPolicyBase 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1

(2) 実装仕様

axsPolicyBaseRouting グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-56 axsPolicyBaseRouting グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber {axsPolicyBaseRouting 1}	Unsigned32	NA	ポリシーベースルーティングで優先度に変更が発生したリスト番号。	●
2	axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber {axsPolicyBaseRouting 2}	Unsigned32	NA	ポリシーベースルーティングのリスト番号で選択した経路の優先度。 デフォルト動作の場合：0	●

3.14 axsBootManagement グループ(システム起動情報 MIB)

(1) 識別子

axsBootManagement OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 51}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51

(2) 実装仕様

axsBootManagement の実装仕様を次の表に示します。

表 3-57 axsBootManagement の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsBootReason {axsBootManagement 1}	INTEGER	R/O	システムが起動した要因 <ul style="list-style-type: none"> • power-on (1) : 電源オンによる起動 • reload (2) : コマンドによる起動 • system-fault (3) : 障害による起動 • system-stall (4) : WDT タイムアウトによる起動 • reset (5) : ハードウェアリセットによる起動 • fail-over (6) : SWAP による起動 • default-restart (7) : デフォルトリスタートによる起動 power-on (1), reload (2), system-fault (3), reset (5), または default-restart (7) を返す。	●

3.15 axsLogin グループ(ログイン情報 MIB)

(1) 識別子

axsLogin OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 52}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52

(2) 実装仕様

axsLogin の実装仕様を次の表に示します。

表 3-58 axsLogin の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsLoginName {axsLogin 1}	DisplayString	NA	ログインユーザ名。	●
2	axsLoginTime {axsLogin 2}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログインした時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。</p> <p>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX"で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YYYY：西暦 • MM：月（01～12） • DD：日（01～31） • hh：時（00～23） • mm：分（00～59） • ss：秒（00～59） • XXXXXX：タイムゾーン <p>DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。</p> <p>例 2004/10/09 10:23:10 JST</p>	●
3	axsLogoutTime {axsLogin 3}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログアウトした時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。</p> <p>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX"で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YYYY：西暦 • MM：月（01～12） • DD：日（01～31） • hh：時（00～23） • mm：分（00～59） • ss：秒（00～59） • XXXXXX：タイムゾーン <p>DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。</p> <p>例 2004/10/09 10:23:10 JST</p>	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsLoginFailureTime {axsLogin 4}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログインに失敗した時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。</p> <p>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX"で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YYYY：西暦 • MM：月（01～12） • DD：日（01～31） • hh：時（00～23） • mm：分（00～59） • ss：秒（00～59） • XXXXXX：タイムゾーン <p>DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。</p> <p>例 2004/10/09 10:23:10 JST</p>	●
5	axsLoginLocation {axsLogin 5}	DisplayString	NA	<p>ログインユーザの接続形式情報を以下形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンソールの場合 "console" • その他の場合 "XXXX(YYYY)"と表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • XXXX：IP アドレス • YYYY：アプリケーション（telnet, ssh, ftp） <p>例 "console", "192.168.1.1(telnet)", "2001:02C0:0001:0100:0000:0000:0000:0053(telnet)"</p>	●
6	axsLoginLine {axsLogin 6}	DisplayString	NA	<p>ログインユーザの端末識別子情報を以下形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンソールの場合 "console" • その他の場合 "XXXX(YYYY)"と表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • XXXX：端末 • YYYY：アプリケーション（telnet, ssh, ftp） <p>例 "console", "tty1(telnet)"</p>	●
7	axsLogoutStatus {axsLogin 7}	INTEGER	NA	<p>ログアウト要因</p> <ul style="list-style-type: none"> • error (1)：下記要因以外のログアウト（例：内部不正によるシステムアウトなど） • success (2)：コマンドによるログアウト 	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
				<ul style="list-style-type: none"> • timeout (3) : auto-logout によるログアウト • disconnect (4) : 回線切断によるログアウト • force (5) : 他のユーザによる強制ログアウト <p>本装置では固定値 (2) を返す。</p>	

3.16 axslldp グループ(LLDP 情報 MIB)

3.16.1 axslldpConfiguration グループ

(1) 識別子

axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpConfiguration OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1

axslldpMessageTxInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpConfiguration 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1

(2) 実装仕様

axslldpConfiguration グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-59 axslldpConfiguration グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpMessageTxInterval {axslldpConfiguration 1}	Integer32 (5..32768)	R/NW	[規格] LDPDU 送信間隔。コンフィグレーションコマンド lldp interval-time で設定した値 (単位: 秒)。 デフォルト: 30 (秒) [実装] 規格と同じ。	●
2	axslldpMessageTxHoldMultiplier {axslldpConfiguration 2}	Integer32 (2..10)	R/NW	[規格] 本装置が送信した LLDP フレームに関して、隣接装置が保持する時間係数。実際に保持される時間は axslldpMessageTxInterval と本 MIB 値の積。 コンフィグレーションコマンド lldp hold-count で設定した値。 デフォルト: 4 [実装] 規格と同じ。	●
3	axslldpReinitDelay {axslldpConfiguration 3}	Integer32 (1..10)	R/W	[規格] ポート状態が disable に遷移してから再初期化されるまでの遅延時間 (単位: 秒)。 デフォルト: 1 (秒) [実装] 未サポート。	×
4	axslldpTxDelay {axslldpConfiguration 4}	Integer32 (1..8192)	R/W	[規格] axslldpLocalSystemData グループのオブジェクトのどれかで値が変更された後に LDPDU が送信されるまでの遅延時間 (単位: 秒)。 推奨値は以下の式で求めることができる。 $\text{axslldpTxDelay} = \max(1, (0.25 \times \text{axslldpMessageTxInterval}))$ デフォルト: 8 (秒) [実装] 未サポート。	×

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
5	axsldpPortConfigTable {axsldpConfiguration 6}	SEQUENCE OF axsldpPort ConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
6	axsldpPortConfigEntry {axsldpPortConfigTable 1}	axsldpPort ConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するエントリ (ポートごと)。 INDEX { axsldpPortConfigPortNum } [実装] 規格と同じ。	●
7	axsldpPortConfigPortNum {axsldpPortConfigEntry 2}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 [実装] 規格と同じ。	●
8	axsldpPortConfigAdminStatus {axsldpPortConfigEntry 3}	INTEGER	R/NW	[規格] LDPDU の送受信に関する本装置の ポート状態。 <ul style="list-style-type: none"> • txOnly (1) • rxOnly (2) • txAndRx (3) • disabled (4) [実装] txAndRx (3), disabled (4) だけ 使用できる。	●
9	axsldpPortConfigTLVsTxEnabl e {axsldpPortConfigEntry 4}	BITS	R/NW	[規格] 該当ポートに関する送信可能 TLV。 <ul style="list-style-type: none"> • portDesc (4) • sysName (5) • sysDesc (6) • sysCap (7) [実装] 0x0e (portDesc (4), sysName (5), sysDesc (6) の論理和) 固定。	●
10	axsldpPortConfigRowStatus {axsldpPortConfigEntry 5}	RowStatus	R/O	[規格] 本エントリの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • active (1) : axsldpPortConfigAdminStatus が txAndRx の場合 • notReady (3) : axsldpPortConfigAdminStatus が disabled の場合 [実装] 規格と同じ。	●
11	axsldpConfigManAddrTable {axsldpConfiguration 7}	SEQUENCE OF axsldpConf igManAddr Entry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信する ポートに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
12	axsldpConfigManAddrEntry {axsldpConfigManAddrTable 1}	axsldpConf igManAddr Entry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信する ポートの集合を表すエントリ。 [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsllldpConfigManAddrPortsTxEnable {axsllldpConfigManAddrEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(48))	R/W	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合をビットマップで表したものの。 [実装] 未サポート。	×

3.16.2 axsllldpStats グループ

(1) 識別子

axsllldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axsllldpStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsllldp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2

axsllldpStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsllldpStats 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1

(2) 実装仕様

axsllldpStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-60 axsllldpStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsllldpStatsTable {axsllldpStats 1}	SEQUENCE OF axsllldpStats Entry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
2	axsllldpStatsEntry {axsllldpStatsTable 1}	axsllldpStats Entry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するエントリ (ポートごと)。 INDEX { axsllldpStatsPortNum } [実装] 規格と同じ。	●
3	axsllldpStatsPortNum {axsllldpStatsEntry 2}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 [実装] 規格と同じ。ただしコンフィグレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。	●
4	axsllldpStatsOperStatus {axsllldpStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] 該当ポートに関する active 状態。 • portUp (1) • portDown (2) [実装] 規格と同じ。	●
5	axsllldpStatsFramesInErrors {axsllldpStatsEntry 4}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する不正 LDPDU 受信数。 [実装] 規格と同じ。	●
6	axsllldpStatsFramesInTotal {axsllldpStatsEntry 5}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する総 LDPDU 受 信数。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
				[実装] 規格と同じ。	
7	axsldpStatsFramesOutTotal {axsldpStatsEntry 6}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する総 LDPDU 送信数。 [実装] 規格と同じ。	●
8	axsldpStatsTLVsInErrors {axsldpStatsEntry 7}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する不正 TLV 受信数。 [実装] 規格と同じ。	●
9	axsldpStatsTLVsDiscardedTotal {axsldpStatsEntry 8}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する総廃棄 TLV 数。 [実装] 規格と同じ。	●
10	axsldpStatsCounterDiscontinuityTime {axsldpStatsEntry 9}	TimeStamp	R/O	[規格] 該当ポートの統計カウンタの連続性が失われた時刻。 [実装] 未サポート。	×

3.16.3 axsldpLocalSystemData グループ

(1) 識別子

axsldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axsldpLocalSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axsldp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3

axsldpLocChassisType ::= {axsldpLocalSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1

(2) 実装仕様

axsldpLocalSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-61 axsldpLocalSystemData グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsldpLocChassisType {axsldpLocalSystemData 1}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置に関するシャーシタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • entPhysicalAlias (1) • ifAlias (2) • portEntPhysicalAlias (3) • backplaneEntPhysicalAlias (4) • macAddress (5) • networkAddress (6) [実装] macAddress (5) 固定。	●
2	axsldpLocChassisId {axsldpLocalSystemData 2}	OCTET STRING (SIZE(1..255)	R/O	[規格] 本装置に関するシャーシ ID (文字列)。 [実装] 装置の MAC アドレス。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	axsldpLocSysName {axsldpLocalSystemData 3}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 本装置に関するシステムネーム（文字列）。system グループの sysName と同じ。 [実装] 規格と同じ。	●
4	axsldpLocSysDesc {axsldpLocalSystemData 4}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 本装置に関するシステム情報（文字列）。system グループの sysDesc と同じ。 [実装] 規格と同じ。	●
5	axsldpLocSysCapSupported {axsldpLocalSystemData 5}	BITS	R/O	[規格] 該当装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> • repeater (0) • bridge (1) • accessPoint (2) • router (3) • telephone (4) • wirelessStation (5) • stationOnly (6) [実装] 未サポート。	×
6	axsldpLocSysCapEnabled {axsldpLocalSystemData 6}	BITS	R/O	[規格] 該当装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> • repeater (0) • bridge (1) • accessPoint (2) • router (3) • telephone (4) • wirelessStation (5) • stationOnly (6) [実装] 未サポート。	×
7	axsldpLocPortTable {axsldpLocalSystemData 7}	SEQUENCE OF axsldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
8	axsldpLocPortEntry {axsldpLocPortTable 1}	axsldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するエントリ（ポートごと）。 INDEX { axsldpLocPortNum } [実装] 規格と同じ。	●
9	axsldpLocPortNum {axsldpLocPortEntry 1}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 [実装] 規格と同じ。ただしコンフィグレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
10	axsldpLocPortType {axsldpLocPortEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置の該当ポートに関するポート タイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ifAlias (1) • portEntPhysicalAlias (2) • backplaneEntPhysicalAlias (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • local (6) [実装] macAddress (4) 固定。	●
11	axsldpLocPortId {axsldpLocPortEntry 3}	OCTET STRING (SIZE(1..255)	R/O	[規格] 本装置の該当ポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] ポートの MAC アドレス。	●
12	axsldpLocPortDesc {axsldpLocPortEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(0..255)	R/O	[規格] 本装置の該当ポートに関するポート 情報 (文字列)。ポートの ifDescr と同じ。 [実装] 規格と同じ。	●
13	axsldpLocManAddrTable {axsldpLocalSystemData 8}	SEQUENCE OF axsldpLoc ManAddrEn try	NA	[規格] 該当装置の管理アドレスに関する テーブル。 [実装] 未サポート。	×
14	axsldpLocManAddrEntry {axsldpLocManAddrTable 1}	axsldpLoc ManAddrEn try	NA	[規格] シャーシごとの管理アドレスに関する 情報。 INDEX { axsldpLocManAddrType, axsldpLocManAddr } [実装] 未サポート。	×
15	axsldpLocManAddrType {axsldpLocManAddrEntry 1}	AddressFam ilyNumbers	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
16	axsldpLocManAddr {axsldpLocManAddrEntry 2}	OCTET STRING (SIZE (1..31))	NA	[規格] 該当装置の管理アドレス。 [実装] 未サポート。	×
17	axsldpLocManAddrIfSubtype {axsldpLocManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • unknown (1) • ifIndex (2) • systemPortNumber (3) [実装] 未サポート。	×
18	axsldpLocManAddrIfId {axsldpLocManAddrEntry 4}	OCTET STRING	R/O	[規格] 管理アドレスに対応するインタ フェース番号。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
		(SIZE(4))		[実装] 未サポート。	
19	axslldpLocManAddrOID {axslldpLocManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 管理アドレスに関連するハードウェア、またはプロトコルのオブジェクト ID。 [実装] 未サポート。	×

3.16.4 axslldpRemoteSystemData グループ

(1) 識別子

axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpRemoteSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4

axslldpRemTable ::= {axslldpRemoteSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1

(2) 実装仕様

axslldpRemoteSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-62 axslldpRemoteSystemData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpRemTable {axslldpRemoteSystemData 1}	SEQUENCE OF axslldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	●
2	axslldpRemEntry {axslldpRemTable 1}	axslldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するエントリ。 INDEX { axslldpRemTimeMark, axslldpRemLocalPortNum, axslldpRemIndex } [実装] INDEX { axslldpRemLocalPortNum, axslldpRemIndex }※	●
3	axslldpRemTimeMark {axslldpRemEntry 1}	TimeFilter	NA	[規格] 該当隣接装置の情報を取得してから の時間。 [実装] 未サポート。	×
4	axslldpRemLocalPortNum {axslldpRemEntry 2}	Integer32	NA	[規格] 隣接装置に関する情報を受信した本 装置のポートの識別インデックス。 ifIndex と同じ。 [実装] 規格と同じ。ただしコンフィグレー ションコマンド lldp enable を設定してい るポートが対象になる。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
5	axsldpRemIndex {axsldpRemEntry 3}	Integer32 (1..2147483 647)	NA	[規格]隣接装置に関するインデックス。 [実装]規格と同じ。	●
6	axsldpRemRemoteChassisType {axsldpRemEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャーシタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • entPhysicalAlias (1) • ifAlias (2) • portEntPhysicalAlias (3) • backplaneEntPhysicalAlias (4) • macAddress (5) • networkAddress (6) [実装] 規格と同じ。	●
7	axsldpRemRemoteChassis {axsldpRemEntry 5}	OCTET STRING (SIZE(1..255)	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャーシ ID (文字 列)。 [実装] 規格と同じ。	●
8	axsldpRemRemotePortType {axsldpRemEntry 6}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置の該当ポートに関するポー トタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ifAlias (1) • portEntPhysicalAlias (2) • backplaneEntPhysicalAlias (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • local (6) [実装] 規格と同じ。	●
9	axsldpRemRemotePort {axsldpRemEntry 7}	OCTET STRING (SIZE(1..255)	R/O	[規格] 隣接装置の該当ポートに関するポー ト ID (文字列)。 [実装] 規格と同じ。	●
10	axsldpRemPortDesc {axsldpRemEntry 8}	OCTET STRING (SIZE(0..255)	R/O	[規格] 隣接装置の該当ポートに関する情報 (文字列)。 [実装] 規格と同じ。	●
11	axsldpRemSysName {axsldpRemEntry 9}	OCTET STRING (SIZE(0..255)	R/O	[規格] 隣接装置に関するシステムネーム (文字列)。 [実装] 規格と同じ。	●
12	axsldpRemSysDesc {axsldpRemEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(0..255)	R/O	[規格] 隣接装置に関するシステム情報 (文 字列)。 [実装] 規格と同じ。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
13	axsldpRemSysCapSupported {axsldpRemEntry 11}	BITS	R/O	[規格] 隣接装置のサポートしている機能一 覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> • repeater (0) • bridge (1) • accessPoint (2) • router (3) • telephone (4) • wirelessStation (5) • stationOnly (6) [実装] 未サポート。	×
14	axsldpRemSysCapEnabled {axsldpRemEntry 12}	BITS	R/O	[規格] 隣接装置で稼働している機能の一覧 をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> • repeater (0) • bridge (1) • accessPoint (2) • router (3) • telephone (4) • wirelessStation (5) • stationOnly (6) [実装] 未サポート。	×
15	axsldpRemManAddrTable {axsldpRemoteSystemsData 2}	SEQUENCE OF axsldpRem ManAddrEn try	NA	[規格] 該当装置が学習した隣接装置の管理 アドレスに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
16	axsldpRemManAddrEntry {axsldpRemManAddrTable 1}	axsldpRem ManAddrEn try	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関する テーブル。 INDEX { axsldpRemTimeMark, axsldpRemLocalPortNum, axsldpRemIndex, axsldpRemManAddrType, axsldpRemManAddr } [実装] 未サポート。	×
17	axsldpRemManAddrType {axsldpRemManAddrEntry 1}	AddressFam ilyNumbers	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
18	axsldpRemManAddr {axsldpRemManAddrEntry 2}	OCTET STRING (SIZE (1..31))	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレス。 [実装] 未サポート。	×
19	axsldpRemManAddrIfSubtype	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ。	×

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
	{axsldpRemManAddrEntry 3}			<ul style="list-style-type: none"> unknown (1) ifIndex (2) systemPortNumber (3) [実装] 未サポート。	
20	axsldpRemManAddrIfId {axsldpRemManAddrEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに対応する インタフェース番号。 [実装] 未サポート。	×
21	axsldpRemManAddrOID {axsldpRemManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIE R	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関連する ハードウェア、またはプロトコルのオブ ジェクト ID。 [実装] 未サポート。	×
22	axsldpRemOrgDefInfoTable {axsldpRemoteSystemsData 3}	SEQUENCE OF axsldpRem OrgDefInfo Entry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関 するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	×
23	axsldpRemOrgDefInfoEntry {axsldpRemOrgDefTable 1}	axsldpRem OrgDefInfo Entry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関 するエントリ。 INDEX { axsldpRemTimeMark, axsldpRemLocalPortNum, axsldpRemIndex, axsldpRemOrgDefOUI, axsldpRemOrgDefSubtype, axsldpRemOrgDefIndex } [実装] 未サポート。	×
24	axsldpRemOrgDefInfoOUI {axsldpRemOrgDefEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(3))	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関 する OUI。 [実装] 未サポート。	×
25	axsldpRemOrgDefInfoSubtype {axsldpRemOrgDefEntry 2}	Integer32 (1..255)	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関 するサブタイプ。 [実装] 未サポート。	×
26	axsldpRemOrgDefInfoIndex {axsldpRemOrgDefEntry 3}	Integer32 (1..2147483 647)	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関 する ID。 [実装] 未サポート。	×
27	axsldpRemOrgDefInfo {axsldpRemOrgDefEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(0..507))	R/O	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関 する情報。 [実装] 未サポート。	×

注※ 規格では axsldpRemTimeMark がありますが、未サポートのため除いてあります。

3.16.5 axslldpRemoteOriginInfoData グループ

(1) 識別子

axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpRemoteOriginInfoData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20

axslldpRemOriginInfoTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpRemoteOriginInfoData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1

(2) 実装仕様

axslldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-63 axslldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpRemOriginInfoTable {axslldpRemoteOriginInfoData 1}	SEQUENCE OF axslldpRem OriginInfoT able	NA	隣接装置の弊社独自 TLV に関するテーブル。	●
2	axslldpRemOriginInfoEntry {axslldpRemOriginInfoTable 1}	axslldpRem OriginInfoE ntry	NA	隣接装置に関するエントリ。 INDEX { axslldpRemOriginInfoPortNum, axslldpRemOriginInfoIndex }	●
3	axslldpRemOriginInfoPortNum {axslldpRemOriginInfoEntry 1}	Integer32	NA	隣接装置に関する情報を受信した本装置の ポートの識別インデックス。ifIndex と同 じ。	●
4	axslldpRemOriginInfoIndex {axslldpRemOriginInfoEntry 2}	INTEGER	NA	隣接装置に関するインデックス。	●
5	axslldpRemOriginInfoLowerVla nList {axslldpRemOriginInfoEntry 3}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	VLAN 1～2047 で隣接装置の該当ポート で有効な VLAN ID をビットマップで表現 したもの（先頭のビット（0 バイト目の 2 ⁷ ビット）は Untagged 定義の有無を示し、 以下 VLAN 1～2047 の有効／無効を示 す）。 <ul style="list-style-type: none"> • bit が 0：その VLAN は無効 • bit が 1：その VLAN は有効 	●
6	axslldpRemOriginInfoHigherVla nList {axslldpRemOriginInfoEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	VLAN 2048～4095 で隣接装置の該当 ポートで有効な VLAN ID をビットマップ で表現したもの（先頭のビット（0 バイト 目の 2 ⁷ ビット）から順に VLAN 2048～ 4095 の有効／無効を示す）。 <ul style="list-style-type: none"> • bit が 0：その VLAN は無効 • bit が 1：その VLAN は有効 	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
7	axsldpRemOriginInfoIPv4Addr ess {axsldpRemOriginInfoEntry 5}	OCTET STRING (SIZE(0..15))	R/O	axsldpRemOriginInfoLowerVlanList に Untagged だけ設定されているとき 隣接装置の該当ポートに付与されてい る IPv4 アドレス (文字列)。 上記以外るとき 隣接装置の該当ポートで有効であり, か つ IPv4 アドレスが付与されている VLAN のうち, 最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv4 アドレス(文 字列)。	●
8	axsldpRemOriginInfoIPv4Port Type {axsldpRemOriginInfoEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接装置の該当ポートのポート種別。 <ul style="list-style-type: none"> ブリッジポート (0) : IP アドレスの定 義されていないポートまたは IP アドレ スが付与された VLAN に含まれる ポート ルータポート (1) : 上記以外のポート 	●
9	axsldpRemOriginInfoIPv4VlanI d {axsldpRemOriginInfoEntry 7}	INTEGER	R/O	axsldpRemOriginInfoIPv4PortType が ブリッジポートのとき IPv4 アドレスが付与されている VLAN ID のうち, 最も小さいもの。 axsldpRemOriginInfoIPv4PortType が ルータポートのとき 0 固定。	●
10	axsldpRemOriginInfoIPv6Addr ess {axsldpRemOriginInfoEntry 8}	OCTET STRING (SIZE(0..45))	R/O	axsldpRemOriginInfoLowerVlanList に Untagged だけ設定されているとき 隣接装置の該当ポートに付与されてい る IPv6 アドレス (文字列)。 上記以外るとき 隣接装置の該当ポートで有効であり, か つ IPv6 アドレスが付与されている VLAN のうち, 最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv6 アドレス(文 字列)。	●
11	axsldpRemOriginInfoIPv6Port Type {axsldpRemOriginInfoEntry 9}	INTEGER	R/O	隣接装置の該当ポートのポート種別。 <ul style="list-style-type: none"> ブリッジポート (0) : IP アドレスの定 義されていないポートまたは IP アドレ スが付与された VLAN に含まれる ポート ルータポート (1) : 上記以外のポート 	●
12	axsldpRemOriginInfoIPv6VlanI d {axsldpRemOriginInfoEntry 10}	INTEGER	R/O	axsldpRemOriginInfoIPv6PortType が ブリッジポートのとき IPv6 アドレスが付与されている VLAN ID のうち, 最も小さいもの。	●

3 プライベート MIB

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
				axslldpRemOriginInfoIPv6PortType が ルータポートのとき 0 固定。	

3.17 axsAxpMIB グループ (Ring Protocol 情報)

3.17.1 axsAxpGroupTable グループ

(1) 識別子

axsAxp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 200}

axsAxpGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAxp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1

(2) 実装仕様

axsAxpGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-64 axsAxpGroupTable グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsAxpGroupTable {axsAxp 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	Ring Protocol グループ情報を格納する テーブル。	●
2	axsAxpGroupEntry {axsAxpGroupTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	Ring Protocol グループ情報のリスト。 INDEX { axsAxpGroupRingId }	●
3	axsAxpGroupRingId {axsAxpGroupEntry 1}	INTEGER	NA	リング ID (1～65535)。	●
4	axsAxpGroupRowStatus {axsAxpGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効/無効状態。 Valid (1) 固定。	●
5	axsAxpGroupMode {axsAxpGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	リング ID ごとの動作モード。 <ul style="list-style-type: none"> no config (1) : コンフィグレーション コマンド mode が未設定 master (2) : マスタノード transit (3) : トランジットノード 	●
6	axsAxpGroupRingAttribute {axsAxpGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	マルチリング構成時、共有リンク非監視リ ングでの本装置の属性。 <ul style="list-style-type: none"> no config (1) : 属性なし rift-ring (2) : 共有リンク非監視リ ングを構成するノード rift-ring-edge 1 (3) : 共有リンク非監 視リングの最終端となるノード 1 rift-ring-edge 2 (4) : 共有リンク非監 視リングの最終端となるノード 2 	●
7	axsAxpGroupMonitoringState {axsAxpGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	リングの運用および監視状態。 <ul style="list-style-type: none"> init (1) : 初期化中 disable (2) : 無効化状態 	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				<ul style="list-style-type: none"> • fault monitoring (3) : 障害監視状態 • recovery monitoring (4) : 復旧監視状態 • flush monitoring (5) : フラッシュ制御フレームの監視状態 • not operating (6) : 運用不可状態 • preempt delay (8) : 経路切り戻し抑止状態 • recovery re-monitoring (9) : 復旧再監視状態 (経路切り戻し抑止解除時) 	
8	axsAxpGroupRingport1 {axsAxpGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	リングポート 1 (ifIndex が小さい方のポート) の ifIndex。*	●
9	axsAxpGroupRingport1Shared {axsAxpGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の共有状態。* <ul style="list-style-type: none"> • no config (1) • shared-edge (2) • shared (3) 	●
10	axsAxpGroupRingport2 {axsAxpGroupEntry 8}	INTEGER	R/O	リングポート 2 (ifIndex が大きい方のポート) の ifIndex。*	●
11	axsAxpGroupRingport2Shared {axsAxpGroupEntry 9}	INTEGER	R/O	リングポート 2 の共有状態。* <ul style="list-style-type: none"> • no config (1) • shared-edge (2) • shared (3) 	●
12	axsAxpGroupTransitionToFaultCounts {axsAxpGroupEntry 10}	Counter	R/O	障害監視状態から復旧監視状態に移行した回数。	●
13	axsAxpGroupTransitionToNormalCounts {axsAxpGroupEntry 11}	Counter	R/O	復旧監視状態から障害監視状態に移行した回数。	●
14	axsAxpGroupLastTransitionTime {axsAxpGroupEntry 12}	TimeStamp	R/O	復旧監視状態から障害監視状態、または障害監視状態から復旧監視状態に遷移した最新時間。	●
15	axsAxpGroupMultiFaultDetectionState {axsAxpGroupEntry 22}	INTEGER	R/O	Ring Protocol の多重障害監視状態。 <ul style="list-style-type: none"> • not monitoring (1) • normal (2) • fault (3) 	●

注※ リングポートのコンフィグレーションが設定されていない場合、リングポート 1、またはリングポート 2 に関する MIB 情報を取得できません。リングポートのコンフィグレーションを設定し、MIB 情報を取得してください。

3.17.2 axsAxpVlanGroupTable グループ

(1) 識別子

axsAxp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 200}

axsAxpVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAxp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2

(2) 実装仕様

axsAxpVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-65 axsAxpVlanGroup グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	axsAxpVlanGroupTable {axsAxp 2}	NOT- ACCESSIBL E	NA	Ring Protocol VLAN グループの情報を格納するテーブル。	●
2	axsAxpVlanGroupEntry {axsAxpVlanGroupTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	VLAN グループのリングポート情報のリスト。 INDEX { axsAxpVlanGroupRingId, axsAxpVlanGroupId }	●
3	axsAxpVlanGroupRingId {axsAxpVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	リング ID (1~65535)。	●
4	axsAxpVlanGroupId {axsAxpVlanGroupEntry 2}	INTEGER	NA	VLAN グループ ID。	●
5	axsAxpVlanGroupRingport1 {axsAxpVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	リングポート 1 (ifIndex が小さい方のポート) の ifIndex。※	●
6	axsAxpVlanGroupRingport1Ro le {axsAxpVlanGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の役割。※ <ul style="list-style-type: none"> primary (1): マスタノードのプライマリポート secondary (2): マスタノードのセカンダリポート other (3) 	●
7	axsAxpVlanGroupRingport1O perState {axsAxpVlanGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の現在の状態。※ <ul style="list-style-type: none"> forwarding (1) blocking (2) other (3) down (4) 	●
8	axsAxpVlanGroupRingport2 {axsAxpVlanGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	リングポート 2 (ifIndex が大きい方のポート) の ifIndex。※	●
9	axsAxpVlanGroupRingport2Ro le	INTEGER	R/O	リングポート 2 の役割。※	●

3 プライベート MIB

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
	{axsAxpVlanGroupEntry 7}			<ul style="list-style-type: none"> • primary (1) : マスタノードのプライマリポート • secondary (2) : マスタノードのセカンダリポート • other (3) 	
10	axsAxpVlanGroupRingport2OperState {axsAxpVlanGroupEntry 8}	INTEGER	R/O	リングポート 2 の現在の状態。※ <ul style="list-style-type: none"> • forwarding (1) • blocking (2) • other (3) • down (4) 	●

注※ リングポートのコンフィグレーションが設定されていない場合、リングポート 1、またはリングポート 2 に関する MIB 情報を取得できません。リングポートのコンフィグレーションを設定し、MIB 情報を取得してください。

3.18 ax3640sSwitch グループ(システム装置のモデル情報 MIB)

ax3640sSystemMsg グループでは、メッセージ種別 ERR および EVT の運用メッセージの MIB をサポートします。運用メッセージを運用ログとして保存する場合のフォーマットについては、「メッセージ・ログレファレンス」「1.2.2 運用ログのフォーマット」を参照してください。

(1) 識別子

```
ax3640sMib      OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 11}

ax3640sSwitch   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1

ax3640sSoftware OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sSwitch 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.2

ax3640sSystemMsg OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sSwitch 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3

ax3640sSnmpAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sSwitch 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.4

ax3640sLicense  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sSwitch 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6
```

(2) 実装仕様

ax3640sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-66 ax3640sSwitch グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax3640sModelType {ax3640sSwitch 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報（数値）。 <ul style="list-style-type: none"> AX3640S-24T (1000) AX3640S-24TW (1001) AX3640S-24T2XW (1002) AX3640S-24SW (1003) AX3640S-24S2XW (1004) AX3640S-48TW (1005) AX3640S-48T2XW (1006) 	●
2	ax3640sSoftwareName {ax3640sSoftware 1}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェア型名。 存在しない場合は、長さ 0 を応答します。	●
3	ax3640sSoftwareAbbreviation {ax3640sSoftware 2}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアの略称。	●
4	ax3640sSoftwareVersion {ax3640sSoftware 3}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアのバージョン。	●
5	ax3640sSystemMsgText {ax3640sSystemMsg 1}	DisplayString	R/O	運用ログ上の最新エントリの情報を最大 256 文字の文字列で示します。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax3640sSystemMsgType {ax3640sSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	イベントレベルで示す発生または回復を 1 バイトで示します。 <ul style="list-style-type: none"> • イベントが発生した (01) • イベントが回復した (02) 	●
7	ax3640sSystemMsgTimeStamp {ax3640sSystemMsg 3}	DisplayString	R/O	イベント発生時刻 (月日時分秒) を 14 バイトの文字列で示します。 "MM/DD hh:mm:ss"で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • MM : 月 (01~12) • DD : 日 (01~31) • hh : 時 (00~23) • mm : 分 (00~59) • ss : 秒 (00~59) DD と hh の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。	●
8	ax3640sSystemMsgLevel {ax3640sSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新の運用メッセージのイベントレベルを 1 バイトで示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 致命的障害 (9) • 重度障害 (8) • ソフトウェア障害 (7) • NIF 障害 (6) • ネットワーク系障害 (4) • 警告 (3) • 予備 (2) • 予備 (1) 	●
9	ax3640sSystemMsgEventPoint {ax3640sSystemMsg 5}	DisplayString	R/O	運用メッセージのイベント発生部位を 8 バイト以内の文字列で示します。	●
10	ax3640sSystemMsgEventInterfaceID {ax3640sSystemMsg 6}	DisplayString	R/O	運用メッセージのイベント発生インターフェース識別子を最大 40 文字の文字列で示します。	●
11	ax3640sSystemMsgEventCode {ax3640sSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	運用メッセージのメッセージ識別子を 4 バイトで示します (0x00000000~0xFFFFFFFF)。	●
12	ax3640sSystemMsgAdditionalCode {ax3640sSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	運用メッセージの付加情報を 6 バイトで示します (0x000000000000~0xFFFFFFFFFFFFFF)。 コードの内容は、保守用のため公開していません。	●
13	ax3640sSnmpSendReceiveSize {ax3640sSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信できる SNMP パケットサイズ (単位: バイト)。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ ス	実装仕様	実装 有無
14	ax3640sSnmpReceiveDelay {ax3640sSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケット推奨受信遅延間隔（単位： ミリ秒）。	●
15	ax3640sSnmpContinuousSend {ax3640sSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット連続送信数。	●
16	ax3640sSnmpObjectMaxNum ber {ax3640sSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	推奨 1SNMP パケット当たりのオブジェク ト数。	●
17	ax3640sLicenseNumber {ax3640sLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	●
18	ax3640sLicenseTable {ax3640sLicense 2}	NOT- ACCESSIBL E	NA	ライセンス情報のテーブル。	●
19	ax3640sLicenseEntry {ax3640sLicenseTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	ライセンス情報のエントリ。 INDEX { ax3640sLicenseIndex }	●
20	ax3640sLicenseIndex {ax3640sLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークな インデックス番号。 1～ax3640sLicenseNumber までの数。	●
21	ax3640sLicenseSerialNumber {ax3640sLicenseEntry 2}	DisplayStrin g	R/O	シリアル番号。	●
22	ax3640sLicenseOptionNumbe r {ax3640sLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセ ンス数。	●
23	ax3640sLicenseOptionTable {ax3640sLicense 3}	NOT- ACCESSIBL E	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセ ンス情報のテーブル。	●
24	ax3640sLicenseOptionEntry {ax3640sLicenseOptionTable 1}	NOT- ACCESSIBL E	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセ ンス情報のエントリ。 INDEX { ax3640sLicenseOptionIndex, ax3640sLicenseOptionNumberIndex }	●
25	ax3640sLicenseOptionIndex {ax3640sLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークな インデックス番号。 ax3640sLicenseIndex と同じ番号。	●
26	ax3640sLicenseOptionNumbe rIndex {ax3640sLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセ ンス情報のインデックス番号。 1～ax3640sLicenseOptionNumber まで の数。	●
27	ax3640sLicenseOptionSoftwar eName	DisplayStrin g	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセ ンス情報のソフトウェア型名。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ ス	実装仕様	実装 有無
	{ax3640sLicenseOptionEntry 3}				
28	ax3640sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax3640sLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア略称。	●

3.19 ax3640sDevice グループ(システム装置の筐体情報 MIB)

3.19.1 ax3640sChassis グループの実装仕様(筐体情報)

(1) 識別子

```

ax3640sDevice      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sMib 2}
ax3640sChassis     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sDevice 1}

ax3640sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.1

ax3640sChassisTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2

```

(2) 実装仕様

ax3640sChassis グループの実装仕様（筐体情報）を次の表に示します。

表 3-67 ax3640sChassis グループの実装仕様（筐体情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax3640sChassisMaxNumber {ax3640sChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。 • AX3640S の場合：1 固定	●
2	ax3640sChassisTable {ax3640sChassis 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	●
3	ax3640sChassisEntry {ax3640sChassisTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 INDEX { ax3640sChassisIndex }	●
4	ax3640sChassisIndex {ax3640sChassisEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ax3640sChassisEntry を特定するための番号。 1 固定。	●
5	ax3640sChassisType {ax3640sChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプ。 • AX3640S-24T (1000) • AX3640S-24TW (1001) • AX3640S-24T2XW (1002) • AX3640S-24SW (1003) • AX3640S-24S2XW (1004) • AX3640S-48TW (1005) • AX3640S-48T2XW (1006)	●
6	ax3640sChassisStatus {ax3640sChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	●
7	ax3640sStsLedStatus {ax3640sChassisEntry 4}	INTEGER	R/O	装置の STS LED の状態。 • 緑点滅 (1)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				<ul style="list-style-type: none"> • 緑点灯 (2) • 赤点滅 (3) • 赤点灯 (4) • 消灯 (6) 	
8	ax3640sCpuName {ax3640sChassisEntry 5}	DisplayString	R/O	CPU 名称 (最大 16 文字)。 例: "AMD K5"	●
9	ax3640sCpuClock {ax3640sChassisEntry 6}	INTEGER	R/O	CPU クロック (単位: MHz)。 例: 200	●
10	ax3640sMemoryTotalSize {ax3640sChassisEntry 7}	INTEGER	R/O	実装メモリサイズ (単位: KB)。	●
11	ax3640sMemoryUsedSize {ax3640sChassisEntry 8}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズ (単位: KB)。	●
12	ax3640sMemoryFreeSize {ax3640sChassisEntry 9}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズを数値で示します (単位: KB)。	●
13	ax3640sRomVersion {ax3640sChassisEntry 10}	DisplayString	R/O	実装 ROM のバージョン (文字列)。 例: "ROM 01-01 Rev0 BIOS Rev.:R1.02.E4"	●
14	ax3640sCpuLoad1m {ax3640sChassisEntry 11}	INTEGER	R/O	1 分間の CPU 使用率 (0~100)。	●
15	ax3640sFlashTotalSize {ax3640sChassisEntry 12}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量と未使用容量の合計 (単位: KB)。	●
16	ax3640sFlashUsedSize {ax3640sChassisEntry 13}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量 (単位: KB)。	●
17	ax3640sFlashFreeSize {ax3640sChassisEntry 14}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム未使用容量 (単位: KB)。	●
18	ax3640sSdCardStatus {ax3640sChassisEntry 15}	INTEGER	R/O	MC 接続状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続 (2) • 未接続 (32) 	●
19	ax3640sSdCardTotalSize {ax3640sChassisEntry 16}	INTEGER	R/O	MC の総容量 (単位: KB)。 MC 未接続の場合, -1 を応答します。	●
20	ax3640sSdCardUsedSize {ax3640sChassisEntry 17}	INTEGER	R/O	MC の使用容量 (単位: KB)。 MC 未接続の場合, -1 を応答します。	●
21	ax3640sSdCardFreeSize {ax3640sChassisEntry 18}	INTEGER	R/O	MC の残容量 (単位: KB)。 MC 未接続の場合, -1 を応答します。	●
22	ax3640sPhysLineNumber {ax3640sChassisEntry 19}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できるポート数。	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
23	ax3640sTemperatureStatusNumber {ax3640sChassisEntry 20}	INTEGER	R/O	この筐体での最大の温度監視部分の数。	●
24	ax3640sPowerUnitNumber {ax3640sChassisEntry 21}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源の数。 • AX3640S の場合：最大 2	●
25	ax3640sRedundantPsNumber {ax3640sChassisEntry 22}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できる予備電源機構の数。 • AX3640S の場合：0～1	●
26	ax3640sFanNumber {ax3640sChassisEntry 23}	INTEGER	R/O	この筐体のファンの数。 • AX3640S の場合：4	●
27	ax3640sTotalAccumRunTime {ax3640sChassisEntry 24}	INTEGER	R/O	装置の運用を開始してからの累計稼働時間。 稼働時間の読み込み中または読み込みに失敗した場合、-1 を応答します。	●
28	ax3640sCriticalAccumRunTime {ax3640sChassisEntry 25}	INTEGER	R/O	摂氏 40 度以上の環境下での稼働時間。 稼働時間の読み込み中または読み込みに失敗した場合、-1 を応答します。	●
29	ax3640sModuleSlotNumber {ax3640sChassisEntry 26}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できるモジュールの数。 • AX3640S の場合：0～2	●

3.19.2 ax3640sChassis グループの実装仕様(温度情報)

(1) 識別子

ax3640sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sDevice 1}

ax3640sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sChassis 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.3

(2) 実装仕様

ax3640sChassis グループの実装仕様（温度情報）を次の表に示します。

表 3-68 ax3640sChassis グループの実装仕様（温度情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax3640sTemperatureStatusTable {ax3640sChassis 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のテーブル。	●
2	ax3640sTemperatureStatusEntry {ax3640sTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のエントリ。 INDEX { ax3640sChassisIndex, ax3640sTemperatureStatusIndex }	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ax3640sTemperatureStatusIndex {ax3640sTemperatureStatusEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度監視部分ごとに付けられたユニークなインデックス番号。	●
4	ax3640sTemperatureStatusDescription {ax3640sTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	この温度監視部分の説明。 • "Main board Temperature" : ボードの温度	●
5	ax3640sTemperatureStatusValue {ax3640sTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	この温度監視部分の現在の温度。	●
6	ax3640sTemperatureThreshold {ax3640sTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が停止状態になる, この温度監視部分の温度。	●
7	ax3640sTemperatureState {ax3640sTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	この温度監視部分の現在の温度状態。 • 正常 (1) • 注意 (2) • 異常 (4)	●

3.19.3 ax3640sChassis グループの実装仕様(電源情報)

(1) 識別子

ax3640sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sDevice 1}

ax3640sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sChassis 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.4

(2) 実装仕様

ax3640sChassis グループの実装仕様（電源情報）を次の表に示します。

表 3-69 ax3640sChassis グループの実装仕様（電源情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax3640sPowerUnitTable {ax3640sChassis 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報のテーブル。	●
2	ax3640sPowerUnitEntry {ax3640sPowerUnitTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報エントリ。 INDEX { ax3640sChassisIndex, ax3640sPowerUnitIndex }	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ax3640sPowerUnitIndex {ax3640sPowerUnitEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源位置を示すインデックス。 1～ax3640sPowerUnitNumber までの値。 • AX3640S の場合：最大 2	●
4	ax3640sPowerConnectStatus {ax3640sPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源の搭載状態。 • 搭載 (2) • 未搭載 (32) 2 固定。	●
5	ax3640sPowerSupplyStatus {ax3640sPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源の active 状態。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4) 電源未搭載時は、-1 を応答します。	●

3.19.4 ax3640sChassis グループの実装仕様(ファン情報)

(1) 識別子

ax3640sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sDevice 1}
 ax3640sFanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sChassis 5}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.5

(2) 実装仕様

ax3640sChassis グループの実装仕様（ファン情報）を次の表に示します。

表 3-70 ax3640sChassis グループの実装仕様（ファン情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax3640sFanTable {ax3640sChassis 5}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報のテーブル。	●
2	ax3640sFanEntry {ax3640sFanTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報エントリ。 INDEX { ax3640sChassisIndex, ax3640sFanIndex }	●
3	ax3640sFanIndex {ax3640sFanEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン位置を示すインデックス。 1～ax3640sFanNumber までの値。 • AX3640S の場合：1～4 各 FanNumber の搭載位置との関係を次に示します。 1：背面右電源機構またはファンユニット右面 2：背面右電源機構またはファンユニット左面	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
				3: 背面左電源機構またはファンユニット右面 4: 背面左電源機構またはファンユニット左面	
4	ax3640sFanStatus {ax3640sFanEntry 2}	INTEGER	R/O	ファンの active 状態。 <ul style="list-style-type: none"> 稼働中 (2) 高速回転中 (3) 障害中 (4) 	●

3.19.5 ax3640sChassis グループの実装仕様(予備電源機構情報)

(1) 識別子

ax3640sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sDevice 1}

ax3640sRedundantPsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sChassis 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.6

(2) 実装仕様

ax3640sChassis グループの実装仕様（予備電源機構情報）を次の表に示します。

表 3-71 ax3640sChassis グループの実装仕様（予備電源機構情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	ax3640sRedundantPsTable {ax3640sChassis 6}	NOT-ACCESSIBLE	NA	予備電源機構情報のテーブル。	●
2	ax3640sRedundantPsEntry {ax3640sRedundantPsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	予備電源機構情報エントリ。 INDEX { ax3640sChassisIndex, ax3640sRedundantPsIndex }	●
3	ax3640sRedundantPsIndex {ax3640sRedundantPsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	予備電源機構位置を示すインデックス。	●
4	ax3640sRedundantPsConnect Status {ax3640sRedundantPsEntry 2}	INTEGER	R/O	予備電源機構の接続状態。 <ul style="list-style-type: none"> 接続 (2) 未接続 (32) 	●
5	ax3640sRedundantPsStatus {ax3640sRedundantPsEntry 3}	INTEGER	R/O	予備電源機構の active 状態。 <ul style="list-style-type: none"> 稼働中 (2) 障害中 (4) 予備電源機構が未接続時は、-1 を応答します。	●

3.19.6 ax3640sChassis グループの実装仕様(モジュール情報)

(1) 識別子

ax3640sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sDevice 1}

ax3640sModuleSlotTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sChassis 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.7

(2) 実装仕様

ax3640sChassis グループの実装仕様（モジュール情報）を次の表に示します。

表 3-72 ax3640sChassis グループの実装仕様（モジュール情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax3640sModuleSlotTable {ax3640sChassis 7}	NOT-ACCESSIBLE	NA	モジュール情報のテーブル。 本モジュールスロットに搭載された電源機構またはファンの情報は、 ax3640sPowerUnitTable または ax3640sFanTable で取得します。 各 Table の index と搭載位置との関係を次に示します。 <ul style="list-style-type: none">ax3640sPowerUnitTable (ax3640sPowerUnitIndex) 1: 背面右電源機構 2: 背面左電源機構ax3640sFanTable (ax3640sFanIndex) 1: 背面右ファンユニット右面 2: 背面右ファンユニット左面 3: 背面左ファンユニット右面 4: 背面左ファンユニット左面	●
2	ax3640sModuleSlotEntry {ax3640sModuleSlotTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	モジュール情報エントリ。 INDEX { ax3640sChassisIndex, ax3640sModuleSlotIndex }	●
3	ax3640sModuleSlotIndex {ax3640sModuleSlotEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	位置を示すインデックス。 1～ax3640sModuleSlotNumber までの値。	●
4	ax3640sModuleSlotStatus {ax3640sModuleSlotEntry 2}	INTEGER	R/O	モジュールの搭載状態。 <ul style="list-style-type: none">搭載 (2)障害中 (4)未搭載 (32)	●
5	ax3640sModuleSlotType {ax3640sModuleSlotEntry 3}	INTEGER	R/O	モジュール種別。 <ul style="list-style-type: none">AC 電源機構 (1)DC 電源機構 (2)	●

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
				<ul style="list-style-type: none"> ファンユニット (3) モジュールが未搭載時は、-1 を応答します。	

3.19.7 ax3640sPhysLine グループの実装仕様(インタフェース情報)

(1) 識別子

ax3640sPhysLine OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sDevice 2}

ax3640sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sPhysLine 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2.1

(2) 実装仕様

ax3640sPhysLine グループの実装仕様（インタフェース情報）を次の表に示します。

表 3-73 ax3640sPhysLine グループの実装仕様（インタフェース情報）

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax3640sPhysLineTable {ax3640sPhysLine 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェース情報のテーブル。	●
2	ax3640sPhysLineEntry {ax3640sPhysLineTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースについての情報エントリ。 INDEX { ax3640sChassisIndex, ax3640sPhysLineIndex }	●
3	ax3640sPhysLineIndex {ax3640sPhysLineEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ポート番号の情報。 1～ax3640sPhysLineNumber までの値。	●
4	ax3640sPhysLineConnectorType {ax3640sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。 <ul style="list-style-type: none"> other (1) type100BASE-FX (201) type1000BASE-LX (301) type1000BASE-SX (302) type1000BASE-LH (303) type1000BASE-BX10-D (304) type1000BASE-BX10-U (305) type1000BASE-BX40-D (306) type1000BASE-BX40-U (307) type1000BASE-SX2 (308) type1000BASE-UTP (309) ※ type1000BASE-LHB (310) 	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
				<ul style="list-style-type: none"> • type10GBASE-SR (401) • type10GBASE-LR (402) • type10GBASE-ER (403) • type10GBASE-ZR (404) 以下の場合 other (1) を応答します。 <ul style="list-style-type: none"> • インタフェースの状態が other, 初期化中, 障害中 • 交換可能なトランシーバの種別と搭載状態が搭載以外 	
5	ax3640sPhysLineOperStatus {ax3640sPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス) (7) • 運用中 (回線障害発生中) (8) • 回線テスト中 (9) • 未使用 (コンフィグレーション未設定) (10) 	●
6	ax3640sPhysLineIfIndexNumber {ax3640sPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	インタフェースに含まれる ifIndex 数。	●
7	ax3640sPhysLineTransceiverStatus {ax3640sPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバの種別と搭載状態。 インタフェースの状態が初期化中, 障害中の場合は other となります。 <ul style="list-style-type: none"> • other または交換可能なトランシーバではない (1) • SFP 搭載 (20) • SFP 未搭載 (21) • 未サポートの SFP 搭載 (22) • SFP の搭載状態が不明 (23) • XFP 搭載 (30) • XFP 未搭載 (31) • 未サポートの XFP 搭載 (32) • XFP の搭載状態が不明 (33) 	●

注※ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP

3.20 ax3640sManagementMIB グループ(装置の状態/情報の変更を行う)

3.20.1 ax3640sFdbClearMIB グループ(MAC アドレステーブル Clear 用 MIB)

(1) 識別子

ax3640sMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11

ax3640sManagementMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sMib 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.3

ax3640sOperationCommand OBJECT IDENTIFIER ::= {ax3640sManagementMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.3.1

(2) 実装仕様

ax3640sFdbClearMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-74 ax3640sFdbClearMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax3640sFdbClearMIB {ax3640sOperationCommand 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB グループ。	●
2	ax3640sFdbClearSet {ax3640sFdbClearMIB 1}	INTEGER	R/W	MAC アドレステーブル clear 情報。 <ul style="list-style-type: none"> 初期値 (0) clear 処理中 (1) clear 失敗 (2) clear 成功 (3) Set を行う場合, 1 を設定する。※	●
3	ax3640sFdbClearReqTime {ax3640sFdbClearMIB 2}	TimeTicks	R/O	最近に MAC アドレステーブル情報のクリア要求を受付けた時間 (sysUpTime)。	●
4	ax3640sFdbClearSuccessTime {ax3640sFdbClearMIB 3}	TimeTicks	R/O	MAC アドレステーブル情報のクリアが行われた最新の時間 (sysUpTime)。	●

注※ ただし, 値が 1 以外の場合や未設定の場合も, Set 処理は行う。

3.21 icmp グループ(HP プライベート MIB)

(1) 識別子

hp OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 11}
nm OBJECT IDENTIFIER ::= {hp 2}

icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {nm 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.11.2.7

(2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-75 icmp グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	icmpEchoReq {icmp 1}	INTEGER	R/O	<p>ICMP Echo Reply を受信するのに要した時間（単位：ミリ秒）。</p> <p>INDEX {PacketSize, TimeOut, IPAddress}</p> <ul style="list-style-type: none"> • PacketSize : 32～2048 • TimeOut : 1～60 (Second) • IP Address : 対象 IP アドレス <p>ICMP Echo Reply を正しく受信しなかった場合、次に示す値を応答します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • -1 : 内部エラー • -2 : タイムアウト • -3 : ICMP Echo Reply の値不正 • -4 : 送信パケットサイズエラー • -5 : 設定タイムアウト値不正 	●

3.22 sFlow グループ (InMon プライベート MIB)

(1) 識別子

```
InMon          OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 4300}
sFlowMIB       OBJECT IDENTIFIER ::= {InMon 1}

sFlowAgent     OBJECT IDENTIFIER ::= {sFlowMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.4300.1.1
```

(2) 実装仕様

sFlow グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-76 sFlow グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sFlowVersion {sFlowAgent 1}	SnmpAdminString	R/O	[規格] sFlow のバージョン文字列。 "<MIB Version>;<Organization>;<Software Revision>"の形式で表記する。 [実装] 規格に同じ。ただし, "1.2;"固定値とする。	●
2	sFlowAgentAddressType {sFlowAgent 2}	InetAddressType	R/O	[規格] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレスタイプ。 <ul style="list-style-type: none">• ipv4 (1)• ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	●※1
3	sFlowAgentAddress {sFlowAgent 3}	InetAddress	R/O	[規格] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレス (IPv4, IPv6)。 [実装] 規格に同じ。	●※1 ※2
4	sFlowTable {sFlowAgent 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] sFlow パケットに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	●
5	sFlowEntry {sFlowTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] sFlow パケットの情報リスト。 INDEX { sFlowDataSource } [実装] 規格に同じ。	●
6	sFlowDataSource {sFlowEntry 1}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] sFlow パケットの情報源。 <ul style="list-style-type: none">• 上位 1 バイト: 情報源のタイプ 0 = ifIndex 1 = smonVlanDataSource• 下位 3 バイト: Index 値 [実装] 規格に同じ。	●
7	sFlowOwner {sFlowEntry 2}	OwnerString	R/NW	[規格] sFlow サンプラを利用しているオーナー。 [実装] 規格に同じ。ただし, " "固定とする。	●

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセ ス	実装仕様	実装 有無
8	sFlowTimeout {sFlowEntry 3}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow サンプラが解放されてから停止するまでの時間（単位：秒）。 [実装] 規格に同じ。ただし、0 固定とする。	●
9	sFlowPacketSamplingRate {sFlowEntry 4}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットのサンプリング間隔。 [実装] 規格に同じ。	●※1
10	sFlowCounterSamplingInterval {sFlowEntry 5}	Integer32	R/NW	[規格] カウンタサンプルのコレクタへの送信間隔。 [実装] 規格に同じ。	●※1
11	sFlowMaximumHeaderSize {sFlowEntry 6}	Integer32	R/NW	[規格] サンプルパケットの先頭からコピーされる最大バイト数。 [実装] 規格に同じ。	●※1
12	sFlowMaximumDatagramSize {sFlowEntry 7}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットで送ることができる最大データバイト数。 [実装] 規格に同じ。	●※1
13	sFlowCollectorAddressType {sFlowEntry 8}	InetAddressType	R/NW	[規格] コレクタの IP アドレスタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	●※1
14	sFlowCollectorAddress {sFlowEntry 9}	InetAddress	R/NW	[規格] コレクタの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	●※1 ※3
15	sFlowCollectorPort {sFlowEntry 10}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットの宛先ポート。 [実装] 規格に同じ。	●※1
16	sFlowDatagramVersion {sFlowEntry 11}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットのバージョン。 Version=2, 4 をサポートする。 [実装] 規格に同じ。	●※1

注※1 sFlow 統計のコンフィグレーションコマンドで設定した値になります。

注※2 IPv4 アドレスと IPv6 アドレスが設定されている場合は、IPv4 アドレスを通知します。

注※3 複数のコレクタを設定する場合は、一番小さい IP アドレスを持つコレクタの情報が入ります。

4

SNMP 通知

この章では SNMP 通知について説明しています。

4.1 SNMP 通知の種類と送信契機

サポートする SNMP 通知の種類と送信契機を次の表に示します。

- 装置起動後のトラップ送信

coldStart 以外のトラップは、装置の起動時から coldStart の送信契機までの間は送信しません。また、この間に送信契機の発生した各トラップを、あとから coldStart と同時に送信することはありません。

- 装置起動後のインフォーム送信

coldStart 以外のインフォームは、装置の起動時から coldStart の送信契機までの間は送信しません。また、この間に送信契機の発生した各トラップを、あとから coldStart と同時に送信することはありません。

coldStart の送信からその応答を受信するまでの間に各インフォームの送信契機が発生すると、各インフォームを保持します。保持した各インフォームは、coldStart の応答を受信、送信失敗、または廃棄した契機に送信します。

表 4-1 SNMP 通知の種類と送信契機

項番	種類	意味	送信契機	実装有無
1	coldStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更される可能性がある	次に示す 1～4 の契機で送信します。 1. 装置を起動したとき。 2. コンフィグレーション変更によって VLAN の IP アドレスを追加、削除、変更したとき。 3. copy コマンドによってランニングコンフィグレーションを変更したとき。 4. set clock コマンドで時間を変更したとき。 2, 3, 4 は、コンフィグレーションコマンド snmp-server traps で unlimited_coldstart_trap パラメータを設定した場合にだけ送信します。	●
2	warmStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更されない	SNMP またはアクセスリストのコンフィグレーションを変更したとき。	●
3	linkDown	回線障害検出	インタフェースの動作状態が ACTIVE（通信可能状態）から DISABLE（通信不可状態）に変化したとき。	●
4	linkUp	回線障害回復	インタフェースの動作状態が DISABLE（通信不可状態）から ACTIVE（通信可能状態）に変化したとき。	●
5	authentication Failure	確認エラー	不正なコミュニティから SNMP パケットを受信したとき（認証エラー発生時）。	●
6	egpNeighborLoss	EGP プロトコルでネイバルータとのリンクが切れた	—	×
7	bgpEstablished 【OS-L3A】	BGP リンク確立	BGP4 で FSM（Finite State Machine）が、Establish 状態になったとき。	●

項番	種類	意味	送信契機	実装有無
8	bgpBackwardTransition 【OS-L3A】	BGP リンク切断	BGP4 で FSM が closed 状態になったとき。	●
9	risingAlarm	上方閾値を超えた	RMON のアラームの上方閾値を超えたとき。	●
10	fallingAlarm	下方閾値を下回った	RMON のアラームの下方閾値を下回ったとき。	●
11	vrrpTrapNewMaster	仮想ルータのマスタ通知	仮想ルータがマスタ状態に遷移したとき。	●
12	vrrpTrapAuthFailure	ADVERTISEMENTS パケット認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> 受信した ADVERTISEMENT パケットの認証タイプが異なるとき。 受信した ADVERTISEMENT パケットの認証に失敗したとき。^{※1} 	●
13	vrrpTrapProtoError	VRRP プロトコルエラー	受信したパケットで次に示すエラーを検出したとき。 ^{※1} <ul style="list-style-type: none"> ホップリミットエラー バージョンエラー チェックサムエラー^{※2} 	●
14	ospfVirtNbrStateChange 【OS-L3A】	仮想リンクの隣接状態の遷移	仮想リンクで、次に示す 1～4 の隣接状態の遷移契機で送信します。ただし、仮想リンクの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では送信しません。 <ol style="list-style-type: none"> Full になったとき（隣接関係確立）。 ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り）。 Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り）。 Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り）。 なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外ではプライベート MIB を SNMP 通知で送信します。	●
15	ospfNbrStateChange 【OS-L3A】	OSPF の隣接状態の遷移	仮想リンク以外のインタフェースで、次に示す 1～5 の隣接状態の遷移契機で送信します。ただし、OSPF インタフェースの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では送信しません。 <ol style="list-style-type: none"> Full になったとき（隣接関係確立）。 ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り）。 Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り）。 Full から 2Way へ逆行したとき（指定ルータ変更による隣接関係打ち切り）。 Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り）。 	●

項番	種類	意味	送信契機	実装 有無
			なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外ではプライベート MIB を SNMP 通知で送信します。	
16	ospfVirtIfStateChange 【OS-L3A】	仮想リンクのインタフェース状態の遷移	<p>仮想リンクで、次に示す 1~2 のインタフェース状態の遷移契機で送信します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想リンクが Up したとき（仮想リンク上で OSPF 動作を開始）。 2. 仮想リンクが Down したとき（通過エリアの障害や仮想リンクのコンフィグレーション削除などにより、仮想リンク上で OSPF 動作を停止）。 <p>なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外ではプライベート MIB を SNMP 通知で送信します。</p>	●
17	ospfIfStateChange 【OS-L3A】	OSPF インタフェース状態の遷移	<p>OSPF ドメインで、次に示す 1~3 のインタフェース状態の遷移契機で送信します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポイントポイント型の OSPF インタフェースが Up したとき。 2. ブロードキャスト型インタフェースで、DR, Backup, DROther 状態になったとき（指定ルータの決定や Wait タイマーのタイムアウトなど）。 3. OSPF インタフェース（仮想リンク除く）が Down したとき（物理的なダウンや OSPF インタフェースのコンフィグレーション削除など）。 <p>なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外ではプライベート MIB を SNMP 通知で送信します。</p>	●
18	ospfVirtIfConfigError 【OS-L3A】	仮想リンクで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	<p>仮想リンクで、次に示す 1~3 のエラーパケットの受信契機で送信します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. 送信元がコンフィグレーションで指定した仮想ネーバでない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval）が一致していない。 <p>なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外ではプライベート MIB を SNMP 通知で送信します。</p>	●
19	ospfIfConfigError 【OS-L3A】	OSPF インタフェースで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	<p>OSPF ドメインで、次に示す 1~3 のエラーパケットの受信契機で送信します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. OSPF ヘッダのエリア ID が OSPF パケットを受信したインタフェースに定義されているエリア ID と一致しない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval, ネットマスク）が一致していない。 	●

項 番	種類	意味	送信契機	実装 有無
			なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外ではプライベート MIB を SNMP 通知で送信します。	
20	ospfVirtIfAuthFailure 【OS-L3A】	仮想リンクで受信したパケットの認証エラー	仮想リンクで、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で、送信します。 なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外ではプライベート MIB を SNMP 通知で送信します。	●
21	ospfIfAuthFailure 【OS-L3A】	OSPF インタフェースで受信したパケットの認証エラー	仮想リンク以外のインタフェースで、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で送信します。 なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外ではプライベート MIB を SNMP 通知で送信します。	●
22	dot1agCfmFaultAlarm	他 MEP との障害検出	Continuity Check (CC) によって障害を検出したとき。	●
23	ax3640sSystemMsgTrap	運用メッセージ出力	メッセージ種別 ERR および EVT の運用メッセージを出力したとき。	●
24	ax3640sTemperatureTrap	温度状態の遷移	本装置の監視している温度が、正常、注意、異常の各状態に遷移したとき。	●
25	ax3640sAxrpStateTransitionTrap	Ring Protocol のリング状態の遷移	Ring Protocol のリング状態（障害監視、復旧監視）が各状態間で遷移したとき。	●
26	ax3640sAxrpMultiFaultDetectionStartTrap	Ring Protocol の多重障害監視開始	Ring Protocol の多重障害監視を開始したとき。	●
27	ax3640sAxrpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap	Ring Protocol の多重障害監視状態の遷移	Ring Protocol の多重障害監視状態（多重障害監視、復旧監視）が各状態間で遷移したとき。	●
28	ax3640sGsrpStateTransitionTrap	GSRP の VLAN グループ状態の遷移通知	GSRP の VLAN グループの状態（マスタ、バックアップ、バックアップ（マスタ待ち）、バックアップ（隣接不明）、バックアップ（固定））が、各状態間で遷移したとき。ただし、バックアップ→バックアップ（マスタ待ち）間の遷移を除く。	●
29	ax3640sL2ldLinkDown	L2 ループ検知により回線が通信不可状態へ遷移	L2 ループ検知によりインタフェースの動作状態が ACTIVE（通信可能状態）から DISABLE（通信不可状態）に変化したとき。	●
30	ax3640sL2ldLinkUp	L2 ループ検知の自動復旧機能により回線が通信可能状態へ遷移	L2 ループ検知の自動復旧機能によりインタフェースの動作状態が DISABLE（通信不可状態）から ACTIVE（通信可能状態）に変化したとき。	●
31	ax3640sL2ldLoopDetection	L2 ループを検知	L2 ループを検知したとき。 L2 ループの状態が継続している場合、60 秒ごとに通知します。	●

項番	種類	意味	送信契機	実装 有無
32	axsOspfVirtNbrStateChange 【OS-L3A】	仮想リンクの隣接状態の遷移	仮想リンクで、次に示す 1～5 の隣接状態の遷移契機で送信します。ただし、仮想リンクの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では送信しません。 1. Full になったとき（隣接確立）。 2. ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき。 3. Full から ExStart へ逆行したとき（隣接の再確立開始）。 4. Full から 2way へ逆行したとき。 5. Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったとき）。	●
33	axsOspfNbrStateChange 【OS-L3A】	OSPF の隣接状態の遷移	仮想リンク以外のインタフェースで、ospfVirtNbrStateChange と同様の隣接状態の遷移契機で送信します。ただし、OSPF インタフェースの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では送信しません。	●
34	axsOspfVirtIfStateChange 【OS-L3A】	仮想リンクのインタフェース状態の遷移	仮想リンクで、次に示す 1, 2 のインタフェース状態の遷移契機で送信します。 1. 仮想リンクが Up したとき（仮想リンク上で OSPF 動作を開始）。 2. 仮想リンクが Down したとき（通過エリアの障害や仮想リンクのコンフィグレーション削除などにより、仮想リンク上で OSPF 動作を停止）。	●
35	axsOspfIfStateChange 【OS-L3A】	OSPF インタフェース状態の遷移	OSPF ドメインで、次に示す 1～3 のインタフェース状態の遷移契機で送信します。 1. ポイントポイント型の OSPF インタフェースが Up したとき。 2. ブロードキャスト型インタフェースで、DR, Backup, DROther 状態になったとき。 3. OSPF インタフェース（仮想リンク除く）が Down したとき（物理的なダウンや、OSPF インタフェースのコンフィグレーション削除など）。	●
36	axsOspfVirtIfConfigError 【OS-L3A】	仮想リンクで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	仮想リンクで、次に示す 1～3 のエラーパケットの受信契機で送信します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. 送信元がコンフィグレーションで指定した仮想ネーバでない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval）が一致していない。	●
37	axsOspfIfConfigError 【OS-L3A】	OSPF インタフェースで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	OSPF ドメインで、次に示す 1～3 のエラーパケットの受信契機で送信します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. OSPF ヘッダのエリア ID が OSPF パケットを受信したインタフェースに定義されているエリア ID と一致しない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval, ネットマスク）が一致していない。	●

項番	種類	意味	送信契機	実装有無
38	axsOspfVirtIfAuthFailure 【OS-L3A】	仮想リンクで受信したパケットの認証エラー	仮想リンクで、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で送信します。	●
39	axsOspfIfAuthFailure 【OS-L3A】	OSPF インタフェースで受信したパケットの認証エラー	仮想リンク以外のインタフェースで、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で送信します。	●
40	axsStaticGatewayStateChange	スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態変更	IPv4 スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態が到達不可から到達可能へ遷移したとき、または到達可能から到達不可へ遷移したときに送信します。	●
41	axsStaticIpv6GatewayStateChange	スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態変更	IPv6 スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態が到達不可から到達可能へ遷移したとき、または到達可能から到達不可へ遷移したときに送信します。	●
42	axsPolicyBaseRoutingRouteChange 【OS-L3A】	ポリシーベースルーティングの選択経路の変更	ポリシーベースルーティングの選択経路が変更されたときに送信します。	●
43	axsTrackObjectStateUp 【OS-L3A】	トラック状態が Up に遷移	ポリシーベースルーティングのトラッキング機能のトラック状態が Down から Up に変わったときに送信します。	●
44	axsTrackObjectStateDown 【OS-L3A】	トラック状態が Down に遷移	ポリシーベースルーティングのトラッキング機能のトラックの状態が Up から Down に変わったときに送信します。	●
45	ax3640sAirFanStopTrap	ファンが故障した。	ファンの故障を検出した場合。	●
46	ax3640sPowerSupplyFailureTrap	電源が故障した。	実装された電源のうちひとつでも異常が発生した場合。	●
47	ax3640sLoginSuccessTrap	装置利用者がログインに成功した。	console, telnet, ftp, SSH などによるログインに成功した場合。	●
48	ax3640sLoginFailureTrap	装置利用者のログインが失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> console, telnet, ftp, SSH などによるログインで、認証に失敗したごとに送信する。 リモートアクセス制限による切断や, "login:"または "Password:"プロンプト表示状態でのタイムアウトや強制切断時には送信しない ("login:"プロンプト表示状態での Enter キーだけの入力も送信しない)。 	●
49	ax3640sLogoutTrap	装置利用者がログアウトした。	console, telnet, ftp, SSH などによるログアウトが成功した場合。	●
50	ax3640sMemoryUsageTrap	使用可能なメモリが少なくなった。	使用可能なメモリが下限値を下回った場合。	●

項番	種類	意味	送信契機	実装 有無
51	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された。	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された場合。	●
52	ax3640sFrameErrorReceiveTrap	フレーム受信エラーが発生	フレーム受信エラーが発生した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で行うことができます。	●
53	ax3640sFrameErrorSendTrap	フレーム送信エラーが発生	フレーム送信エラーが発生した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で行うことができます。	●
54	ax3640sBroadcastStormDetectTrap	ストーム検出	ブロードキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
55	ax3640sMulticastStormDetectTrap	ストーム検出	マルチキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
56	ax3640sUnicastStormDetectTrap	ストーム検出	ユニキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
57	ax3640sBroadcastStormPortInactivateTrap	ストーム検出によるポート inactivate	ブロードキャストストームの発生を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
58	ax3640sMulticastStormPortInactivateTrap	ストーム検出によるポート inactivate	マルチキャストストームの発生を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
59	ax3640sUnicastStormPortInactivateTrap	ストーム検出によるポート inactivate	ユニキャストストームの発生を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
60	ax3640sBroadcastStormRecoverTrap	ストーム終結	ブロードキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
61	ax3640sMulticastStormRecoverTrap	ストーム終結	マルチキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
62	ax3640sUnicastStormRecoverTrap	ストーム終結	ユニキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	●
63	ax3640sEfmoamUddPortInactivateTrap	片方向リンク障害検出によるポート inactivate	片方向リンク障害を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoam active で行うことができます。	●
64	ax3640sEfmoamLoopDetect	ループ検出によるポート inactivate	ループ状態を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoam active で行うことができます。	●

項番	種類	意味	送信契機	実装有無
	tPortInactiveTrap			
65	ax3640sUlrChangeSecondary	アップリンク・リダundantによってセカンダリポートがアクティブポートに遷移	アップリンク・リダundantによってセカンダリポートがアクティブポートになったときに送信します。	●
66	ax3640sUlrChangePrimary	アップリンク・リダundantによってプライマリポートがアクティブポートに遷移	アップリンク・リダundantによってプライマリポートがアクティブポートになったときに送信します。	●
67	ax3640sUlrActivePortDown	アクティブポートがなくなった	アクティブポートがなくなったときに送信します。	●

(凡例)

- ：本装置でサポート（応答）する SNMP 通知を示しています。
- ×：本装置でサポート（応答）しない SNMP 通知を示しています。
- －：該当しません。

注※1

同一エラーが連続している場合、60 秒ごとに送信します。ただし、仮想ルータ情報に変更があった場合は 60 秒未満で送信することがあります。

注※2

装置単位で送信します。

4.2 PDU 内パラメータ

Trap-PDU, InformRequest-PDU (SNMPv2C/SNMPv3) 内パラメータについて, SNMPv1 の場合を「表 4-2 Trap-PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合)」に, SNMPv2C/SNMPv3 の場合を「表 4-3 Trap-PDU, InformRequest-PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)」に示します。

表 4-2 Trap-PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合)

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
1	coldStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	0	0	sysUpTime の値	なし
2	warmStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	1	0	sysUpTime の値	なし
3	linkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	2	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし, コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は, 以下の MIB になります。 ifIndex ifDescr ifType
4	linkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	3	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし, コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は, 以下の MIB になります。 ifIndex ifDescr ifType
5	authentication Failure	本装置の sysObjectID	特定の IP アドレス※	4	0	sysUpTime の値	なし

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
		1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11					
6	bgpEstablished 【OS-L3A】	bgpTraps の オブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 5.7	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	bgpPeerLastError bgpPeerState
7	bgpBackwardTransition 【OS-L3A】	bgpTraps の オブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 5.7	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	bgpPeerLastError bgpPeerState
8	risingAlarm	rmon のオブ ジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 6	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	alarmIndex alarmVariable alarmSampleType alarmValue alarmRisingThreshold
9	fallingAlarm	rmon のオブ ジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 6	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	alarmIndex alarmVariable alarmSampleType alarmValue alarmFallingThreshold
10	vrrpTrapNewMaster	vrrpMIB の オブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6 8	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	vrrpOperationsMasterIpAddr vrrpTrapNewMasterReason
11	vrrpTrapAuthFailure	vrrpMIB の オブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6 8	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	vrrpTrapPacketSrc vrrpTrapAuthErrorType
12	vrrpTrapProtoError	vrrpMIB の オブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6 8	特定の IP アドレス※	6	3	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoErrReason
13	ospfVirtIfStateChange 【OS-L3A】	ospfTraps のオブジェク ト ID	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	ospfRouterId ospfVirtIfAreaId ospfVirtIfNeighbor

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
		1.3.6.1.2.1.1 4.16.2					ospfVirtIfState
14	ospfNbrStateChange 【OS-L3A】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	ospfRouterId ospfNbrIpAddress ospfNbrAddressLessIndex ospfNbrRtrId ospfNbrState
15	ospfVirtNbrStateChange 【OS-L3A】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	3	sysUpTime の値	ospfRouterId ospfVirtNbrArea ospfVirtNbrRtrId ospfVirtNbrState
16	ospfIfConfigError 【OS-L3A】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	4	sysUpTime の値	ospfRouterId ospfIfIpAddress ospfAddressLessIf ospfPacketSrc ospfConfigErrorType ospfPacketType
17	ospfVirtIfConfigError 【OS-L3A】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	5	sysUpTime の値	ospfRouterId ospfVirtIfAreaId ospfVirtIfNeighbor ospfConfigErrorType ospfPacketType
18	ospfIfAuthFailure 【OS-L3A】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	6	sysUpTime の値	ospfRouterId ospfIfIpAddress ospfAddressLessIf ospfPacketSrc ospfConfigErrorType ospfPacketType
19	ospfVirtIfAuthFailure 【OS-L3A】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	7	sysUpTime の値	ospfRouterId ospfVirtIfAreaId ospfVirtIfNeighbor ospfConfigErrorType ospfPacketType

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
20	ospfIfStateChange 【OS-L3A】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	16	sysUpTime の値	ospfRouterId ospfIfIpAddress ospfAddressLessIf ospfIfState
21	dot1agCfmFaultAlarm	ieee8021CfmMib のオブジェクト ID 1.3.111.2.80 2.1.1.8	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
22	ax3640sSystemMsgTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	ax3640sSystemMsgType ax3640sSystemMsgTimestamp ax3640sSystemMsgLevel ax3640sSystemMsgEventPoint ax3640sSystemMsgEventInterfaceID ax3640sSystemMsgEventCode ax3640sSystemMsgAdditionalCode ax3640sSystemMsgText
23	ax3640sTemperatureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	4	sysUpTime の値	ax3640sChassisIndex ax3640sTemperatureStatusIndex ax3640sTemperatureStatusDescr ax3640sTemperatureStatusValue ax3640sTemperatureState
24	ax3640sAxpStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	36	sysUpTime の値	axsAxpGroupRingId axsAxpGroupMode axsAxpGroupRingAttribute axsAxpGroupMonitoringState

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
25	ax3640sAxpMultiFaultDetectionStartTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	41	sysUpTime の値	axsAxpGroupRingId axsAxpGroupMode axsAxpGroupRingAttribute
26	ax3640sAxpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	42	sysUpTime の値	axsAxpGroupRingId axsAxpGroupMode axsAxpGroupRingAttribute axsAxpGroupMultiFaultDetectionState
27	ax3640sGsrpStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	6	sysUpTime の値	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
28	ax3640sL2ldLinkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	51	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortDestinationPortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
29	ax3640sL2ldLinkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	52	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex
30	ax3640sL2ldLoopDetection	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	53	sysUpTime の値	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
31	axsOspfVirtIfStateChange 【OS-L3A】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfVirtIfAreaId axsOspfVirtIfNeighbor axsOspfVirtIfState

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
32	axsOspfNbrStateChange 【OS-L3A】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	axsOspfNbrDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfNbrIpAddress axsOspfNbrAddressLessIndex axsOspfNbrRtrId axsOspfNbrState
33	axsOspfVirtNbrStateChange 【OS-L3A】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	3	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfVirtNbrArea axsOspfVirtNbrRtrId axsOspfVirtNbrState
34	axsOspfIfConfigError 【OS-L3A】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	4	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfIfIpAddress axsOspfAddressLessIf axsOspfPacketSrc axsOspfConfigErrorType axsOspfPacketType
35	axsOspfVirtIfConfigError 【OS-L3A】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	5	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfVirtIfAreaId axsOspfVirtIfNeighbor axsOspfConfigErrorType axsOspfPacketType
36	axsOspfIfAuthFailure 【OS-L3A】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス※	6	6	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfIfIpAddress axsOspfAddressLessIf axsOspfPacketSrc

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
							axsOspfConfigError Type axsOspfPacketType
37	axsOspfVirtIfAuth Failure 【OS-L3A】	axsOspfTraps のオブ ジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	7	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomain Number axsOspfRouterId axsOspfVirtIfAreaId axsOspfVirtIfNeighbor axsOspfConfigError Type axsOspfPacketType
38	axsOspfIfStateChange 【OS-L3A】	axsOspfTraps のオブ ジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス※	6	16	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainN umber axsOspfRouterId axsOspfIfIpAddress axsOspfAddressLes sIf axsOspfIfState
39	axsStaticGateway StateChange	axsStaticTrap のオブ ジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.3 8.2	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	axsStaticGatewayA ddr axsStaticGatewaySt ate
40	axsStaticIpv6Gate wayStateChange	axsStaticTrap のオブ ジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.3 8.2	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	axsStaticIpv6Ifinde x axsStaticIpv6Gatew ayAddr axsStaticIpv6Gatew ayState
41	axsPolicyBaseRou tingRouteChange 【OS-L3A】	axsPolicyBaseRouting の オブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.4 5.1	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	axsPolicyBaseRouti ngChangeListNumb er axsPolicyBaseRouti ngChangeSequence Number
42	axsTrackObjectSt ateUp 【OS-L3A】	axsTrackObjectTraps の オブジェクト ID	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	axsTrackObjectId axsTrackObjectStat e axsTrackObjectOpe ration

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
		1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.4 1.2					axsTrackObjectType axsTrackObjectNet Index
43	axsTrackObjectStateDown 【OS-L3A】	axsTrackObjectTraps の オブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.4 1.2	特定の IP アドレス※	6	2	sysUpTime の値	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNet Index
44	ax3640sAirFanStopTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	8	sysUpTime の値	なし
45	ax3640sPowerSupplyFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	9	sysUpTime の値	なし
46	ax3640sLoginSuccessTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	10	sysUpTime の値	axsLoginName axsLoginTime axsLoginLocation axsLoginLine
47	ax3640sLoginFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	11	sysUpTime の値	axsLoginName axsLoginFailureTime axsLoginLocation axsLoginLine
48	ax3640sLogoutTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	12	sysUpTime の値	axsLoginName axsLoginTime axsLogoutTime axsLoginLocation axsLoginLine axsLogoutStatus
49	ax3640sMemoryUsageTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	13	sysUpTime の値	なし

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
50	axsOadpNeighborCachelastChangeTrap	axsOadpMI BNotifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.7.2	特定の IP アドレス※	6	1	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCachelastChange
51	ax3640sFrameErrorReceiveTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	18	sysUpTime の値	ifIndex
52	ax3640sFrameErrorSendTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	19	sysUpTime の値	ifIndex
53	ax3640sBroadcastStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	20	sysUpTime の値	ifIndex
54	ax3640sMulticastStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	21	sysUpTime の値	ifIndex
55	ax3640sUnicastStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	22	sysUpTime の値	ifIndex
56	ax3640sBroadcastStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	23	sysUpTime の値	ifIndex
57	ax3640sMulticastStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	24	sysUpTime の値	ifIndex
58	ax3640sUnicastStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	25	sysUpTime の値	ifIndex
59	ax3640sBroadcastStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID	特定の IP アドレス※	6	26	sysUpTime の値	ifIndex

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
		1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11					
60	ax3640sMulticastStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	27	sysUpTime の値	ifIndex
61	ax3640sUnicastStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	28	sysUpTime の値	ifIndex
62	ax3640sEfmoamUldPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	29	sysUpTime の値	ifIndex
63	ax3640sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	30	sysUpTime の値	ifIndex
64	ax3640sUlrChangeSecondary	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	87	sysUpTime の値	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex
65	ax3640sUlrChangePrimary	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	88	sysUpTime の値	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex
66	ax3640sUlrActivePortDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.11	特定の IP アドレス※	6	89	sysUpTime の値	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex

注※

次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. ループバックインタフェースに設定された IPv4 アドレス。
3. IPv4 アドレスが設定されているインタフェースで、最若番の ifIndex 番号を持つインタフェースの IPv4 アドレス。ただし、対象となるインタフェースは VLAN です。
4. 1～3 のどれも設定されていない場合、「0.0.0.0」が設定されます。

表 4-3 Trap-PDU, InformRequest-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)

項番	種類	Trap-PDU, InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1] (SysUpTime.0)	Variable-Binding [2] (SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3~]
1	coldStart	sysUpTime の値	coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1)	なし
2	warmStart	sysUpTime の値	warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2)	なし
3	linkDown	sysUpTime の値	linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex ifDescr ifType
4	linkUp	sysUpTime の値	linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex ifDescr ifType
5	authentication Failure	sysUpTime の値	authentication Failure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5)	なし
6	bgpEstablished 【OS-L3A】	sysUpTime の値	bgpEstablished のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.1)	bgpPeerLastError bgpPeerState
7	bgpBackward Transition 【OS-L3A】	sysUpTime の値	bgpBackwardTransition のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.2)	bgpPeerLastError bgpPeerState
8	risingAlarm	sysUpTime の値	risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1)	alarmIndex alarmVariable alarmSampleType alarmValue

項番	種類	Trap-PDU, InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1] (SysUpTime.0)	Variable-Binding [2] (SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3~]
				alarmRisingThreshold
9	fallingAlarm	sysUpTime の値	fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2)	alarmIndex alarmVariable alarmSampleType alarmValue alarmFallingThreshold
10	vrrpTrapNewMaster	sysUpTime の値	vrrpTrapNewMaster のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.1)	vrrpOperationsMasterIpAddr vrrpTrapNewMasterReason
11	vrrpTrapAuthFailure	sysUpTime の値	vrrpTrapAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.2)	vrrpTrapPacketSrc vrrpTrapAuthErrorType
12	vrrpTrapProtoError	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.3)	vrrpTrapProtoErrReason
13	ospfVirtIfStateChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	ospfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.1)	ospfRouterId ospfVirtIfAreaId ospfVirtIfNeighbor ospfVirtIfState
14	ospfNbrStateChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	ospfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.2)	ospfRouterId ospfNbrIpAddr ospfNbrAddressLessIndex ospfNbrRtrId ospfNbrState
15	ospfVirtNbrStateChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	ospfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.3)	ospfRouterId ospfVirtNbrArea ospfVirtNbrRtrId ospfVirtNbrState
16	ospfIfConfigError 【OS-L3A】	sysUpTime の値	ospfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.4)	ospfRouterId ospfIfIpAddress ospfAddressLessIf ospfPacketSrc ospfConfigErrorType ospfPacketType
17	ospfVirtIfConfigError 【OS-L3A】	sysUpTime の値	ospfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.5)	ospfRouterId ospfVirtIfAreaId ospfVirtIfNeighbor ospfConfigErrorType ospfPacketType

項 番	種類	Trap-PDU, InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1] (SysUpTime.0)	Variable-Binding [2] (SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3~]
18	ospfIfAuthFailure 【OS-L3A】	sysUpTime の値	ospfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.6)	ospfRouterId ospfIfIpAddress ospfAddressLessIf ospfPacketSrc ospfConfigErrorType ospfPacketType
19	ospfVirtIfAuthFailure 【OS-L3A】	sysUpTime の値	ospfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.7)	ospfRouterId ospfVirtIfAreaId ospfVirtIfNeighbor ospfConfigErrorType ospfPacketType
20	ospfIfStateChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	ospfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.16)	ospfRouterId ospfIfIpAddress ospfAddressLessIf ospfIfState
21	dot1agCfmFaultAlarm	sysUpTime の値	dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.8.0.1)	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
22	ax3640sSystemMsgTrap	sysUpTime の値	ax3640sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.1)	ax3640sSystemMsgType ax3640sSystemMsgTimeStamp ax3640sSystemMsgLevel ax3640sSystemMsgEventPoint ax3640sSystemMsgEventInterfaceID ax3640sSystemMsgEventCode ax3640sSystemMsgAdditionalCode ax3640sSystemMsgText
23	ax3640sTemperatureTrap	sysUpTime の値	ax3640sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.4)	ax3640sChassisIndex ax3640sTemperatureStatusIndex ax3640sTemperatureStatusDescr ax3640sTemperatureStatusValue ax3640sTemperatureState
24	ax3640sAxpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax3640sAxpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.36)	axsAxpGroupRingId axsAxpGroupMode axsAxpGroupRingAttribute axsAxpGroupMonitoringState
25	ax3640sAxpMultiFaultDetectionStartTrap	sysUpTime の値	ax3640sAxpMultiFaultDetectionStartTrap のオブジェクト ID	axsAxpGroupRingId axsAxpGroupMode axsAxpGroupRingAttribute

項番	種類	Trap-PDU, InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1] (SysUpTime.0)	Variable-Binding [2] (SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3~]
			(1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.41)	
26	ax3640sAxpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax3640sAxpMultiFaultDetectionStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.42)	axsAxpGroupRingId axsAxpGroupMode axsAxpGroupRingAttribute axsAxpGroupMultiFaultDetectionState
27	ax3640sGsrpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax3640sGsrpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.6)	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
28	ax3640sL2ldLinkDown	sysUpTime の値	ax3640sL2ldLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.51)	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortDestinationPortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
29	ax3640sL2ldLinkUp	sysUpTime の値	ax3640sL2ldLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.52)	axsL2ldPortIfIndex
30	ax3640sL2ldLoopDetection	sysUpTime の値	ax3640sL2ldLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.53)	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
31	axsOspfVirtIfStateChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.16.2.0.1)	axsOspfVirtIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfVirtIfAreaId axsOspfVirtIfNeighbor axsOspfVirtIfState
32	axsOspfNbrStateChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsOspfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.16.2.0.2)	axsOspfNbrDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfNbrIpAddress axsOspfNbrAddressLessIndex axsOspfNbrRtrId axsOspfNbrState
33	axsOspfVirtNbrStateChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.16.2.0.3)	axsOspfVirtNbrDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfVirtNbrArea axsOspfVirtNbrRtrId axsOspfVirtNbrState

項番	種類	Trap-PDU, InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1] (SysUpTime.0)	Variable-Binding [2] (SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3~]
34	axsOspfIfConfigError 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsOspfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.16.2.0.4)	axsOspfIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfIfIpAddress axsOspfAddressLessIf axsOspfPacketSrc axsOspfConfigErrorType axsOspfPacketType
35	axsOspfVirtIfConfigError 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.16.2.0.5)	axsOspfVirtIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfVirtIfAreaId axsOspfVirtIfNeighbor axsOspfConfigErrorType axsOspfPacketType
36	axsOspfIfAuthFailure 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsOspfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.16.2.0.6)	axsOspfIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfIfIpAddress axsOspfAddressLessIf axsOspfPacketSrc axsOspfConfigErrorType axsOspfPacketType
37	axsOspfVirtIfAuthFailure 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.16.2.0.7)	axsOspfVirtIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfVirtIfAreaId axsOspfVirtIfNeighbor axsOspfConfigErrorType axsOspfPacketType
38	axsOspfIfStateChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsOspfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.16.2.0.16)	axsOspfIfDomainNumber axsOspfRouterId axsOspfIfIpAddress axsOspfAddressLessIf axsOspfIfState
39	axsStaticGatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticGatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.3.8.2.0.1)	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
40	axsStaticIpv6GatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticIpv6GatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.3.8.2.0.2)	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState

項番	種類	Trap-PDU, InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1] (SysUpTime.0)	Variable-Binding [2] (SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3~]
41	axsPolicyBaseRoutingRouteChange 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsPolicyBaseRoutingRouteChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.5.1.0.1)	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber
42	axsTrackObjectStateUp 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsTrackObjectStateUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.2.0.1)	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
43	axsTrackObjectStateDown 【OS-L3A】	sysUpTime の値	axsTrackObjectStateDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.2.0.2)	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
44	ax3640sAirFanStopTrap	sysUpTime の値	ax3640sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.8)	なし
45	ax3640sPowerSupplyFailureTrap	sysUpTime の値	ax3640sPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.9)	なし
46	ax3640sLoginSuccessTrap	sysUpTime の値	ax3640sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.10)	axsLoginName axsLoginTime axsLoginLocation axsLoginLine
47	ax3640sLoginFailureTrap	sysUpTime の値	ax3640sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.11)	axsLoginName axsLoginFailureTime axsLoginLocation axsLoginLine
48	ax3640sLogoutTrap	sysUpTime の値	ax3640sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.12)	axsLoginName axsLoginTime axsLogoutTime axsLoginLocation axsLoginLine axsLogoutStatus
49	ax3640sMemoryUsageTrap	sysUpTime の値	ax3640sMemoryUsageTrap のオブジェクト ID	なし

項 番	種類	Trap-PDU, InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1] (SysUpTime.0)	Variable-Binding [2] (SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3~]
			(1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.13)	
50	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.2.0.1)	axsOadpNeighborCacheLastChange
51	ax3640sFrameErrorReceiveTrap	sysUpTime の値	ax3640sFrameErrorReceiveTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.18)	ifIndex
52	ax3640sFrameErrorSendTrap	sysUpTime の値	ax3640sFrameErrorSendTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.19)	ifIndex
53	ax3640sBroadcastStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax3640sBroadcastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.20)	ifIndex
54	ax3640sMulticastStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax3640sMulticastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.21)	ifIndex
55	ax3640sUnicastStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax3640sUnicastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.22)	ifIndex
56	ax3640sBroadcastStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax3640sBroadcastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.23)	ifIndex
57	ax3640sMulticastStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax3640sMulticastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.24)	ifIndex
58	ax3640sUnicastStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax3640sUnicastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID	ifIndex

項番	種類	Trap-PDU, InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1] (SysUpTime.0)	Variable-Binding [2] (SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3~]
			(1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.25)	
59	ax3640sBroadcastStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax3640sBroadcastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.26)	ifIndex
60	ax3640sMulticastStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax3640sMulticastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.27)	ifIndex
61	ax3640sUnicastStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax3640sUnicastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.28)	ifIndex
62	ax3640sEfmoamUddPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax3640sEfmoamUddPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.29)	ifIndex
63	ax3640sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax3640sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.30)	ifIndex
64	ax3640sUlrChangeSecondary	sysUpTime の値	ax3640sUlrChangeSecondary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.87)	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex
65	ax3640sUlrChangePrimary	sysUpTime の値	ax3640sUlrChangePrimary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.88)	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex
66	ax3640sUlrActivePortDown	sysUpTime の値	ax3640sUlrActivePortDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.11.0.89)	axsUlrPortIfIndex axsUlrPairedPortIfIndex

付録

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

本装置で使用するプライベート MIB および HP プライベート MIB および InMon プライベート MIB について、MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

付録 A.1 プライベート MIB

プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

(1) axsStats グループ

axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-1 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1
axsIfStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4
axsIfStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1
axsIfStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1
axsIfStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.1
axsIfStatsName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.2
axsIfStatsInMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.3
axsIfStatsInUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.4
axsIfStatsInMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.5
axsIfStatsInBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.6
axsIfStatsOutMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.7
axsIfStatsOutUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.8
axsIfStatsOutMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.9
axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.10
axsIfStatsHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.11
axsQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6
axsEtherTxQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1
axsEtherTxQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1
axsEtherTxQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1
axsEtherTxQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.1
axsEtherTxQoSStatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.2
axsEtherTxQoSStatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.4
axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.5
axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.6
axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.7
axsEtherTxQoSStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2
axsEtherTxQoSStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1
axsEtherTxQoSStatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.1
axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.2
axsEtherTxQoSStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.3
axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.4
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.5
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.6
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.7
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.8
axsToCpuQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11
axsToCpuQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1
axsToCpuQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1
axsToCpuQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.1
axsToCpuQoSStatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.2
axsToCpuQoSStatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.3
axsToCpuQoSStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.4
axsToCpuQoSStatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.5
axsToCpuQoSStatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.6
axsToCpuQoSStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.1.1.7
axsToCpuQoSStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2
axsToCpuQoSStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1
axsToCpuQoSStatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.1
axsToCpuQoSStatsQueueQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.2
axsToCpuQoSStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.3
axsToCpuQoSStatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.4
axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.5

MIB 名称	オブジェクト ID
axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.6
axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.7
axsToCpuQoSStatsQueueDiscardFramesClass4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.11.2.1.8
axsDHCP	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10
axsDHCPAddrValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10.1
axsDHCPFreeAddrValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10.2

(2) axsGsrpMIB グループ

axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-2 axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsGsrp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4
axsGsrpGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1
axsGsrpGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1
axsGsrpGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.1
axsGsrpGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.2
axsGsrpMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.3
axsGsrpAdvertiseHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.4
axsGsrpAdvertiseInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.5
axsGsrpSelectionPattern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.6
axsGsrpLayer3Redundancy	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.7
axsGsrpVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2
axsGsrpVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1
axsGsrpVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.1
axsGsrpVlanGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.2
axsGsrpState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.3
axsGsrpPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.4
axsGsrpActivePorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.5
axsGsrpTransitionToMasterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.6
axsGsrpTransitionFromMasterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.7
axsGsrpLastTransitionTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.8
axsGsrpVirtualMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.9

MIB 名称	オブジェクト ID
axsGsrpNeighborGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3
axsGsrpNeighborGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1
axsGsrpNeighborGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.1
axsGsrpNeighborMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.2
axsGsrpNeighborAdvertiseHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.3
axsGsrpNeighborAdvertiseInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.4
axsGsrpNeighborSelectionPattern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.5
axsGsrpNeighborVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4
axsGsrpNeighborVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1
axsGsrpNeighborVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.1
axsGsrpNeighborState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.2
axsGsrpNeighborPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.3
axsGsrpNeighborActivePorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.4

(3) axsFdb グループ

axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-3 axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFdb	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5
axsFdbCounterTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1
axsFdbCounterEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1
axsFdbCounterNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.1
axsFdbCounterLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.2
axsFdbCounterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.3
axsFdbCounterType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.4
axsFdbCounterLimits	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.5

(4) axsVlan グループ

axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-4 axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVlanBridge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
axsVlanBridgeBase	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
axsVBBaseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1
axsVBBaseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1
axsVBBaseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.1
axsVBBaseBridgeAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.2
axsVBBaseNumPorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.3
axsVBBaseType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.4
axsVBBaseVlanIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.5
axsVBBaseVlanType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.6
axsVBBaseVlanID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.7
axsVBBaseAssociatedPrimaryVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.8
axsVBBaseIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.9
axsVBBaseLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.10
axsVBBasePrivateVlanType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.11
axsVBBasePortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2
axsVBBasePortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1
axsVBBasePortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.1
axsVBBasePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.2
axsVBBasePortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.3
axsVBBasePortCircuit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.4
axsVBBasePortDelayExceededDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.5
axsVBBasePortMtuExceededDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.6
axsVBBasePortState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.7
axsVBBasePortTaggedState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.8
axsVBBasePortTranslatedTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.9
axsVlanBridgeStp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2
axsVBStpTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1
axsVBStpEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1
axsVBStpIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.1
axsVBStpProtocolSpecification	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVBStpPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.3
axsVBStpTimeSinceTopologyChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.4
axsVBStpTopChanges	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.5
axsVBStpDesignatedRoot	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.6
axsVBStpRootCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.7
axsVBStpRootPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.8
axsVBStpMaxAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.9
axsVBStpHelloTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.10
axsVBStpHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.11
axsVBStpForwardDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.12
axsVBStpBridgeMaxAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.13
axsVBStpBridgeHelloTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.14
axsVBStpBridgeForwardDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.15
axsVBStpPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2
axsVBStpPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1
axsVBStpPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.1
axsVBStpPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.2
axsVBStpPortPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.3
axsVBStpPortState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.4
axsVBStpPortEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.5
axsVBStpPortPathCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.6
axsVBStpPortDesignatedRoot	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.7
axsVBStpPortDesignatedCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.8
axsVBStpPortDesignatedBridge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.9
axsVBStpPortDesignatedPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.10
axsVBStpPortForwardTransitions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.11
axsVlanBridgeTp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4
axsVBTPTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1
axsVBTPEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1
axsVBTPIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.1
axsVBTPLearnedEntryDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVBTpAgingTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.3
axsVBTpFdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2
axsVBTpFdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1
axsVBTpFdbIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.1
axsVBTpFdbAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.2
axsVBTpFdbPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.3
axsVBTpFdbStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.4
axsVBTpPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3
axsVBTpPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1
axsVBTpPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.1
axsVBTpPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.2
axsVBTpPortMaxInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.3
axsVBTpPortInFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.4
axsVBTpPortOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.5
axsVBTpPortInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.6
axsVlanBridgeStatic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5
axsVBStaticTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1
axsVBStaticEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1
axsVBStaticIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.1
axsVBStaticAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.2
axsVBStaticReceivePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.3
axsVBStaticAllowedToGoTo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.4
axsVBStaticStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.5
axsVlanBridgeMaxVlans	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.101
axsVlanBridgeMaxSpans	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.102
axsVlanTagTranslation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10
axsVlanTagTranslationTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1
axsVlanTagTranslationEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1
axsVlanTagTranslationVlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.1
axsVlanTagTranslationTranslatedId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.2
axsVlanTagTranslationPorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.3

(5) axsOadp グループ

axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-5 axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOadp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7
axsOadpMIBObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1
axsOadpGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1
axsOadpGlobalActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.1
axsOadpGlobalCdpActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.2
axsOadpGlobalMessageInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.3
axsOadpGlobalHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.4
axsOadpGlobalCacheLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.5
axsOadpGlobalName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.6
axsOadpGlobalNameType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.7
axsOadpPortInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2
axsOadpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1
axsOadpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1
axsOadpPortConfigIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1.1
axsOadpPortConfigActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1.2
axsOadpNeighborInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3
axsOadpNeighborTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1
axsOadpNeighborEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1
axsOadpIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.1
axsOadpTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.2
axsOadpNeighborIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.3
axsOadpNeighborTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.4
axsOadpNeighborVendorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.5
axsOadpNeighborSNMPAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.6
axsOadpNeighborSNMPAgentAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.7
axsOadpNeighborDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.8
axsOadpNeighborDeviceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.9
axsOadpNeighborSlotPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.10

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOadpNeighborIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.11
axsOadpNeighborIfSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.12
axsOadpNeighborDeviceType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.13
axsOadpNeighborService	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.14
axsOadpNeighborVTPMgmtDomain	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.15
axsOadpNeighborNativeVLAN	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.16
axsOadpNeighborDuplex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.17
axsOadpNeighborApplianceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.18
axsOadpNeighborVlanID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.19
axsOadpNeighborPowerConsumption	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.20
axsOadpNeighborMTU	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.21
axsOadpNeighborSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.22
axsOadpNeighborSysObjectID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.23
axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddress Type	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.24
axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.25
axsOadpNeighborPhysLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.26
axsOadpNeighborCacheLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.27
axsOadpNeighborIfHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.28
axsOadpMIBNotification	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.2

(6) axsFlow グループ

axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-6 axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAccessFilterStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9
axsAccessFilterStatsInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.1
axsAccessFilterStatsInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.1.1
axsAccessFilterStatsInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.1.1.1
axsAccessFilterStatsInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.1.1.2
axsAccessFilterStatsInListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.1.1.3
axsAccessFilterStatsInSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.1.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAccessFilterStatsInListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.1.1.5
axsAccessFilterStatsInMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.1.1.6
axsQosFlowStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11
axsQosFlowStatsInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1
axsQosFlowStatsInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1
axsQosFlowStatsInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.1
axsQosFlowStatsInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.2
axsQosFlowStatsInListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.3
axsQosFlowStatsInSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.4
axsQosFlowStatsInListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.5
axsQosFlowStatsInMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.6
axsQosFlowStatsInMatchedPacketsMinUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.7
axsQosFlowStatsInMatchedPacketsMinOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.8
axsQosFlowStatsInMatchedPacketsMaxUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.9
axsQosFlowStatsInMatchedPacketsMaxOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.1.1.10

(7) axsL2ld グループ

axsL2ld グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-7 axsL2ld グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsL2ld	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10
axsL2ldGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1
axsL2ldVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.1
axsL2ldLoopDetectionId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.2
axsL2ldIntervalTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.3
axsL2ldOutputRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.4
axsL2ldThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.5
axsL2ldHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.6
axsL2ldAutoRestoreTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.7
axsL2ldConfigurationVlanPortCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.8
axsL2ldCapacityVlanPortCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.9
axsL2ldPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsL2ldPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1
axsL2ldPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.1
axsL2ldPortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.2
axsL2ldPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.3
axsL2ldPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.4
axsL2ldPortDetectCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.5
axsL2ldPortAutoRestoringTimer	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.6
axsL2ldPortSourcePortIfindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.7
axsL2ldPortDestinationPortIfindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.8
axsL2ldPortSourceVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.9
axsL2ldPortHCInFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.10
axsL2ldPortHCOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.11
axsL2ldPortHCInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.12
axsL2ldPortInactiveCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.13
axsL2ldPortLastInactiveTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.14
axsL2ldPortLastInFramesTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.15

(8) axsOspf グループ 【OS-L3A】

axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-8 axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14
axsOspfGeneralTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1
axsOspfGeneralEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1
axsOspfGeneralDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.1
axsOspfRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.2
axsOspfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.3
axsOspfVersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.4
axsOspfAreaBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.5
axsOspfASBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.6
axsOspfExternLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.7
axsOspfExternLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.8

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfTOSSupport	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.9
axsOspfOriginateNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.10
axsOspfRxNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.11
axsOspfExtLsdbLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.12
axsOspfMulticastExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.13
axsOspfAreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2
axsOspfAreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1
axsOspfAreaDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.1
axsOspfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.2
axsOspfAuthType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.3
axsOspfImportAsExtern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.4
axsOspfSpfRuns	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.5
axsOspfAreaBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.6
axsOspfAsBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.7
axsOspfAreaLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.8
axsOspfAreaLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.9
axsOspfAreaSummary	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.10
axsOspfAreaStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.11
axsOspfStubAreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3
axsOspfStubAreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1
axsOspfStubDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.1
axsOspfStubAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.2
axsOspfStubTOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.3
axsOspfStubMetric	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.4
axsOspfStubStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.5
axsOspfStubMetricType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.6
axsOspfLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4
axsOspfLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1
axsOspfLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.1
axsOspfLsdbAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.2
axsOspfLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.4
axsOspfLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.5
axsOspfLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.6
axsOspfLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.7
axsOspfLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.8
axsOspfLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.9
axsOspfAreaRangeTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5
axsOspfAreaRangeEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1
axsOspfAreaRangeDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.1
axsOspfAreaRangeAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.2
axsOspfAreaRangeNet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.3
axsOspfAreaRangeMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.4
axsOspfAreaRangeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.5
axsOspfAreaRangeEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.6
axsOspfIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7
axsOspfIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1
axsOspfIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.1
axsOspfIfIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.2
axsOspfAddressLessIf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.3
axsOspfIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.4
axsOspfIfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.5
axsOspfIfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.6
axsOspfIfRtrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.7
axsOspfIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.8
axsOspfIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.9
axsOspfIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.10
axsOspfIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.11
axsOspfIfPollInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.12
axsOspfIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.13
axsOspfIfDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.14
axsOspfIfBackupDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.15

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.16
axsOspfIfAuthKey	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.17
axsOspfIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.18
axsOspfIfMulticastForwarding	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.19
axsOspfIfMetricTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8
axsOspfIfMetricEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1
axsOspfIfMetricDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.1
axsOspfIfMetricIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.2
axsOspfIfMetricAddressLessIf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.3
axsOspfIfMetricTOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.4
axsOspfIfMetricValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.5
axsOspfIfMetricStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.6
axsOspfVirtIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9
axsOspfVirtIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1
axsOspfVirtIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.1
axsOspfVirtIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.2
axsOspfVirtIfNeighbor	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.3
axsOspfVirtIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.4
axsOspfVirtIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.5
axsOspfVirtIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.6
axsOspfVirtIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.7
axsOspfVirtIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.8
axsOspfVirtIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.9
axsOspfVirtIfAuthKey	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.10
axsOspfVirtIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.11
axsOspfNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10
axsOspfNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1
axsOspfNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.1
axsOspfNbrIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.2
axsOspfNbrAddressLessIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.3
axsOspfNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.5
axsOspfNbrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.6
axsOspfNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.7
axsOspfNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.8
axsOspfNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.9
axsOspfNbmaNbrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.10
axsOspfNbmaNbrPermanence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.11
axsOspfVirtNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11
axsOspfVirtNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1
axsOspfVirtNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.1
axsOspfVirtNbrArea	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.2
axsOspfVirtNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.3
axsOspfVirtNbrIpAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.4
axsOspfVirtNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.5
axsOspfVirtNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.6
axsOspfVirtNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.7
axsOspfVirtNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.8
axsOspfExtLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12
axsOspfExtLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1
axsOspfExtLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.1
axsOspfExtLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.2
axsOspfExtLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.3
axsOspfExtLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.4
axsOspfExtLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.5
axsOspfExtLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.6
axsOspfExtLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.7
axsOspfExtLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.8
axsOspfAreaAggregateTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14
axsOspfAreaAggregateEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1
axsOspfAreaAggregateDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.1
axsOspfAreaAggregateAreaID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfAreaAggregateLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.3
axsOspfAreaAggregateNet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.4
axsOspfAreaAggregateMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.5
axsOspfAreaAggregateStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.6
axsOspfAreaAggregateEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.7
axsOspfTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16
axsOspfTrapControlTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1
axsOspfTrapControlEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1
axsOspfTrapDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.1
axsOspfSetTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.2
axsOspfConfigErrorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.3
axsOspfPacketType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.4
axsOspfPacketSrc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.5
axsOspfTraps	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2

(9) axsOspfv3MIB グループ 【OS-L3A】

axsOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-9 axsOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfv3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15
axsOspfv3GeneralTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1
axsOspfv3GeneralEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1
axsOspfv3GeneralDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.1
axsOspfv3RouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.2
axsOspfv3AdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.3
axsOspfv3VersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.4
axsOspfv3AreaBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.5
axsOspfv3ASBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.6
axsOspfv3AsScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.7
axsOspfv3AsScopeLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.8
axsOspfv3OriginateNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.9
axsOspfv3RxNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.10

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3ExtAreaLsdbLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.11
axsOspfV3MulticastExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.12
axsOspfV3DemandExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.14
axsOspfV3TrafficEngineeringSupport	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.15
axsOspfV3AreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2
axsOspfV3AreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1
axsOspfV3AreaDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.1
axsOspfV3AreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.2
axsOspfV3ImportAsExtern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.3
axsOspfV3SpfRuns	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.4
axsOspfV3AreaBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.5
axsOspfV3AsBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.6
axsOspfV3AreaScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.7
axsOspfV3AreaScopeLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.8
axsOspfV3AreaSummary	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.9
axsOspfV3AreaStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.10
axsOspfV3StubMetric	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.11
axsOspfV3AsLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3
axsOspfV3AsLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1
axsOspfV3AsLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.1
axsOspfV3AsLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.2
axsOspfV3AsLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.3
axsOspfV3AsLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.4
axsOspfV3AsLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.5
axsOspfV3AsLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.6
axsOspfV3AsLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.7
axsOspfV3AsLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.8
axsOspfV3AreaLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4
axsOspfV3AreaLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1
axsOspfV3AreaLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.1
axsOspfV3AreaLsdbAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3AreaLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.3
axsOspfV3AreaLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.4
axsOspfV3AreaLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.5
axsOspfV3AreaLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.6
axsOspfV3AreaLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.7
axsOspfV3AreaLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.8
axsOspfV3AreaLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.9
axsOspfV3LinkLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5
axsOspfV3LinkLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1
axsOspfV3LinkLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.1
axsOspfV3LinkLsdbIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.2
axsOspfV3LinkLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.3
axsOspfV3LinkLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.4
axsOspfV3LinkLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.5
axsOspfV3LinkLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.6
axsOspfV3LinkLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.7
axsOspfV3LinkLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.8
axsOspfV3LinkLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.9
axsOspfV3IfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7
axsOspfV3IfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1
axsOspfV3IfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.1
axsOspfV3IfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.2
axsOspfV3IfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.3
axsOspfV3IfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.4
axsOspfV3IfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.5
axsOspfV3IfRtrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.6
axsOspfV3IfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.7
axsOspfV3IfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.8
axsOspfV3IfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.9
axsOspfV3IfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.10
axsOspfV3IfPollInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.11

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3IfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.12
axsOspfV3IfDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.13
axsOspfV3IfBackupDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.15
axsOspfV3IfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.16
axsOspfV3IfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.18
axsOspfV3IfMulticastForwarding	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.19
axsOspfV3IfDemand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.20
axsOspfV3IfMetricValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.21
axsOspfV3IfLinkScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.22
axsOspfV3IfLinkLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.23
axsOspfV3IfInstId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.24
axsOspfV3VirtIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8
axsOspfV3VirtIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1
axsOspfV3VirtIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.1
axsOspfV3VirtIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.2
axsOspfV3VirtIfNeighbor	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.3
axsOspfV3VirtIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.4
axsOspfV3VirtIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.5
axsOspfV3VirtIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.6
axsOspfV3VirtIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.7
axsOspfV3VirtIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.8
axsOspfV3VirtIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.9
axsOspfV3VirtIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.10
axsOspfV3VirtIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.11
axsOspfV3VirtIfLinkScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.12
axsOspfV3VirtIfLinkLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.13
axsOspfV3NbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9
axsOspfV3NbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1
axsOspfV3NbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.1
axsOspfV3NbrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.2
axsOspfV3NbrIpv6Addr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3NbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.4
axsOspfV3NbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.5
axsOspfV3NbrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.6
axsOspfV3NbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.7
axsOspfV3NbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.8
axsOspfV3NbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.9
axsOspfV3NbrHelloSuppressed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.12
axsOspfV3NbrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.13
axsOspfV3VirtNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10
axsOspfV3VirtNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1
axsOspfV3VirtNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.1
axsOspfV3VirtNbrArea	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.2
axsOspfV3VirtNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.3
axsOspfV3VirtNbrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.4
axsOspfV3VirtNbrIpv6Addr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.5
axsOspfV3VirtNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.6
axsOspfV3VirtNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.7
axsOspfV3VirtNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.8
axsOspfV3VirtNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.9
axsOspfV3VirtNbrHelloSuppressed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.10
axsOspfV3VirtNbrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.11
axsOspfV3AreaAggregateTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11
axsOspfV3AreaAggregateEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1
axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.1
axsOspfV3AreaAggregateAreaID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.2
axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.3
axsOspfV3AreaAggregateIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.4
axsOspfV3AreaAggregatePrefix	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.5
axsOspfV3AreaAggregatePrefixLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.6
axsOspfV3AreaAggregateStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.7
axsOspfV3AreaAggregateEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.8

(10) axsUlr グループ

axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-10 axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsUlr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20
axsUlrGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1
axsUlrID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.2
axsUlrConfigurationPortCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.3
axsUlrStartupActivePortSelection	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.4
axsUlrPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2
axsUlrPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1
axsUlrPortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.1
axsUlrPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.2
axsUlrPairedPortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.3
axsUlrPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.4
axsUlrPairedPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.5
axsUlrAutoChangeToPrimary	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.6
axsUlrAutoChangeToPrimaryDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.7
axsUlrAutoChangeToPrimaryRest	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.8
axsUlrStartupActivePortSelectionStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.9
axsUlrFlushTransmit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.10
axsUlrFlushVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.11
axsUlrMacAddressUpdateTransmit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.12
axsUlrLastActivePortDecisionTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.13
axsUlrLastFlushTransmitTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.14
axsUlrLastMacUpdateTransmitTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.15
axsUlrLastChangeFactor	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.16
axsUlrFlushTransmitTotalPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.17
axsUlrMacAddressUpdateTransmitTotalPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.18
axsUlrMacAddressUpdateTransmitOverFlow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.19
axsUlrActiveDecisionCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.20

(11) axsStatic グループ

axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-11 axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStatic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38
axsStaticTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1
axsStaticGatewayEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1
axsStaticGatewayAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1.1
axsStaticGatewayState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1.2
axsStaticIpv6Table	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3
axsStaticIpv6GatewayEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1
axsStaticIpv6Ifindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.1
axsStaticIpv6GatewayAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.2
axsStaticIpv6GatewayState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.3
axsStaticTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2

(12) axsTrackObjectMIB グループ【OS-L3A】

axsTrackObjectMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-12 axsTrackObjectMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsTrackObject	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41
axsTrackObjectGeneralGroup	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.1
axsTrackObjectGeneralLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.1.1
axsTrackObjectTraps	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2
axsTrackObjectTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3
axsTrackObjectEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1
axsTrackObjectId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.1
axsTrackObjectState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.2
axsTrackObjectOperation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.3
axsTrackObjectType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.4
axsTrackObjectNetIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.5

(13) axsPolicyBase グループ【OS-L3A】

axsPolicyBase グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-13 axsPolicyBase グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsPolicyBase	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45
axsPolicyBaseRouting	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1
axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1.1
axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1.2

(14) axsBootManagement グループ

axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-14 axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsBootManagement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51
axsBootReason	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51.1

(15) axsLogin グループ

axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-15 axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsLogin	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52
axsLoginName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.1
axsLoginTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.2
axsLogoutTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.3
axsLoginFailureTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.4
axsLoginLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.5
axsLoginLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.6
axsLogoutStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.7

(16) axslldp グループ

axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-16 axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100
axslldpConfiguration	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1
axslldpMessageTxInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1
axslldpMessageTxHoldMultiplier	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.2
axslldpReinitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.3
axslldpTxDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.4
axslldpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6
axslldpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1
axslldpPortConfigPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.2
axslldpPortConfigAdminStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.3
axslldpPortConfigTLVsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.4
axslldpPortConfigRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.5
axslldpConfigManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7
axslldpConfigManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1
axslldpConfigManAddrPortsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1.1
axslldpStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2
axslldpStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1
axslldpStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1
axslldpStatsPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.2
axslldpStatsOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.3
axslldpStatsFramesInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.4
axslldpStatsFramesInTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.5
axslldpStatsFramesOutTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.6
axslldpStatsTLVsInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.7
axslldpStatsTLVsDiscardedTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.8
axslldpStatsCounterDiscontinuityTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.9
axslldpLocalSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3
axslldpLocChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1
axslldpLocChassisId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.2
axslldpLocSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsldpLocSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.4
axsldpLocSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.5
axsldpLocSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.6
axsldpLocPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7
axsldpLocPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1
axsldpLocPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.1
axsldpLocPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.2
axsldpLocPortId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.3
axsldpLocPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.4
axsldpLocManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8
axsldpLocManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1
axsldpLocManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1
axsldpLocManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.2
axsldpLocManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.3
axsldpLocManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.4
axsldpLocManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.5
axsldpRemoteSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4
axsldpRemTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1
axsldpRemEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1
axsldpRemTimeMark	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.1
axsldpRemLocalPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.2
axsldpRemIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.3
axsldpRemRemoteChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.4
axsldpRemRemoteChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.5
axsldpRemRemotePortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.6
axsldpRemRemotePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.7
axsldpRemPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.8
axsldpRemSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.9
axsldpRemSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.10
axsldpRemSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.11
axsldpRemSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.12

MIB 名称	オブジェクト ID
axsldpRemManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2
axsldpRemManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1
axsldpRemManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.1
axsldpRemManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.2
axsldpRemManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.3
axsldpRemManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.4
axsldpRemManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.5
axsldpRemOrgDefInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3
axsldpRemOrgDefInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1
axsldpRemOrgDefInfoOUI	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.1
axsldpRemOrgDefInfoSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.2
axsldpRemOrgDefInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.3
axsldpRemOrgDefInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.4
axsldpRemoteOriginInfoData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20
axsldpRemOriginInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1
axsldpRemOriginInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1
axsldpRemOriginInfoPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.1
axsldpRemOriginInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.2
axsldpRemOriginInfoLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.3
axsldpRemOriginInfoHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.4
axsldpRemOriginInfoIPv4Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.5
axsldpRemOriginInfoIPv4PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.6
axsldpRemOriginInfoIPv4VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.7
axsldpRemOriginInfoIPv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.8
axsldpRemOriginInfoIPv6PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.9
axsldpRemOriginInfoIPv6VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.10

(17) axsAxrpMIB グループ

axsAxrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-17 axsAxrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAxrp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAxpGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1
axsAxpGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1
axsAxpGroupRingId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.1
axsAxpGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.2
axsAxpGroupMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.3
axsAxpGroupRingAttribute	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.4
axsAxpGroupMonitoringState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.5
axsAxpGroupRingport1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.6
axsAxpGroupRingport1Shared	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.7
axsAxpGroupRingport2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.8
axsAxpGroupRingport2Shared	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.9
axsAxpGroupTransitionToFaultCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.10
axsAxpGroupTransitionToNormalCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.11
axsAxpGroupLastTransitionTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.12
axsAxpGroupMultiFaultDetectionState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.22
axsAxpVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2
axsAxpVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1
axsAxpVlanGroupRingId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.1
axsAxpVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.2
axsAxpVlanGroupRingport1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.3
axsAxpVlanGroupRingport1Role	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.4
axsAxpVlanGroupRingport1OperState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.5
axsAxpVlanGroupRingport2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.6
axsAxpVlanGroupRingport2Role	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.7
axsAxpVlanGroupRingport2OperState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.8

(18) ax3640sSwitch グループ

ax3640sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-18 ax3640sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax3640sSwitch	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1
ax3640sModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax3640sSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.2
ax3640sSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.2.1
ax3640sSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.2.2
ax3640sSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.2.3
ax3640sSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3
ax3640sSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3.1
ax3640sSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3.2
ax3640sSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3.3
ax3640sSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3.4
ax3640sSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3.5
ax3640sSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3.6
ax3640sSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3.7
ax3640sSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.3.8
ax3640sSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.4
ax3640sSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.4.1
ax3640sSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.4.2
ax3640sSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.4.3
ax3640sSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.4.4
ax3640sLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6
ax3640sLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.1
ax3640sLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.2
ax3640sLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.2.1
ax3640sLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.2.1.1
ax3640sLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.2.1.2
ax3640sLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.2.1.3
ax3640sLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.3
ax3640sLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.3.1
ax3640sLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.3.1.1
ax3640sLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.3.1.2
ax3640sLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.3.1.3
ax3640sLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.1.6.3.1.4

(19) ax3640sDevice グループ

ax3640sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-19 ax3640sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax3640sDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2
ax3640sChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1
ax3640sChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.1
ax3640sChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2
ax3640sChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1
ax3640sChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.1
ax3640sChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.2
ax3640sChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.3
ax3640sStsLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.4
ax3640sCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.5
ax3640sCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.6
ax3640sMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.7
ax3640sMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.8
ax3640sMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.9
ax3640sRomVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.10
ax3640sCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.11
ax3640sFlashTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.12
ax3640sFlashUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.13
ax3640sFlashFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.14
ax3640sSdCardStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.15
ax3640sSdCardTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.16
ax3640sSdCardUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.17
ax3640sSdCardFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.18
ax3640sPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.19
ax3640sTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.20
ax3640sPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.21
ax3640sRedundantPsNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.22
ax3640sFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.23

MIB 名称	オブジェクト ID
ax3640sTotalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.24
ax3640sCriticalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.25
ax3640sModuleSlotNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.2.1.26
ax3640sTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.3
ax3640sTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.3.1
ax3640sTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.3.1.1
ax3640sTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.3.1.2
ax3640sTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.3.1.3
ax3640sTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.3.1.4
ax3640sTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.3.1.5
ax3640sPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.4
ax3640sPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.4.1
ax3640sPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.4.1.1
ax3640sPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.4.1.2
ax3640sPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.4.1.3
ax3640sFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.5
ax3640sFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.5.1
ax3640sFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.5.1.1
ax3640sFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.5.1.2
ax3640sRedundantPsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.6
ax3640sRedundantPsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.6.1
ax3640sRedundantPsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.6.1.1
ax3640sRedundantPsConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.6.1.2
ax3640sRedundantPsStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.6.1.3
ax3640sModuleSlotTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.7
ax3640sModuleSlotEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.7.1
ax3640sModuleSlotIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.7.1.1
ax3640sModuleSlotStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.7.1.2
ax3640sModuleSlotType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.1.7.1.3
ax3640sPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2
ax3640sPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax3640sPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2.1.1
ax3640sPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2.1.1.1
ax3640sPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2.1.1.2
ax3640sPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2.1.1.3
ax3640sPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2.1.1.4
ax3640sPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.2.2.1.1.5

(20) ax3640sManagementMIB グループ

ax3640sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-20 ax3640sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax3640sManagementMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.3
ax3640sOperationCommand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.3.1
ax3640sFdbClearMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.3.1.1
ax3640sFdbClearSet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.3.1.1.1
ax3640sFdbClearReqTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.3.1.1.2
ax3640sFdbClearSuccessTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.11.3.1.1.3

付録 A.2 HP プライベート MIB

HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を次の表に示します。

表 A-21 HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
icmp	1.3.6.1.4.1.11.2.7
icmpEchoReq	1.3.6.1.4.1.11.2.7.1

付録 A.3 InMon プライベート MIB

InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を次の表に示します。

表 A-22 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
sFlowMIB	1.3.6.1.4.1.4300.1
sFlowAgent	1.3.6.1.4.1.4300.1.1
sFlowVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
sFlowAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.2
sFlowAgentAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.3
sFlowTable	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4
sFlowEntry	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1
sFlowDataSource	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.1
sFlowOwner	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.2
sFlowTimeout	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.3
sFlowPacketSamplingRate	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.4
sFlowCounterSamplingInterval	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.5
sFlowMaximumHeaderSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.6
sFlowMaximumDatagramSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.7
sFlowCollectorAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.8
sFlowCollectorAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.9
sFlowCollectorPort	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.10
sFlowDatagramVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.11

索引

A

- Alarm グループ 76
- at グループ(MIB-II) 26
- ax3640sChassis グループの実装仕様(温度情報) 299
- ax3640sChassis グループの実装仕様(筐体情報) 297
- ax3640sChassis グループの実装仕様(電源情報) 300
- ax3640sChassis グループの実装仕様(ファン情報) 301
- ax3640sChassis グループの実装仕様(モジュール情報) 303
- ax3640sChassis グループの実装仕様(予備電源機構情報) 302
- ax3640sDevice グループ(システム装置の筐体情報 MIB) 297
- ax3640sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 368
- ax3640sFdbClearMIB グループ(MAC アドレステーブル Clear 用 MIB) 306
- ax3640sManagementMIB グループ(装置の状態/情報の変更を行う) 306
- ax3640sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 370
- ax3640sPhysLine グループの実装仕様(インタフェース情報) 304
- ax3640sSwitch グループ(システム装置のモデル情報 MIB) 293
- ax3640sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 366
- axsAccessFilterStats グループ 225
- axsAgrpGroupTable グループ 289
- axsAgrpMIB グループ (Ring Protocol 情報) 289
- axsAgrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 365
- axsAgrpVlanGroupTable グループ 291
- axsBootManagement グループ(システム起動情報 MIB) 272
- axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 362
- axsDHCP グループ 199
- axsEtherTxQoS グループ 195
- axsFdb グループ(MAC アドレステーブルグループ MIB) 206
- axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 343
- axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB) 225
- axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 348
- axsGsrpGroupTable グループ 201
- axsGsrpMIB グループ(GSRP グループ情報) 201
- axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 342
- axsGsrpNeighborGroupTable グループ 203
- axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ 204
- axsGsrpVlanGroupTable グループ 202
- axsIfStats グループ 194
- axsL2ldGlobalInfo グループ 229
- axsL2ldMIB グループ (L2 ループ検知情報 MIB) 229
- axsL2ldPortTable グループ 230
- axsL2ld グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 349
- axslldpConfiguration グループ 276
- axslldpLocalSystemData グループ 279
- axslldpRemoteOriginInfoData グループ 286
- axslldpRemoteSystemData グループ 282
- axslldpStats グループ 278
- axslldp グループ(LLDP 情報 MIB) 276
- axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 363
- axsLogin グループ(ログイン情報 MIB) 273
- axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 362
- axsOadpGlobalInfo グループ 220
- axsOadpNeighborInfo グループ 221
- axsOadpPortInfo グループ 221
- axsOadp グループ (OADP 情報 MIB) 220
- axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 347
- axsOspfAreaAggregateTable 245
- axsOspfAreaRangeTable 237
- axsOspfAreaTable 233
- axsOspfExtLsdbTable 244
- axsOspfGeneralTable 232
- axsOspfIfMetricTable 239
- axsOspfIfTable 237
- axsOspfLsdbTable 235
- axsOspfMIB グループ(マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 232
- axsOspfNbrTable 241
- axsOspfStubAreaTable 234
- axsOspfTrap 247
- axsOspfv3AreaAggregateTable 261

axsOspfV3AreaLsdbTable 253
 axsOspfV3AreaTable 250
 axsOspfV3AsLsdbTable 252
 axsOspfV3GeneralTable 249
 axsOspfV3IfTable 255
 axsOspfV3LinkLsdbTable 254
 axsOspfV3MIB グループ(マルチバックボーン
 OSPFv3 情報 MIB) 249
 axsOspfV3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト
 ID 値の対応 355
 axsOspfV3NbrTable 259
 axsOspfV3VirtIfTable 257
 axsOspfV3VirtNbrTable 260
 axsOspfVirtIfTable 240
 axsOspfVirtNbrTable 243
 axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値
 の対応 350
 axsPolicyBaseRouting グループ 271
 axsPolicyBase グループ (ポリシーベース情報 MIB)
 271
 axsPolicyBase グループの MIB 名称とオブジェクト
 ID 値の対応 362
 axsQosFlowStats グループ 227
 axsQoS グループ 195
 axsStaticIpv6Table グループ 267
 axsStaticTable グループ 267
 axsStatic グループ(スタティック経路情報 MIB) 267
 axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値
 の対応 361
 axsStats グループ(統計情報 MIB) 194
 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値
 の対応 340
 axsToCpuQoS グループ 197
 axsTrackObjectGeneralGroup 269
 axsTrackObjectMIB グループ (トラック情報 MIB)
 269
 axsTrackObjectMIB グループの MIB 名称とオブ
 ジェクト ID 値の対応 361
 axsTrackObjectTable 269
 axsUlrGlobalInfo グループ 264
 axsUlrPortTable グループ 264
 axsUlr グループ (アップリンク・リダンダント情報
 MIB) 264
 axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の
 対応 360
 axsVBBBasePortTable グループ 210
 axsVBBBaseTable グループ 208
 axsVBStaticTable グループ 217
 axsVBStpPortTable グループ 213

axsVBStpTable グループ 211
 axsVBTPFdbTable グループ 215
 axsVBTPPortTable グループ 216
 axsVBTPTable グループ 214
 axsVlanBridge (その他) グループ 218
 axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報) 208
 axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報
 MIB) 219
 axsVlan グループ(VLAN 情報 MIB) 208
 axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値
 の対応 343

B

bgp 65
 bgp4PathAttrTable 67
 bgpPeerTable 65
 bgp グループ(BGP4 MIB) 65

D

dot1agCfmLtrTable 187
 dot1agCfmMaCompTable 179
 dot1agCfmMaMepListTable 181
 dot1agCfmMaNetTable 178
 dot1agCfmMd 176
 dot1agCfmMepDbTable 189
 dot1agCfmMepTable 181
 dot1agCfmStackTable 174
 dot1agCfmVlanTable 175
 dot1dBase グループ 80
 dot1dBridge グループ 80
 dot1dStp グループ 81
 dot1dTp グループ 83
 dot3adAggPort グループ 142
 dot3adAgg グループ 141
 dot3adTablesLastChanged グループ 148
 dot3 グループ(Ethernet Like MIB) 43

E

Ethernet History グループ 74
 Ethernet Statistics グループ 70
 Event グループ 78

H

History Control グループ 72
 HP プライベート MIB 370
 HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対
 応 370

I

icmp グループ(HP プライベート MIB) 307
 icmp グループ(MIB-II) 35
 IEEE802.1X MIB グループ 149
 ieee8021CfmMib グループ 174
 IEEE8023-LAG-MIB グループ 141
 ifMIB グループ(Interfaces Group MIB) 97
 InMon プライベート MIB 370
 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値
 の対応 370
 interfaces グループ(MIB-II) 20
 ip 27
 ipAddrTable 28
 ipForward 32
 ipNetToMediaTable 31
 ipRouteTable 29
 ipv6AddrPrefixTable 105
 ipv6AddrTable 106
 ipv6IcmpMIB グループ(ICMPv6 MIB) 111
 ipv6IfStatsTable 103
 ipv6IfTable 101
 ipv6MIB 101
 ipv6MIB グループ(IPv6 MIB) 101
 ipv6NetToMediaTable 109
 ipv6RouteTable 107
 ipv6TcpConnTable 39
 ipv6UdpTable 41
 ip グループ(MIB-II および IP Forward Table MIB)
 27

M

MIB 一覧 4
 MIB 体系図 2
 MIB の記述形式 14

O

ospfAreaAggregateTable 61
 ospfAreaRangeTable 53
 ospfAreaTable 49
 ospfExtLsdbTable 60
 ospfGeneralGroup 48
 ospfIfMetricTable 56
 ospfIfTable 53
 ospfLsdbTable 51
 ospfNbrTable 58
 ospfStubAreaTable 51
 ospfTrap 63
 ospfv3AreaAggregateTable 139

ospfv3AreaLsdbTable 130
 ospfv3AreaTable 127
 ospfv3AsLsdbTable 129
 ospfv3GeneralGroup 126
 ospfv3IfTable 133
 ospfv3LinkLsdbTable 132
 ospfv3MIB グループ(OSPFv3 MIB) 126
 ospfv3NbrTable 136
 ospfv3VirtIfTable 135
 ospfv3VirtNbrTable 138
 ospfVirtIfTable 56
 ospfVirtNbrTable 59
 ospf グループ(OSPFv2 MIB) 48

P

pBridgeMIB グループ 86
 PDU 内パラメータ 320
 pimInterfaceTable 123
 pimJoinPruneInterval 123
 pimMIB グループ(IPv4 PIM MIB) 123
 pimNeighborTable 124

Q

qBridgeMIB グループ 88

R

rmon グループ(Remote Network Monitoring MIB)
 70

S

sFlow グループ (InMon プライベート MIB) 308
 snmpModules グループ 160
 snmp グループ(MIB-II) 45
 SNMP 通知 311
 SNMP 通知の種類と送信契機 312
 SYNTAX 14
 system グループ(MIB-II) 18

T

tcp 37
 tcp グループ(MIB-II および TCP MIB for IPv6) 37

U

udp 41
 udp グループ(MIB-II および UDP MIB for IPv6) 41

V

vrrpMIB グループ 114
vrrpOperations グループ 114
vrrpStatistics グループ 119

あ

アクセス 16

お

オブジェクト識別子 14

さ

サポート MIB の概要 1

し

識別子 14
実装有無 16
実装仕様 14, 16

ひ

標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB) 17

ふ

プライベート MIB 193, 340
プライベート MIB 定義ファイルの入手方法 13
プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値 340